

平成28年度

市政世論調査概要

第 7 0 集

和 歌 山 市

はじめに

昨年は、人口減少に正面から向き合い、将来に向かって活力ある和歌山市を維持していくための地方創生に向けた取組みがスタートし、南海和歌山市駅前再開発や新市民会館の建設、さらに3つの大学の誘致が次々に決まりました。また、吉宗将軍就任300年記念行事や吉宗桜を海外の姉妹都市を始め各地に植樹するなど、様々なことが新たに動き出した年でした。

今年は、その桜が根を張り成長していくように、和歌山市が持つ自然・歴史・文化の魅力や個性に磨きをかけ、未来に向けての成長を確かなものになりたいと思います。

今春には、第二阪和国道において平井から淡輪ランプ間が開通することにより、和歌山市にとって関西国際空港がより近いものとなります。また、京奈和自動車道も和歌山JCTから岩出根来IC間が開通します。これらの道路状況の進展により中部・関東圏とも新たな繋がりができ、和歌山市にとって大きなチャンスが到来します。

一方、国では2020年の東京オリンピックに向け、海外に向けた情報発信を強めています。本市にとっても、この3年は成長するための非常に重要な3年となります。この機会を逃すことなく、より近くなる関西国際空港や経済圏の広がりを活用することで、観光や産業面でも新たな国際戦略を立てることが可能となります。そうすることで、成長力の高い海外の活力を呼び込むことにより、和歌山市の経済成長に繋げていきたいと考えています。

また、少子高齢化が加速する中、地域づくりに関する市民のニーズは多様化しています。今後、市民生活の質を維持・向上させていくためには、市民の方々に地域への愛着と「自分たちの地域は自分たちで良くする」という意識を育んでいただき、住民主体の「共助」のまちづくりを一層進めていく必要があります。

そして住みよいまちにしようとする市民の方々の活動と合わせ、本市が持つポテンシャルを活かしつつ、コミュニティが充実し、住んでよかった、さらに、住みたくなるような「きらり輝く元気和歌山市」の実現に向けて全力で取り組んで参ります。

この冊子は、アンケート調査で得られた貴重なご意見を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映することを目的とした貴重な資料であります。

ここに、平成28年度市政世論調査概要（第70集）を取りまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民のみなさまに厚くお礼申し上げます。

平成29年3月

和歌山市長 尾花正啓



和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目次

I. 調査の概要	5
1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の方法	5
4. 集計区分	6
5. 回答者の属性	7
6. 回答者の家族環境	10
II. 調査の結果	15
1. 市政一般について	15
2. 統合型リゾート（IR）の誘致について	16
3. 民泊について	23
4. 自家用自動車の個人間のカーシェアリングについて	27
5. 南海和歌山市駅前広場の整備について	35
6. 和歌山城のおもてなし忍者について	45
7. 公共施設の重要度について	52
8. スポーツについて	54
9. 男女共生について	60
10. 災害や防犯対策について	62
11. 健康について	85
12. 食育について	100
13. 生涯学習について	114
14. 和歌山市の取り組みに対する満足度・重要度について	121
15. 和歌山市の市政について（自由意見）	135
III. 調査票	139

※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「1026」となっています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

和歌山市では毎年「市政世論調査」を行い、市民の希望や意識について調査し、市政運営のための基礎資料として活用している。

2. 調査の内容

- 市政一般について
- 統合型リゾート（IR）の誘致について
- 民泊について
- 自家用自動車の個人間のカーシェアリングについて
- 南海和歌山市駅前広場の整備について
- 和歌山城のおもてなし忍者について
- 公共施設の重要度について
- スポーツについて
- 男女共生について
- 災害や防犯対策について
- 健康について
- 食育について
- 生涯学習について
- 和歌山市の取組みに対する満足度・重要度について
- 和歌山市の市政について（自由意見）

3. 調査の方法

- ◆ 調査区域 和歌山市全域
- ◆ 調査対象 和歌山市に居住する満 18 歳以上の男女を等間隔無作為抽出
- ◆ 調査方式 郵送による配布・回収
- ◆ 調査期間 平成 28 年 9 月 19 日（月）～同年 10 月 7 日（金）
- ◆ 回収率 発送数 2,000 人
有効回収数 1026 人 （回収数 1028 人）
有効回収率 51.3% （回収率 51.4%）
- ◆ 調査機関 和歌山市広報広聴課（対象者の抽出およびアンケートの策定）
和歌山航測株式会社（配布・回収・集計・取りまとめ）

4. 集計区分

居住区は全市内 42 地区で調査したが、下表のとおり 6 地域にとりまとめ集計した。

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

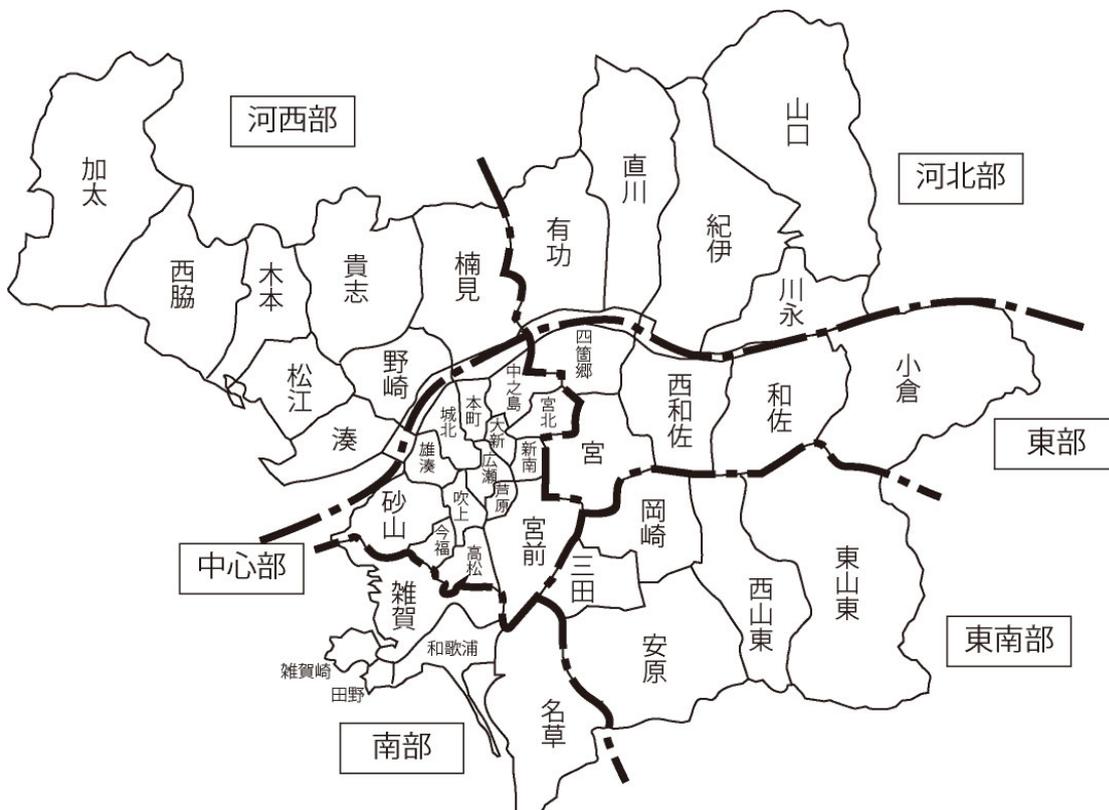
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



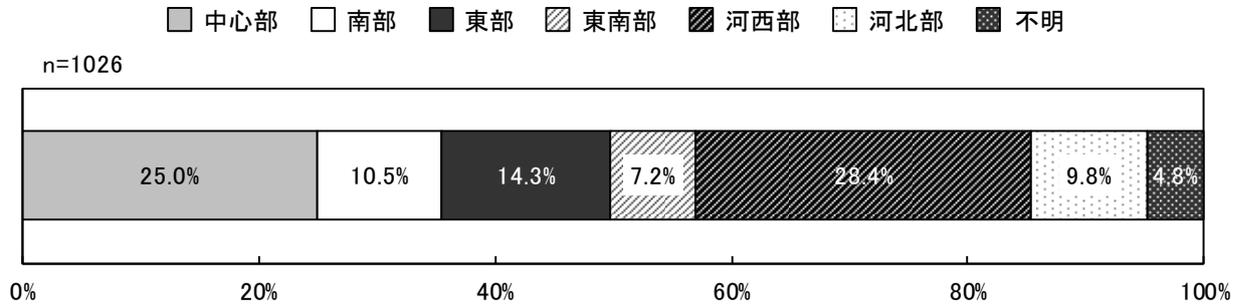
5. 回答者の属性

回答者の属性について、アンケートの問1～問5の結果を集計した。

区分		総数	18歳 ～ 19歳	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上	不明
総数		1026	30	81	103	166	147	232	189	67	11
地域別	中心部	256	16	22	29	36	41	46	45	16	5
	南部	108	5	8	7	26	14	22	18	7	1
	東部	147	5	9	18	26	16	34	29	10	0
	東南部	74	0	5	8	11	9	20	17	3	1
	河西部	291	2	23	25	43	51	74	50	22	1
	河北部	101	0	13	12	19	10	21	18	6	2
	不明	49	2	1	4	5	6	15	12	3	1
性別	男性	468	16	35	43	75	63	110	96	28	2
	女性	544	13	46	59	91	82	121	91	36	5
	不明	14	1	0	1	0	2	1	2	3	4
職業別	会社員	240	2	39	47	63	51	34	2	0	2
	自営業	72	1	1	4	10	12	22	18	3	1
	農林水産業	8	0	0	0	0	1	3	2	2	0
	公務員	48	1	2	14	10	17	2	1	0	1
	パート・アルバイト	145	3	12	14	42	29	35	9	0	1
	専業主婦	187	0	6	14	24	28	62	42	9	2
	学生	41	23	17	1	0	0	0	0	0	0
	無職	235	0	3	5	10	5	57	103	52	0
	その他	41	0	1	4	7	4	13	12	0	0
	不明	9	0	0	0	0	0	0	4	0	1
居住年数別	1年未満	8	2	1	4	1	0	0	0	0	0
	1～3年未満	18	3	2	7	5	0	1	0	0	0
	3～5年未満	15	0	5	5	5	0	0	0	0	0
	5～10年未満	27	1	2	15	7	2	0	0	0	0
	10～20年未満	74	24	4	9	22	8	2	2	1	2
	20～30年未満	150	0	67	11	26	22	17	5	1	1
	30年以上	728	0	0	52	100	115	211	182	64	4
	不明	6	0	0	0	0	0	0	1	0	1

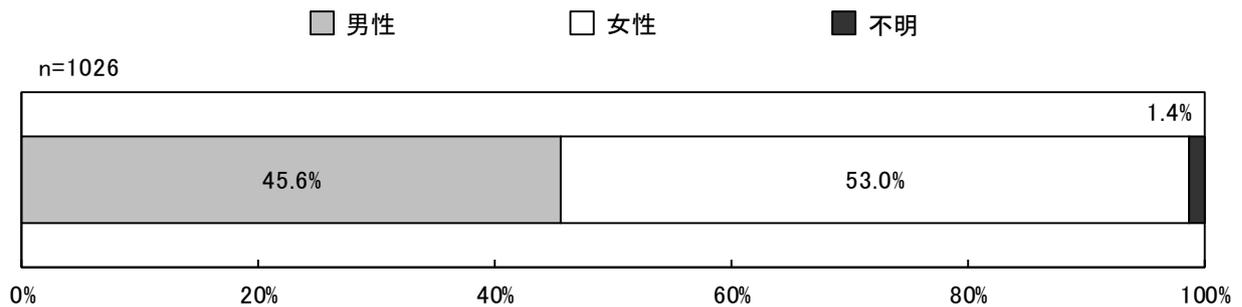
【居住区】

居住区構成は、「河西部」(28.4%)が最も多く、次いで「中心部」(25.0%)、「東部」(14.3%)の順となっている。



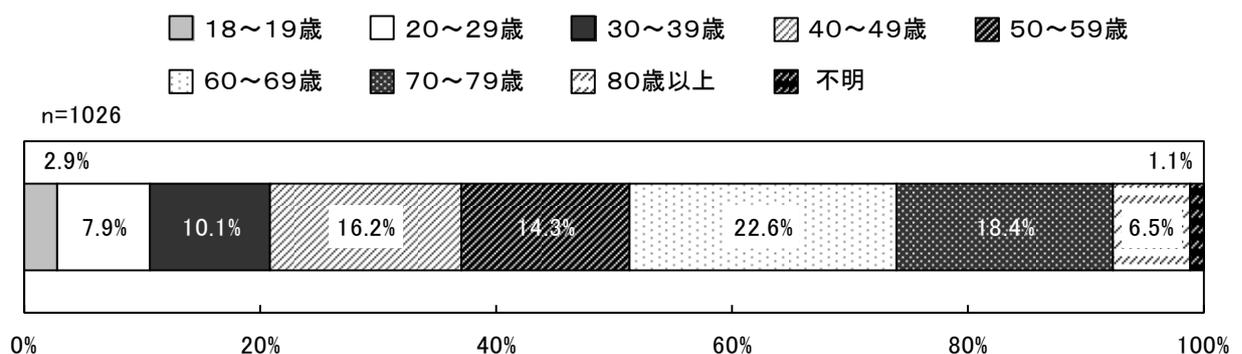
【性別】

男女別構成は「女性」(53.0%)、「男性」(45.6%)で、女性が男性を上回っている。



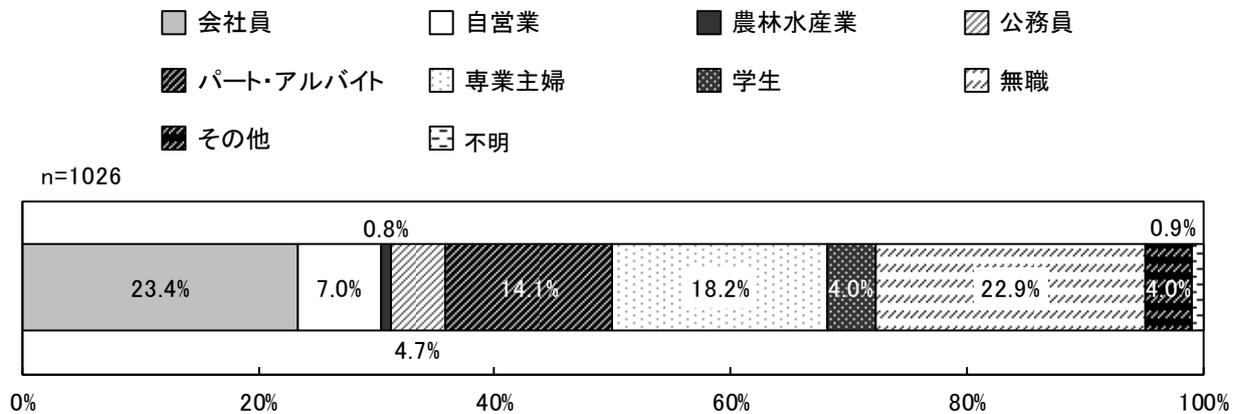
【年齢】

年齢構成は「60～69歳」(22.6%)が最も多く、次いで「70～79歳」(18.4%)となっている。60歳以上の比率が47.5%を占める。



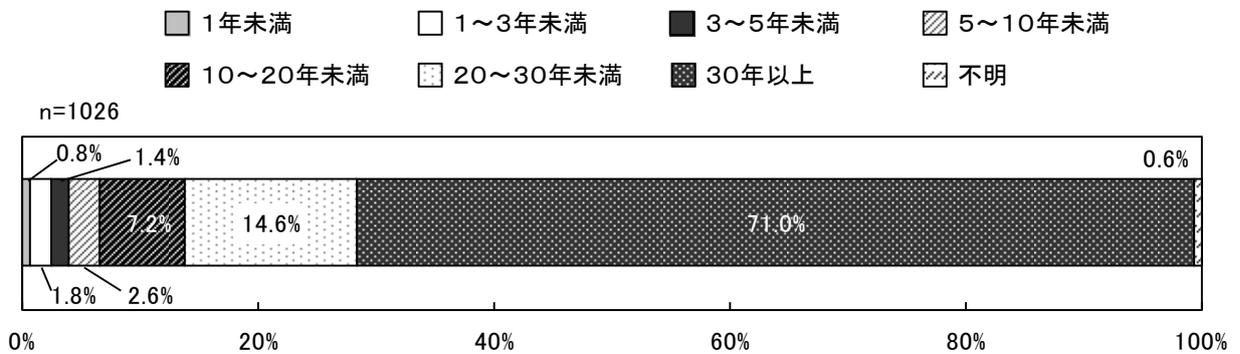
【職業】

職業構成は「会社員」(23.4%)、「無職」(22.9%)、「専業主婦」(18.2%)の順となっている。



【居住年数】

和歌山市の居住年数構成は「30年以上」が71.0%で最も多く、次いで「20~30年未満」(14.6%)が続く。



6. 回答者の家族環境

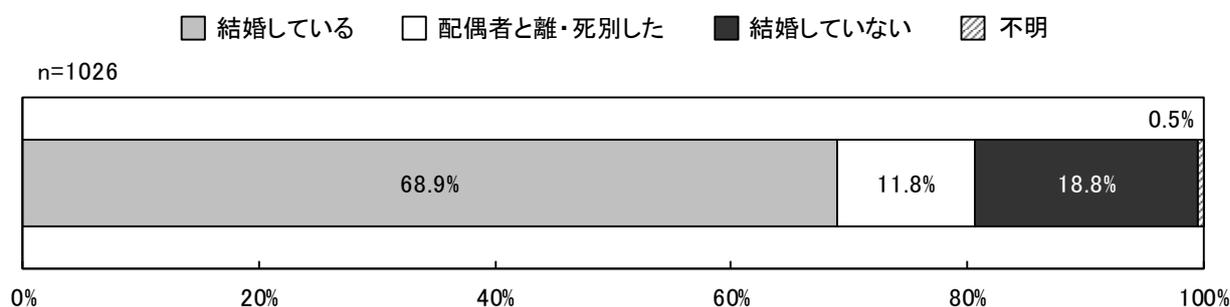
回答者の家族環境について、アンケートの問6～問7の結果を集計した。

問 6. 結婚

問 6 あなたは現在、結婚をしていますか？

1. 結婚している 2. 配偶者と離・死別した 3. 結婚していない

未結婚の構成は、「結婚していない」が18.8%、「配偶者と離・死別した」は11.8%となっている。



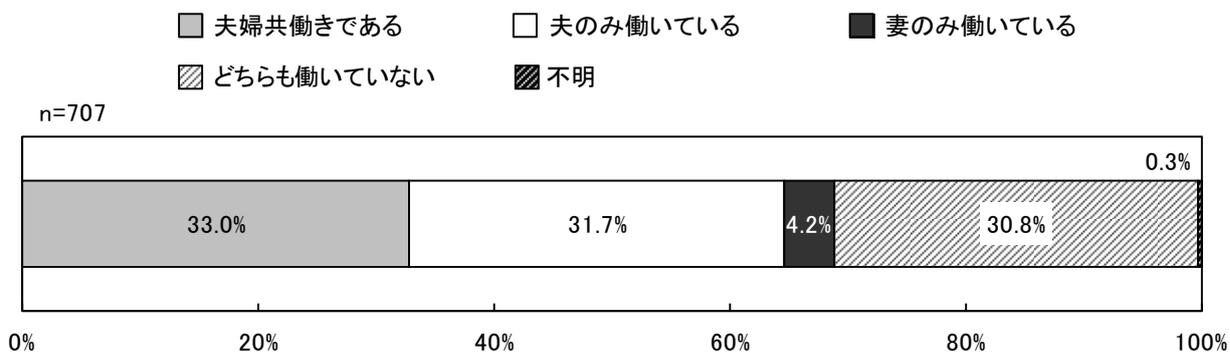
問 6-1. 共働き

問 6-1 問 6で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。

夫婦ともに働いていますか？

1. 夫婦共働きである 3. 妻のみ働いている
2. 夫のみ働いている 4. どちらも働いていない

問 6で「結婚している」と回答した707人について、「夫婦共働きである」が33.0%で最も多く、次いで「夫のみ働いている」(31.7%)、「どちらも働いていない」(30.8%)の順となっている。



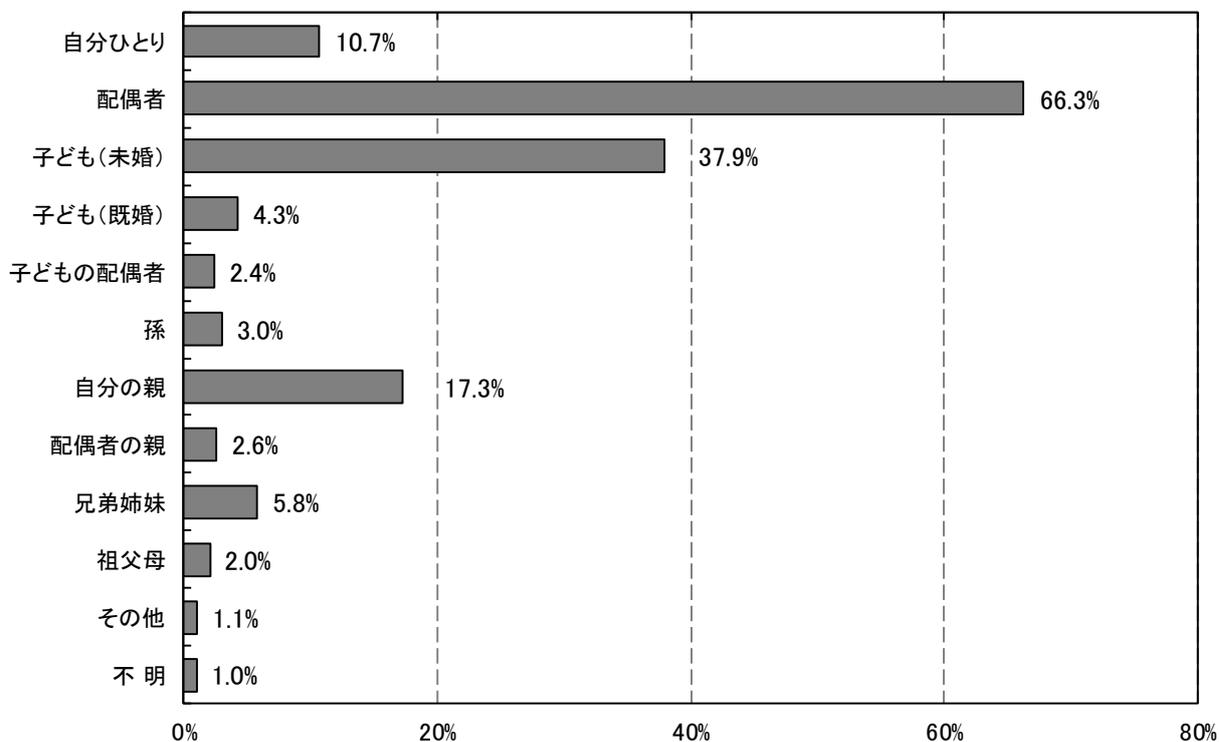
問7 家族構成

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 自分ひとり | 7. 自分の親 |
| 2. 配偶者 | 8. 配偶者の親 |
| 3. 子ども（未婚） | 9. 兄弟姉妹 |
| 4. 子ども（既婚） | 10. 祖父母 |
| 5. 子どもの配偶者 | 11. その他 |
| 6. 孫 | () |

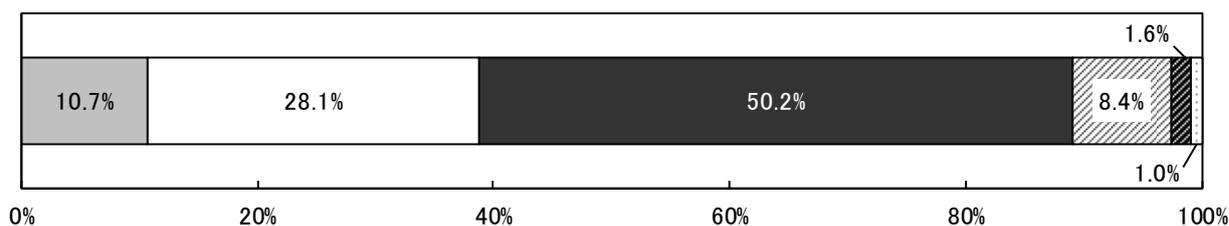
同居人は「配偶者」が66.3%と最も多く、次いで「子ども（未婚）」(37.9%)、「自分の親」(17.3%)の順となっている。回答より家族構成を分類すると「2世代世帯」が50.2%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」(28.1%)、「単独世帯」(10.7%)、「3、4世代世帯」(8.4%)の順となっている。

n=1026



■ 単独世帯	□ 夫婦のみ世帯	■ 2世代世帯
▨ 3、4世代世帯	▩ その他	□ 不明

n=1026



調査の結果

Ⅱ. 調査の結果

1. 市政一般について

問8 ご自身の状況や考え方について

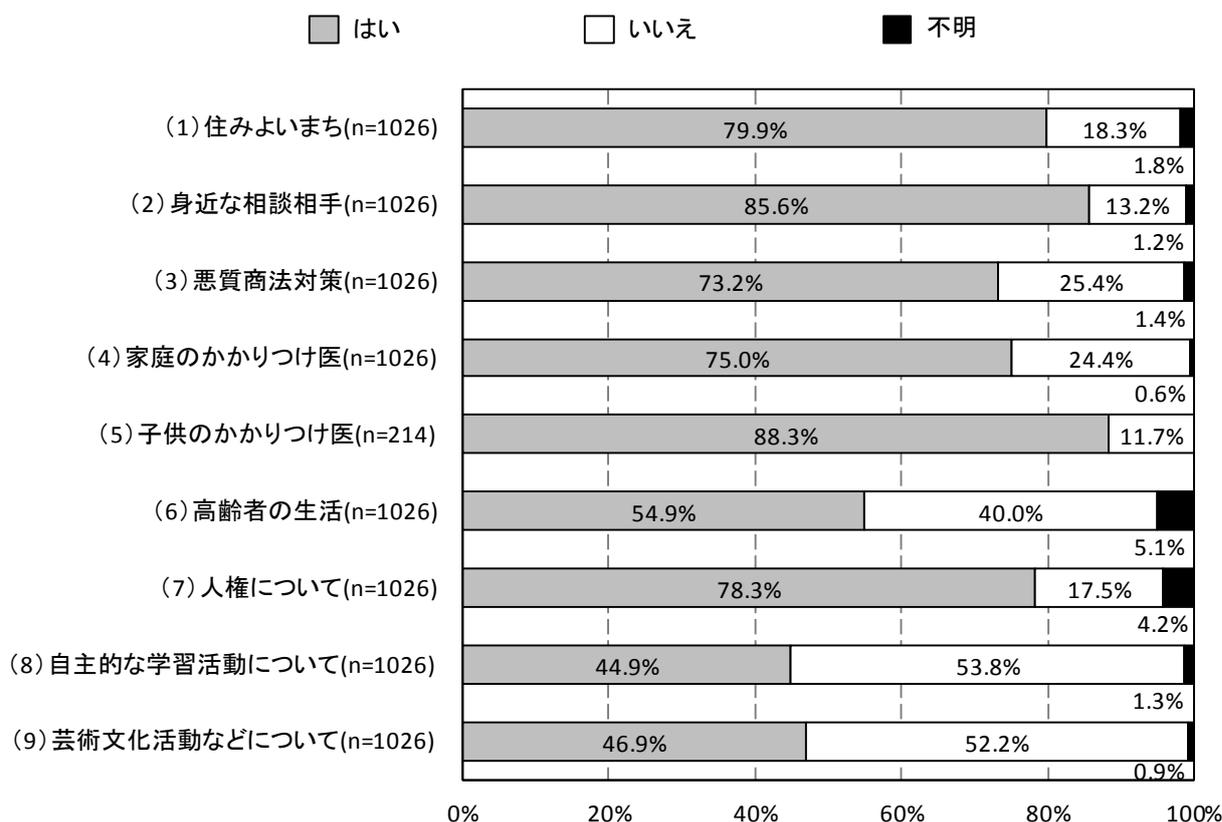
問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

- (1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？
- (2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？
- (3) あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？
- (4) ご家庭のかかりつけ医はありますか？
- (5) お子様のかかりつけ医はありますか？（0～14歳のお子様がいらっしゃる方のみ）
- (6) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？
- (7) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？
- (8) 日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか？
- (9) 日頃から芸術文化活動を行い、又は鑑賞する機会（映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む）をもっていますか？

1. はい

2. いいえ

自身の状況や考え方について、「はい」の比率が最も高いのは「お子様のかかりつけ医はありますか」で88.3%となっている。「はい」が70%を超えるのは、「身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか」（85.6%）、「和歌山市が住みよいまちだと感じていますか」（79.9%）、「あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか」（78.3%）、「ご家庭のかかりつけ医はありますか」（75.0%）、「悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか」（73.2%）の計6項目である。



2. 統合型リゾート（IR）の誘致について

（資料 P. 160）

問9 統合型リゾート（IR）の誘致への賛否

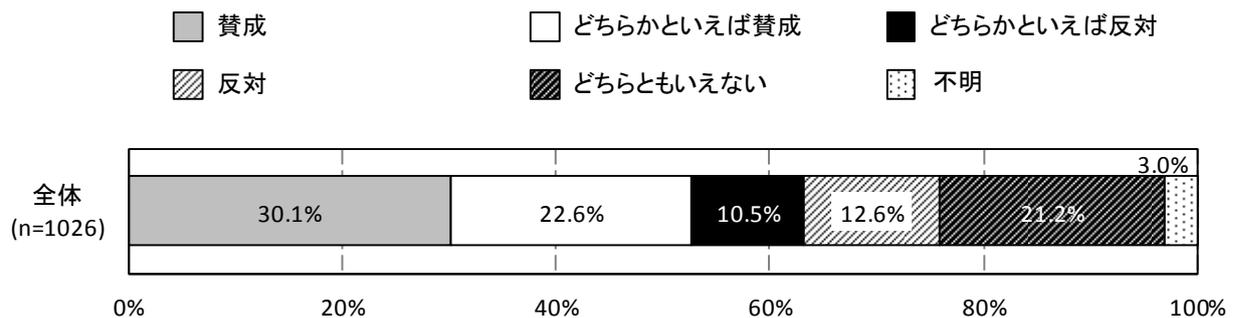
問9 和歌山市に統合型リゾート（IR）を誘致することになれば、どのように思いますか？
あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 賛成 | 4. 反対 |
| 2. どちらかといえば賛成 | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかといえば反対 | |

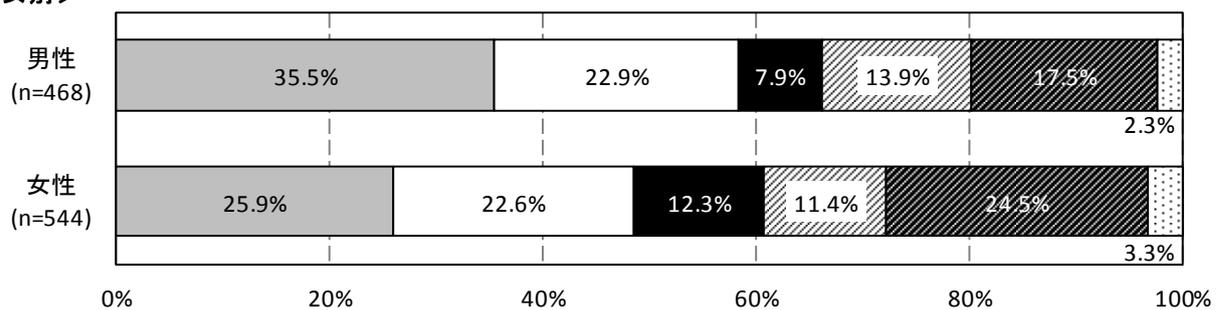
統合型リゾート（IR）を誘致することについて、「賛成」（30.1%）と「どちらかといえば賛成」（22.6%）をあわせた 52.7%が賛成意見となっている。「どちらかといえば反対」（10.5%）と「反対」（12.6%）をあわせた 23.1%が反対意見となっている。「どちらともいえない」は 21.2%となっている。

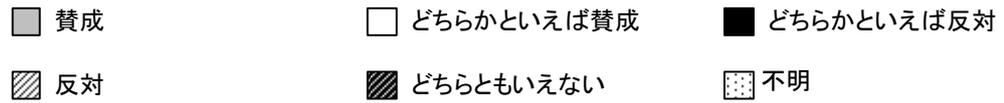
性別にみると、いずれも賛成意見が 40%を超えている。

年代別にみると、20 歳以上で賛成意見が 40%を超えているが、18～19 歳では反対意見（40.0%）が賛成意見（33.3%）を 6.7 ポイント上回っている。

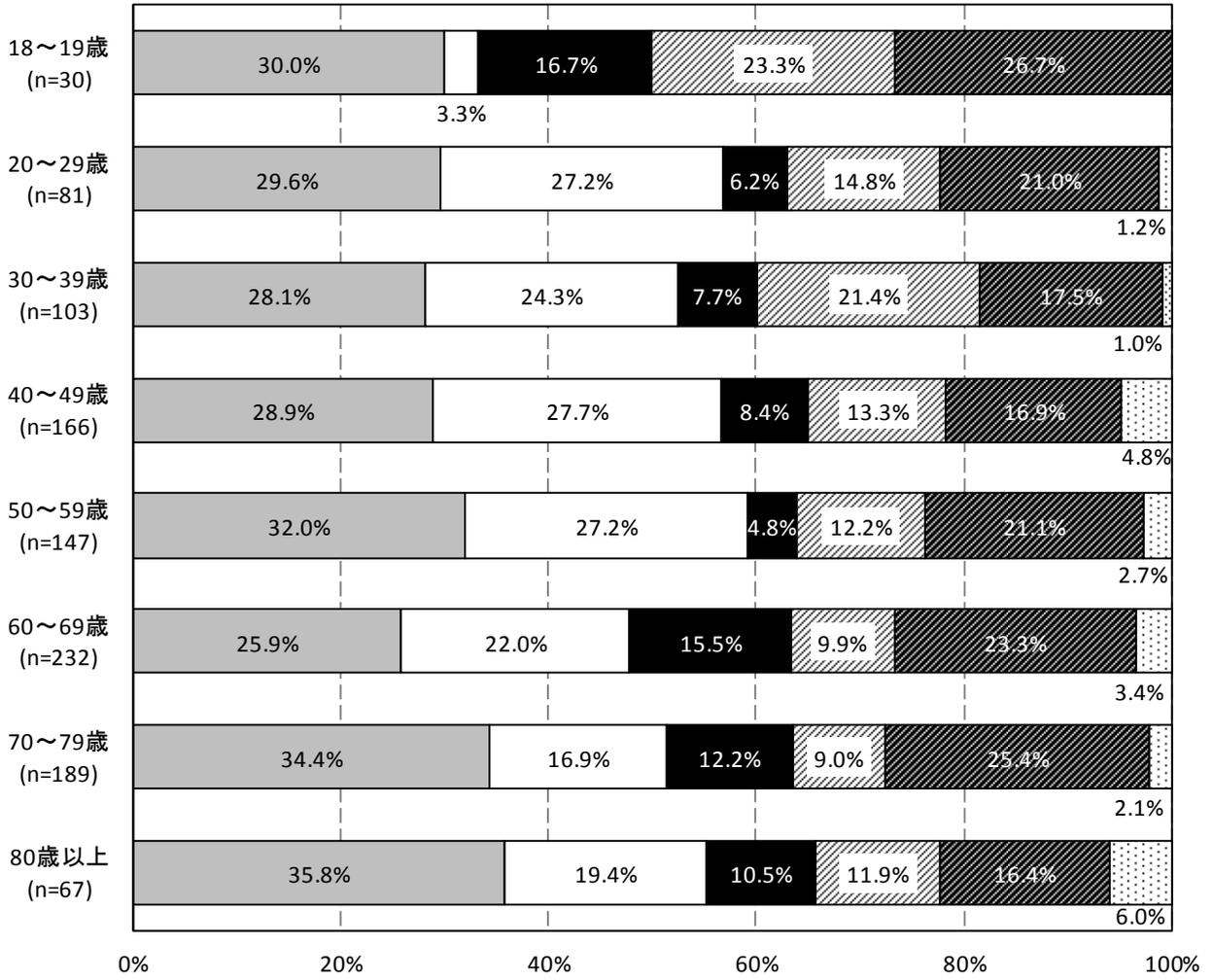


<男女別>





<年代別>



問 10 統合型リゾート（IR）の利用

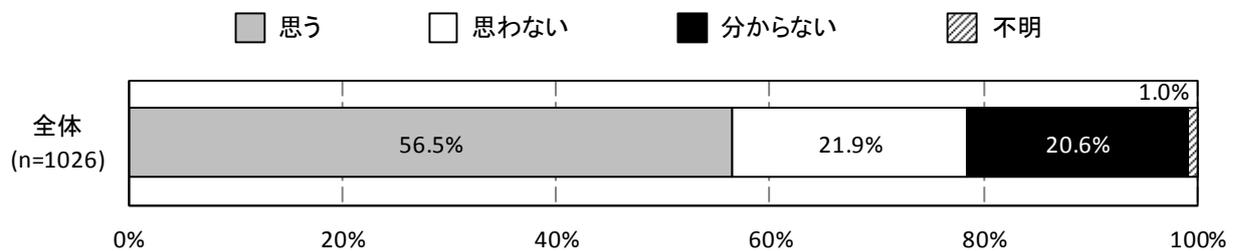
問 10 和歌山市に統合型リゾート（IR）ができた場合、行ってみたいと思いますか？
あてはまるものを1つお選びください。

1. 思う
2. 思わない
3. 分からない

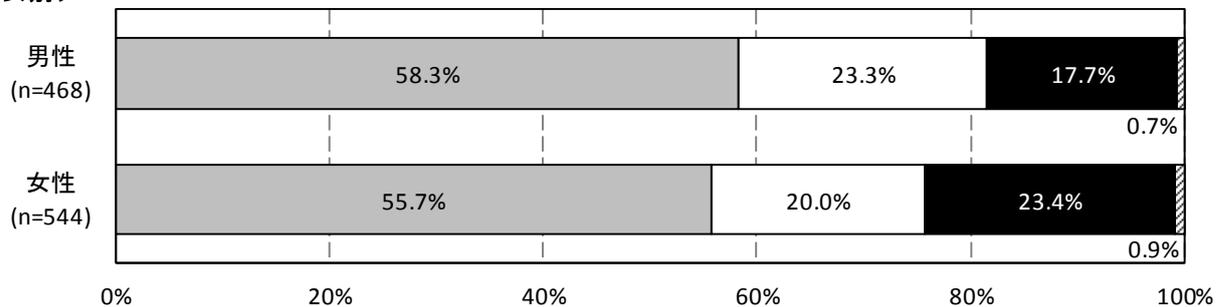
和歌山市に統合型リゾート（IR）ができた場合、「行ってみたいと思う」が 56.5%と半数を超えている。「思わない」が 21.9%、「分からない」が 20.6%となっている。

性別にみても、いずれも「思う」が半数を超えている。

年代別にみると、いずれの年代も「思う」の比率が高く、半数を超えるのは、18～69歳となっている。

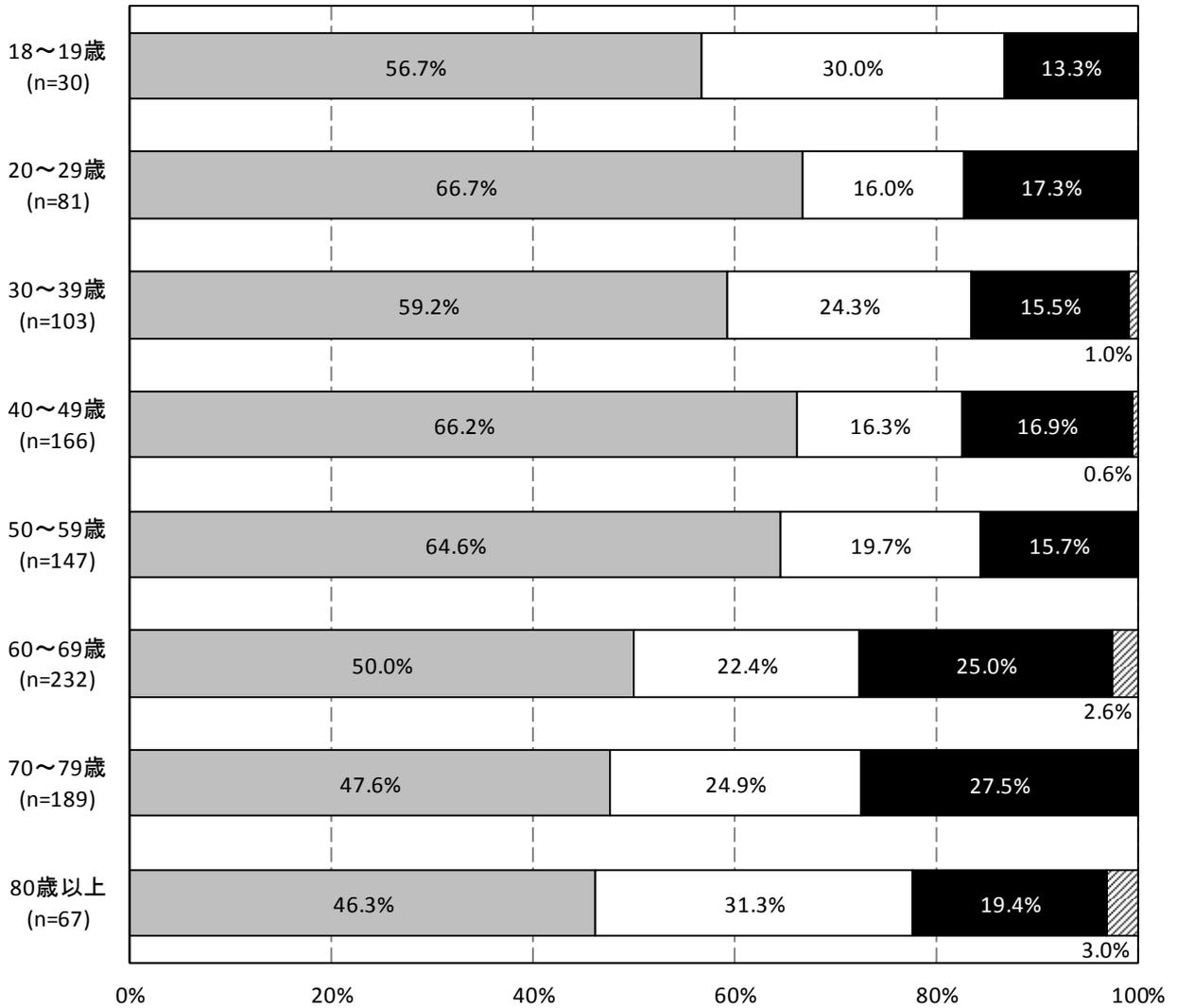


<男女別>



■ 思う □ 思わない ■ 分からない ▨ 不明

<年代別>



問 10-1 利用したい施設

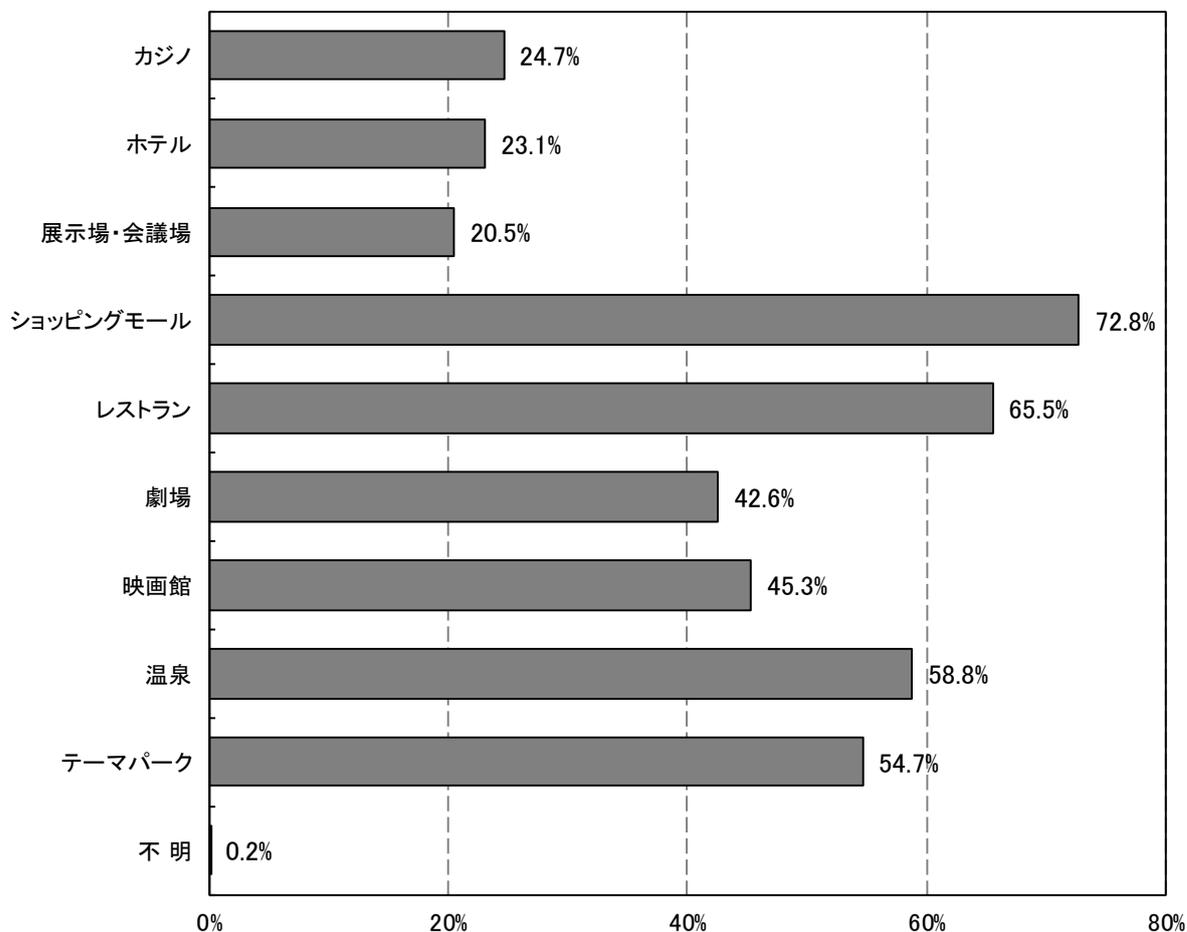
問 10-1 問 10 で「1. 思う」を回答した方にお聞きします。統合型リゾート（IR）に行った場合、どの施設があれば利用したいですか？あてはまるもの全てお選びください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. カジノ | 6. 劇場 |
| 2. ホテル | 7. 映画館 |
| 3. 展示場・会議場 | 8. 温泉 |
| 4. ショッピングモール | 9. テーマパーク |
| 5. レストラン | |

問 10 で「1. 思う」と回答した 580 人について、利用したい施設は、「ショッピングモール」が 72.8% と最も多い。他の項目で 40% を超えるのは、「レストラン」(65.5%)、「温泉」(58.8%)、「テーマパーク」(54.7%)、「映画館」(45.3%)、「劇場」(42.6%) の 5 項目となっている。

「カジノ」については、24.7% となっている。

n=580



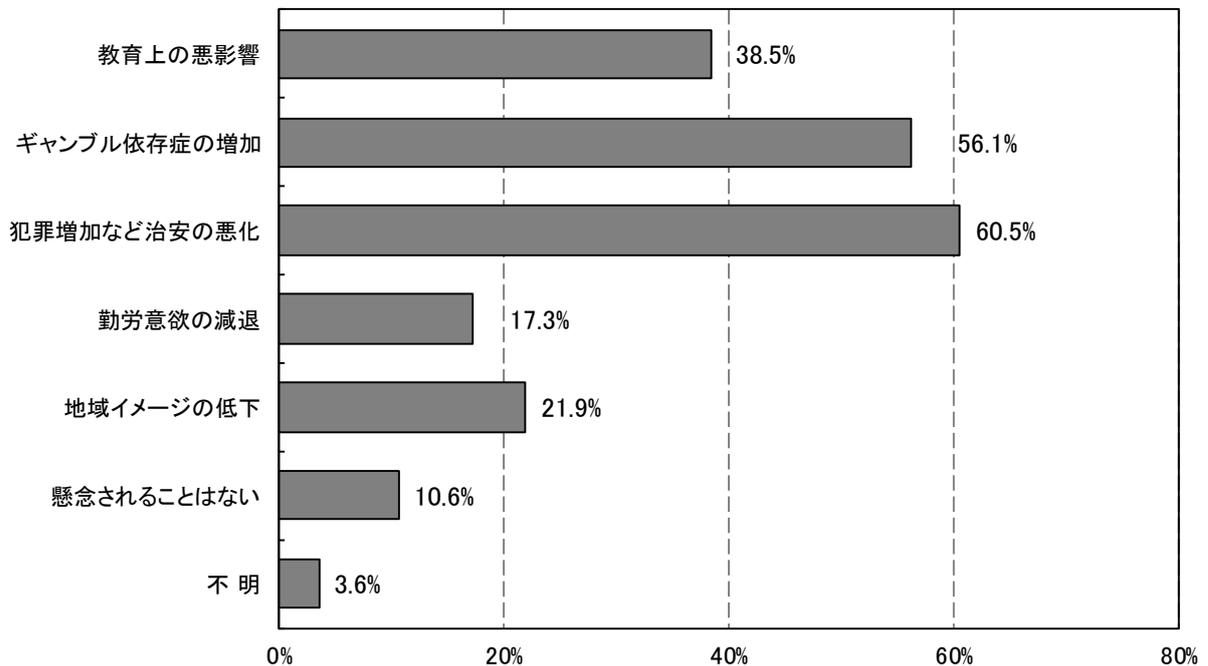
問 11 カジノ施設への懸念

問 11 統合型リゾート（IR）のカジノ施設について、どのようなことを懸念しますか？
あてはまるもの全てお選びください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 教育上の悪影響 | 4. 勤労意欲の減退 |
| 2. ギャンブル依存症の増加 | 5. 地域イメージの低下 |
| 3. 犯罪増加など治安の悪化 | 6. 懸念されることはない |

カジノ施設に懸念することは、「犯罪増加など治安の悪化」が 60.5%と最も多く、次いで「ギャンブル依存症の増加」（56.1%）、「教育上の悪影響」（38.5%）の順となっている。

n=1026



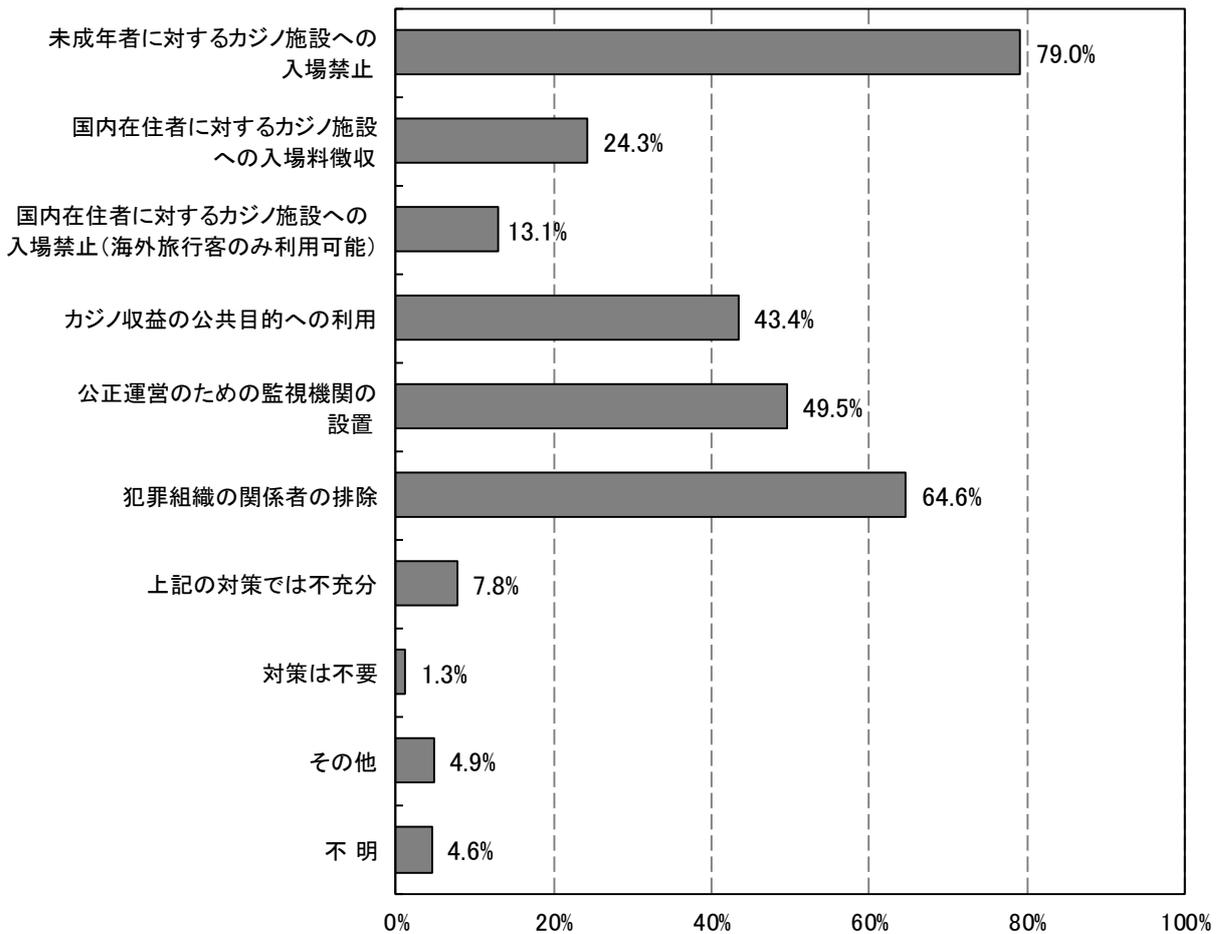
問 12 カジノ施設に関する対策

問 12 統合型リゾート（IR）が建設されることになった場合、カジノ施設に関してどのような対策を望みますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 未成年者に対するカジノ施設への入場禁止
2. 国内在住者に対するカジノ施設への入場料徴収
3. 国内在住者に対するカジノ施設への入場禁止（海外旅行者のみ利用可能）
4. カジノ収益の公共目的への利用
5. 公正運営のための監視機関の設置
6. 犯罪組織の関係者の排除
7. 上記の対策では不十分
8. 対策は不要
9. その他（ ）

カジノ施設に関する対策は、「未成年者に対するカジノ施設への入場禁止」が 79.0%と最も多く、次いで「犯罪組織の関係者の排除」（64.6%）、「公正運営のための監視機関の設置」（49.5%）、「カジノ収益の公共目的への利用」（43.4%）の順となっている。

n=1026



その他：「建設地の考慮」、「ギャンブル依存症対策」、「近隣住民への配慮」など

3. 民泊について

問 13 住宅を提供することについて

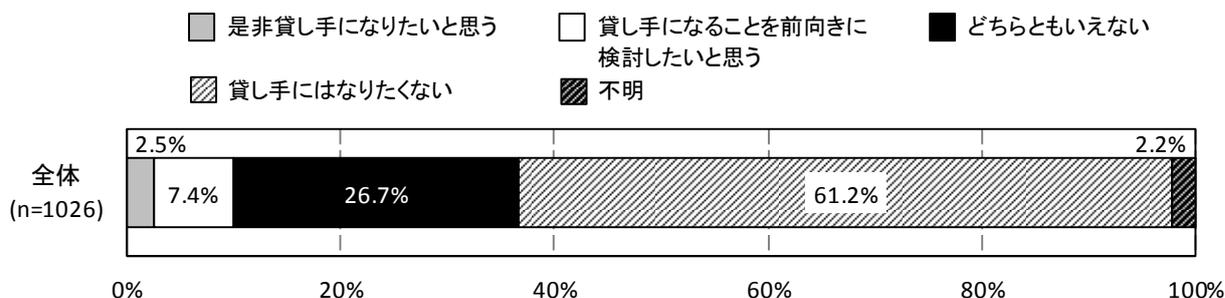
問 13 あなたは、民泊の貸し手として住宅の一部等を提供することについてどう思いますか。
あてはまるものを1つお選びください。

1. 是非貸し手になりたいと思う
2. 貸し手になることを前向きに検討したいと思う
3. どちらともいえない
4. 貸し手にはなりたくない

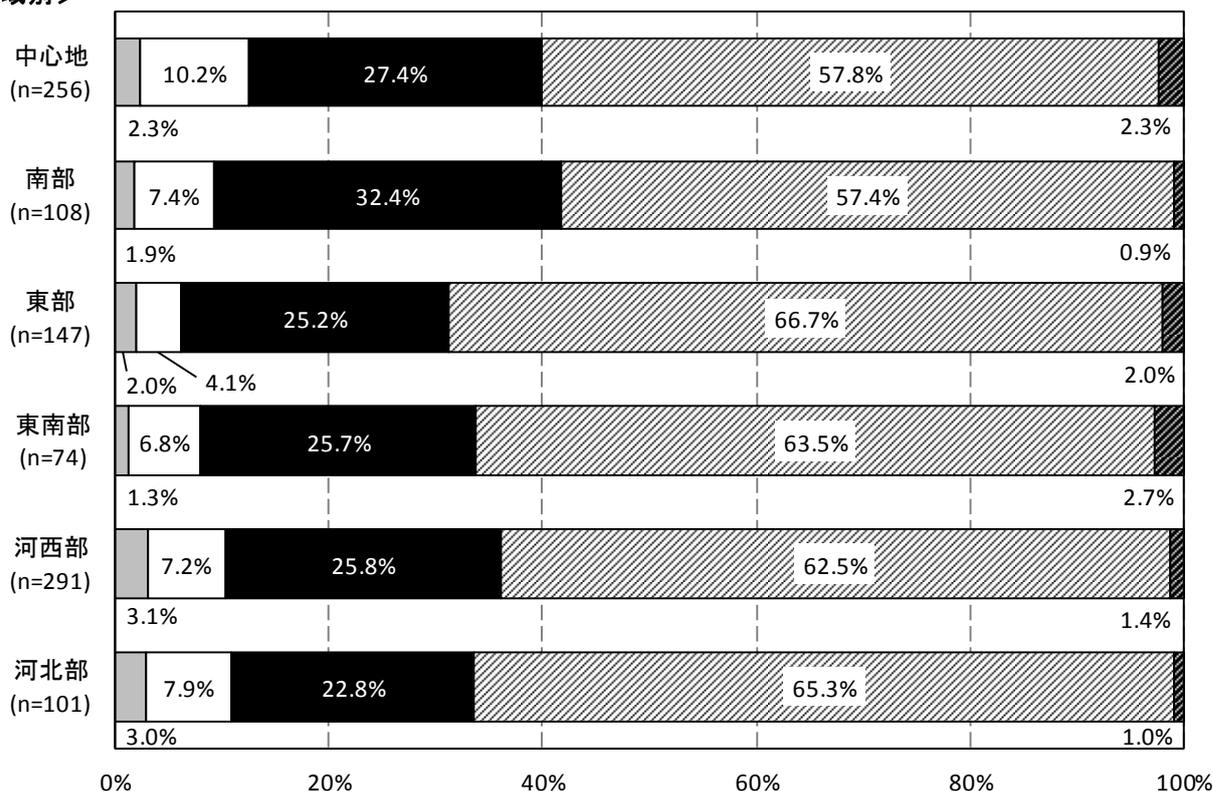
貸し手として住宅の一部等を提供することについては、「是非貸し手になりたいと思う」が2.5%、「貸し手になることを前向きに検討したいと思う」が7.4%、「どちらともいえない」が26.7%、「貸し手にはなりたくない」が61.2%となっている。

地域別にみると、「貸し手にはなりたくない」が、いずれの地域も半数を超えている。

年代別にみても、「貸し手にはなりたくない」が、いずれの年代で40%を超えている。

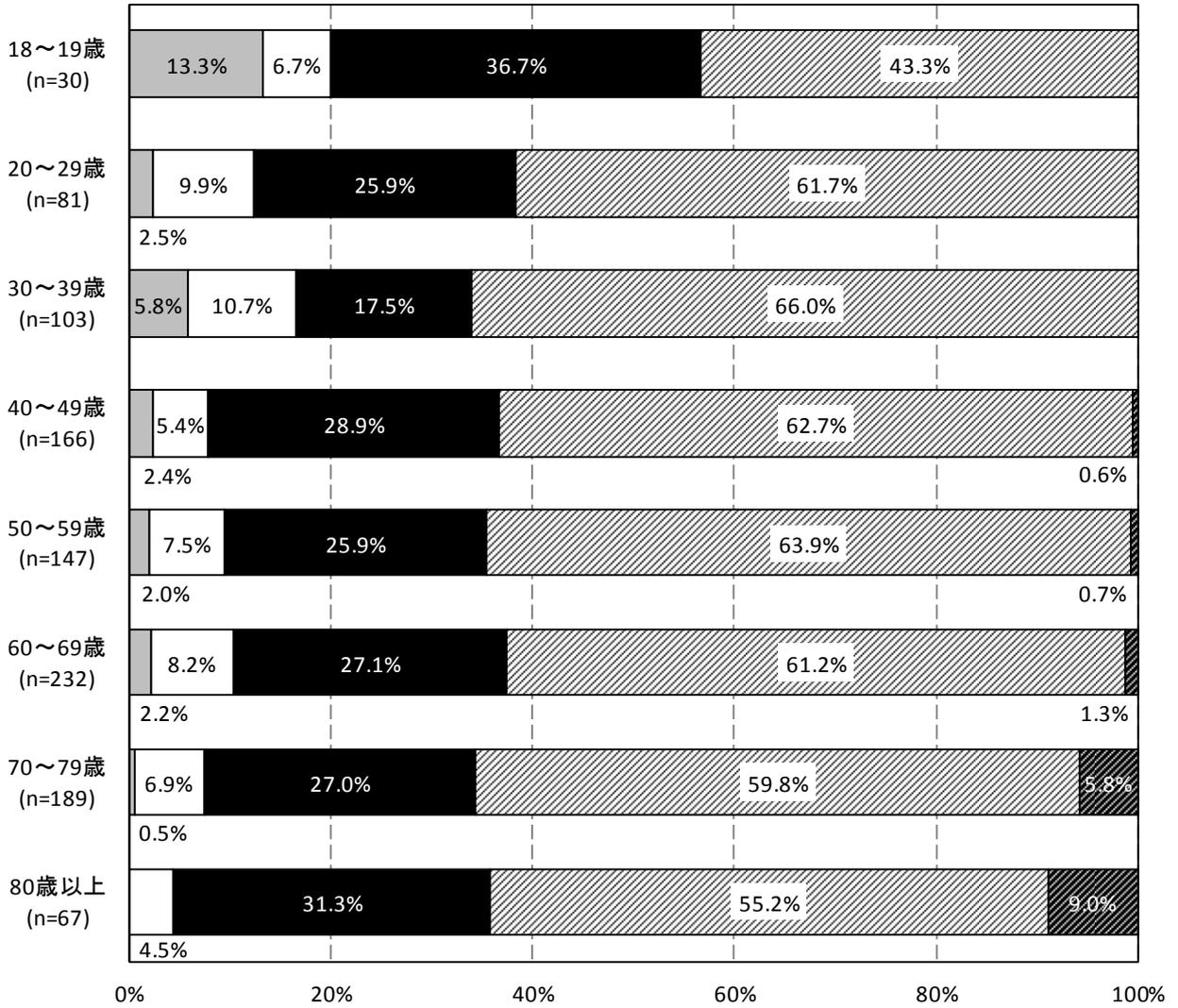


<地域別>



- 是非貸し手になりたいと思う
- 貸し手になることを前向きに検討したいと思う
- どちらともいえない
- 貸し手にはなりたくない
- 不明

<年代別>



問 14 民泊サービスの推進

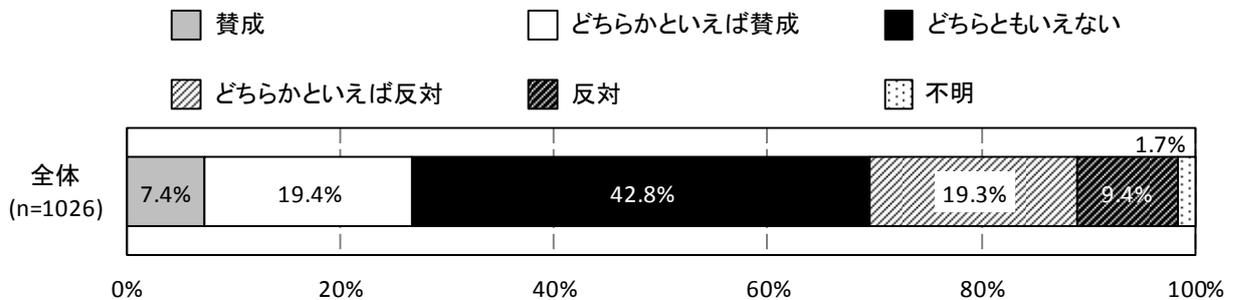
問 14 民泊サービスを推進することについてどう思いますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 賛成 理由 ()
2. どちらかといえば賛成
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば反対
5. 反対 理由 ()

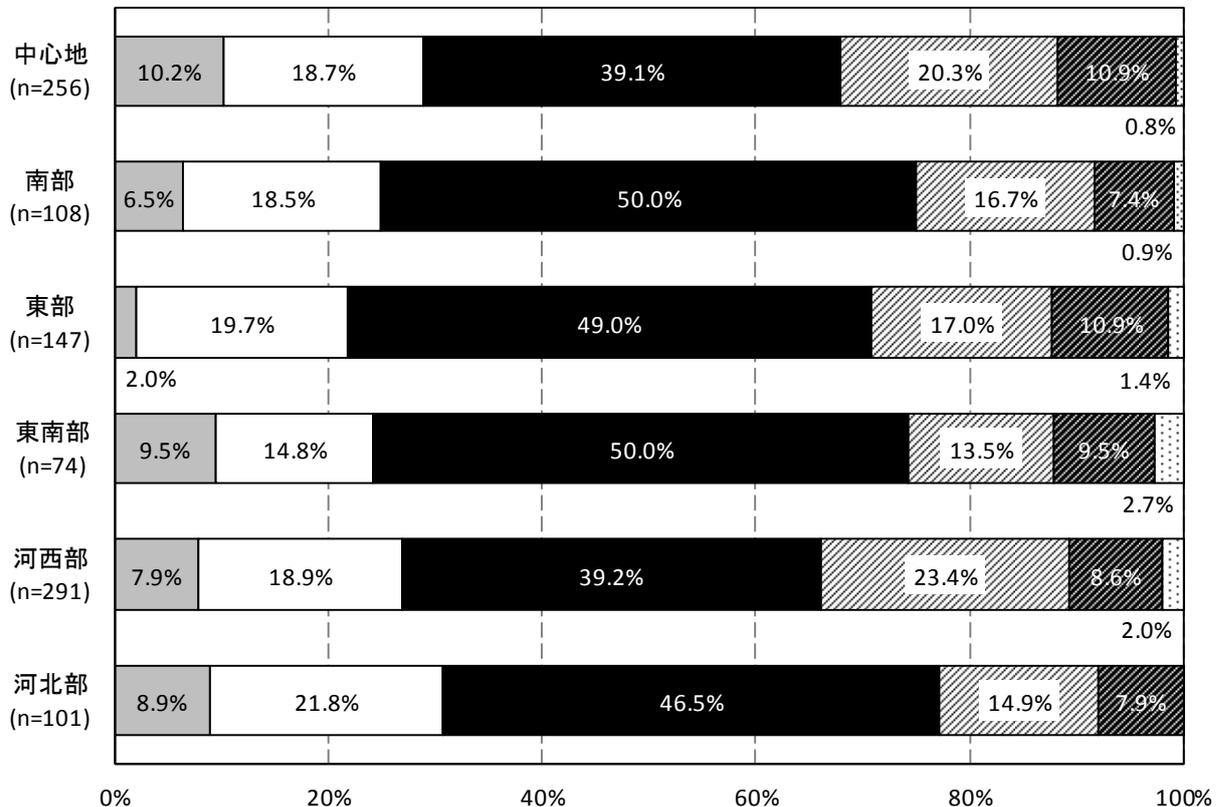
民泊サービスを推進することについて、「賛成」(7.4%)と「どちらかといえば賛成」(19.4%)をあわせた26.8%が賛成意見となっている。「どちらかといえば反対」(19.3%)と「反対」(9.4%)をあわせた28.7%が反対意見となっている。「どちらともいえない」が42.8%となっている。

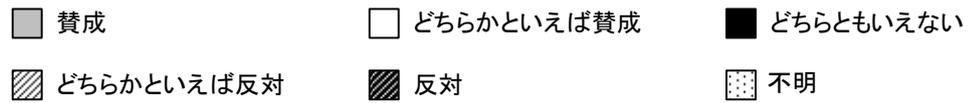
地域別にみると、いずれの地域も「どちらともいえない」が高くなっている。

年代別にみると、18歳～29歳は賛成意見が高くなっているが、50歳以上は反対意見が賛成意見を上回っている。

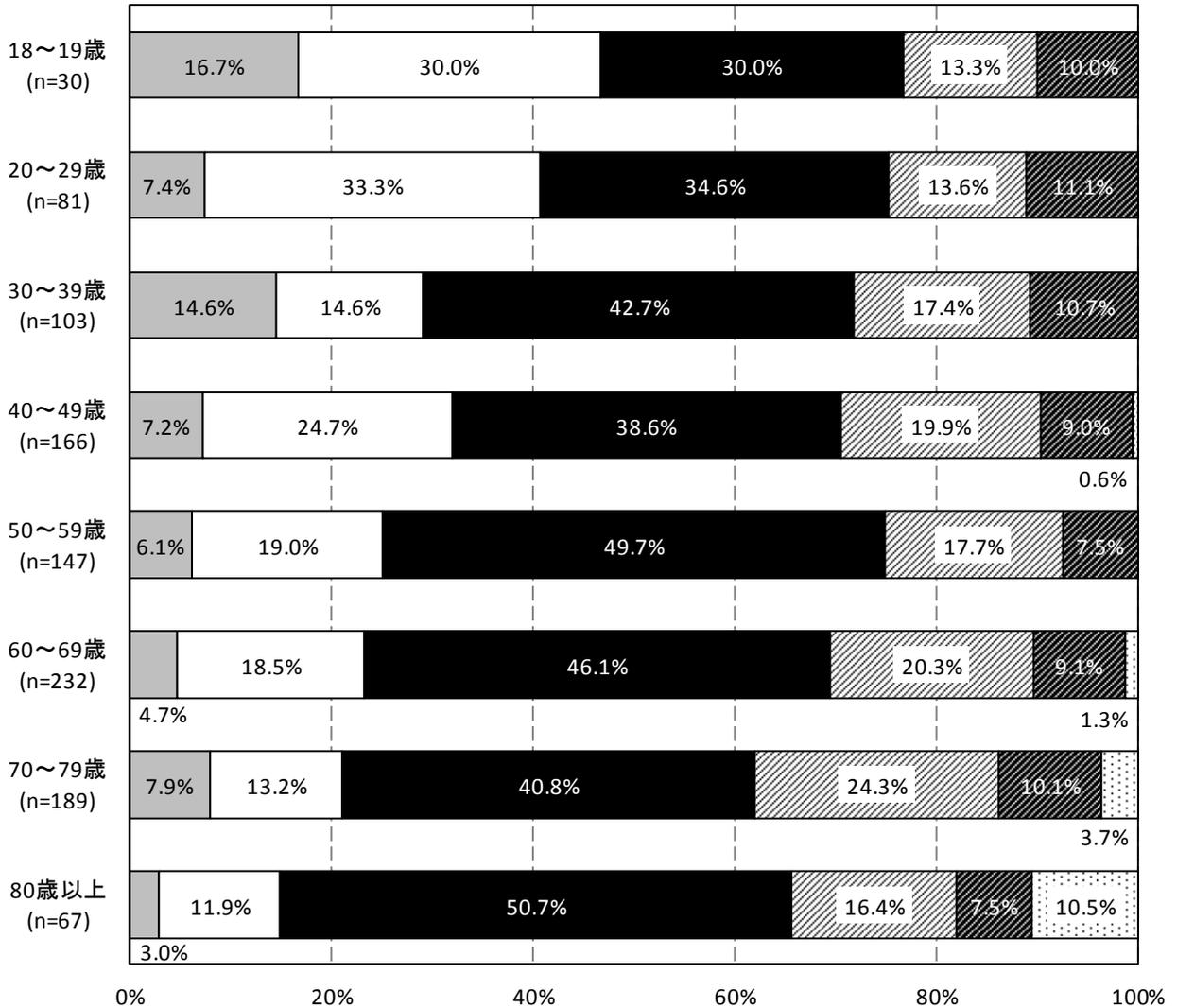


<地域別>





<年代別>



賛成理由：「人との交流が増える」、「地域の活性化」、「空家対策」、「観光客の集客に繋がる」など
 反対理由：「治安の心配」、「トラブルの心配」、「マナーの問題」、「経営への不安」など

4. 自家用自動車の個人間のカーシェアリングについて

問 15 自家用自動車を使用する主な目的

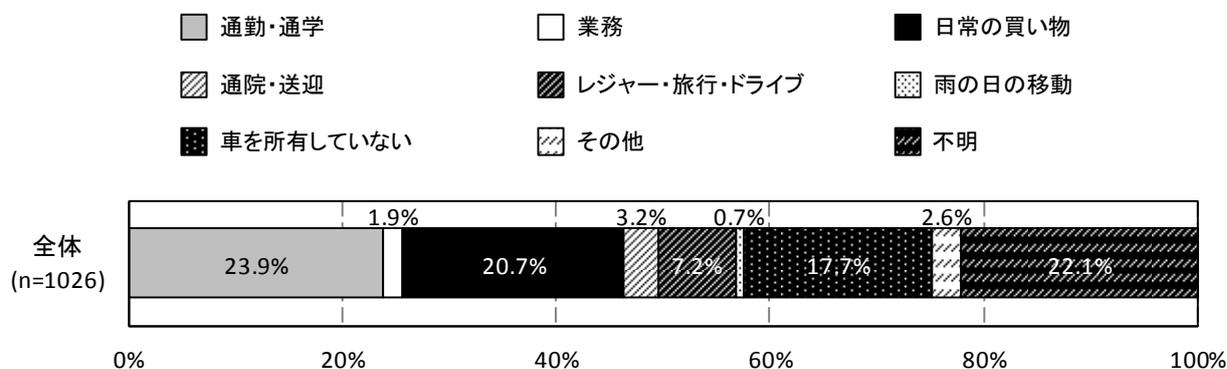
問 15 あなたが自家用自動車を使用する主な目的は何ですか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 通勤・通学 | 5. レジャー・旅行・ドライブ |
| 2. 業務 | 6. 雨の日の移動 |
| 3. 日常の買い物 | 7. 車を所有していない |
| 4. 通院・送迎 | 8. その他 () |

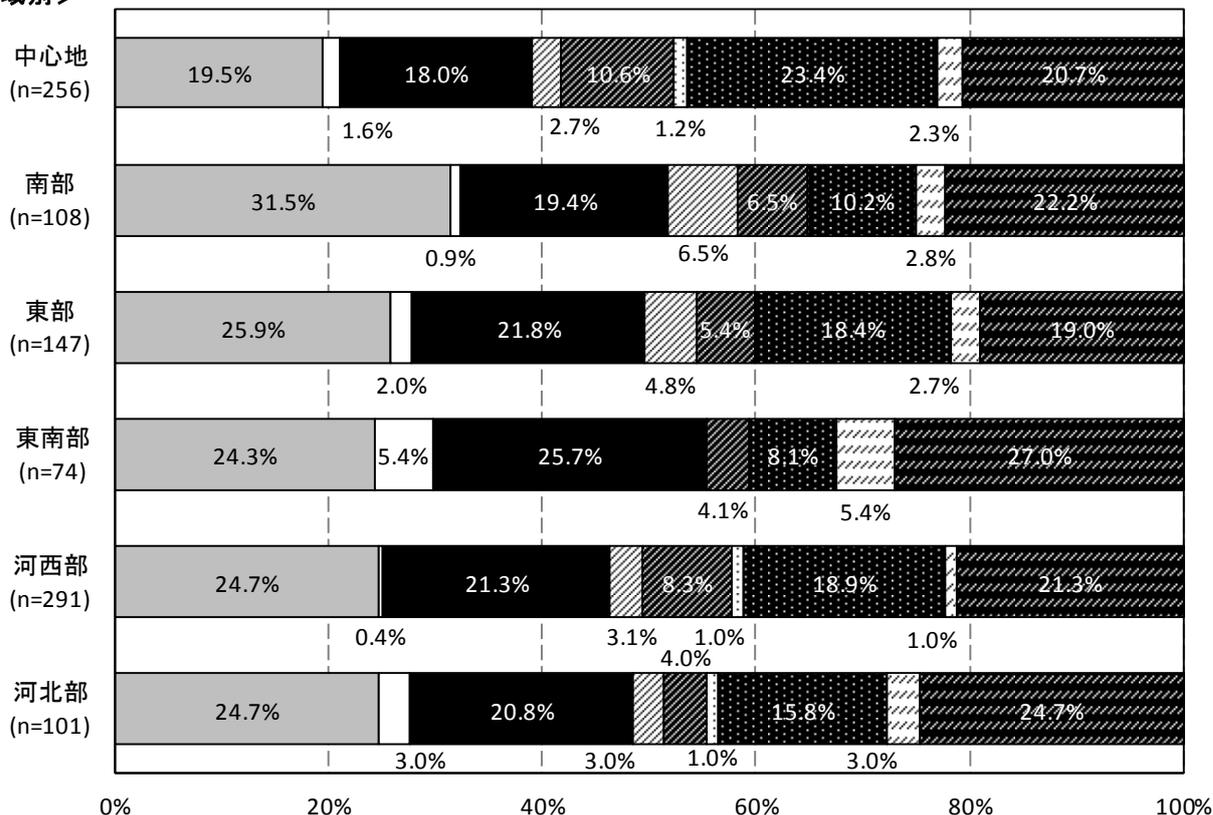
自家用自動車を使用する主な目的は、「通勤・通学」が23.9%と最も多く、次いで「日常の買い物」(20.7%)、「車を所有していない」(17.7%)の順となっている。

地域別にみると、いずれの地域も「通勤・通学」が最も多くなっている。

年代別にみても、20～59歳で「通勤・通学」が最も多くなっている。

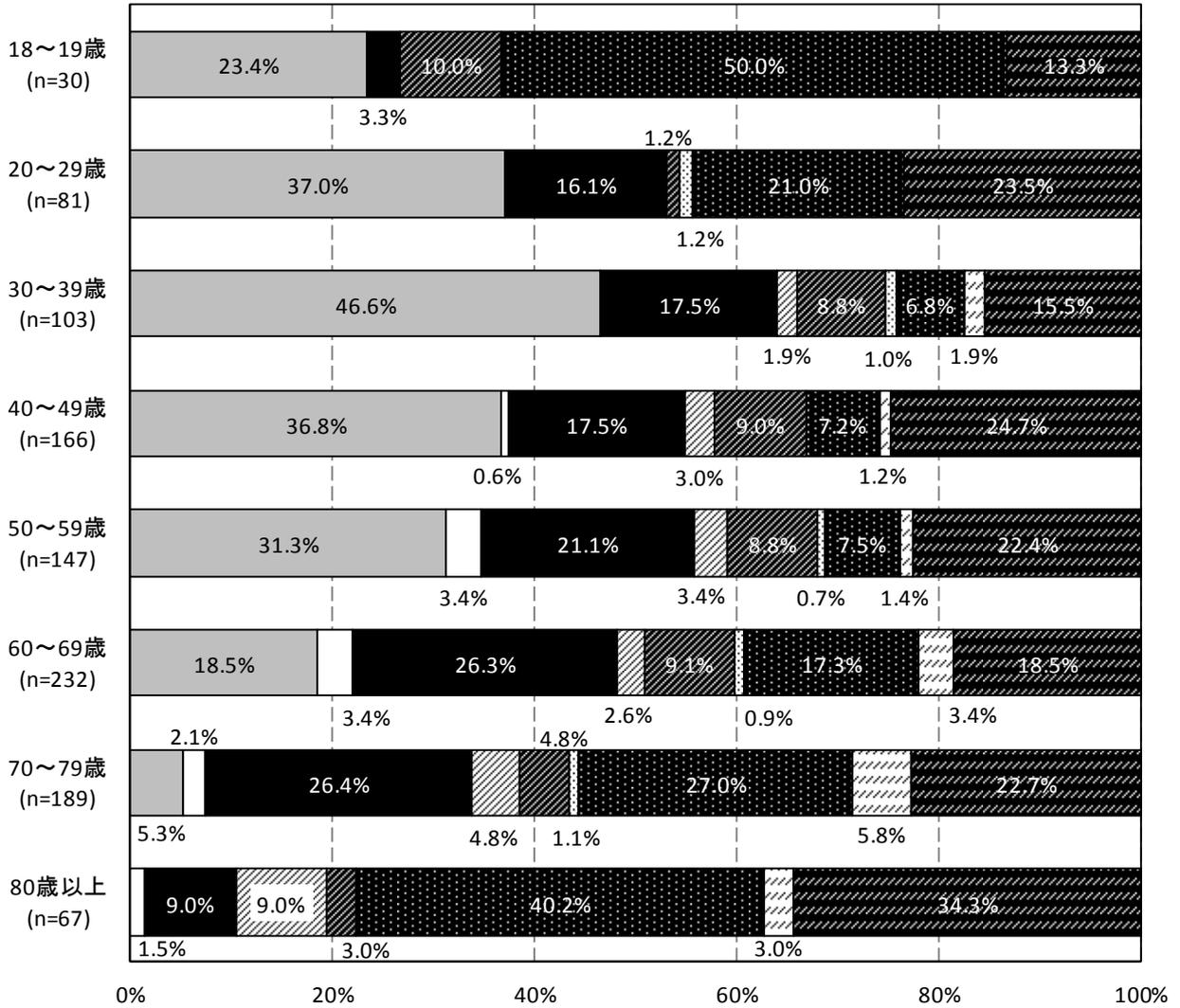


<地域別>





<年代別>



その他：「運転をしない」、「免許を持っていない」など

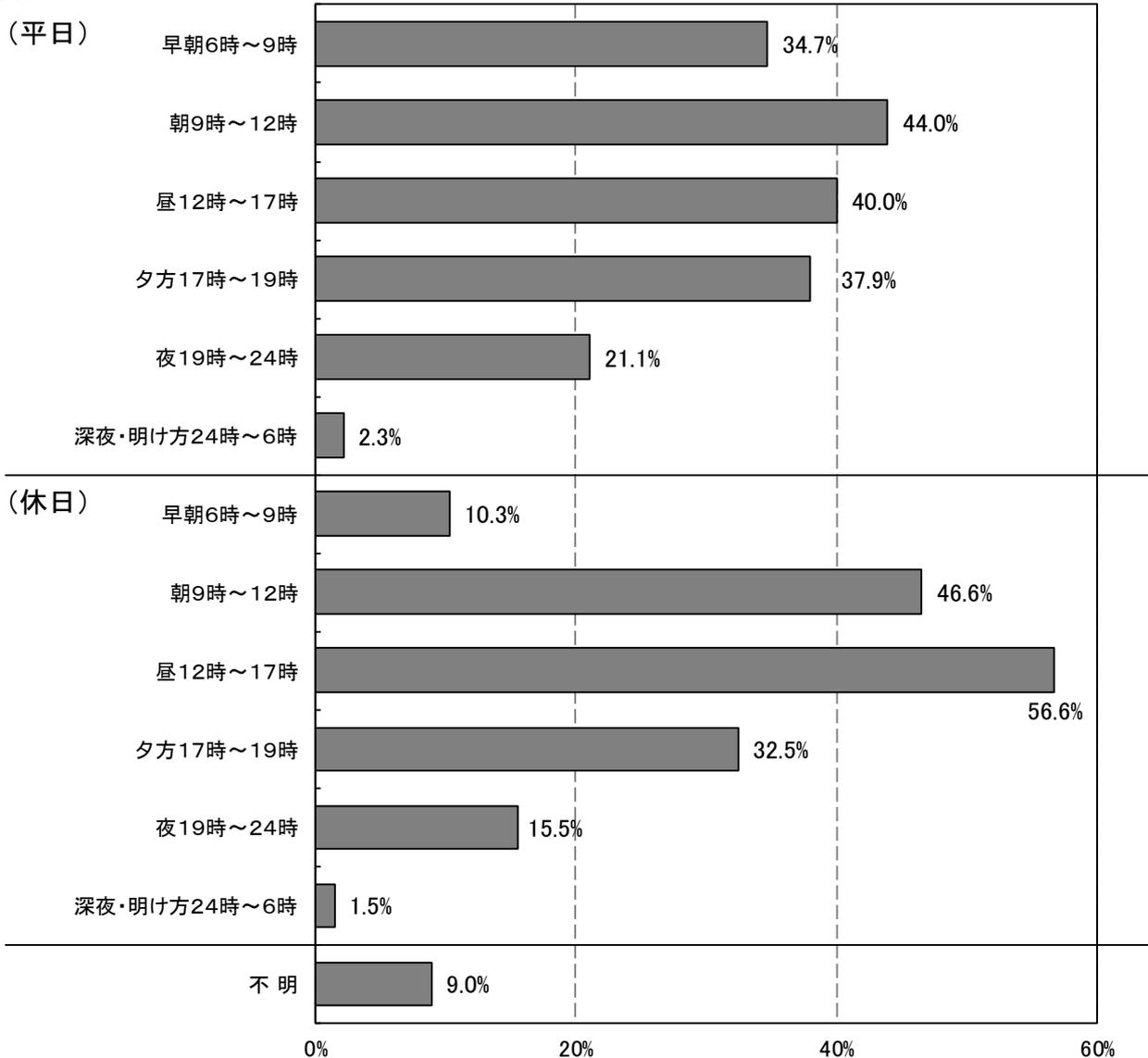
問 16 運転する時間帯

問 16 自家用自動車の使用状況について、実際に運転する時間帯（平日／休日別）を教えてください。
 あてはまる箇所の数字（1～12）を全て選んで、数字を○で囲んでください。

	早朝 6時～9時	朝 9時～12時	昼 12時～17時	夕方 17時～19時	夜 19時～24時	深夜・明け方 24時～6時
平日	1	2	3	4	5	6
休日	7	8	9	10	11	12

運転する時間帯について、平日は「朝9時～12時」が44.0%と最も多い。他の時間帯で40%を超えているのは、「昼12時～17時」（40.0%）の1項目となっている。休日は「昼12時～17時」が56.6%と最も多い。他の時間帯で40%を超えているのは、「朝9時～12時」（46.6%）の1項目となっている。

n=844



問 17 自家用自動車の有償貸与

問 17 あなたは、自家用自動車を有料で貸すことについて、どのように思いますか。

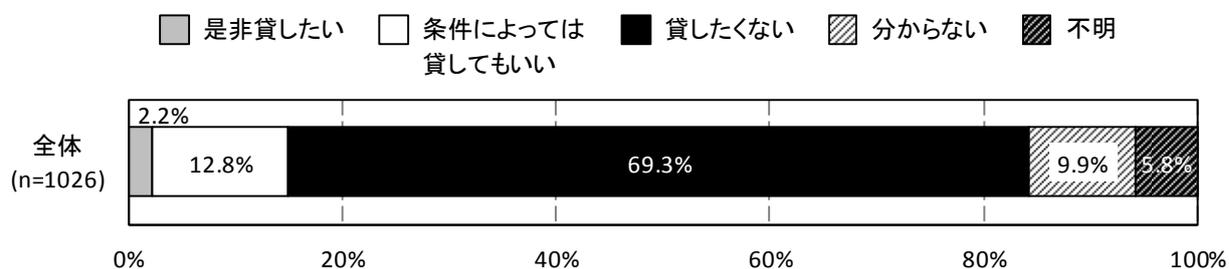
あてはまるものを1つお選びください。

(問 15 で「7. 車を所有していない」と回答された方もお答えください。)

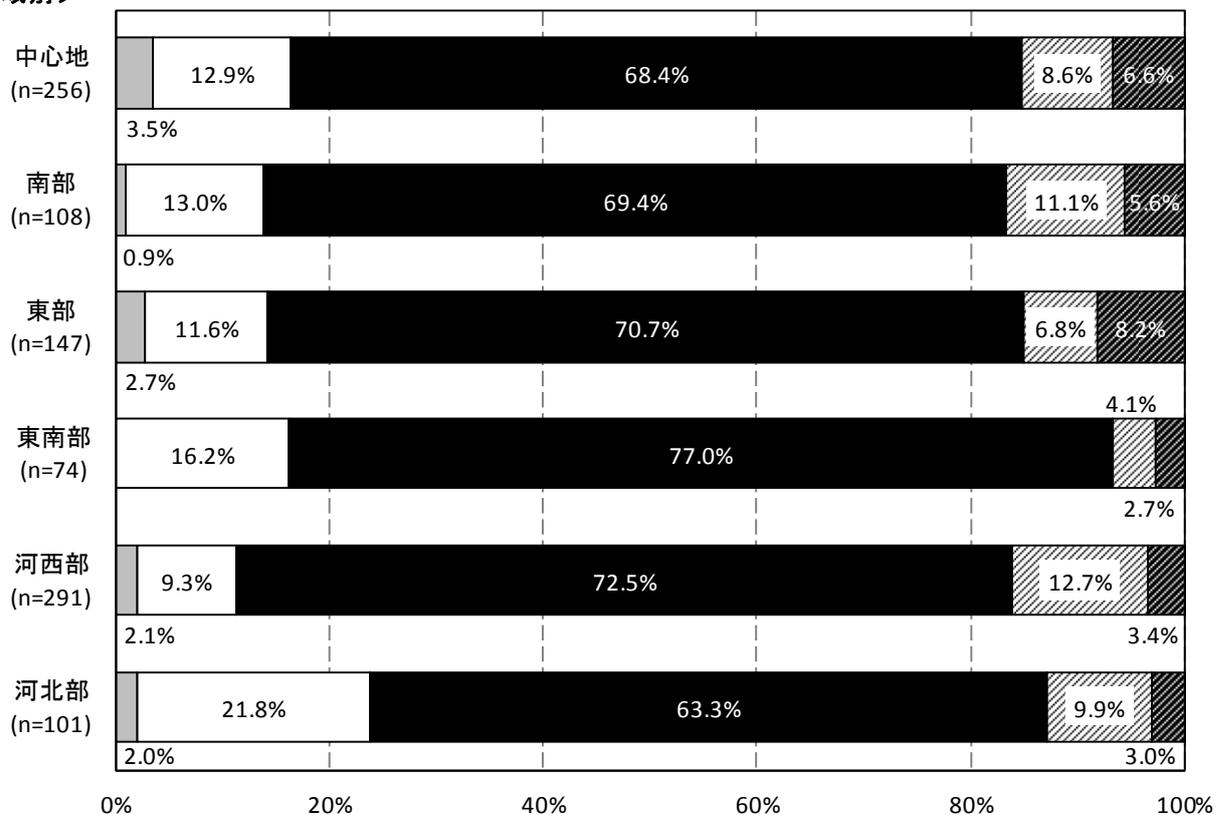
- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 是非貸したい | 3. 貸したくない |
| 2. 条件によっては貸してもいい | 4. 分からない |

自家用自動車を有料で貸すことについて、「是非貸したい」(2.2%)と「条件によっては貸してもいい」(12.8%)をあわせた15.0%が貸してもよいとなっている。「貸したくない」は69.3%と半数を超えている。「分からない」は9.9%となっている。

地域別、年代別にみても、いずれの地域、年代で「貸したくない」は半数を超えている。

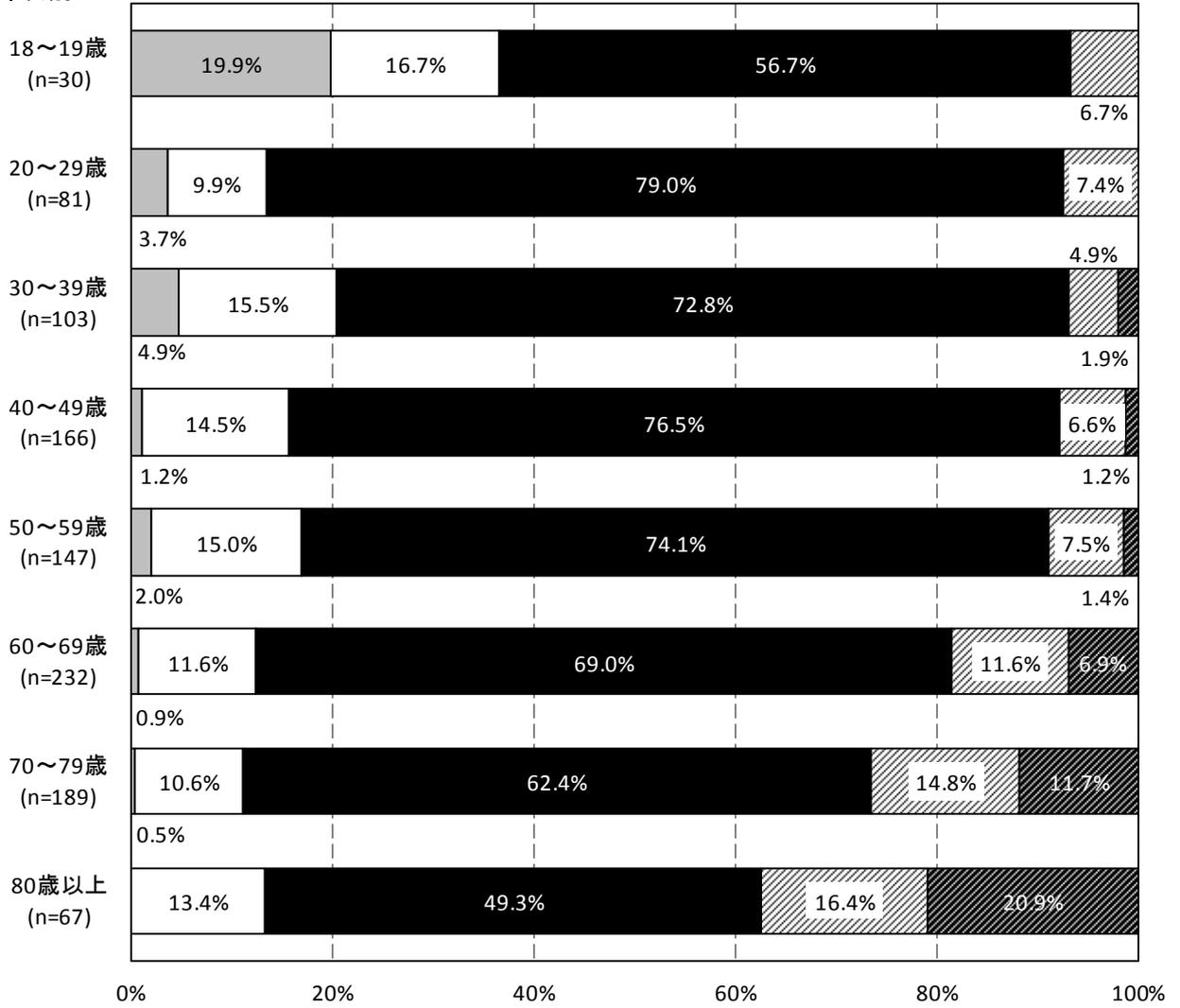


<地域別>



是非貸したい
 条件によっては貸してもいい
 貸したくない
 分からない
 不明

<年代別>



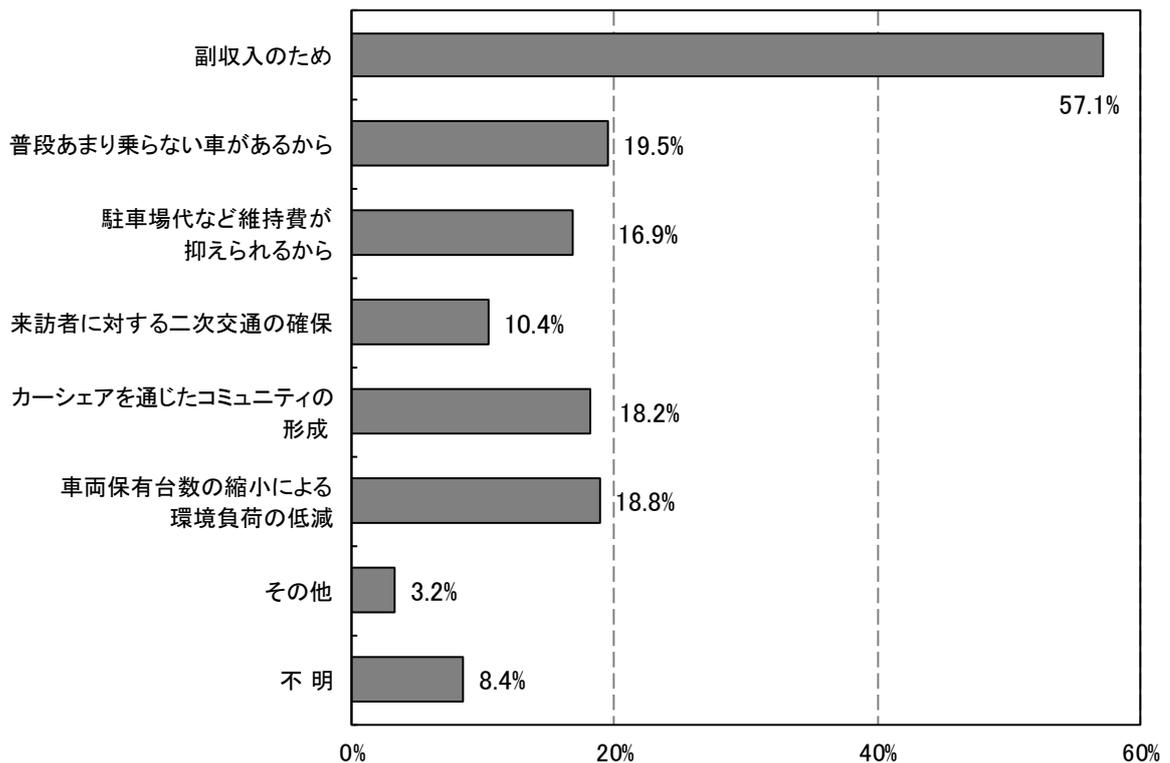
問 17-1 貸してもよい理由

問 17-1 問 17 で「1. 是非貸したい」又は「2. 条件によっては貸してもいい」と回答された方のみお答えください。自家用自動車を貸す理由について、あてはまるもの全てお選びください。

1. 副収入のため
2. 普段あまり乗らない車があるから
3. 駐車場代など維持費が抑えられるから
4. 来訪者に対する二次交通の確保
5. カーシェアを通じたコミュニティの形成
6. 車両保有台数の縮小による環境負荷の低減
7. その他（ ）

問 17 で「1. 是非貸したい」、「2. 条件によっては貸してもよい」と回答した 154 人について、自家用車を貸す理由は、「副収入のため」が 57.1%と最も多く、次いで「普段あまり乗らない車があるから」(19.5%)、「車両保有台数の縮小による環境負荷の低減」(18.8%)、「カーシェアを通じたコミュニティの形成」(18.2%) の順となっている。

n=154



その他：「乗らない時は乗ってくれてよい」、「自家用車がなくても問題のない社会になるため」など

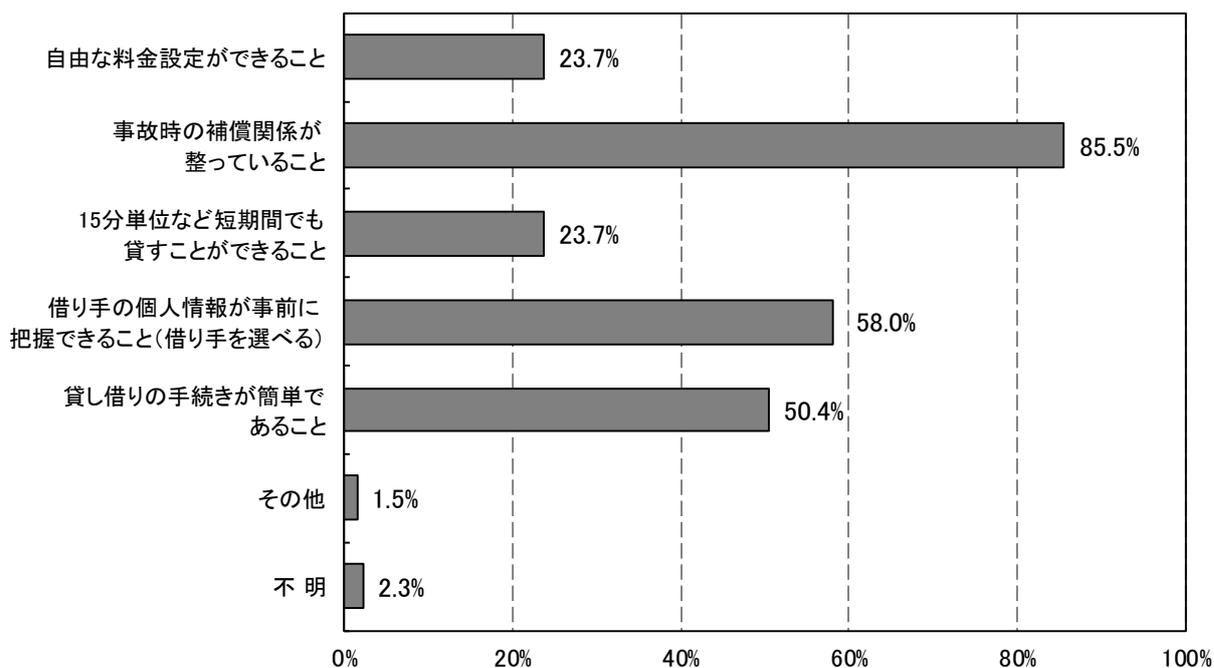
問 17-2 貸すための条件

問 17-2 問 17 で「2. 条件によっては貸してもいい」と回答された方のみお答えください。どのような条件であれば貸したいと思いますか。あてはまるもの全てお選びください。

1. 自由な料金設定ができること
2. 事故時の補償関係が整っていること
3. 15分単位など短期間でも貸すことができること
4. 借り手の個人情報事前に把握できること（借り手を選べる）
5. 貸し借りの手続きが簡単であること
6. その他（ ）

問 17 で「2. 条件によっては貸してもよい」と回答した 131 人について、自家用車を貸すための条件は、「事故時の補償関係が整っていること」が 85.5%と最も多く、次いで「借り手の個人情報事前に把握できること（借り手を選べる）」(58.0%)、「貸し借りの手続きが簡単であること」(50.4%)の順となっている。

n=131



その他：「汚れた場合の補償」

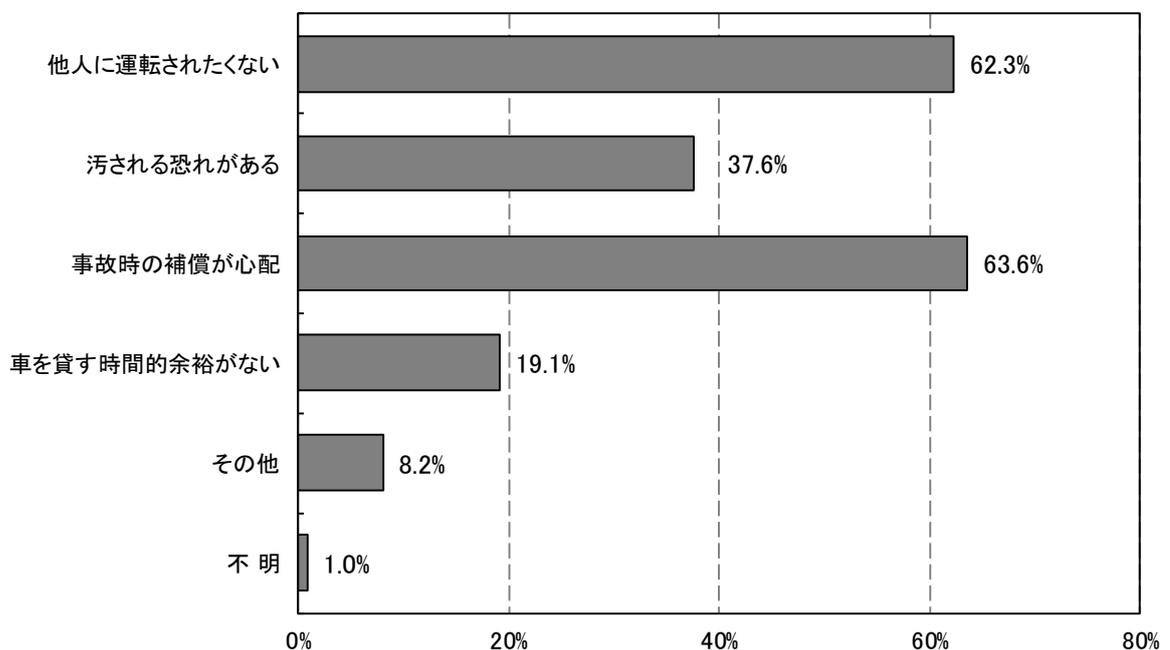
問 17-3 貸したくない理由

問 17-3 問 17 で「3. 貸したくない」と回答された方のみお答えください。貸したくない理由は何ですか。あてはまるもの全てお選びください。

1. 他人に運転されたくない
2. 汚される恐れがある
3. 事故時の補償が心配
4. 車を貸す時間的余裕がない
5. その他 ()

問 17 で「3. 貸したくない」と回答した 711 人について、貸したくない理由は、「事故時の補償が心配」(63.6%)と「他人に運転されたくない」(62.3%)がほぼ同率で高くなっている。「汚される恐れがある」(37.6%)も高めとなっている。

n=711



その他：「必要な時に使えない」、「事故、キズなどの補償」、「トラブルの心配」、「面倒」、「メンテナンス等に費用がかかる」など

5. 南海和歌山市駅前広場の整備について

(資料 P. 161)

問 18 和歌山市駅及び駅前広場の利用目的

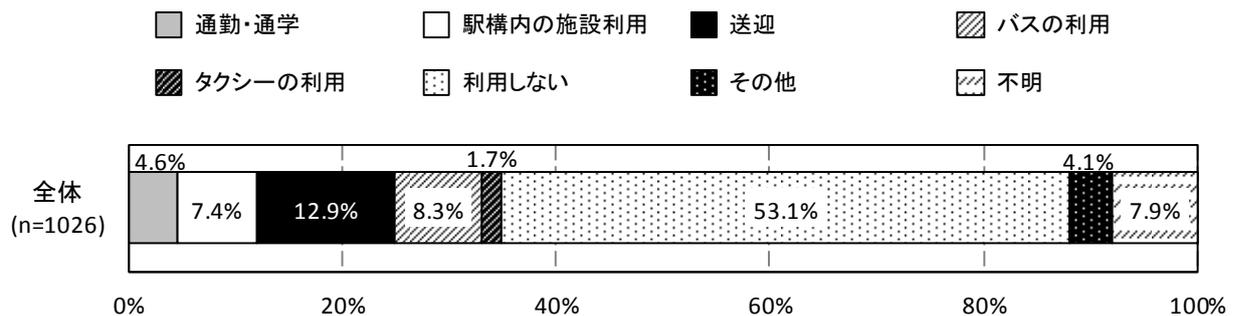
問 18 和歌山市駅及び駅前広場をどういった目的で利用されますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 通勤・通学 | 5. タクシーの利用 |
| 2. 駅構内の施設利用 | 6. 利用しない |
| 3. 送迎 | 7. その他 () |
| 4. バスの利用 | |

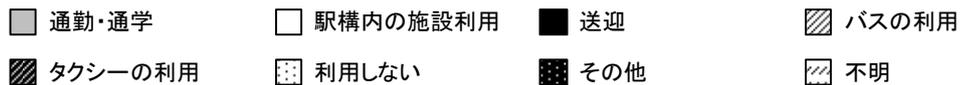
和歌山市駅及び駅前広場の利用目的は、「利用しない」が53.1%と最も多く、次いで「送迎」(12.9%)、「バスの利用」(8.3%)の順となっている。

地域別にみると、いずれの地域も利用しないが40%を超えている。

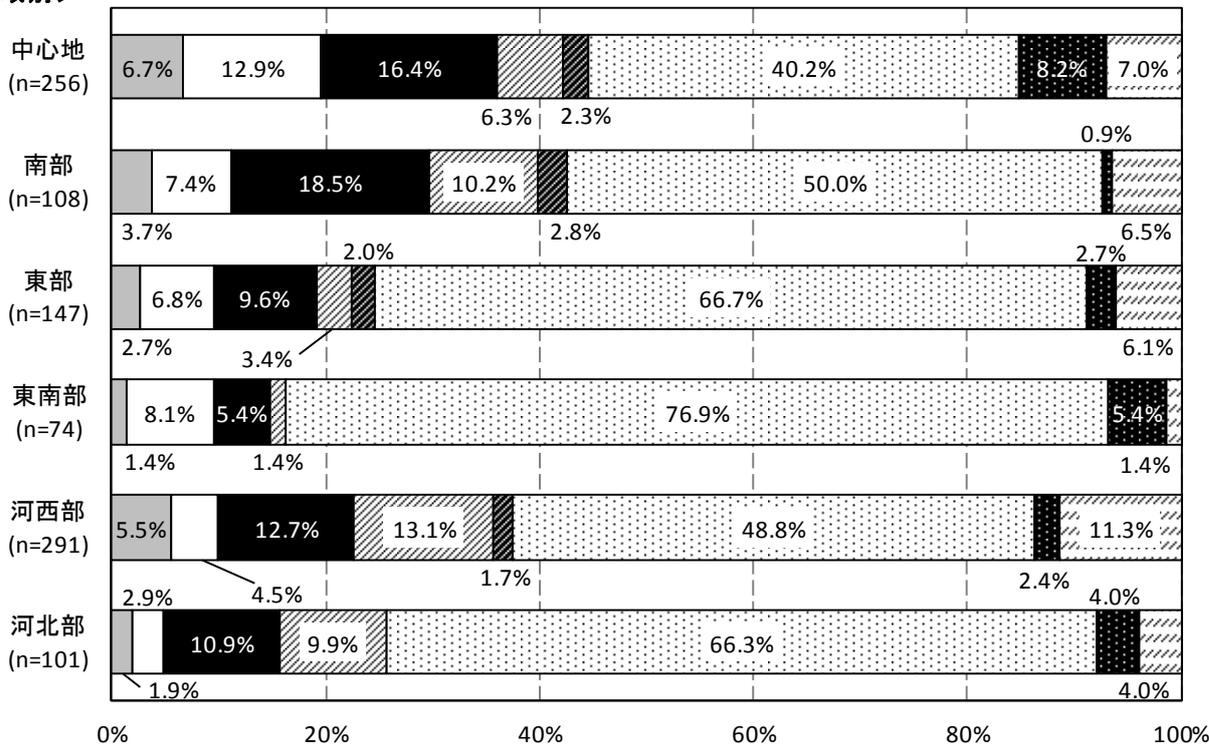
年代別にみると、18~19歳は「通勤・通学」(33.4%)、50~59歳では「送迎」(19.7%)、80歳以上では「バスの利用」(22.4%)が高くなっている。



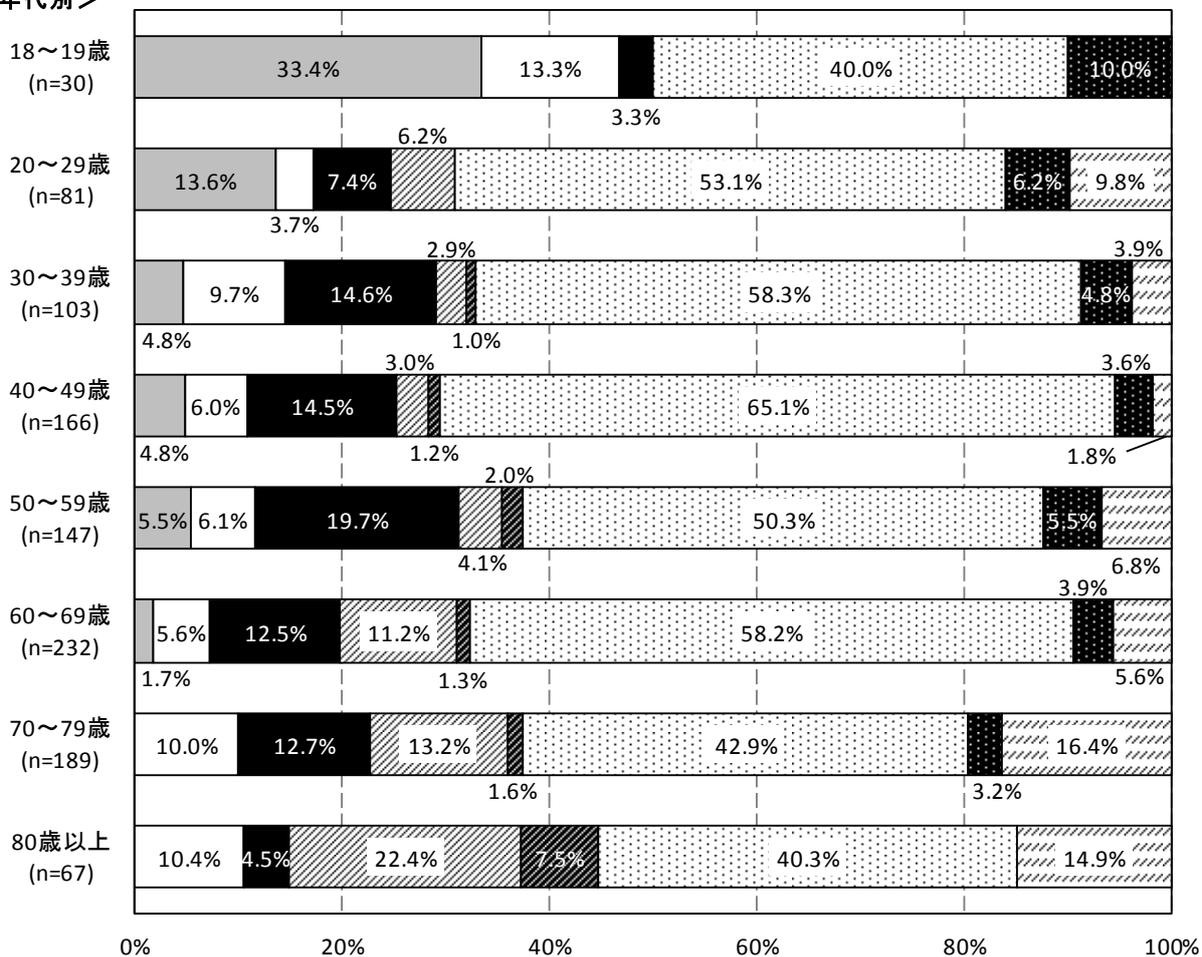
その他：「電車を利用するため」、「大阪方面に向かうとき」、「レジャーに行くとき」、「周辺施設の利用」など



<地域別>



<年代別>



問 18-1 利用しない理由

問 18-1 問 18 で「6. 利用しない」と回答された方にお伺いします。和歌山市駅及び駅前広場を利用しない理由は何ですか。あてはまるものを1つお選びください。

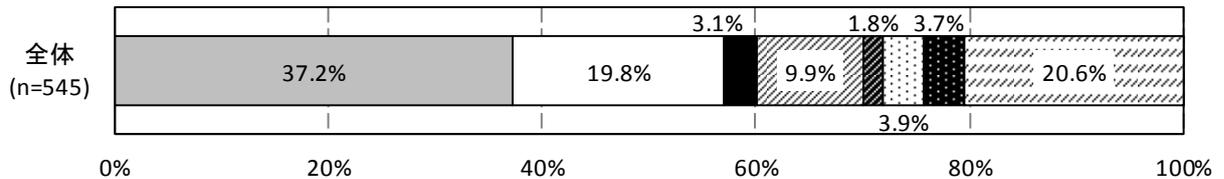
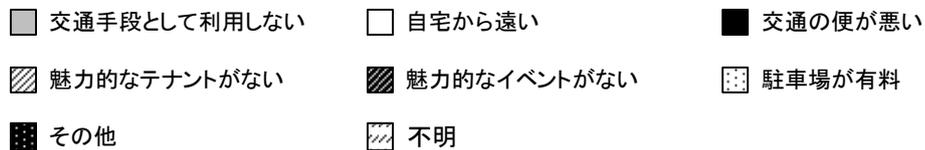
(この問に回答された方は、問 22 へお進みください。)

- 1. 交通手段として利用しない
- 2. 自宅から遠い
- 3. 交通の便が悪い
- 4. 魅力的なテナントがない
- 5. 魅力的なイベントがない
- 6. 駐車場が有料
- 7. その他 ()

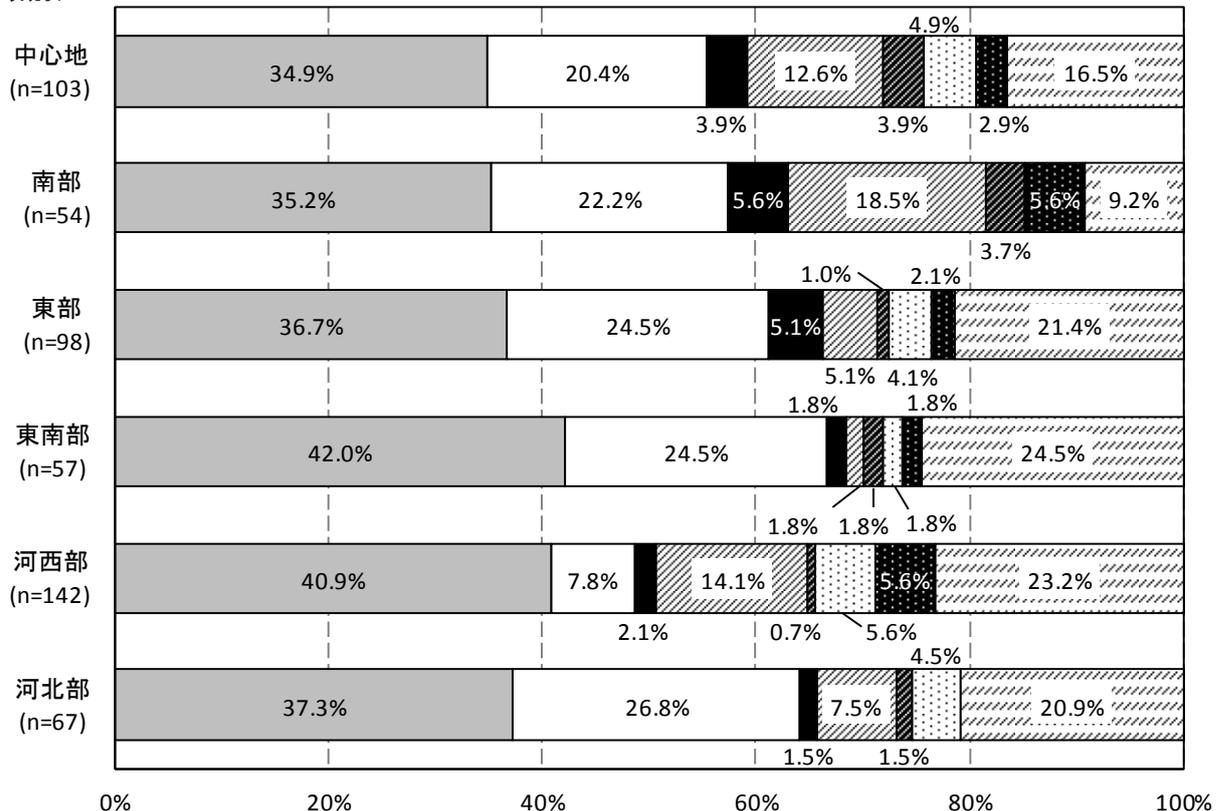
問 18 で「6. 利用しない」と回答した 545 人について、利用しない理由は、「交通手段として利用しない」が 37.2%と最も多く、次いで「自宅から遠い」(19.8%)、「魅力的なテナントがない」(9.9%)の順となっている。

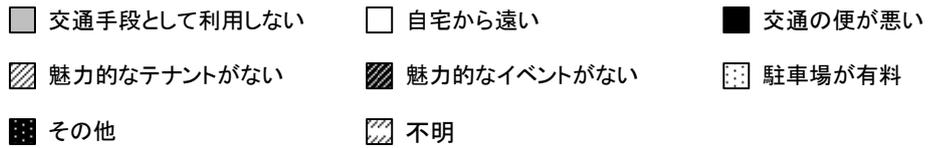
地域別にみると、いずれの地域も「交通手段として利用しない」が30%を超えている。

年代別にみても、20～69 歳、80 歳以上で「交通手段として利用しない」が30%を超えている。

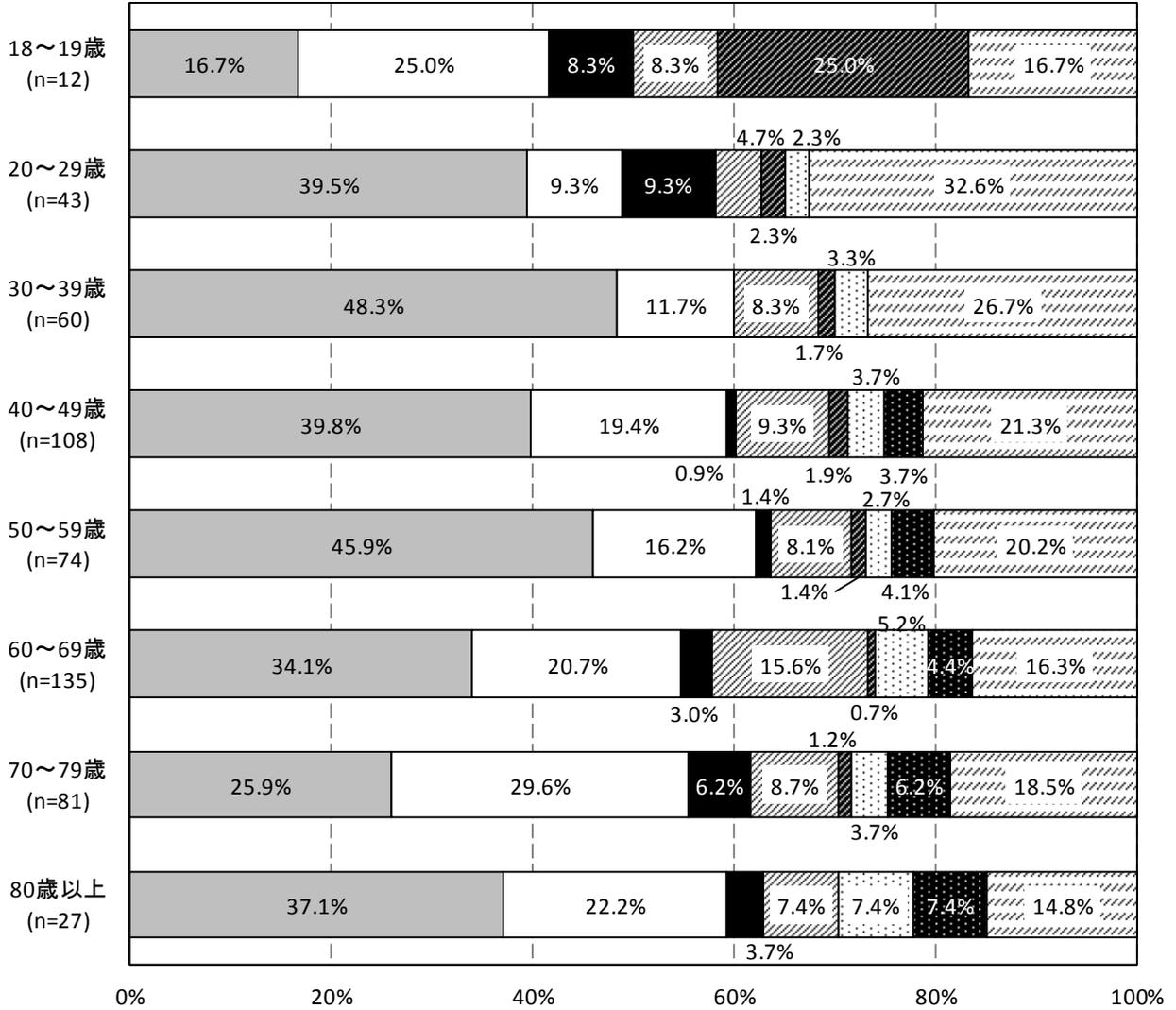


<地域別>





<年代別>



その他：「用事がない」、「バリアフリーではないため」など

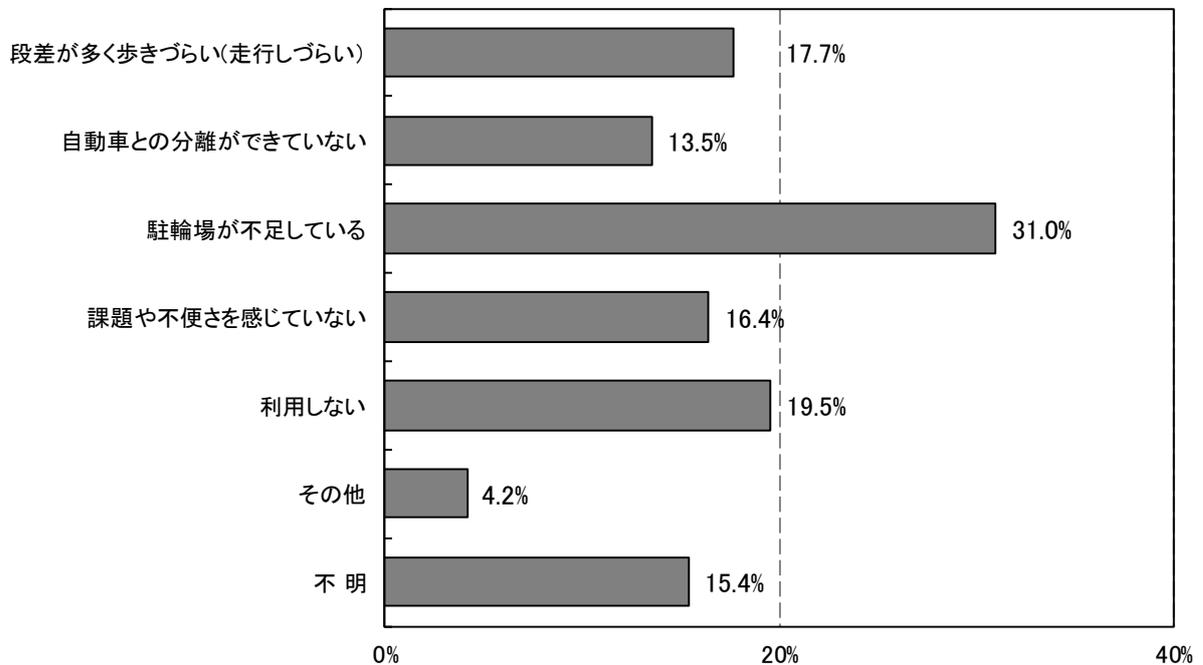
問 19 徒歩及び自転車で利用される際の状況

問 19 徒歩及び自転車で駅前広場を利用される際、どのようなことに課題や不便さを感じたことがありますか。あてはまるもの全てお選びください。

1. 段差が多く歩きづらい（走行しづらい）
2. 自動車との分離ができていない
3. 駐輪場が不足している
4. 課題や不便さを感じていない
5. 利用しない
6. その他（ ）

問 18 で「6. 利用しない」以外を回答した 481 人について、徒歩及び自転車で利用される際の課題や不便さは、「駐輪場が不足している」が 31.0%と最も多く、次いで「利用しない」(19.5%)、「段差が多く歩きづらい（走行しづらい）」(17.7%)、「課題や不便さを感じていない」(16.4%) の順となっている。

n=481



その他：「駐輪場が利用しづらい」、「雨天の時利用しづらい」、「交通機関が利用しづらい」など

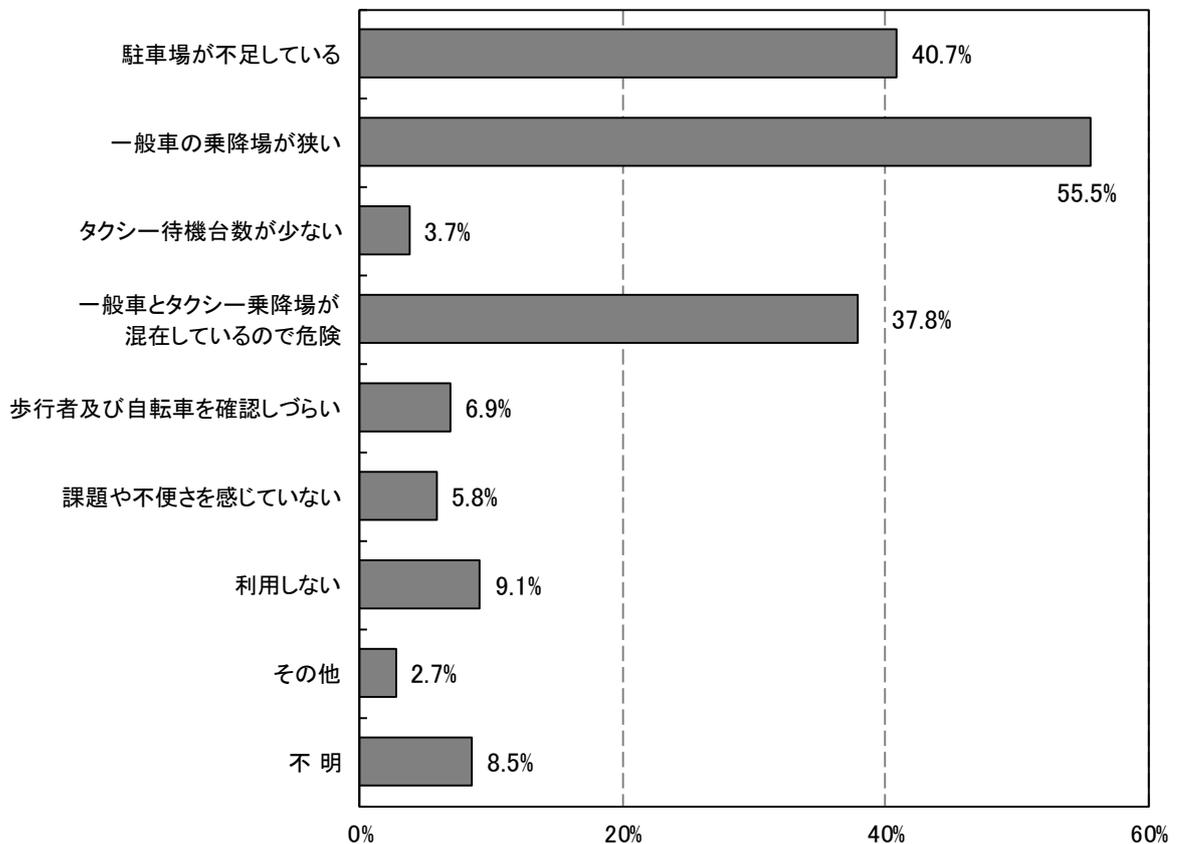
問 20 一般車両・タクシーで利用される際の状況

問 20 一般車・タクシーで駅前広場を利用される際、どのようなことに課題や不便さを感じたことがありますか。あてはまるもの全てお選びください。

- 1. 駐車場が不足している
- 2. 一般車の乗降場が狭い
- 3. タクシー待機台数が少ない
- 4. 一般車とタクシー乗降場が混在しているので危険
- 5. 歩行者及び自転車を確認しづらい
- 6. 課題や不便さを感じていない
- 7. 利用しない
- 8. その他 ()

問 18 で「6. 利用しない」以外を回答した 481 人について、一般車両・タクシーで利用される際の課題や不便さは、「一般車両の乗降場が狭い」が 55.5%と最も多く、次いで「駐車場が不足している」(40.7%)、「一般車とタクシー乗降場が混在しているので危険」(37.8%)の順となっている。

n=481



その他：「タクシーが利用しづらい」、「駐車料金が低い」、「送迎場所が狭い」など

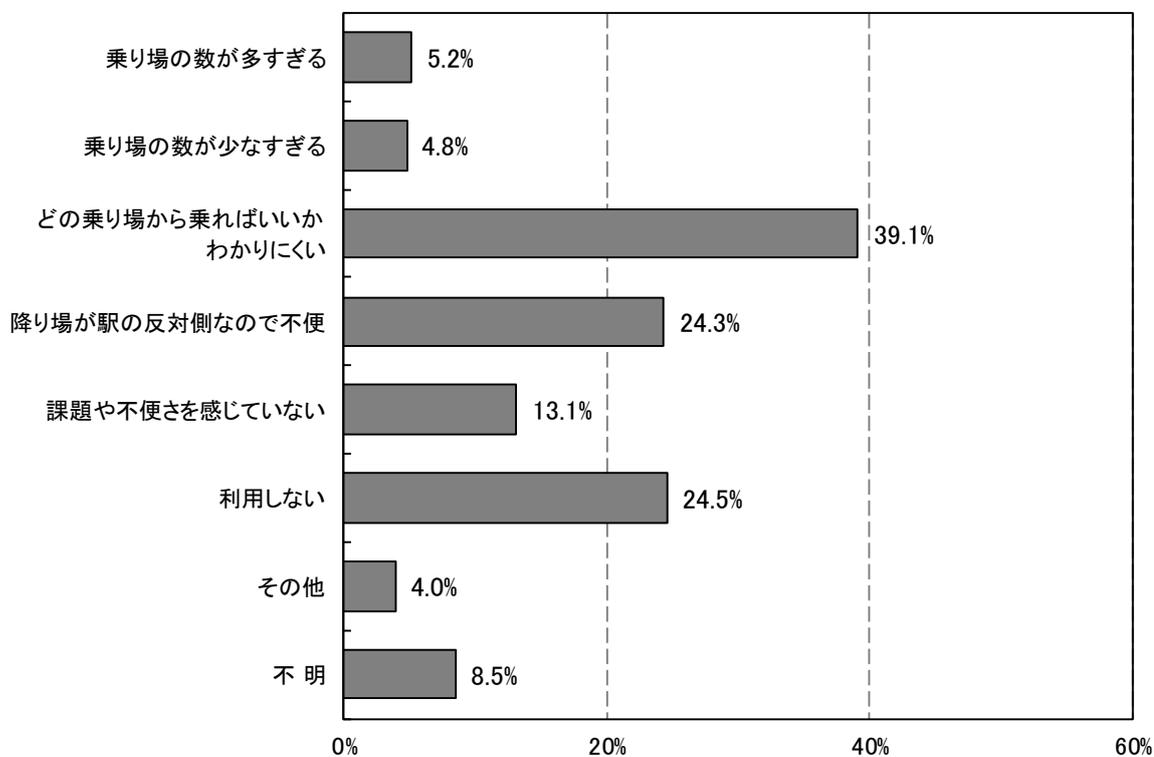
問 21 バスで利用される際の状況

問 21 バスで駅前広場を利用される際、どのようなことに課題や不便さを感じたことがありますか。
 あてはまるもの全てお選びください。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 乗り場の数が多すぎる | 5. 課題や不便さを感じていない |
| 2. 乗り場の数が少なすぎる | 6. 利用しない |
| 3. どの乗り場から乗ればいいのかわかりにくい | 7. その他 () |
| 4. 降り場が駅の反対側なので不便 | |

問 18 で「6. 利用しない」以外を回答した 481 人について、バスで利用される際の課題や不便さは、「どの乗り場から乗ればいいのかわかりにくい」が 39.1%と最も多く、次いで「利用しない」(24.5%)、「降り場が駅の反対側なので不便」(24.3%) の順となっている。

n=481



その他：「バスの便数が少ない」、「バス停留所の場所が悪い」、「待機場所がない」、「バリアフリーではない」、「天候への対策ができていない」など

問 22 優先すべき基本設計

問 22 和歌山市では、平成 28 年度に和歌山市駅前広場及び周辺道路を含めた基本設計を実施します。
優先すべきものを3つお選びください。

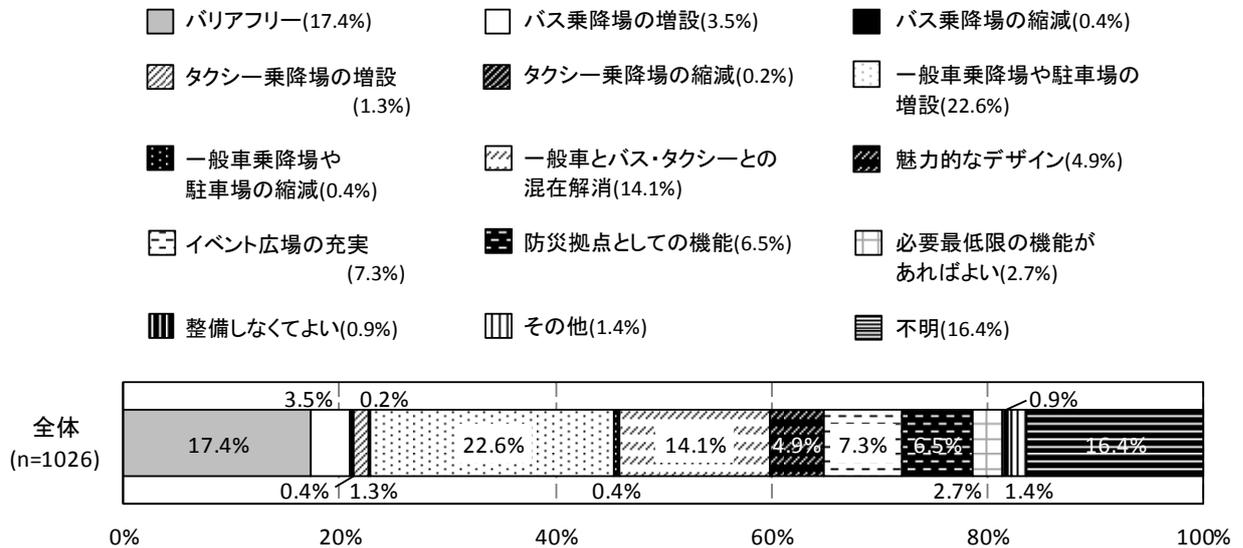
優先順位 1 番	優先順位 2 番	優先順位 3 番

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. バリアフリー | 8. 一般車とバス・タクシーとの混在解消 |
| 2. バス乗降場の増設 | 9. 魅力的なデザイン |
| 3. バス乗降場の縮減 | 10. イベント広場の充実 |
| 4. タクシー乗降場の増設 | 11. 防災拠点としての機能 |
| 5. タクシー乗降場の縮減 | 12. 必要最低限の機能があればよい |
| 6. 一般車乗降場や駐車場の増設 | 13. 整備しなくてよい |
| 7. 一般車乗降場や駐車場の縮減 | 14. その他 () |

優先順位の平均をみると、「一般車両乗降場や駐車場の増設」が 22.6%と最も多く、次いで「バリアフリー」(17.4%)、「一般車両とバス・タクシーとの混在解消」(14.1%)の順となっている。

優先順位別にみると、1番は「一般車両乗降場や駐車場の増設」(30.0%)、2番は「一般車両とバス・タクシーとの混在解消」(20.4%)、3番は「イベント広場の充実」(13.4%)が最も多くなっている。

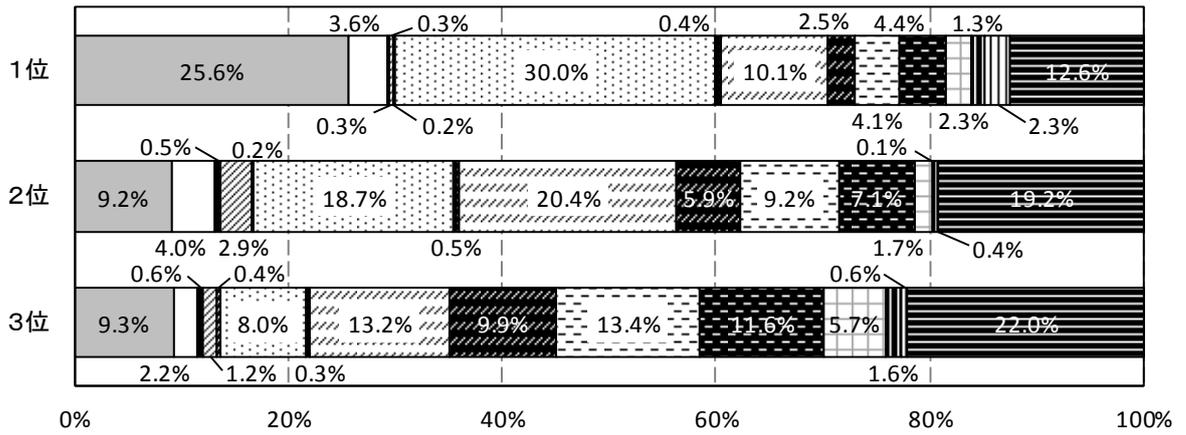
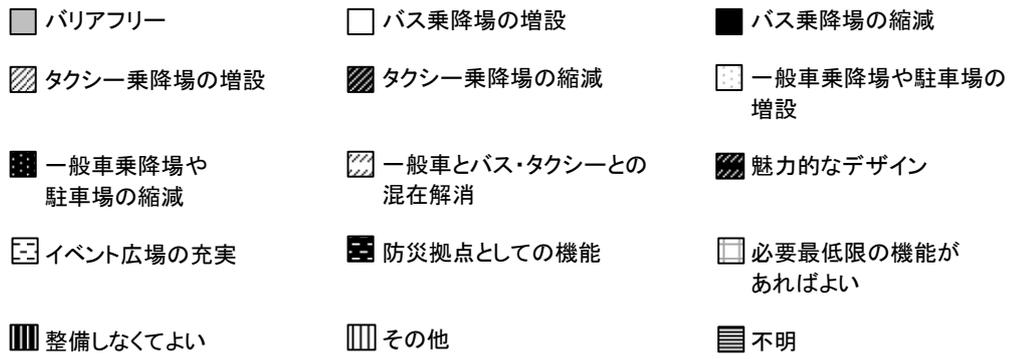
【平均順位】



注：1位=3ポイント、2位=2ポイント、3位=1ポイントと係数を設けてカウント数と乗算し、総和（ポイント）を取ったもの。

その他：「商業施設の充実」、「バス停留所の位置の改善」、「周辺道路の整備」など

【優先順位別】



注：各順位のカウント数を集計したもの。

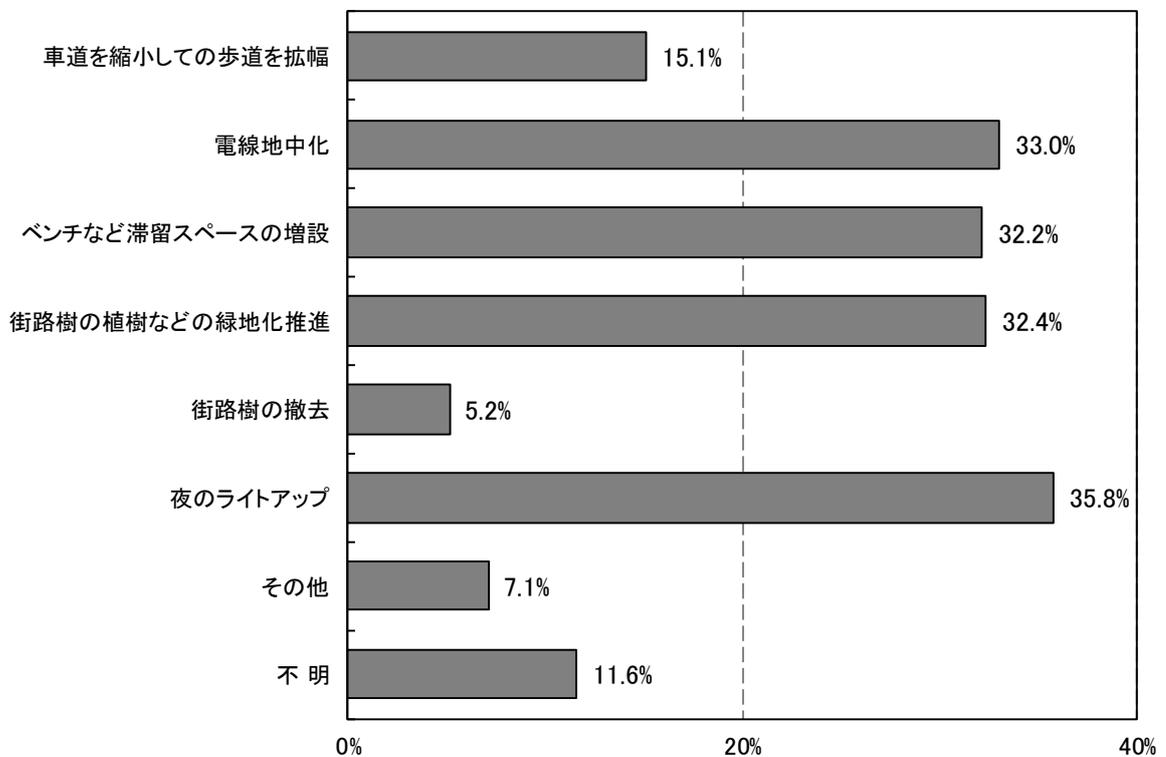
問 23 実施すべき事業

問 23 和歌山市駅の再開発に合わせて、市道和歌山市駅前線についても整備を検討しています。市道和歌山市駅前線に対し、実施すべきだと思う事業を全てお選びください。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 車道を縮小しての歩道を拡幅 | 5. 街路樹の撤去 |
| 2. 電線地中化 | 6. 夜のライトアップ |
| 3. ベンチなど滞留スペースの増設 | 7. その他 () |
| 4. 街路樹の植樹などの緑化推進 | |

市道和歌山市駅前線に対し実施すべき事業は、「夜のライトアップ」が 35.8%と最も多い。他の項目で 20%を超えているのは、「電線地中化」(33.0%)、「街路樹の植樹などの緑地化推進」(32.4%)、「ベンチなど滞留スペースの増設」(32.2%) の 3 項目となっている。

n=1026



その他：「周辺道路及び自転車道の整備」、「商業施設の誘致や活性化」、「現状のままでよい」など

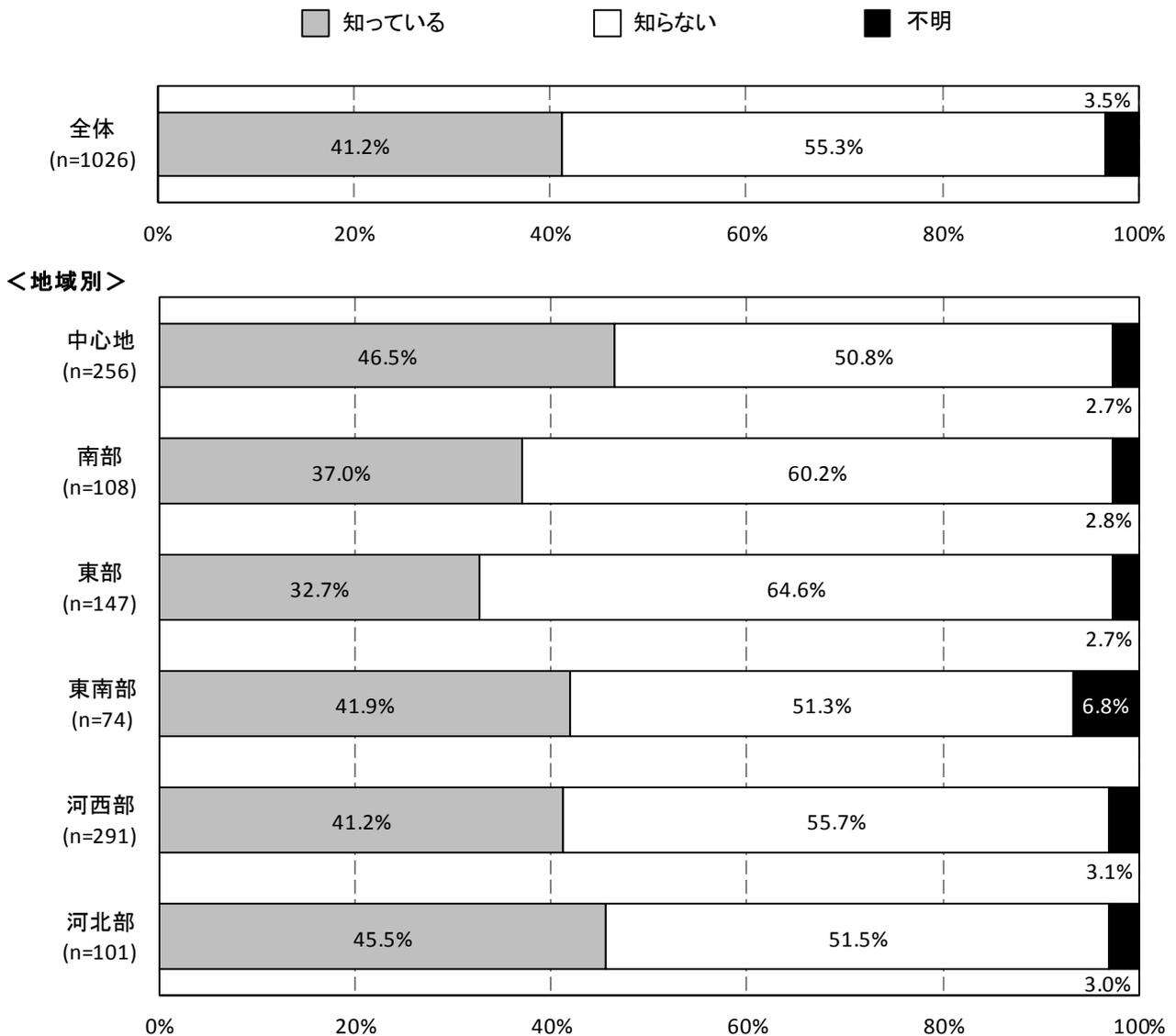
6. 和歌山城のおもてなし忍者について

問 24 おもてなし忍者の認知度

問 24 和歌山城のおもてなし忍者を知っていますか。

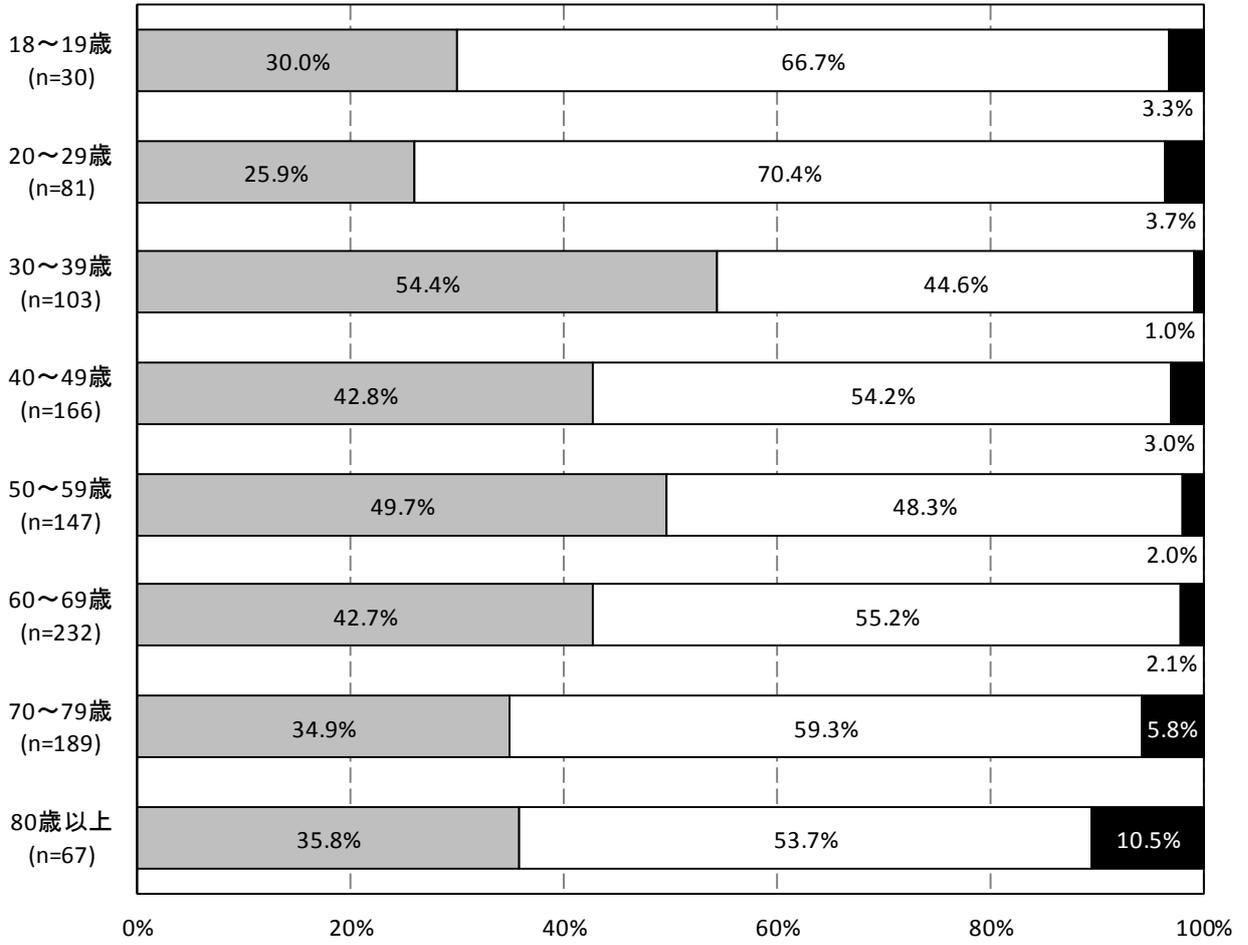
1. 知っている 2. 知らない

おもてなし忍者について、「知っている」が41.2%、「知らない」が55.3%となっている。
 地域別にみると、いずれの地域も「知らない」が半数を超えている。
 年代別にみても、いずれの年代も「知らない」が40%を超えており、18～29歳で高めとなっている。



知っている
 知らない
 不明

<年代別>



問 24-1 実施しているおもてなしの認知度

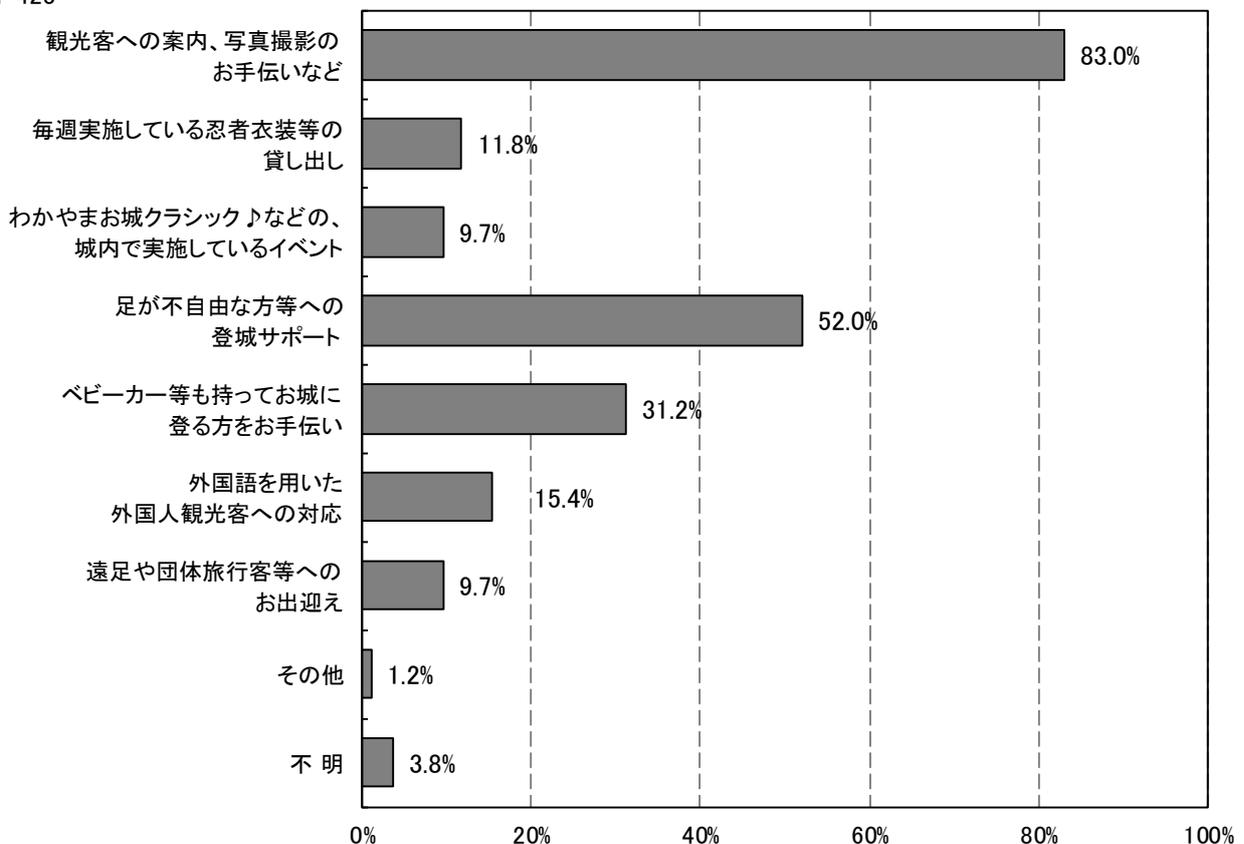
問 24-1 問 24 で「1. 知っている」と回答した方にお訪ねします。忍者が実施しているおもてなしについて、知っているものを全てお選びください。

1. 観光客への案内、写真撮影のお手伝いなど
2. 毎週実施している忍者衣装等の貸し出し
3. わかやまお城クラシック♪などの、城内で実施しているイベント
4. 足が不自由な方等への登城サポート
5. ベビーカー等も持ってお城に登る方をお手伝い
6. 外国語を用いた外国人観光客への対応
7. 遠足や団体旅行客等へのお出迎え
8. その他（ ）

※「登城サポート」とは電動アシスト車いす等を使って、歩行に困難が伴われる方を天守閣前広場まで忍者の格好をしたスタッフ（ヘルパー 2 級資格取得者を含む。）が、登城のお手伝いをするものです。

問 24 で「1. 知っている」と回答した 423 人について、忍者が実施しているおもてなしについて知っているものは、「観光客への案内、写真撮影のお手伝いなど」が 83.0%と最も多く、次いで「足が不自由な方等への登城サポート」（52.0%）、「ベビーカー等も持ってお城に登る方をお手伝い」（31.2%）の順となっている。

n=423



その他：「ミストシャワーでの熱中症対策」、「そうじ」、「日ごろのあいさつ」

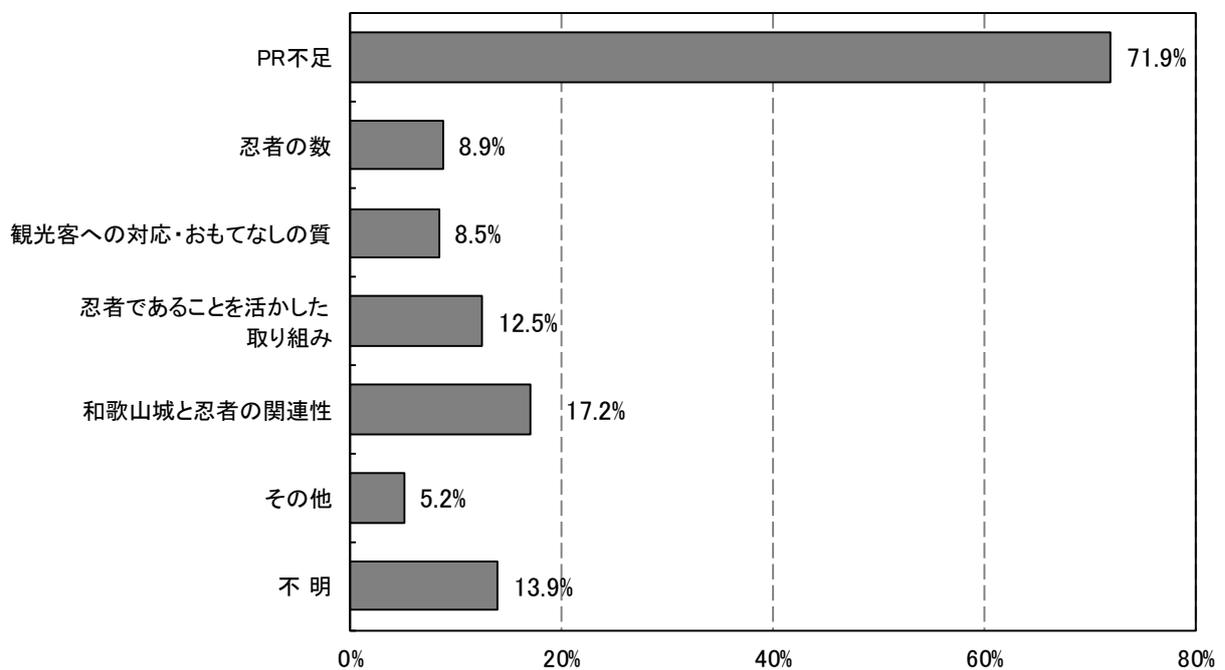
問 25 おもてなしの状況

問 25 現在のおもてなし忍者の取り組みに欠けている、または、十分でないと思われるものはありますか。あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. PR不足 | 4. 忍者であることを活かした取り組み |
| 2. 忍者の数 | 5. 和歌山城と忍者の関連性 |
| 3. 観光客への対応・おもてなしの質 | 6. その他 () |

おもてなし忍者の取り組みに欠けている、または、十分でないと思われるものについては、「PR不足」が71.9%と最も多くなっている。次いで「和歌山城と忍者の関連性」(17.2%)、「忍者であることを活かした取り組み」(12.5%)の順となっている。

n=1026



その他：「忍者である必要性に疑問」、「子どもと一緒にする活動」

問 26 おもてなし忍者による取り組み

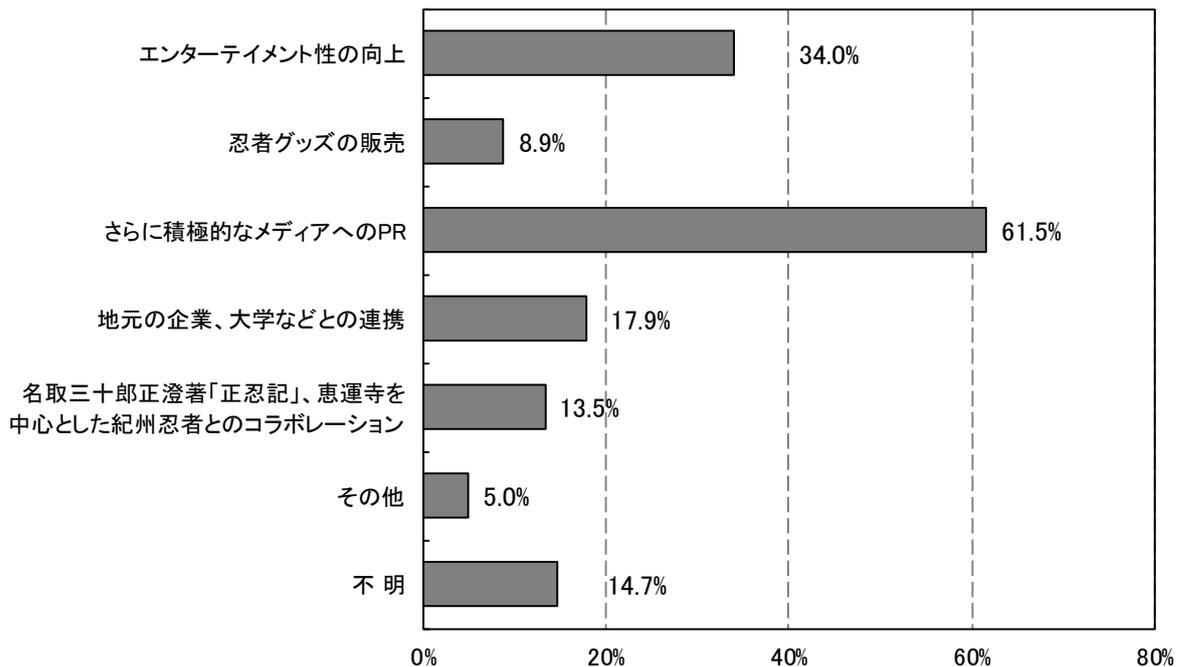
問 26 今後和歌山城の魅力を益々向上させるために、忍者によるどのようなおもてなしが必要だと思いますか。必要だと思うものを全てお選びください。

1. エンターテインメント性の向上
2. 忍者グッズの販売
3. さらに積極的なメディアへのPR
4. 地元の企業、大学などとの連携
5. 名取三十郎正澄著「正忍記」、恵運寺を中心とした紀州忍者とのコラボレーション
6. その他（ ）

※「正忍記」とは日本三大忍術書の一つで、忍術の根本精神や正しい忍者のあり方について、紀州藩に仕えた名取三十郎正澄が書き記したものです。名取三十郎正澄の墓が市内吹上の「恵運寺」で見つかっており、紀州忍者の存在が注目されています。

忍者によるおもてなしについて、「さらに積極的なメディアへのPR」が61.5%と最も多く、次いで「エンターテインメント性の向上」(34.0%)となっている。

n=1026



その他：「キャラクターを増やす」、「忍者の活動を広げる」、「周辺施設との協力」など

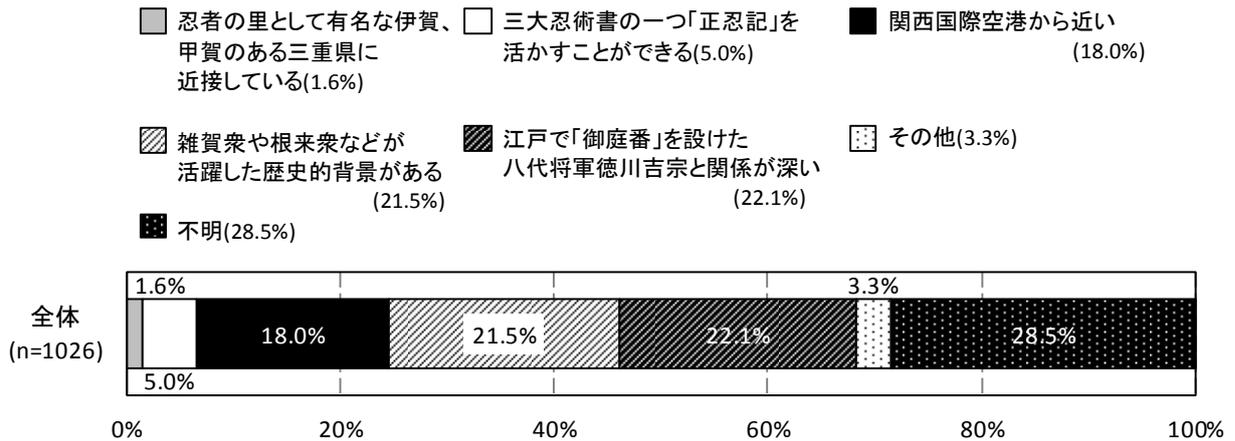
問 27 和歌山市の「強み」

問 27 広域にまたがった「忍者観光」を考えるなかで、和歌山市の持つ「強み」は何があると思いますか。最も「強み」になると思われるもの1つをお選びください。

1. 忍者の里として有名な伊賀、甲賀のある三重県に近接している
2. 三大忍術書の一つ「正忍記」を活かすことができる
3. 関西国際空港から近い
4. 雑賀衆や根来衆などが活躍した歴史的背景がある
5. 江戸で「御庭番」を設けた八代将軍 徳川吉宗と関係が深い
6. その他 ()

和歌山市の持つ「強み」は、「江戸で「お庭番」を設けた八代将軍徳川吉宗との関係が深い」が 22.1% と最も多く、次いで「雑賀衆や根来衆などが活躍した歴史的背景がある」(21.5%)、「関西国際空港から近い」(18.0%) の順となっている。

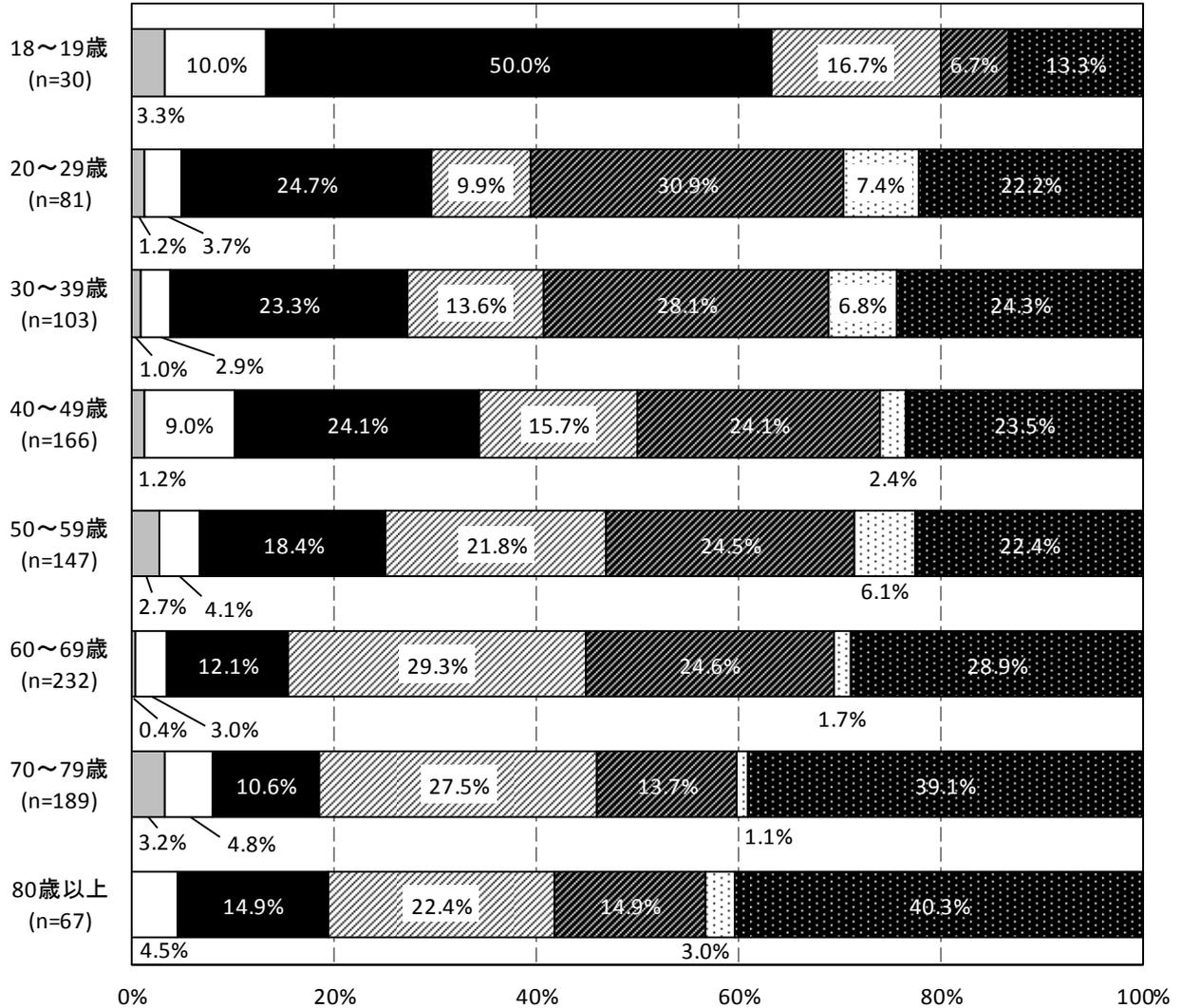
年代別にみると、18～19 歳は「関西国際空港から近い」、20～59 歳は「江戸で「お庭番」を設けた八代将軍徳川吉宗との関係が深い」、60 歳以上は「雑賀衆や根来衆などが活躍した歴史的背景がある」が最も多くなっている。



その他：「強みがあるとは思わない」など

- 忍者の里として有名な伊賀、甲賀のある三重県に近接している
- 三大忍術書の一つ「正忍記」を活かすことができる
- 関西国際空港から近い
- ▨ 雑賀衆や根来衆などが活躍した歴史的背景がある
- ▩ 江戸で「御庭番」を設けた八代将軍徳川吉宗と関係が深い
- ▤ その他
- 不明

<年代別>



7.公共施設の重要度について

(資料 P. 162)

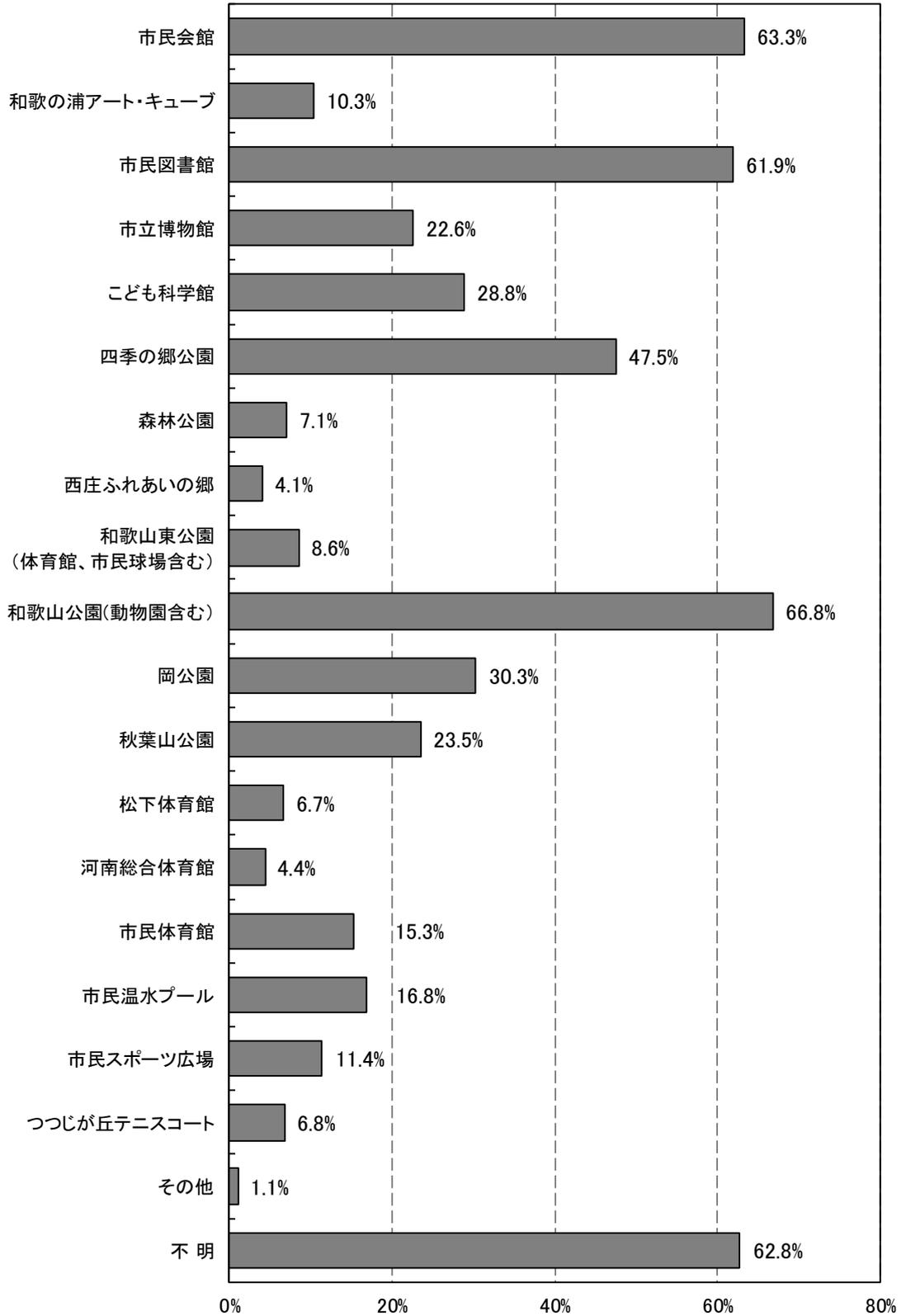
問 28 将来にわたり残していきたい公共施設

問 28 市民の皆様幅広く利用される次の公共施設の中で、将来にわたり残していきたい施設を5つ選んでください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 市民会館 | 11. 岡公園 |
| 2. 和歌の浦アート・キューブ | 12. 秋葉山公園 |
| 3. 市民図書館 | 13. 松下体育館 |
| 4. 市立博物館 | 14. 河南総合体育館 |
| 5. こども科学館 | 15. 市民体育館 |
| 6. 四季の郷公園 | 16. 市民温水プール |
| 7. 森林公園 | 17. 市民スポーツ広場 |
| 8. 西庄ふれあいの郷 | 18. つつじが丘テニスコート |
| 9. 和歌山東公園 (体育館、市民球場含む) | 19. その他 |
| 10. 和歌山公園 (動物園含む) | (施設名) |

将来にわたり残していきたい施設は、「和歌山公園 (動物園含む)」が66.8%と最も多く、次いで、「市民会館」(63.3%)、「市民図書館」(61.9%)、「四季の郷公園」(47.5%)の順となっている。

n=1026



その他：「深山砲台跡」、「高津子山展望台」、「和歌山北港海つり公園」など

8. スポーツについて

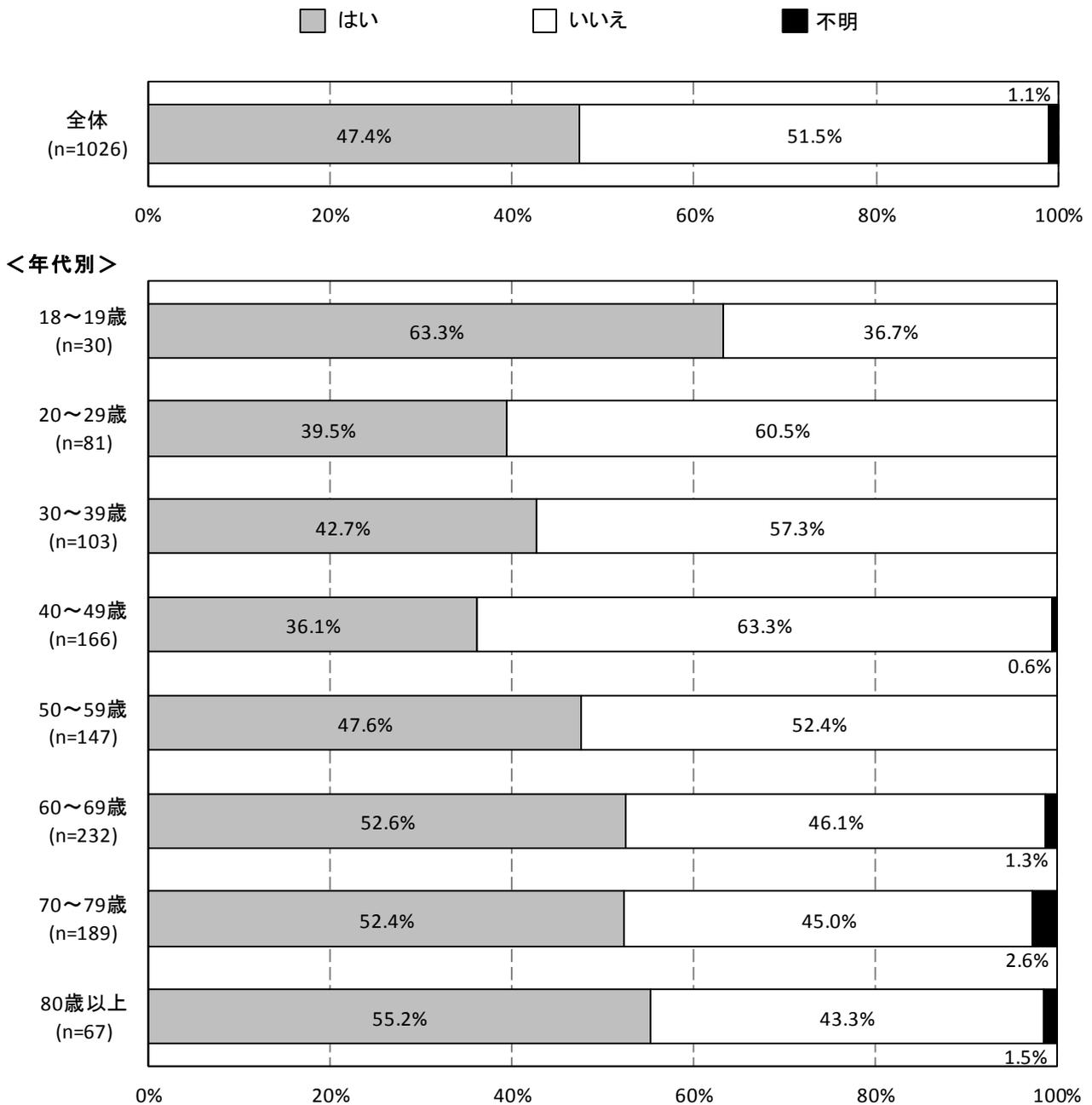
問 29 週 1 回以上の運動やスポーツ

問 29 あなたは、週 1 回以上運動（ウォーキングやサイクリング、軽い体操などを含む）やスポーツをしていますか？

1. はい 2. いいえ

週 1 回以上の運動やスポーツをしているかどうかについて、「はい」は 47.4%、「いいえ」は 51.5% となっている。

年代別にみると、「はい」が 18～19 歳で 63.3%と最も多く、40～49 歳で 36.1%と最も低くなっている。



問 29-1 スポーツをしている理由

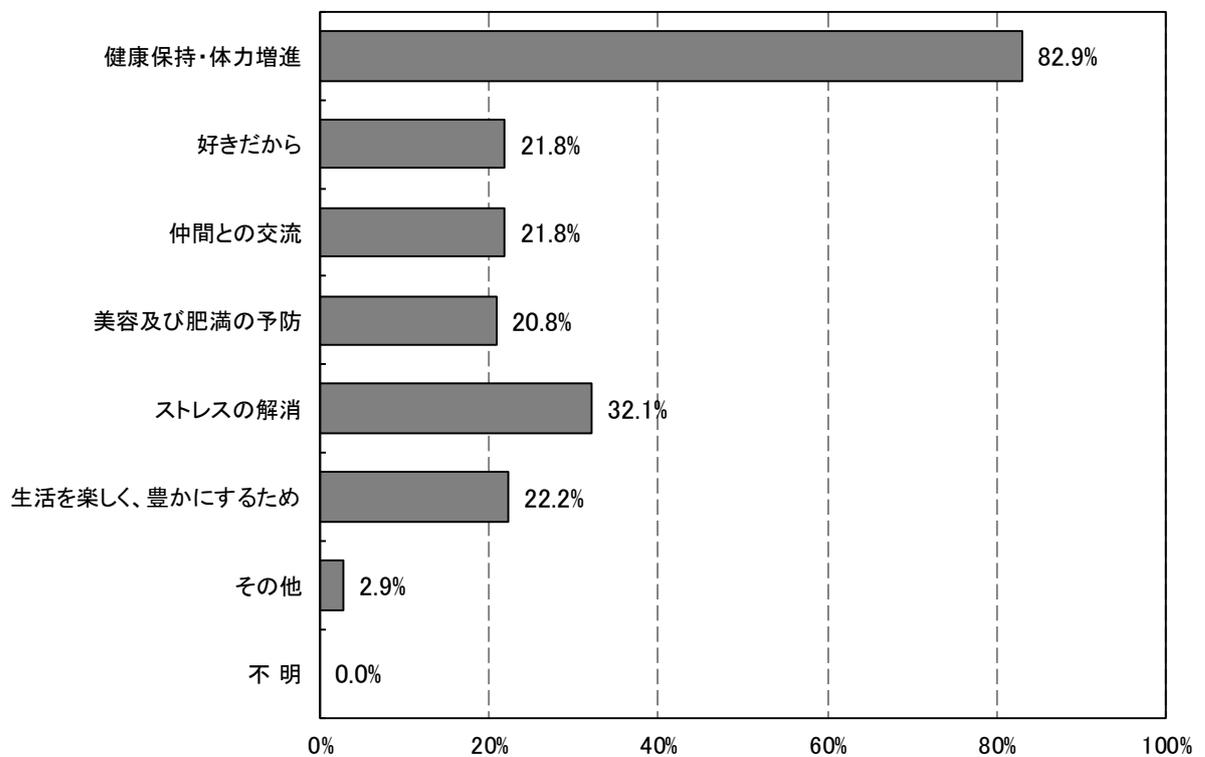
問 29-1 問 29 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っている理由は何ですか？あてはまるものすべてお選びください。

1. 健康保持・体力増進
2. 好きだから
3. 仲間との交流
4. 美容及び肥満の予防
5. ストレスの解消
6. 生活を楽しく、豊かにするため
7. その他（ ）

問 29 で「1. はい」と回答した 486 人について、運動やスポーツを行っている理由は、「健康保持・体力増進」が 82.9%で最も多く、次いで「ストレスの解消」(32.1%)となっている。

n=486



その他：「犬の散歩」、「仕事」など

問 29-2 スポーツをしていない理由

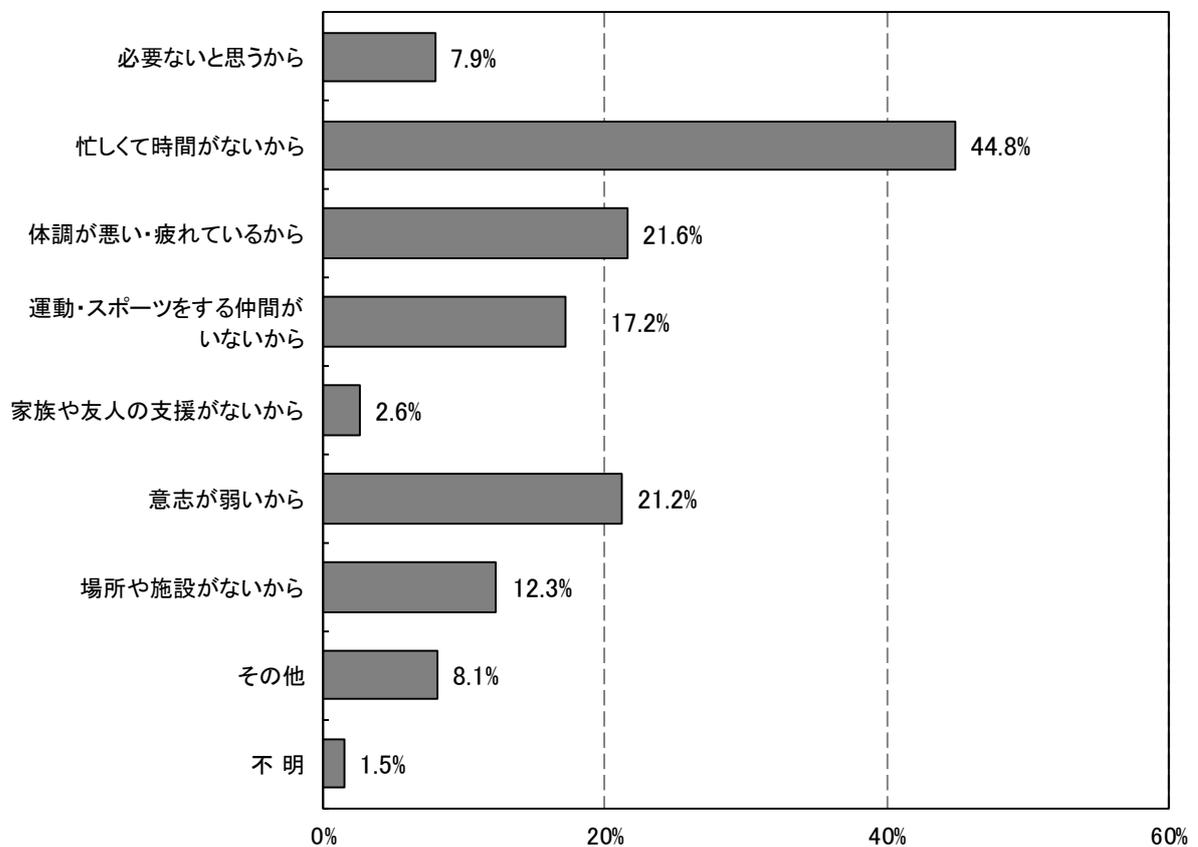
問 29-2 問 29 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 必要ないと思うから | 5. 家族や友人の支援がないから |
| 2. 忙しくて時間がないから | 6. 意志が弱いから |
| 3. 体調が悪い・疲れているから | 7. 場所や施設がないから |
| 4. 運動・スポーツをする仲間がないから | 8. その他 () |

問 29 で「2. いいえ」と回答した 529 人について、運動やスポーツを行っていない理由は、「忙しくて時間がないから」が 44.8%と最も多く、次いで「体調が悪い・疲れているから」(21.6%)、「意志が弱いから」(21.2%) の順となっている。

n=529



その他：「仕事などで体を動かしている」、「不定期に運動している」、「高齢のため」など

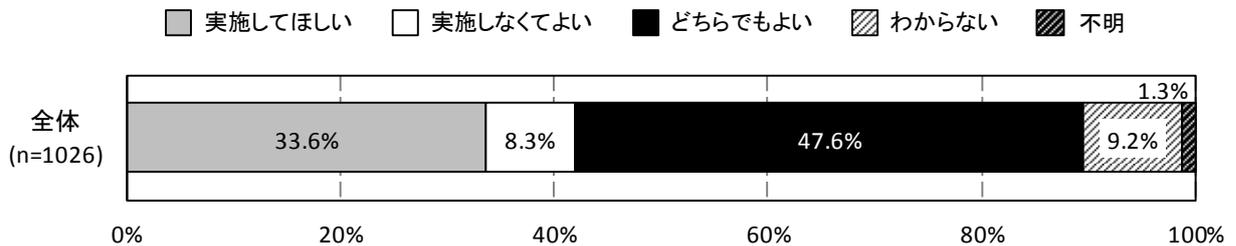
問 30 フル馬拉ソンの実施について

問 30 和歌山市でのフル馬拉ソンの実施について、どのように考えますか。あてはまるものを1つお選びください。

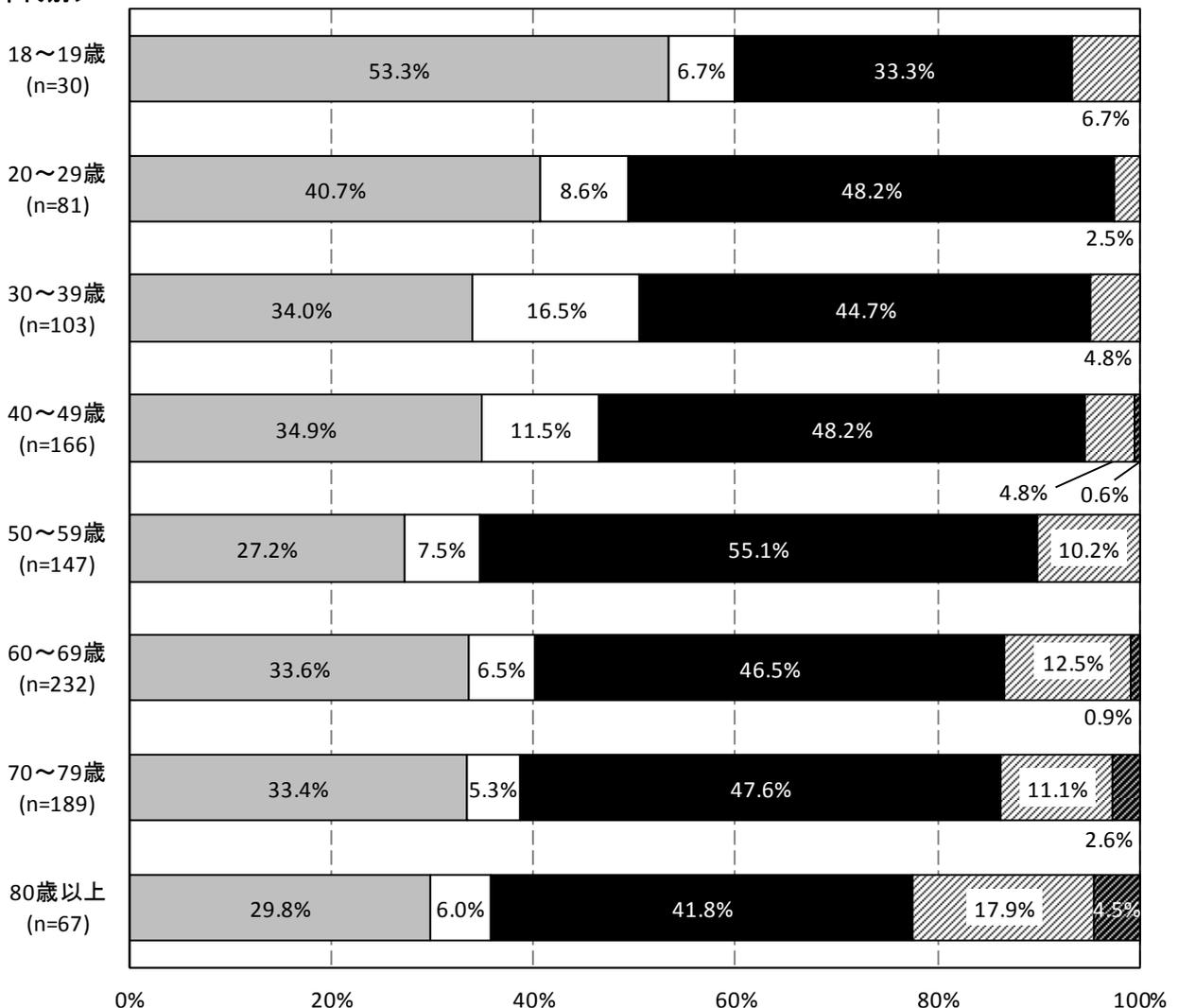
- 1. 実施してほしい
- 2. 実施しなくてよい
- 3. どちらでもよい
- 4. わからない

フル馬拉ソンの実施について、「どちらでもよい」は47.6%、「実施してほしい」は33.6%、「実施しなくてよい」は8.3%となっている。

年代別にみると、「実施してほしい」が18～19歳で53.3%と半数を超えているが、20歳以上では、「どちらでもよい」が40%を超えている。



<年代別>



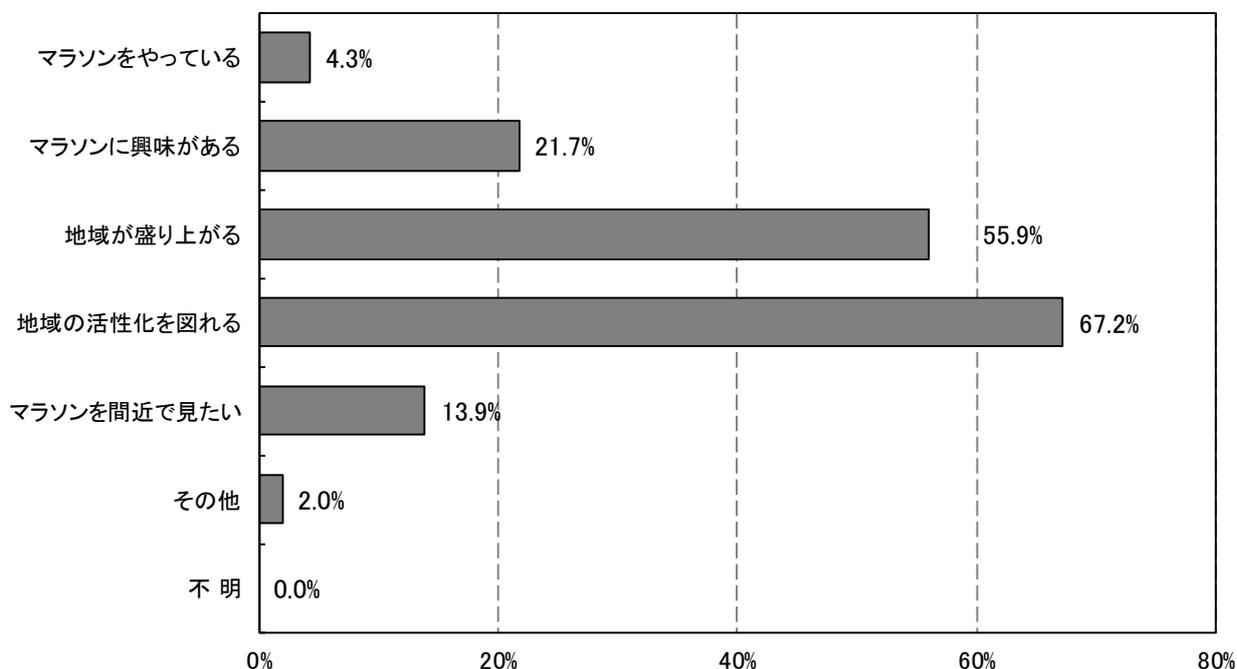
問 30-1 実施してほしい理由

問 30-1 問 30 で「1. 実施してほしい」と回答された方のみお答えください。実施してほしい理由について、あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. マラソンをやっている | 4. 地域の活性化を図れる |
| 2. マラソンに興味がある | 5. マラソンを間近で見たい |
| 3. 地域が盛り上がる | 6. その他 () |

問 30 で「1. 実施してほしい」と回答した 345 人について、実施してほしい理由は、「地域の活性化を図れる」が 67.2%と最も多く、次いで「地域が盛り上がるから」(55.9%)、「マラソンに興味がある」(21.7%) の順となっている。

n=345



その他：「身近にマラソンをしている人がいるから」、「メディア等を通じて和歌山市をPRできる」、「地域の独自性を出せるから」など

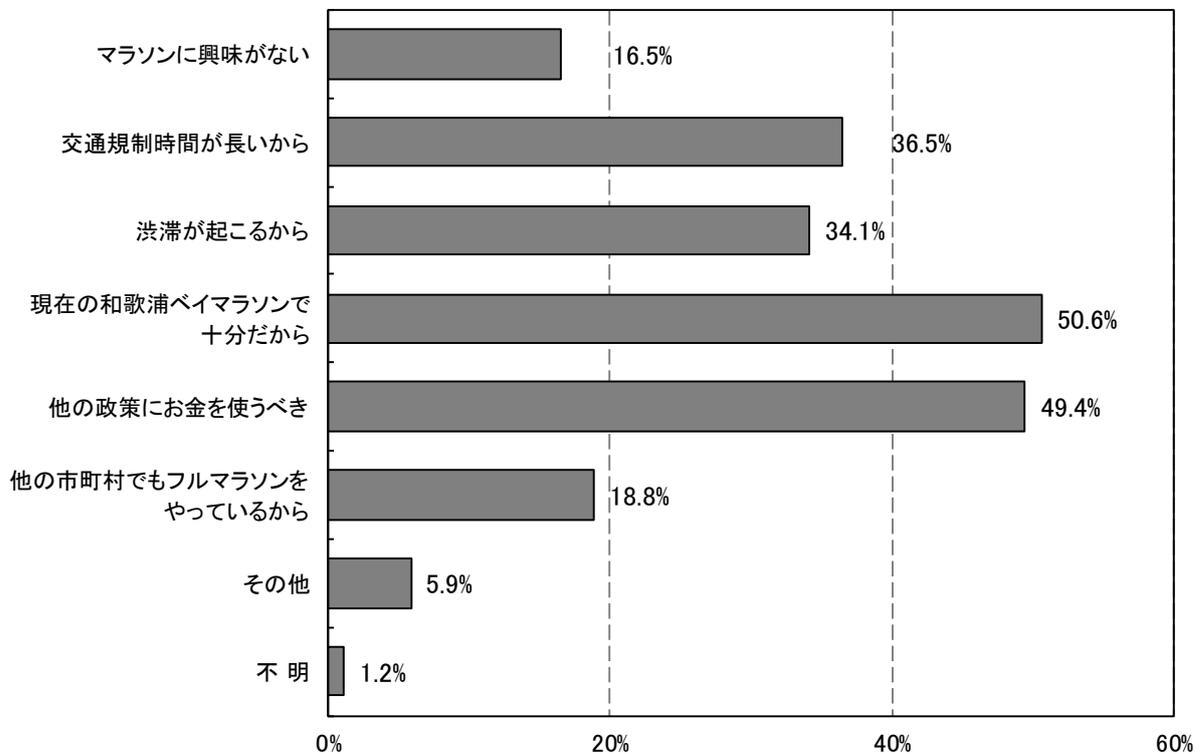
問 30-2 実施してほしくない理由

問 30-2 問 30 で「2. 実施しなくてよい」と回答された方のみお答えください。実施しなくてよい理由について、あてはまるものすべてお選びください。

1. マラソンに興味がない
2. 交通規制時間が長いから
3. 渋滞が起こるから
4. 現在の和歌浦ベイマラソンで十分だから
5. 他の政策にお金を使うべき
6. 他の市町村でもフルマラソンをやっているから
7. その他 ()

問 30 で「2. 実施しなくてよい」と回答した 85 人について、実施しなくてよい理由は、「現在の和歌浦ベイマラソンで十分だから」(50.6%) が最も多く、次いで「他の政策にお金を使うべき」(49.4%)、「交通規制時間が長いから」(36.5%)、「渋滞が起こるから」(34.1%) の順となっている。

n=85



その他:「都市マラソンのようににはできないから」、「人口が少ない和歌山で開催をしようとするのはおかしい」など

9. 男女共生について

問 31 「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について

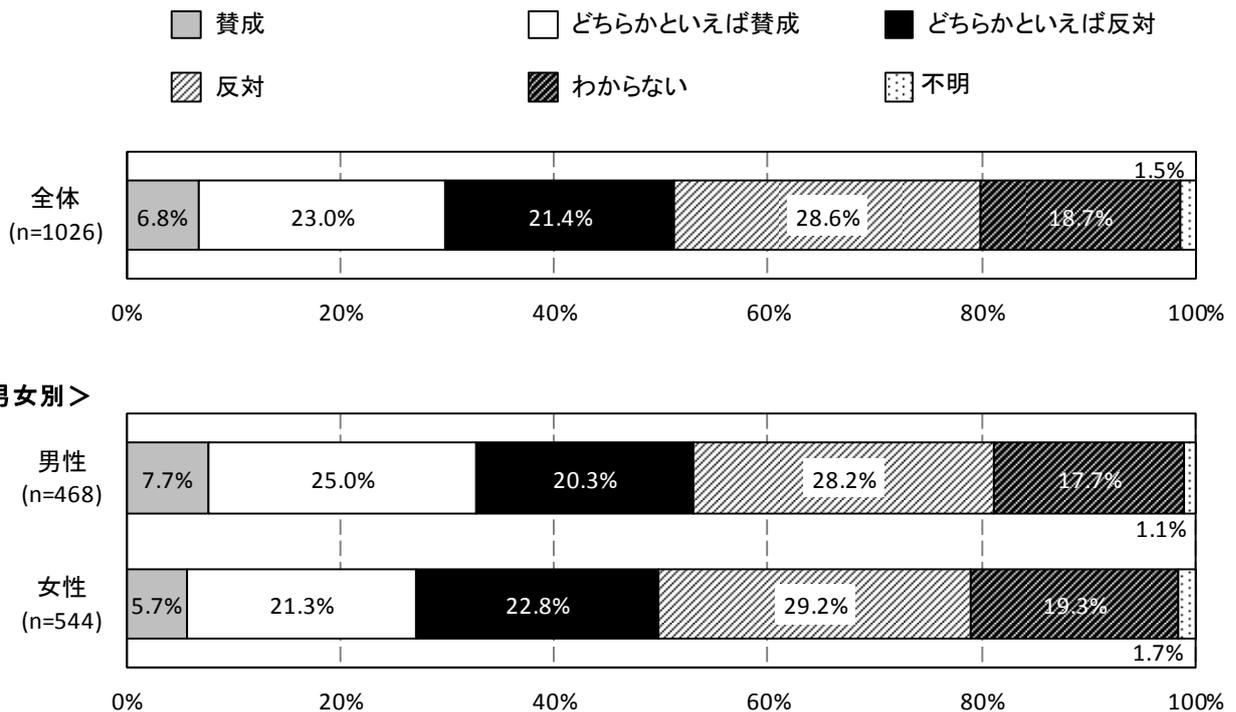
問 31 あなたは、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

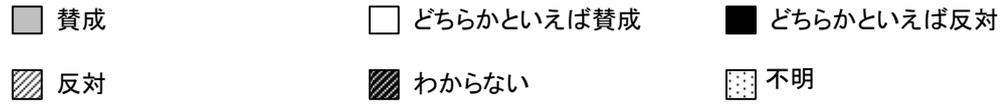
- | | |
|---------------|----------|
| 1. 賛成 | 4. 反対 |
| 2. どちらかといえば賛成 | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば反対 | |

「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について、「賛成」(6.8%)と「どちらかといえば賛成」(23.0%)をあわせた賛成意見は29.8%、「どちらかといえば反対」(21.4%)と「反対」(28.6%)をあわせた反対意見は50.0%となっている。「わからない」は18.7%となっている。

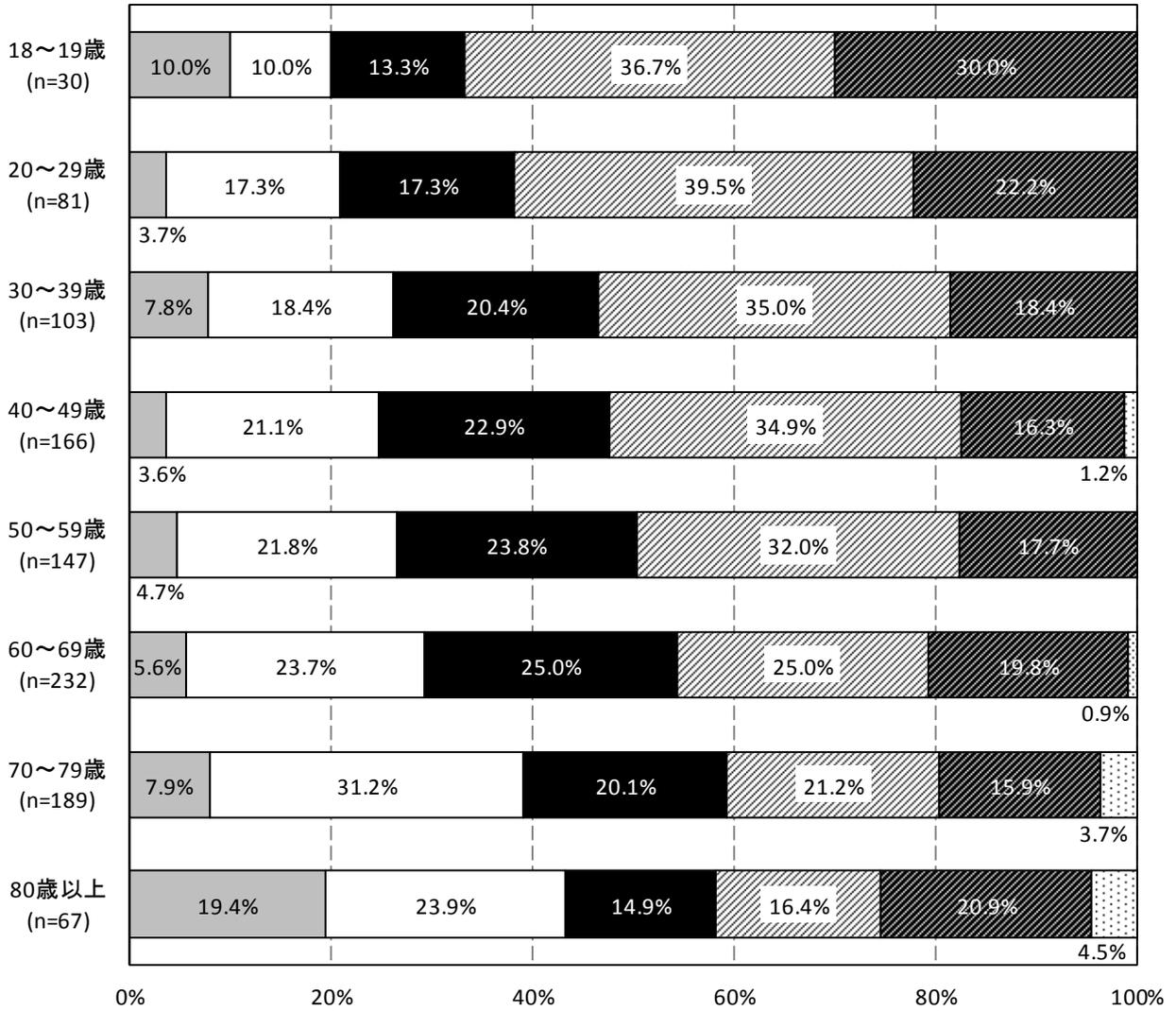
性別にみると、男女で大きな違いはみられない。

年代別にみると、18歳～69歳は反対意見が半数を超えているが、年齢が高いほど賛成意見が多くなっている。80歳以上では賛成意見(43.3%)が反対意見(31.3%)を12ポイント上回っている。





<年代別>



10. 災害や防犯対策について

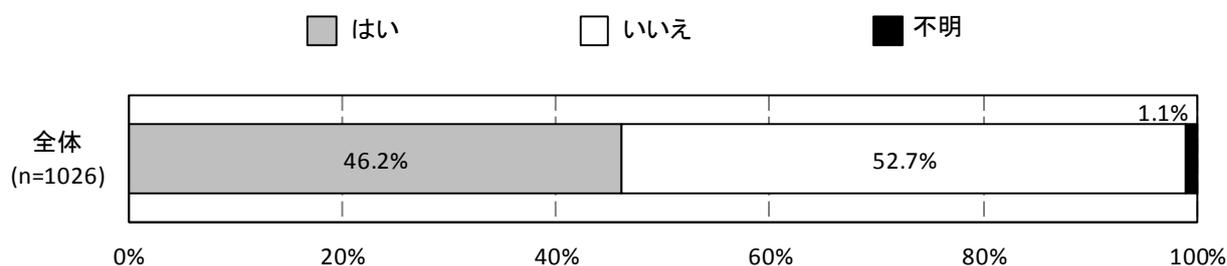
問32 災害への備え

問32 あなたは現在、災害に対し、備えを行っていますか？

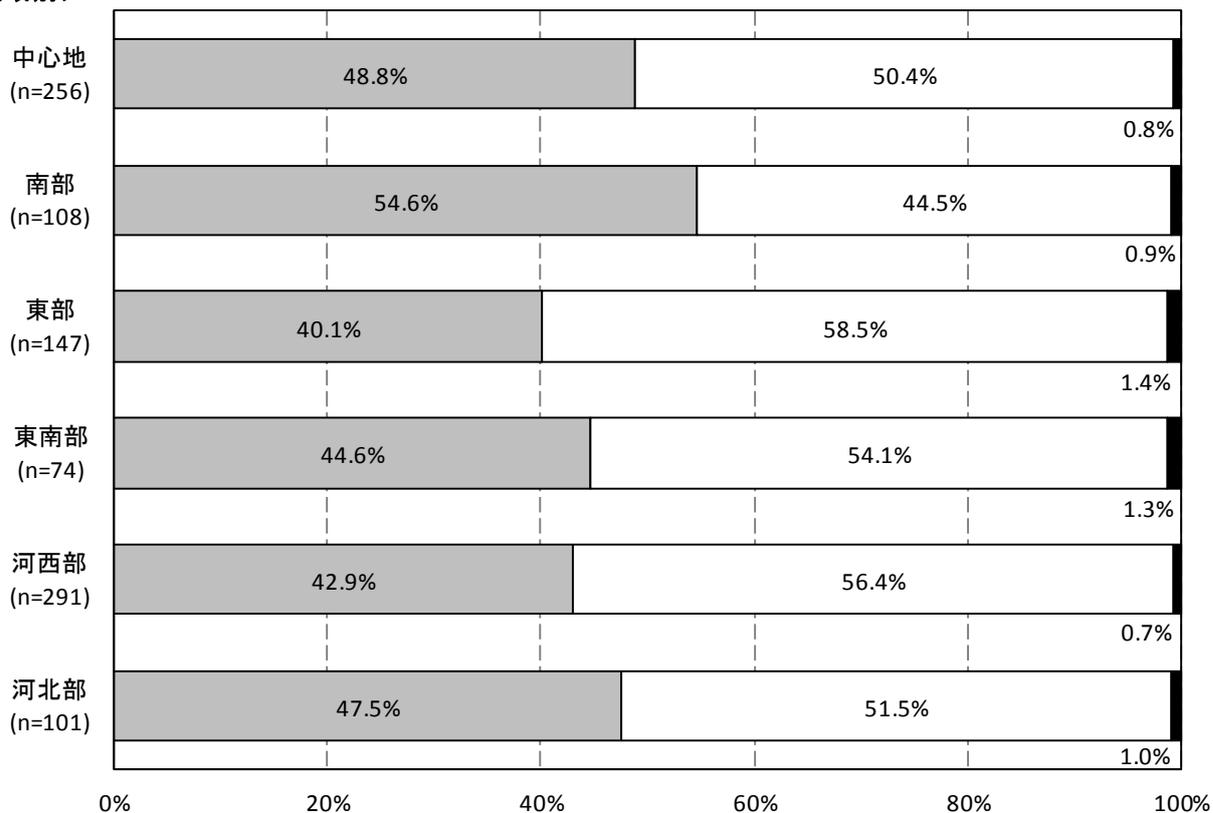
1. はい

2. いいえ

災害に対する備えの実施は、「いいえ」が52.7%となっており、「はい」(46.2%)を上回っている。地域別にみると、実施率は南部(54.6%)が最も高く、他の地域は半数を下回っている。年代別にみると、実施率は80歳以上(55.2%)が最も高く、20~29歳は実施率が39.5%と低くなっている。

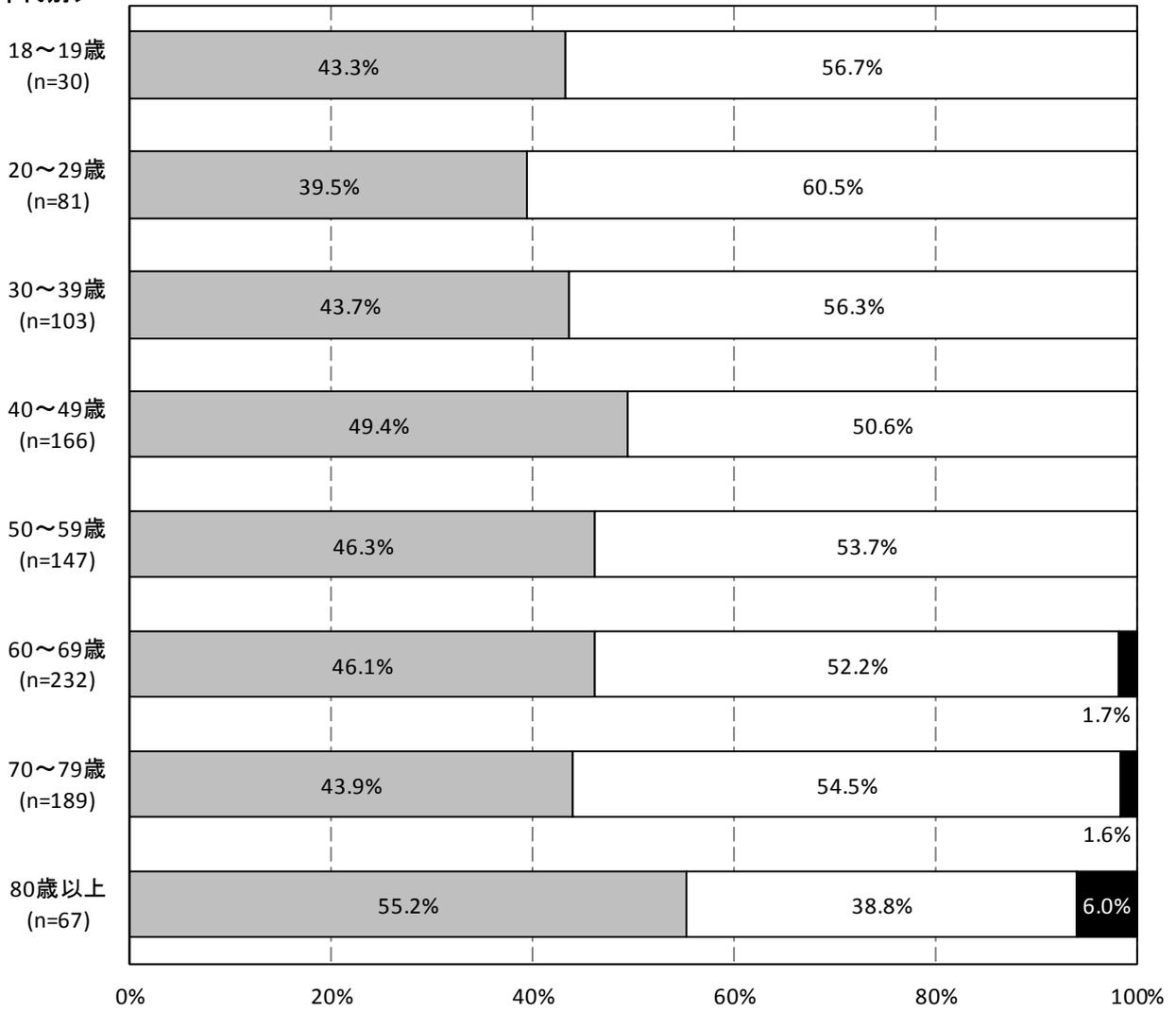


<地域別>



■ はい □ いいえ ■ 不明

<年代別>



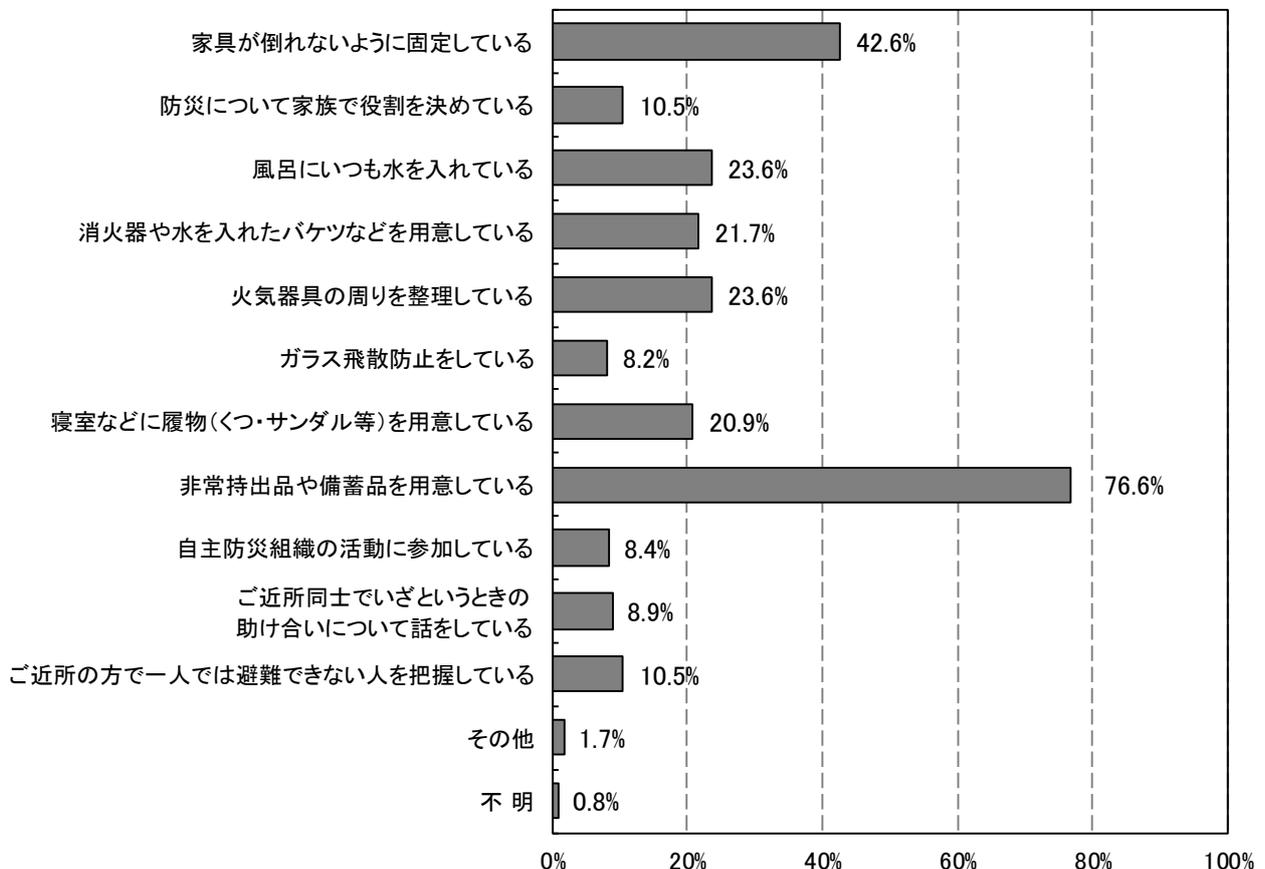
問 32-1 災害に備えていること

問 32-1 問 32 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 家具が倒れないように固定している | 8. 非常持出品や備蓄品を用意している |
| 2. 防災について家族で役割を決めている | 9. 自主防災組織の活動に参加している |
| 3. 風呂にいつも水を入れている | 10. ご近所同士でいざというときの助け合いについて話をしている |
| 4. 消火器や水を入れたバケツなどを
用意している | 11. ご近所の方で一人では避難できない人を把握している |
| 5. 火気器具の周りを整理している | 12. その他 () |
| 6. ガラス飛散防止をしている | |
| 7. 寝室などに履物(くつ・サンダル等)を
用意している | |

問 32 で「1. はい」と回答した 474 人について、災害に備えていることは、「非常持出品や備蓄品を用意している」が 76.6%と最も多く、次いで「家具が倒れないように固定している」(42.6%)、「風呂にいつも水を入れている」(23.6%)、「火気器具の周りを整理している」(23.6%)、「消火器や水を入れたバケツなどを用意している」(21.7%)、「寝室などに履物(くつ・サンダル等)を用意している」(20.9%)の順となっている。

n=474



その他：「避難場所の確認」、「避難の仕方の確認」など

問 33 避難場所の認知度

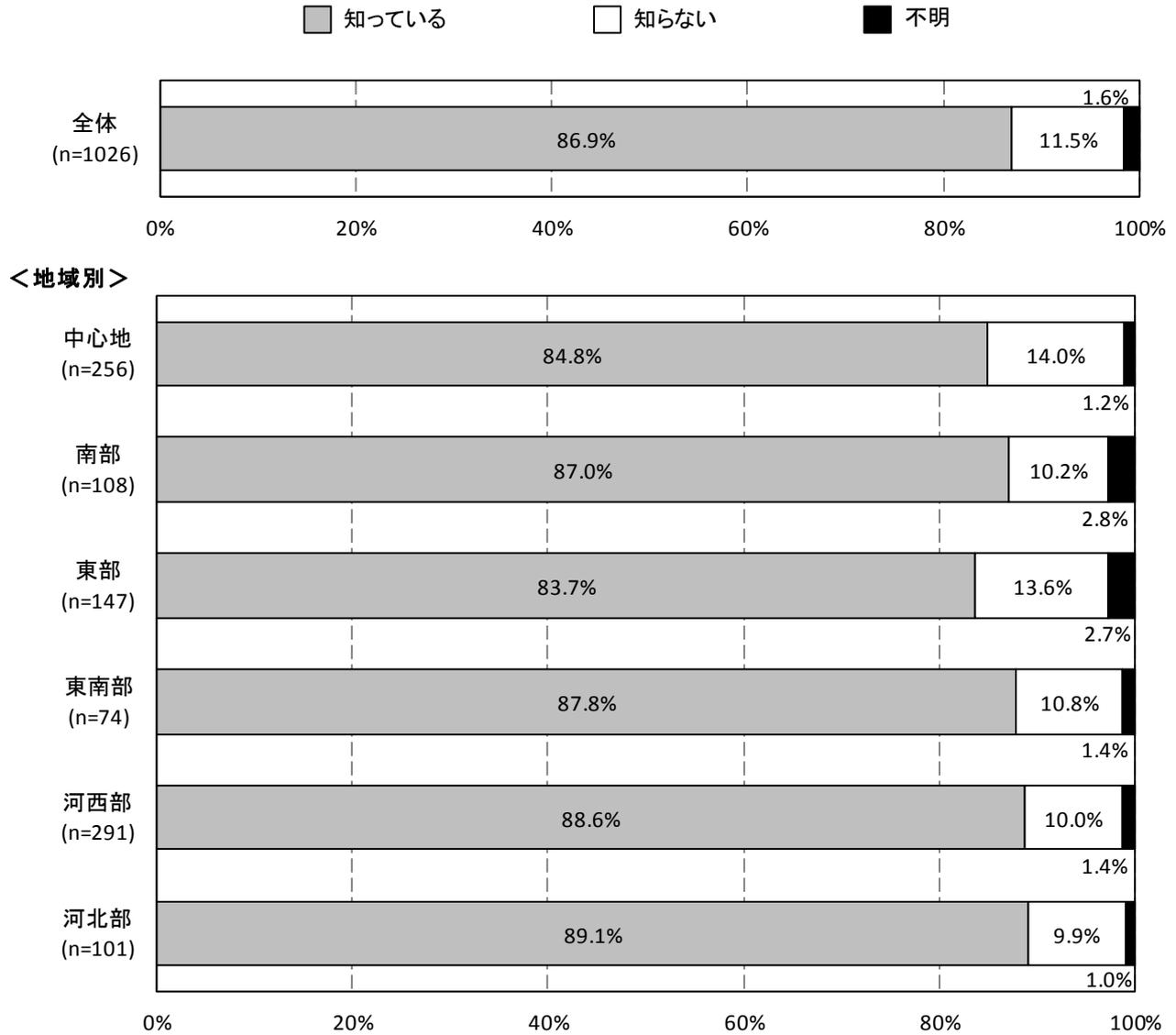
問 33 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

避難場所について、「知っている」が86.9%、「知らない」が11.5%となっている。

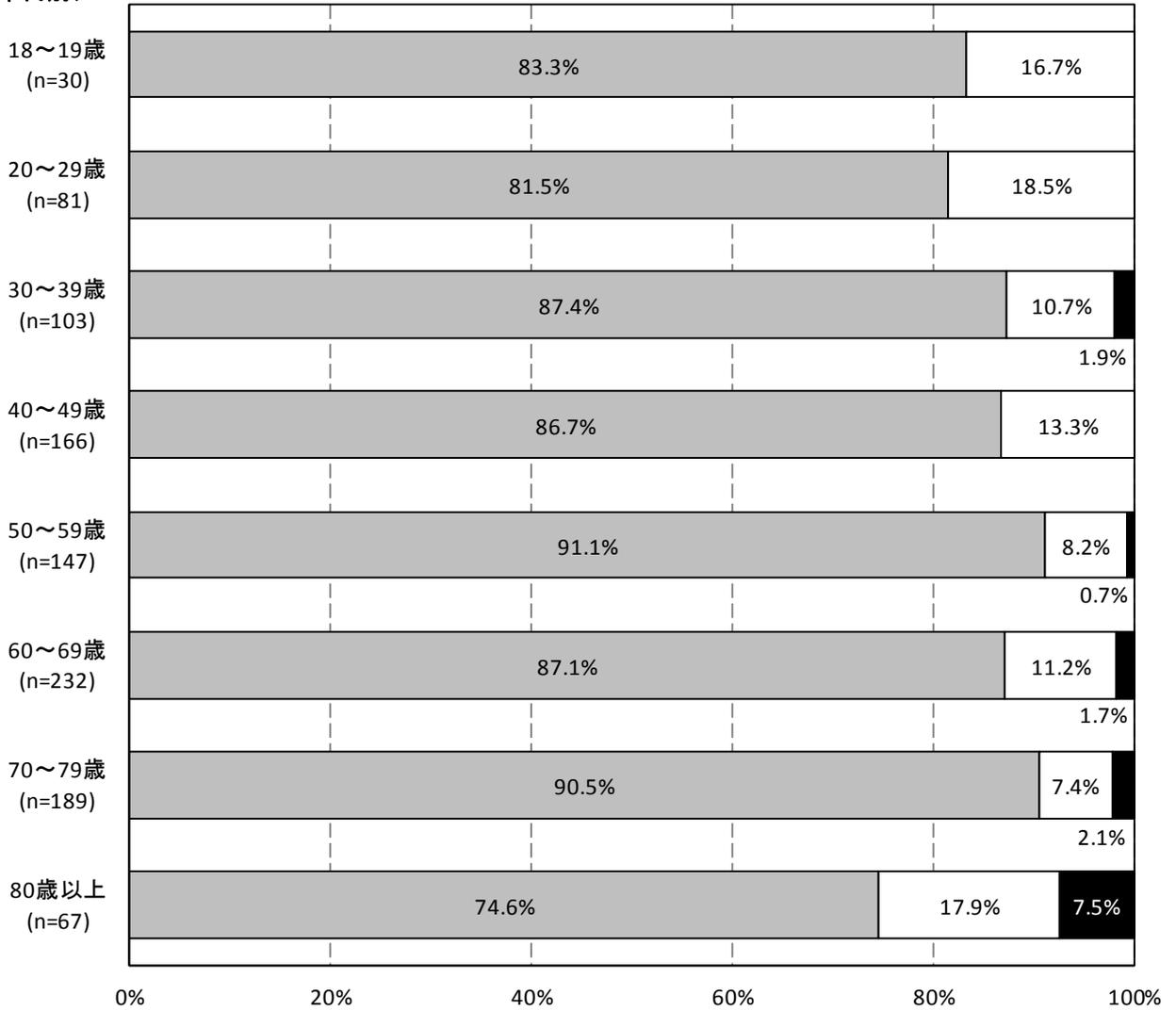
地域別にみると、認知率が最も高いのは河北部で89.1%、最も低いのは東部で83.7%となっている。

年代別にみると、80歳以上で認知率が80%を下回っている。



知っている
 知らない
 不明

<年代別>



問 34 防災への取り組み

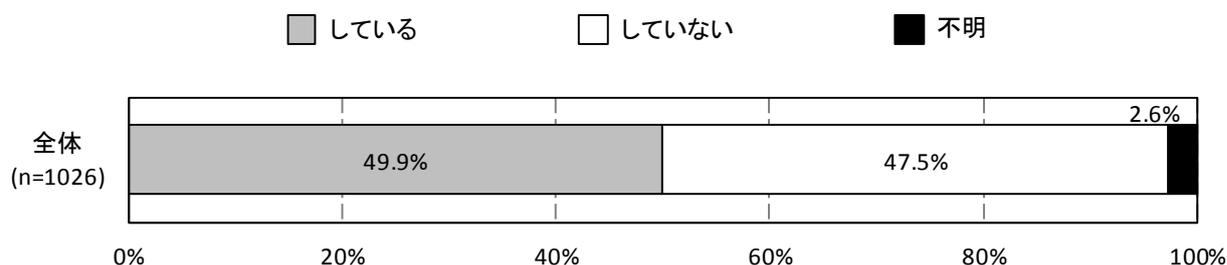
問34 あなたは、災害から身を守るために、どの避難場所に逃げるか、どんな経路を通して逃げるか、日頃から調べたり、話し合ったりしていますか？

1. している 2. していない

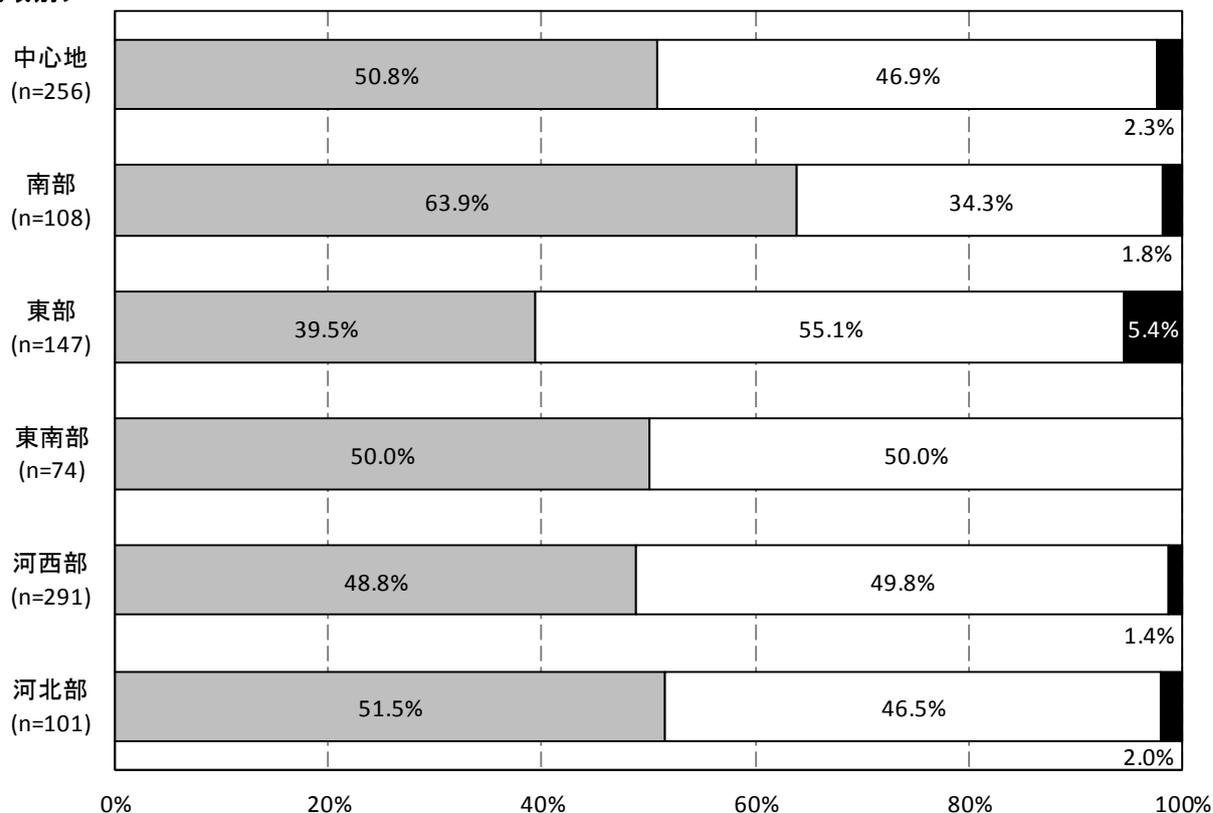
災害から身を守るために日頃から調べたり、話し合ったりしているかについて、「している」が49.9%、「していない」が47.5%となっている。

地域別にみると、「している」が最も高いのは南部で63.9%、最も低いのは東部で39.5%となっている。

年代別にみると、「している」が18～29歳、50～59歳で半数を下回っている。

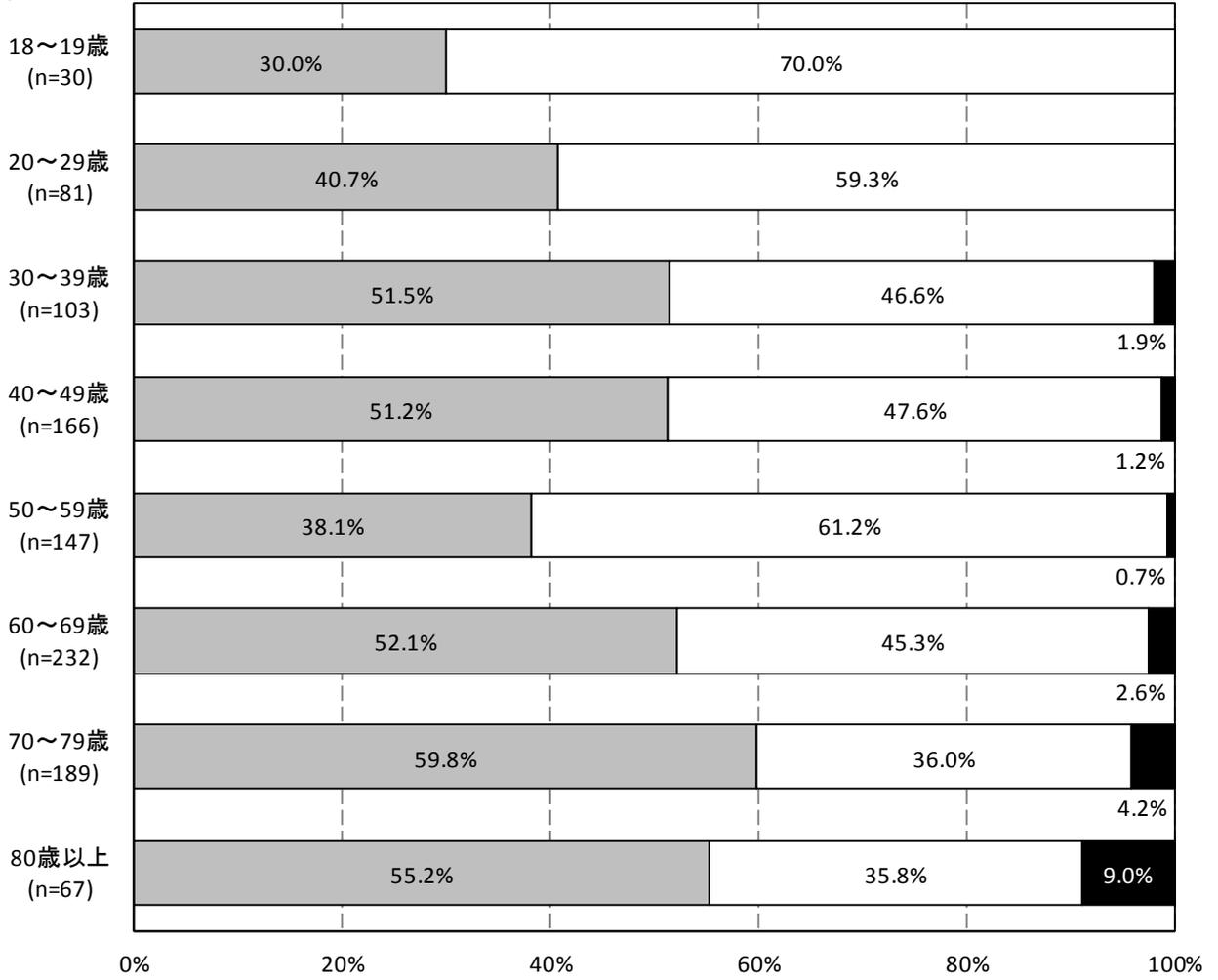


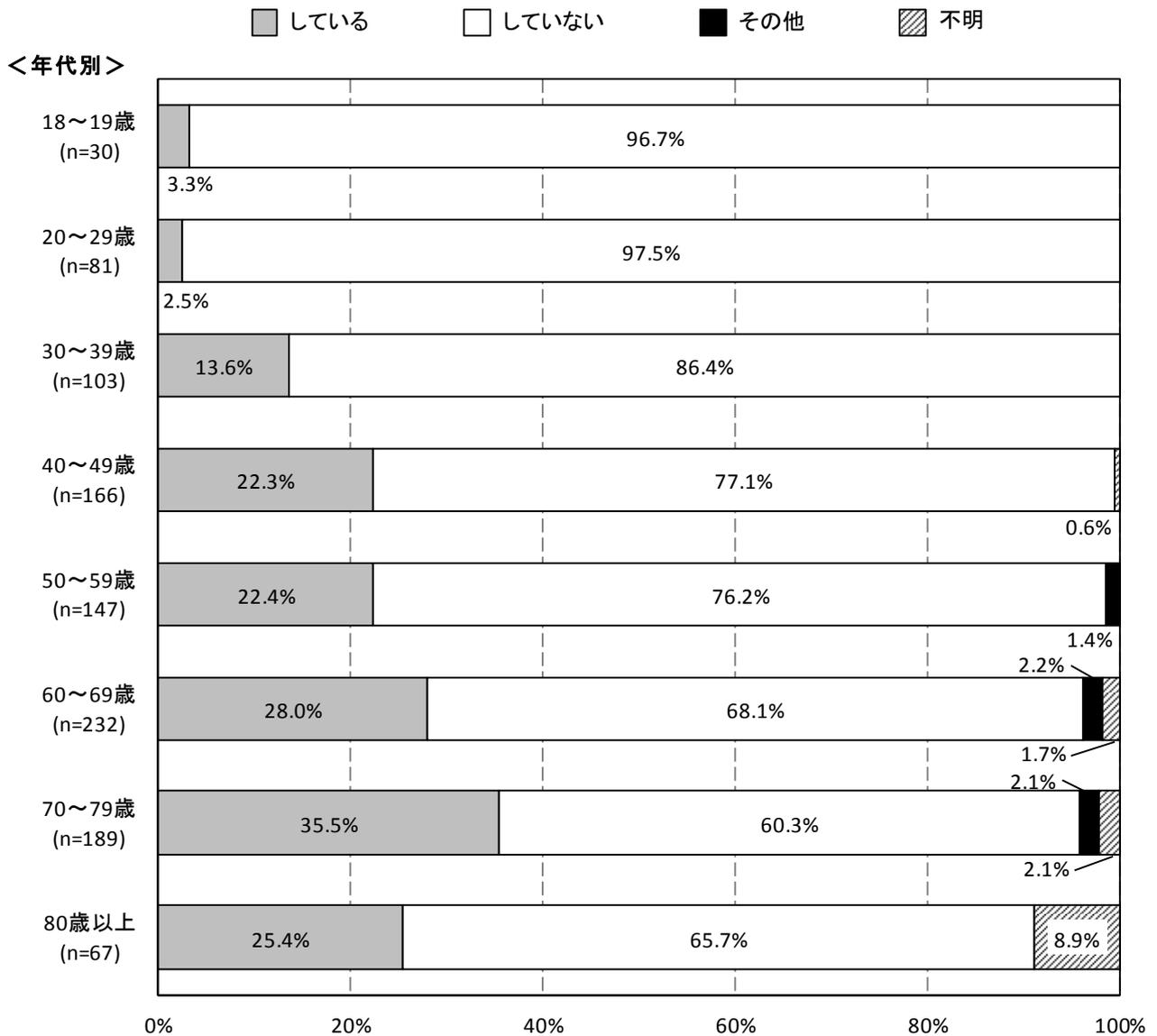
<地域別>



■ している □ していない ■ 不明

<年代別>

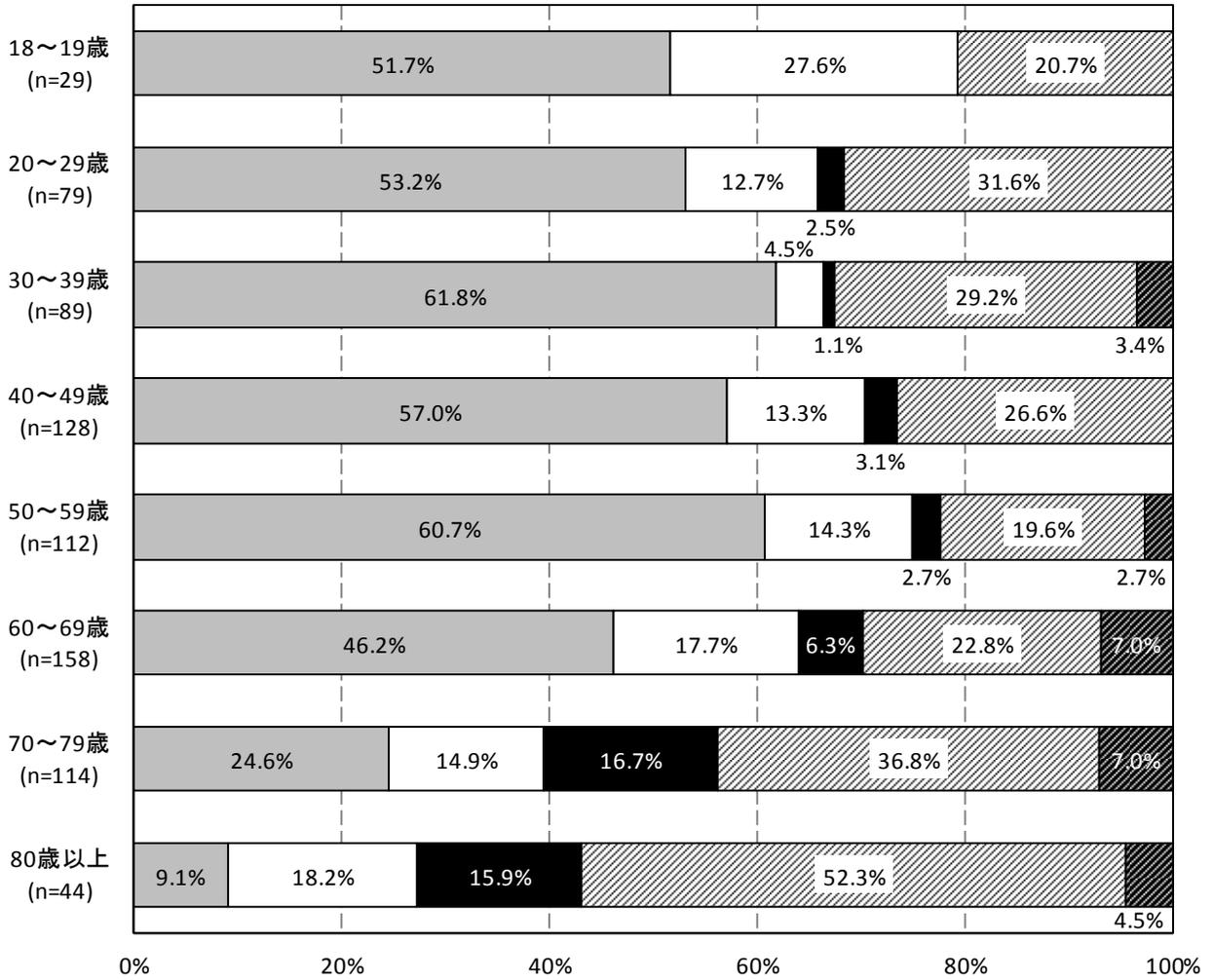




その他：「以前参加したことがある」、「時々参加している」など

仕事や用事があり参加できない
 面倒だから
 過去に避難訓練に参加し、理解しているから
 その他
 不明

<年代別>



その他：「実施されているのを知らない」、「避難訓練がない」、「体調不良のため」、「避難訓練に疑問を感じる」、「高齢のため」など

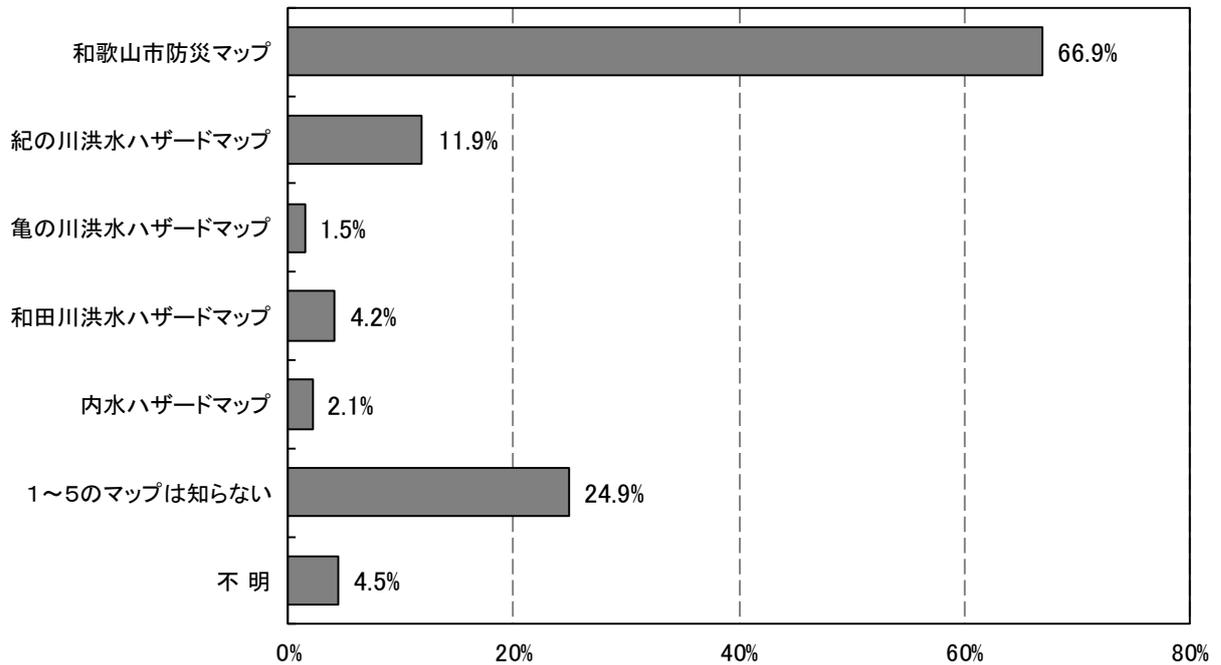
問 36 ハザードマップの認知度

問36 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 和歌山市防災マップ | 4. 和田川洪水ハザードマップ |
| 2. 紀の川洪水ハザードマップ | 5. 内水ハザードマップ |
| 3. 亀の川洪水ハザードマップ | 6. 1～5のマップは知らない |

ハザードマップの認知度は、「和歌山市防災マップ」が 66.9%と最も多い。「1～5 のマップは知らない」は 24.9%となっている。

n=1026



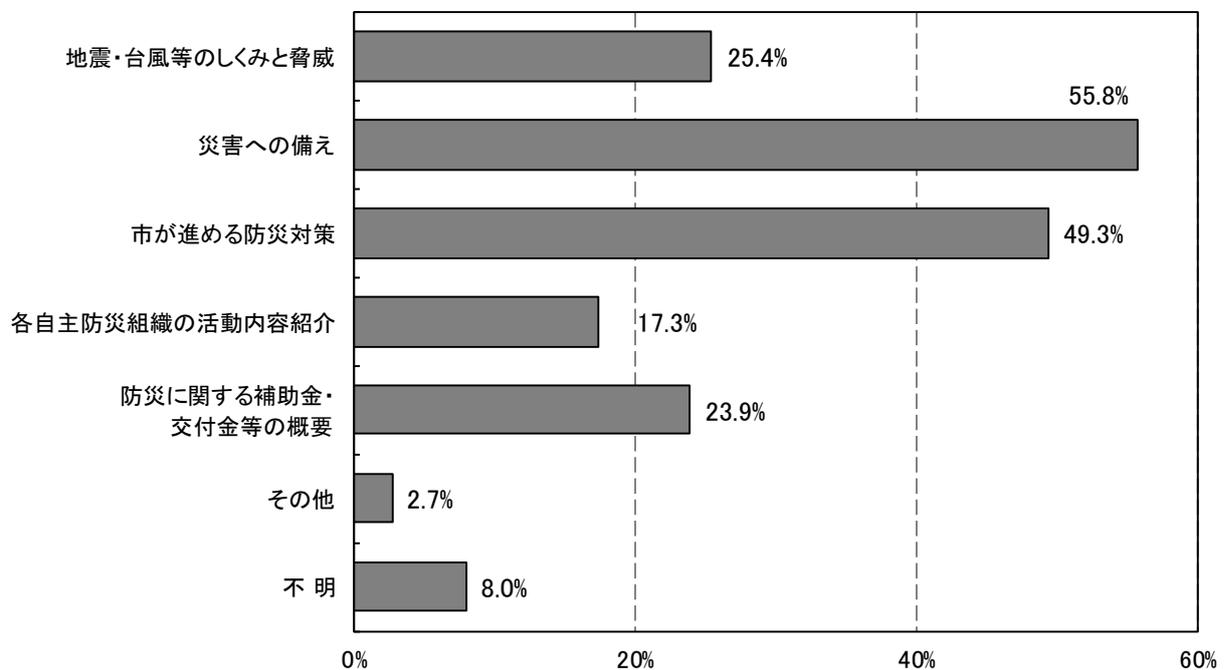
問 37 掲載してほしい防災情報

問37 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地震・台風等のしくみと脅威
2. 災害への備え
3. 市が進める防災対策
4. 各自主防災組織の活動内容紹介
5. 防災に関する補助金・交付金等の概要
6. その他（ ）

掲載してほしい防災情報は、「災害への備え」が 55.8%と最も高く、次いで「市が進める防災対策」(49.3%)、「地震・台風等のしくみと脅威」(25.4%)、「防災に関する補助金・交付金等の概要」(23.9%)の順になっている。

n=1026



その他：「災害時のリアルタイムな情報提供」、「避難所の案内」など

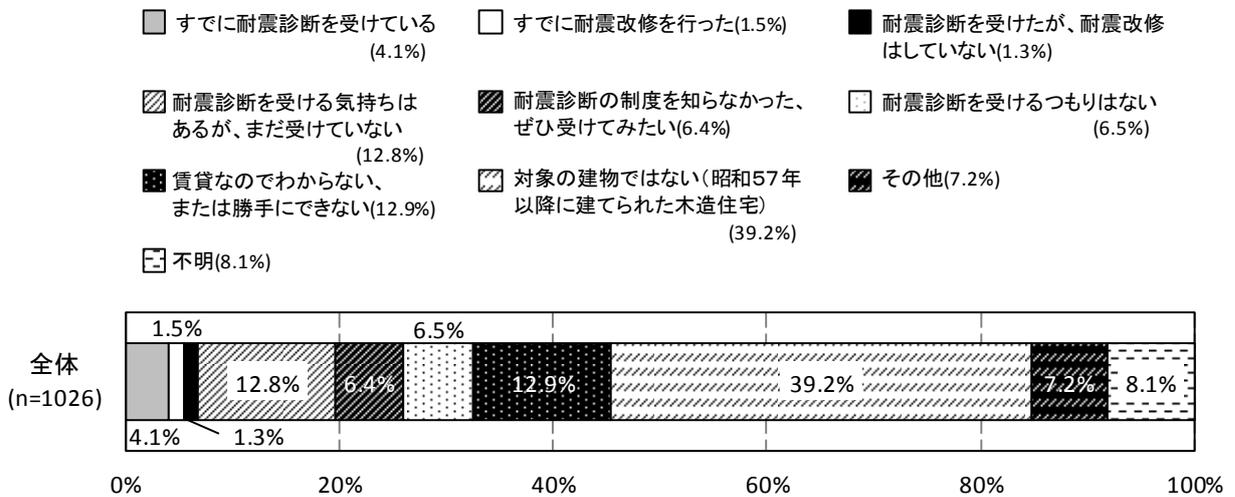
問 40 木造住宅耐震診断の受診状況

問40 和歌山市では昭和56年以前に建てられた木造住宅に、無料で木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断をする制度があります。お住まいの耐震診断について、あてはまるものを1つお選びください。

1. すでに耐震診断を受けている
2. すでに耐震改修を行った
3. 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
4. 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
5. 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
6. 耐震診断を受けるつもりはない
7. 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
8. 対象の建物ではない（昭和57年以降に建てられた木造住宅である。）
9. その他（ ）

木造住宅耐震診断の受診状況は、「対象の建物ではない（昭和57年以降に建てられた木造住宅）」（39.2%）の対象外を除くと、「賃貸なのでわからない、または勝手にできない」が12.9%、「耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない」が12.8%、となっている。

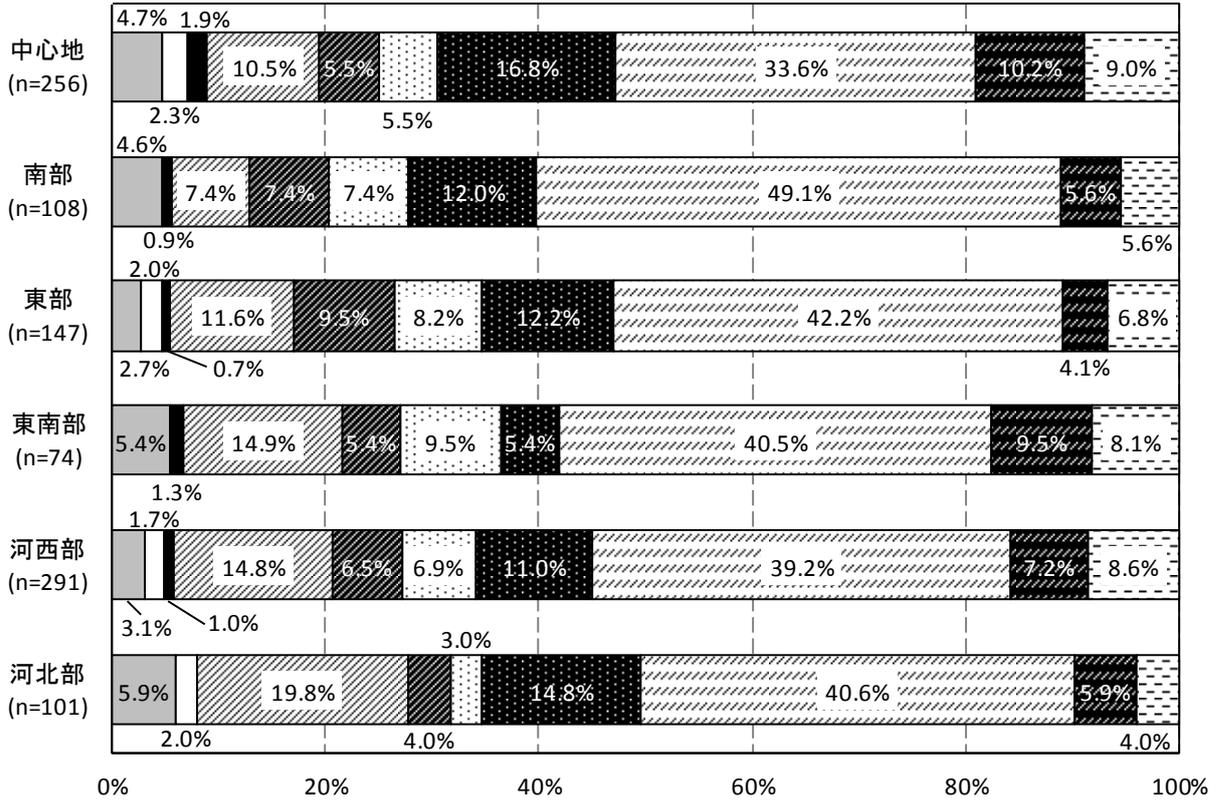
地域別にみると、「耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない」は河北部で19.8%、「賃貸なのでわからない、または勝手にできない」は中心部で16.8%と、他の地域より高めとなっている。



その他：「マンションだから」、「市営・県営住宅だから」など

- すでに耐震診断を受けている
- すでに耐震改修を行った
- 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
- ▨ 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
- ▩ 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
- ▤ 耐震診断を受けるつもりはない
- 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
- ▨ 対象の建物ではない(昭和57年以降に建てられた木造住宅)
- その他
- 不明

<地域別>

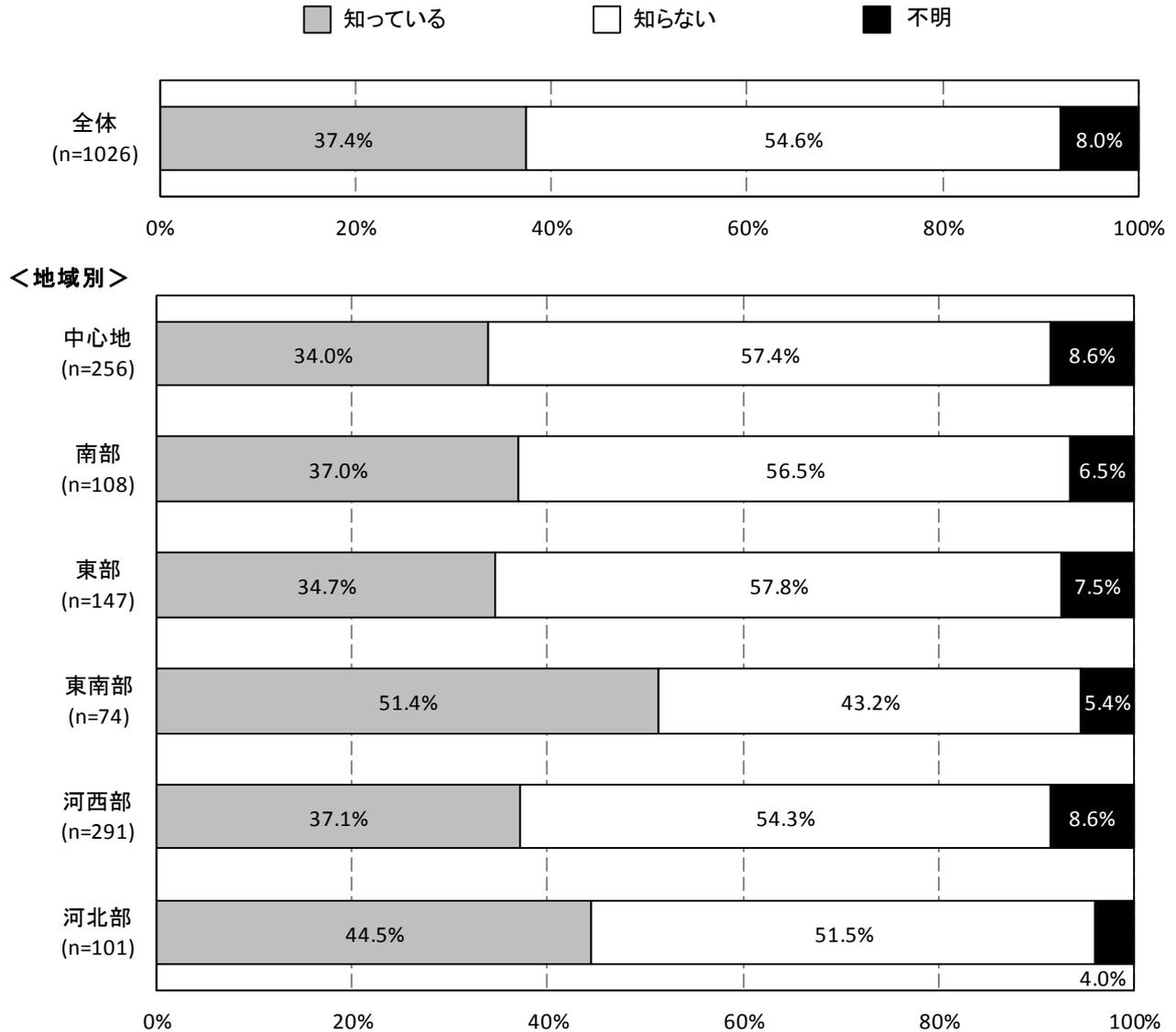


問 41 耐震改修費補助制度の認知度

問41 耐震診断の結果、耐震性が低いと判定された戸建て住宅、長屋及び共同住宅について、基準を満たす耐震改修を行った場合、耐震改修費（設計・工事・リフォーム）の一部を補助する制度があるのを知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

耐震改修費補助制度の認知度は、「知っている」が37.4%、「知らない」が54.6%となっている。地域別にみると、いずれの地域も「知らない」が40%を超えている。



問 42 和歌山市の治安状況

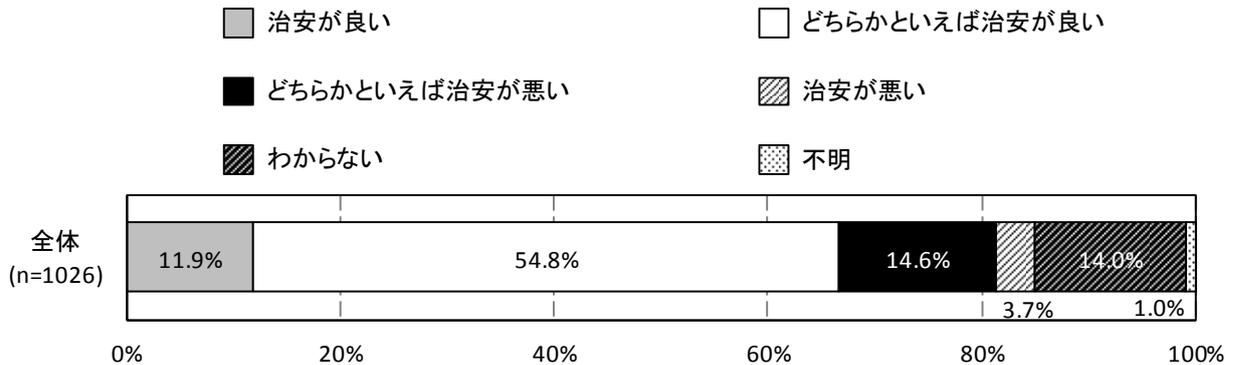
問42 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 治安が良い
- 2. どちらかといえば治安が良い
- 3. どちらかといえば治安が悪い
- 4. 治安が悪い
- 5. わからない

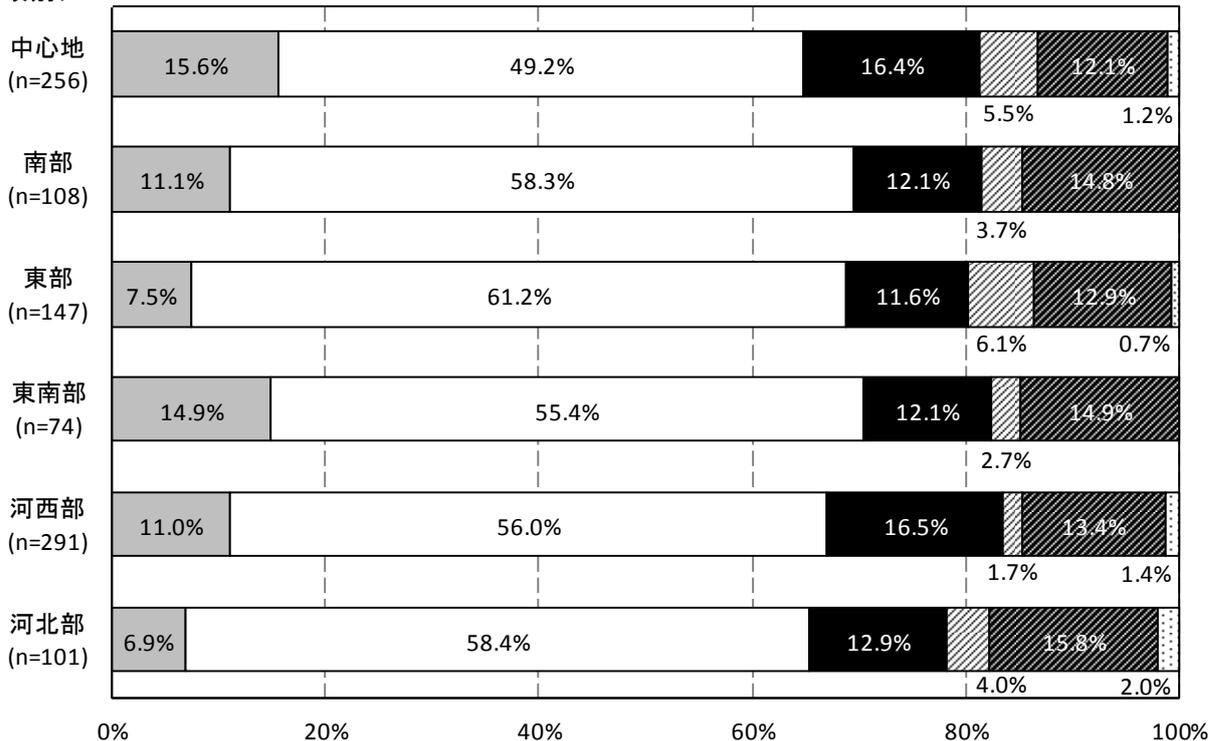
和歌山市の治安状況について、「治安が良い」(11.9%)と「どちらかといえば治安が良い」(54.8%)をあわせた66.7%は治安が良いと感じており、「どちらかといえば治安が悪い」(14.6%)と「治安が悪い」(3.7%)を合わせた18.3%は治安が悪いと感じている。

地域別にみると、治安が良いと感じている比率は東南部(70.3%)で最も高く、治安が悪いと感じている比率は中心部(21.9%)で最も高くなっている。

年代別にみると、治安が良いと感じている比率は80歳以上(71.6%)が最も高く、治安が悪いと感じている比率は18~19歳(53.4%)が最も高くなっている。

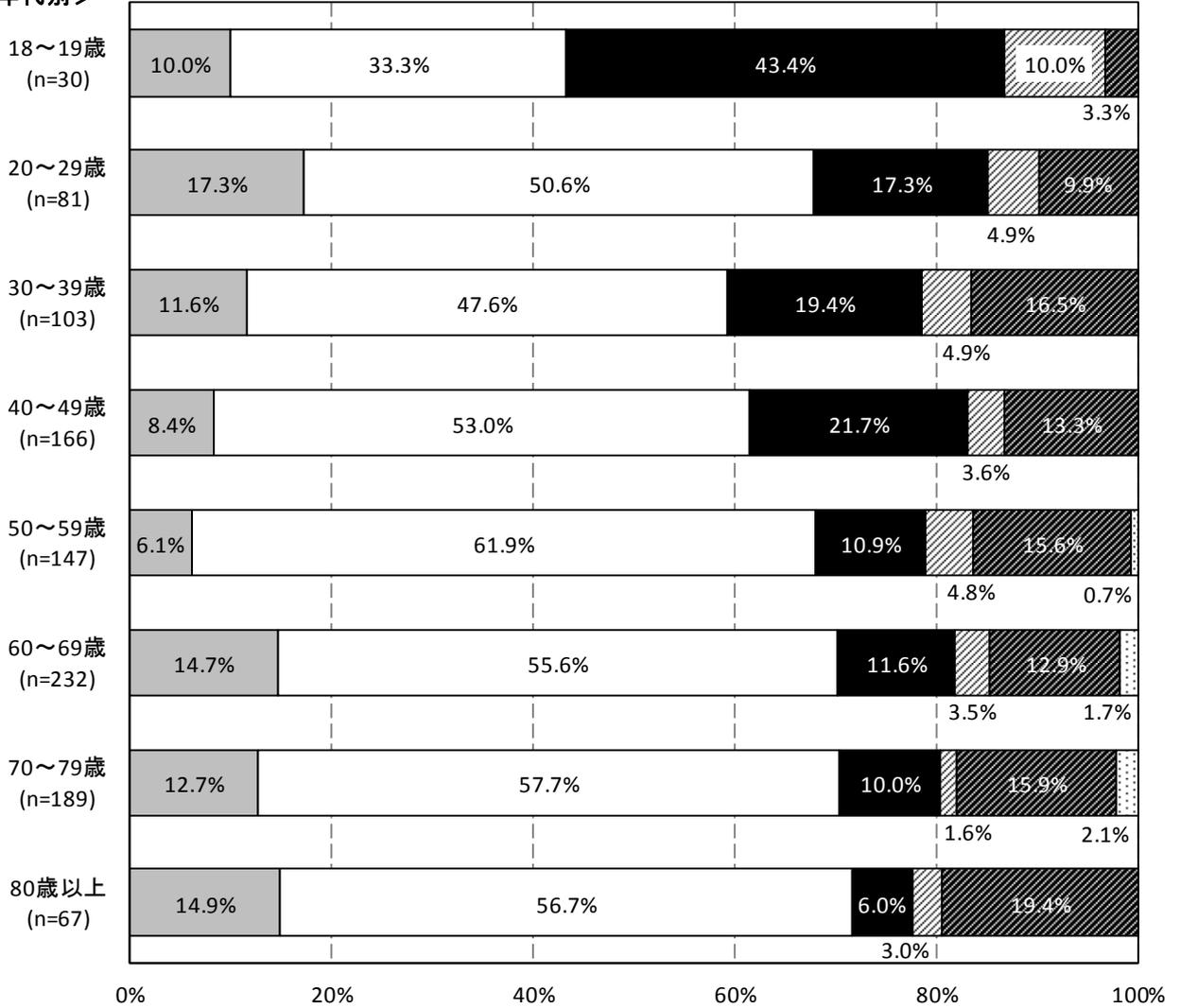


<地域別>





<年代別>



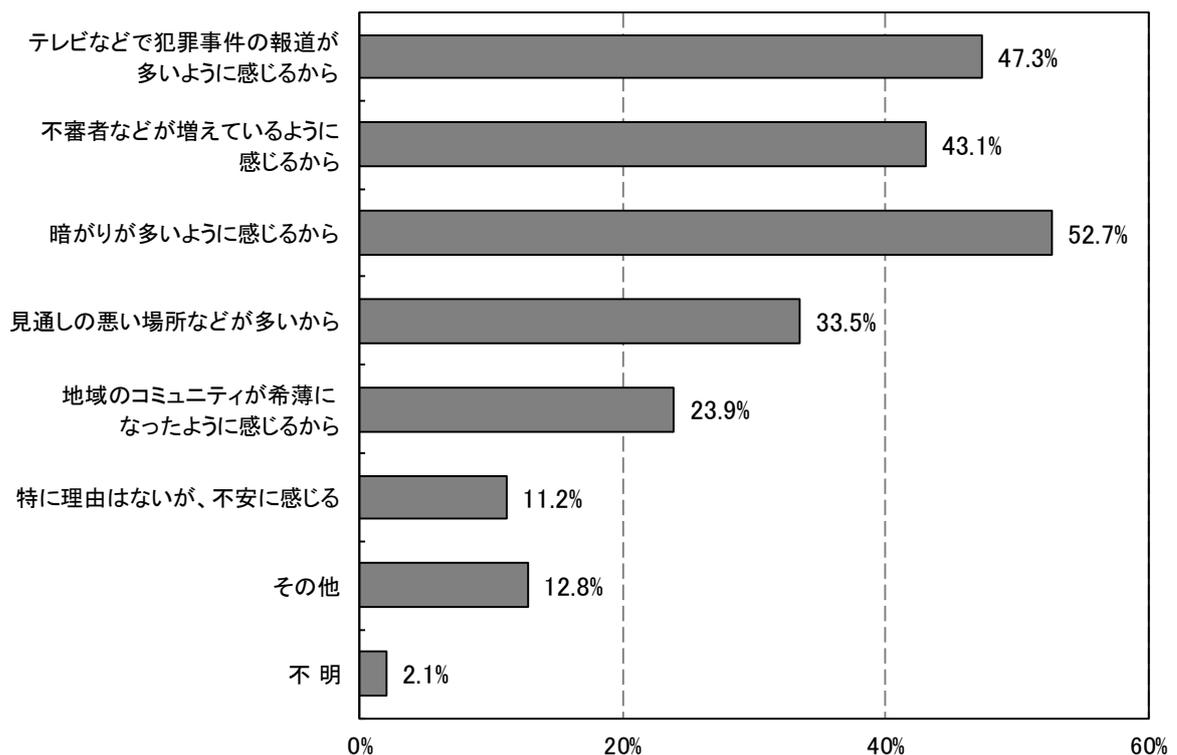
問 42-1 治安が悪いと感じる理由

問42-1 問42で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」とお答えの方のみお答えください。あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか。あてはまるもの全てお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他（ ）

問 42 で「3. どちらかといえば治安が悪い」、「4. 治安が悪い」と回答した 188 人について、治安が悪いと感じる理由は、「暗がりが多いように感じるから」が 52.7%と最も多く、次いで「テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから」（47.3%）、「不審者などが増えているように感じるから」（43.1%）、「見通しの悪い場所などが多いから」（33.5%）の順となっている。

n=188



その他：「警察への不信任感」、「発砲事件があったから」、「車上あらしにあったため」など

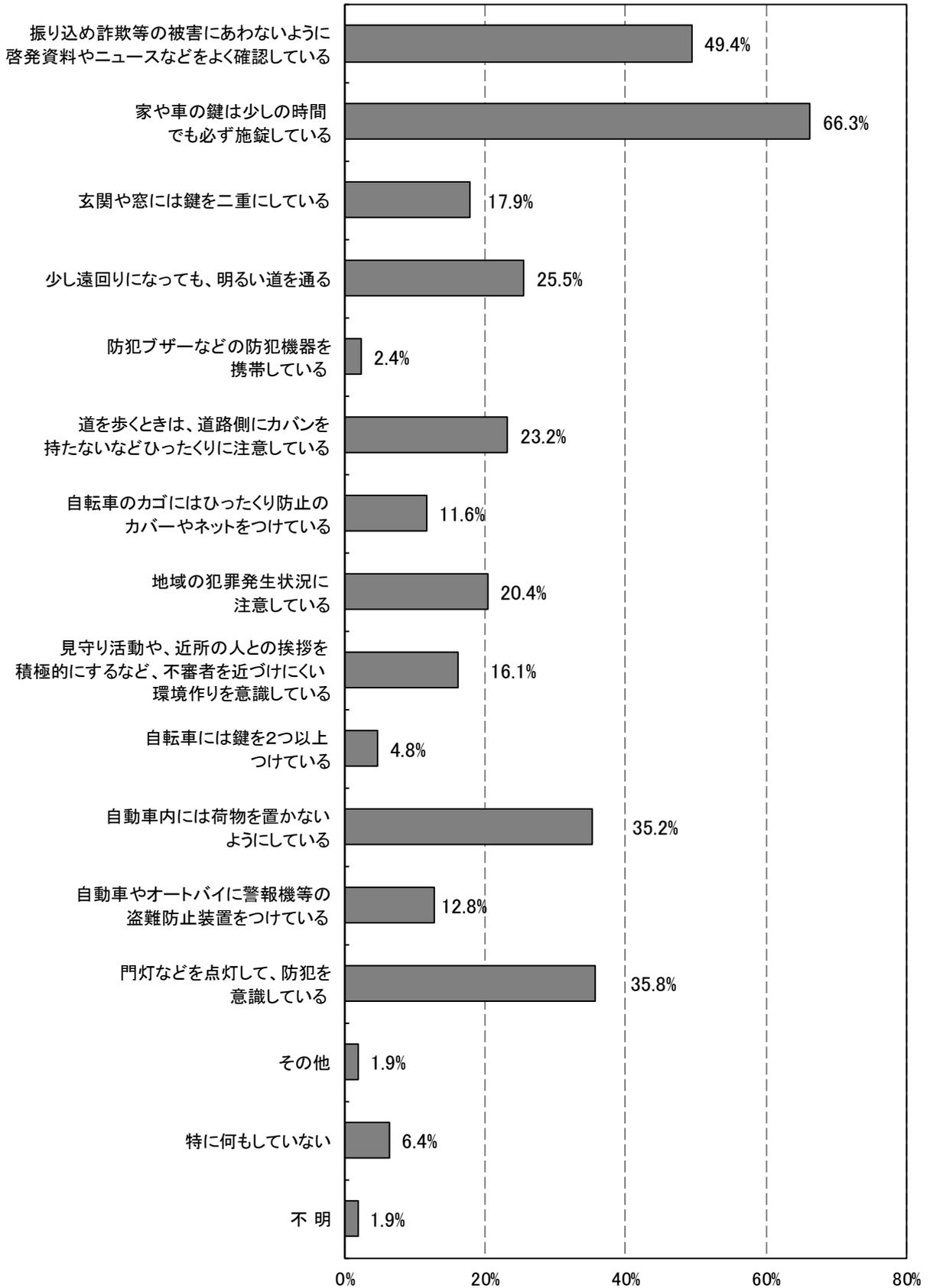
問 43 犯罪被害に遭わないための心がけ

問43 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか。つぎの中からあてはまるものを全て選んでください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひたたくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひたたくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境作りを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようにしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他 ()
15. 特に何もしていない

犯罪被害に遭わないための心がけは、「家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している」が66.3%と最も多く、次いで「振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している」(49.4%)、「門灯などを点灯して、防犯を意識している」(35.8%)「自動車内には荷物を置かないようにしている」(35.2%)の順となっている。

n=1026



その他：「自宅のセキュリティーの強化」、「防犯カメラの設置」、「防犯メールの登録」など

1 1. 健康について

問 44 健康状態

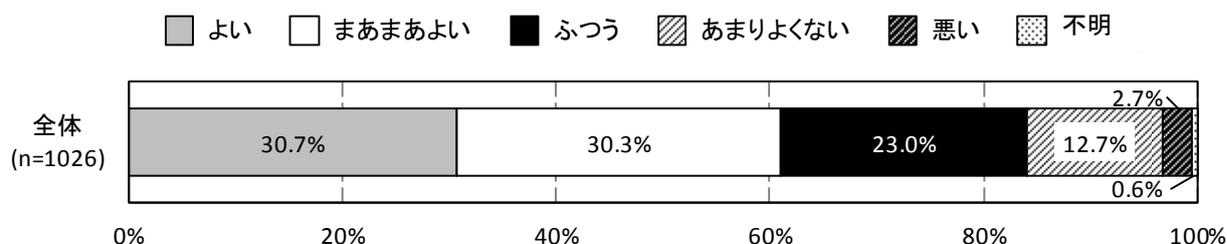
問 44 あなたの健康状態はいかがですか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. よい | 4. あまりよくない |
| 2. まあまあよい | 5. 悪い |
| 3. ふつう | |

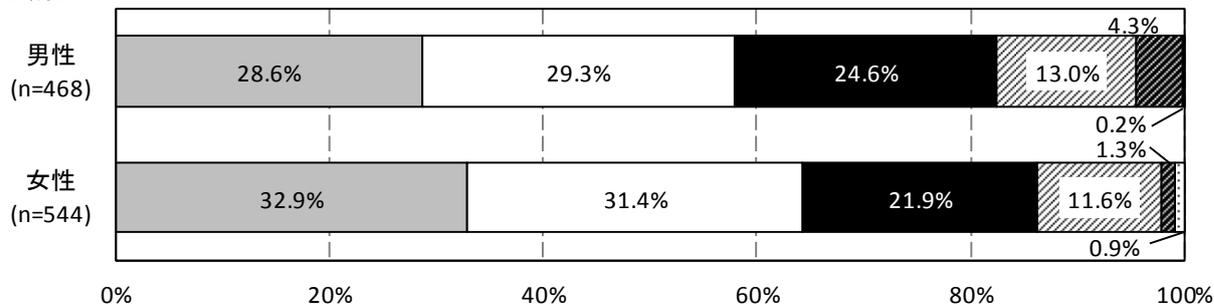
健康状態は、「よい」(30.7%)と「まあまあよい」(30.3%)をあわせた61.0%がよいとなっている。「あまりよくない」(12.7%)と「悪い」(2.7%)をあわせた15.4%が悪いとなっている。「ふつう」は23.0%となっている。

性別にみると、男女で大きな違いはみられない。

年代別にみると、健康状態がよい比率は18～19歳(66.7%)が最も高く、悪い比率は80歳以上が31.4%と最も高くなっている。

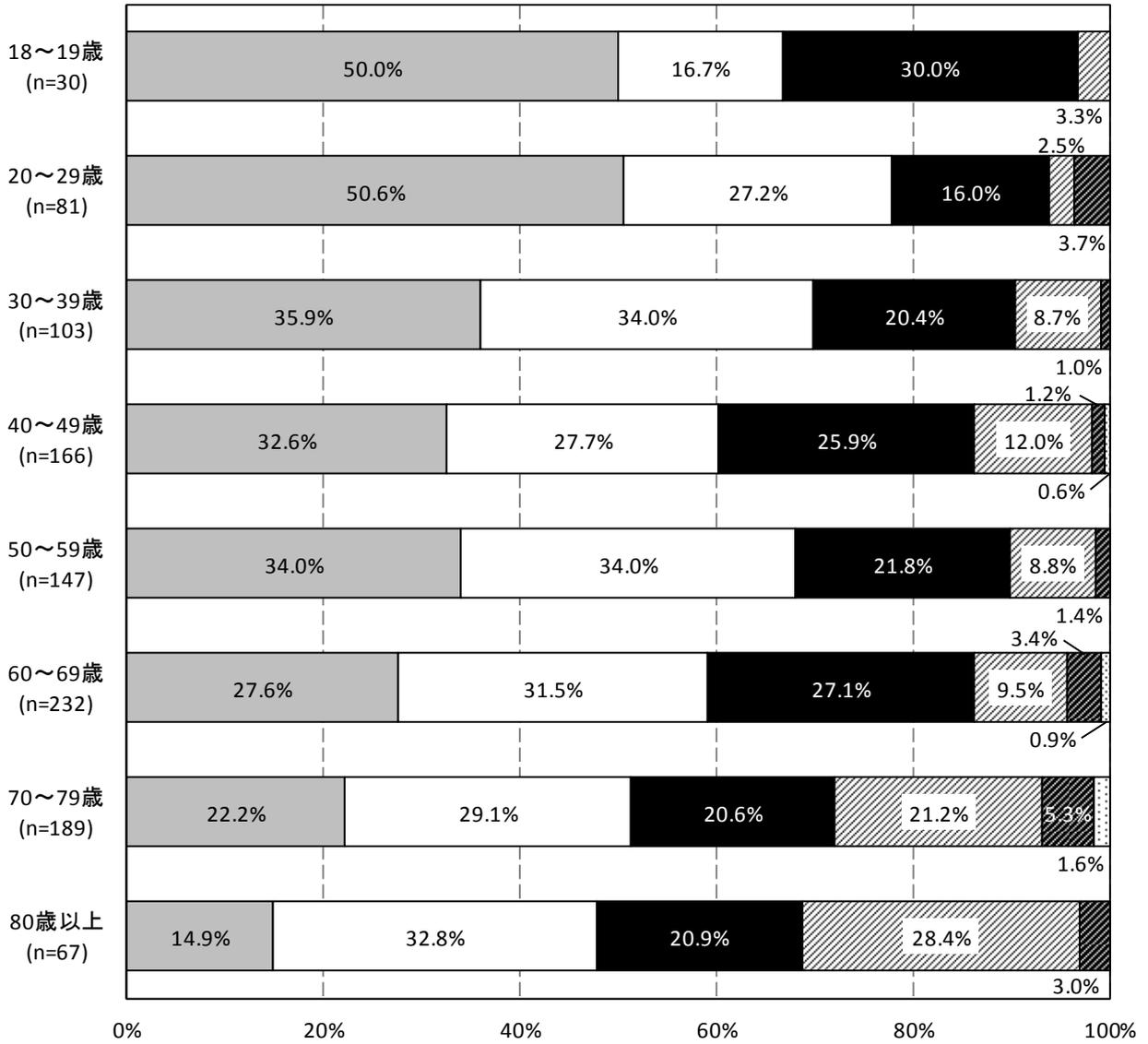


<男女別>



よい
 まあまあよい
 ふつう
 あまりよくない
 悪い
 不明

<年代別>



問 45 健康づくりへの意識的な取り組み

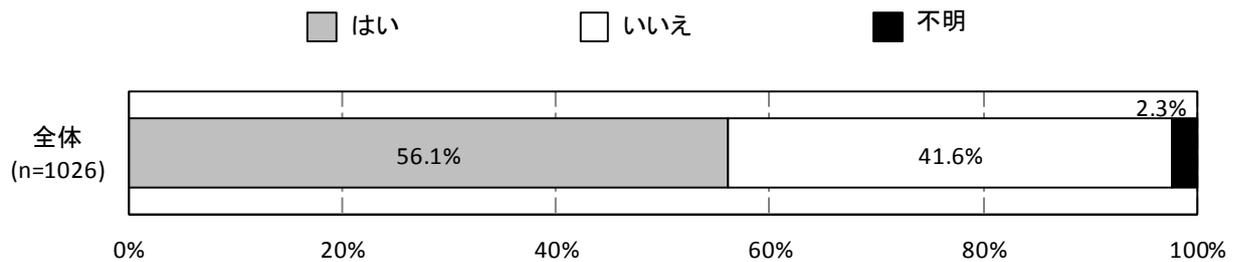
問 45 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい 2. いいえ

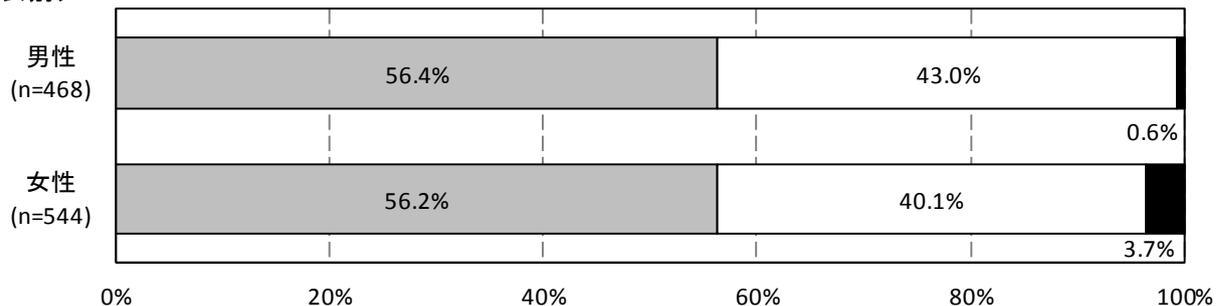
意識的に健康づくりに取り組んでいるかどうかについて、「はい」が 56.1%、「いいえ」が 41.6%となっている。

性別にみると、男女で大きな違いはみられない。

年代別にみると、50 歳以上で「はい」が半数を超えている。

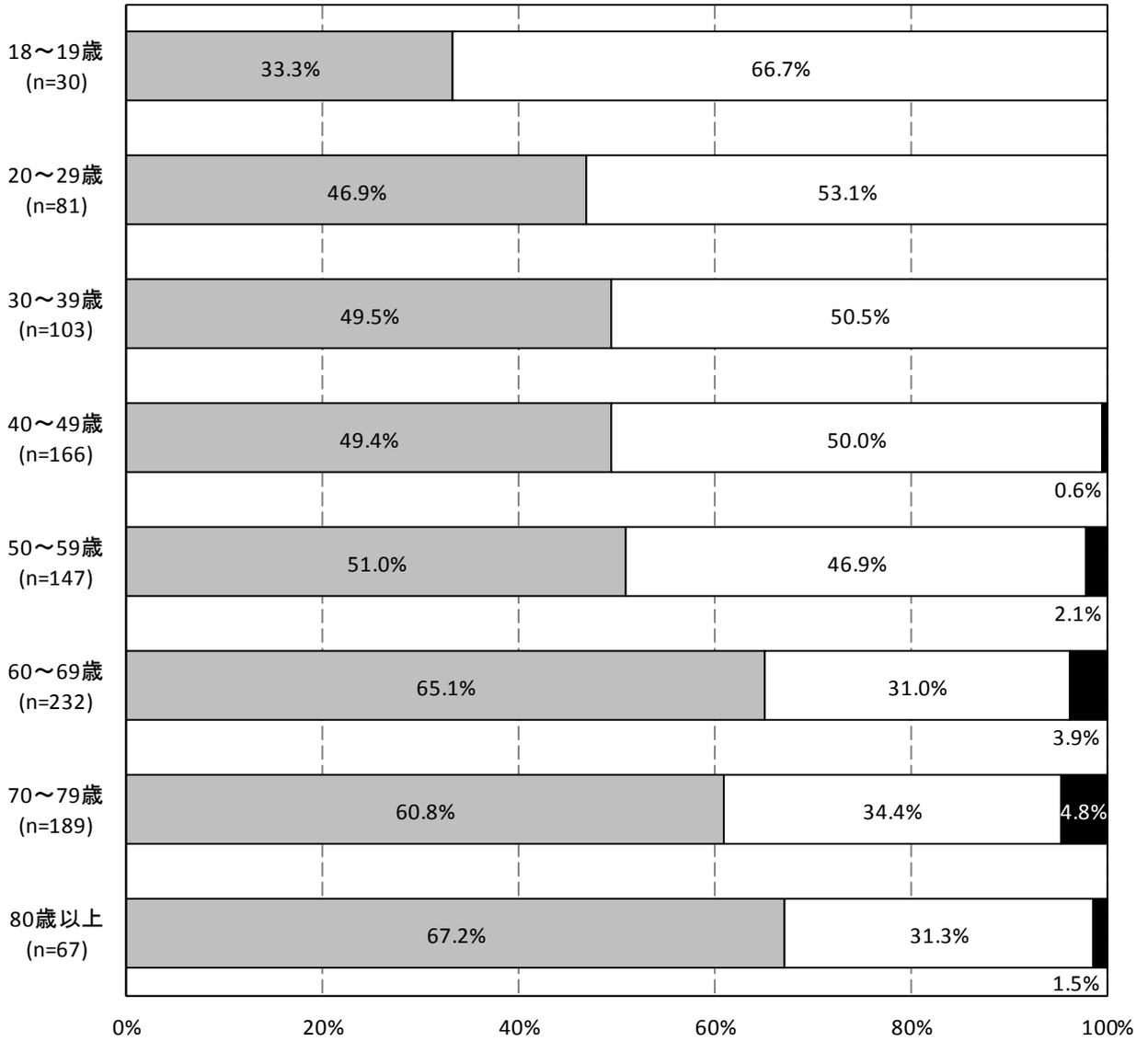


<男女別>



はい
 いいえ
 不明

<年代別>



問 46 喫煙状況

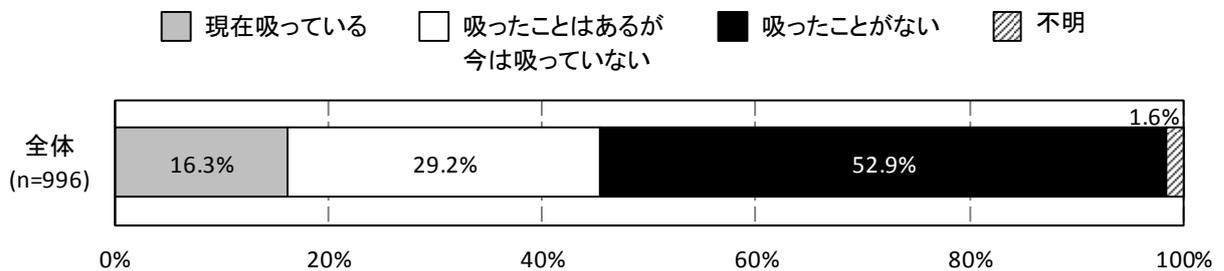
問 46 あなたは、タバコを吸っていますか？（20歳以上の方のみお答えください。）

- 1. 現在吸っている
- 2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
- 3. 吸ったことがない

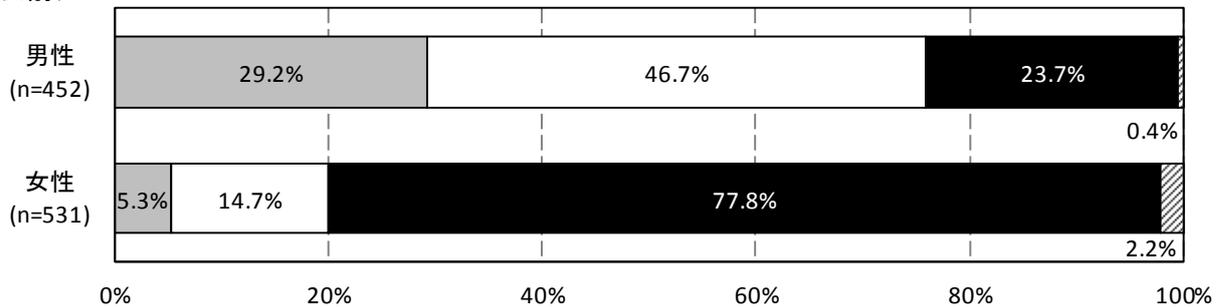
喫煙状況は、「現在吸っている」が16.3%、「吸ったことはあるが今は吸っていない」が29.2%、「吸ったことがない」が52.9%となっている。

性別にみると、「現在吸っている」は男性（29.2%）が女性（5.3%）を23.9ポイント上回っている。

年代別にみると、「現在吸っている」は30～39歳で20.4%と最も多く、次いで60～69歳（19.4%）、50～59歳（19.1%）の順となっている。

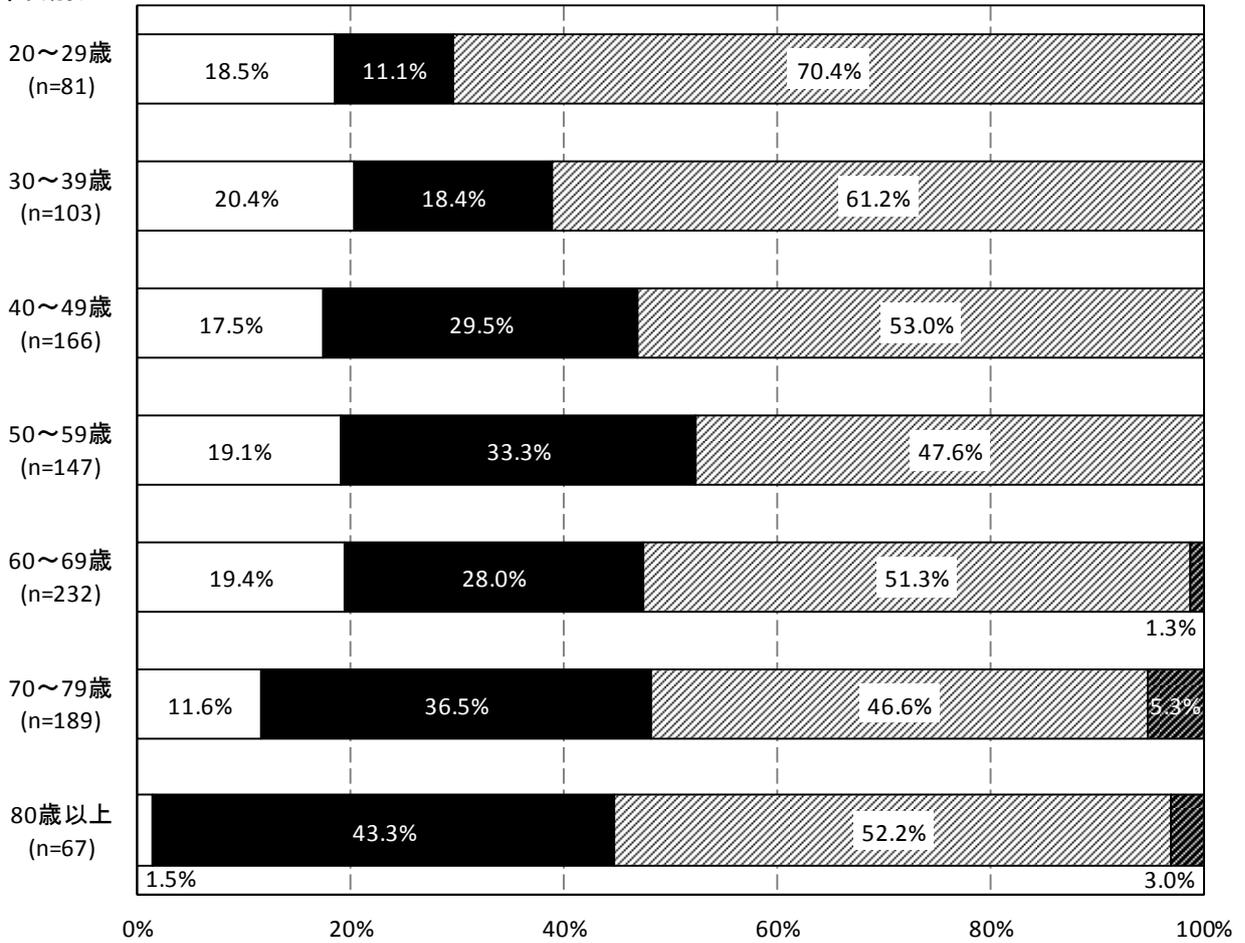


<男女別>



現在吸っている
 吸ったことはあるが今は吸っていない
 吸ったことがない
 不明

<年代別>



問 46-1 喫煙本数と期間

問 46-1 問 46 で「1. 現在吸っている」「2. 吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答された方のみお答えください

- ・「一日の平均喫煙本数」は何本ですか () 本
- ・「喫煙期間」は何年ですか () 年

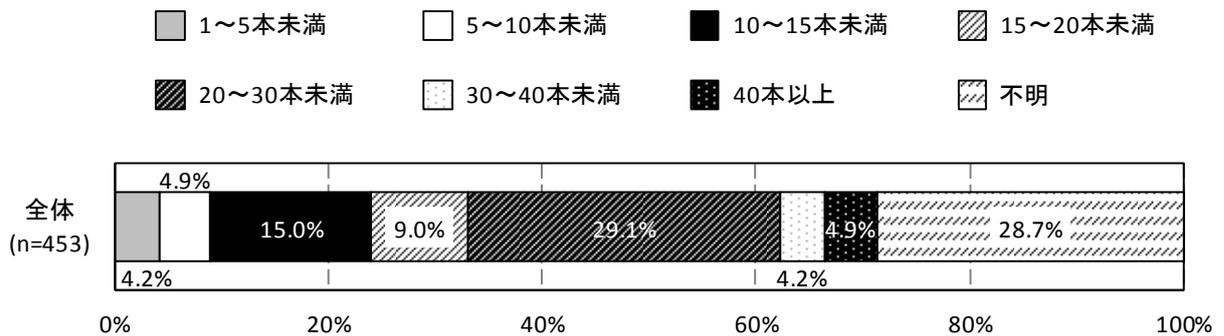
問46で「1. 現在吸っている」「2. 吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答された453人について、喫煙本数の「不明」(28.7%)を除くと、「20～30本未満」が29.1%と最も多く、次いで「10～15本未満」(15.0%)、「15～20本未満」(9.0%)の順となっている。

性別にみると、男性は「20～30本未満」が32.7%と最も多く、女性は「10～15本未満」が22.7%と最も多くなっている。

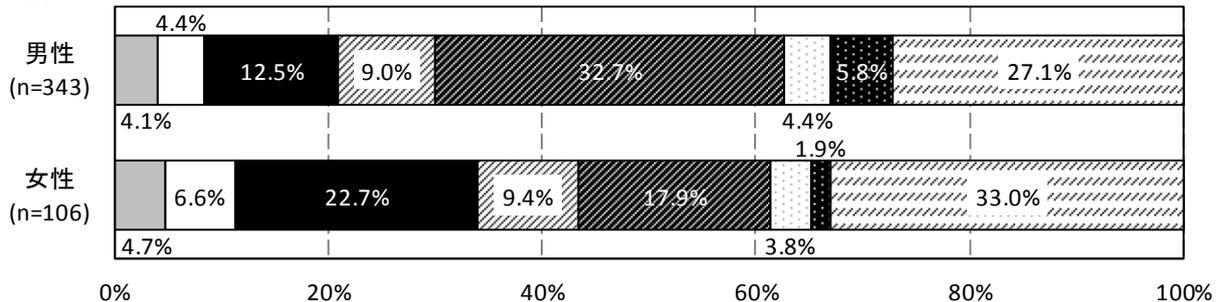
喫煙期間は、「40年以上」が19.9%と最も多く、次いで「20～30年未満」(19.4%)、「30～40年未満」(13.7%)の順となっている。

性別にみると、男性は「40年以上」が24.8%と最も多く、女性は「5～10年未満」が21.7%と最も多くなっている。

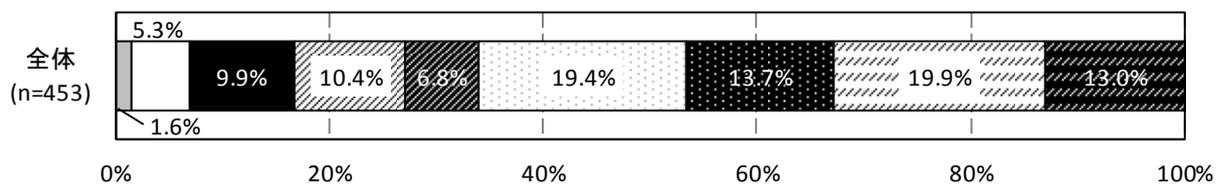
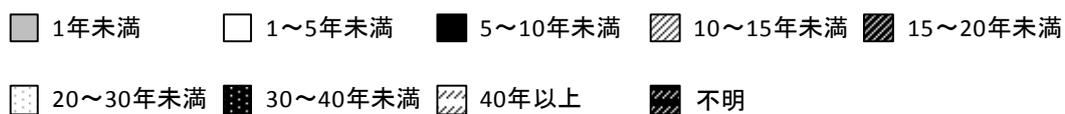
【一日の平均喫煙本数】



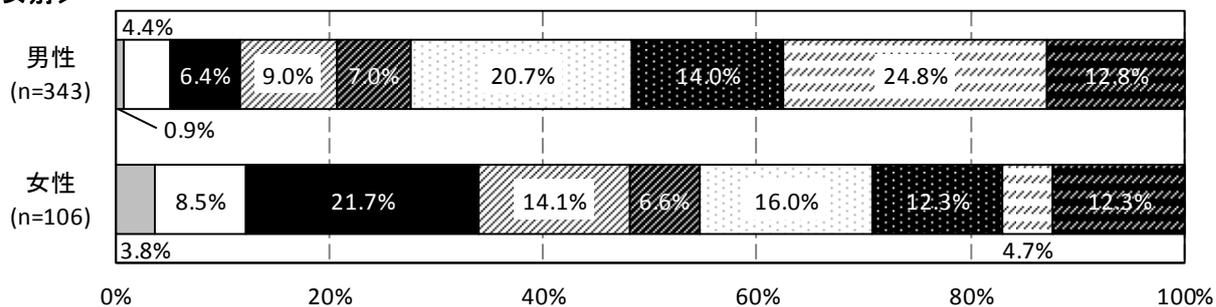
<男女別>



【喫煙期間】



<男女別>



問 46-2 禁煙への意欲

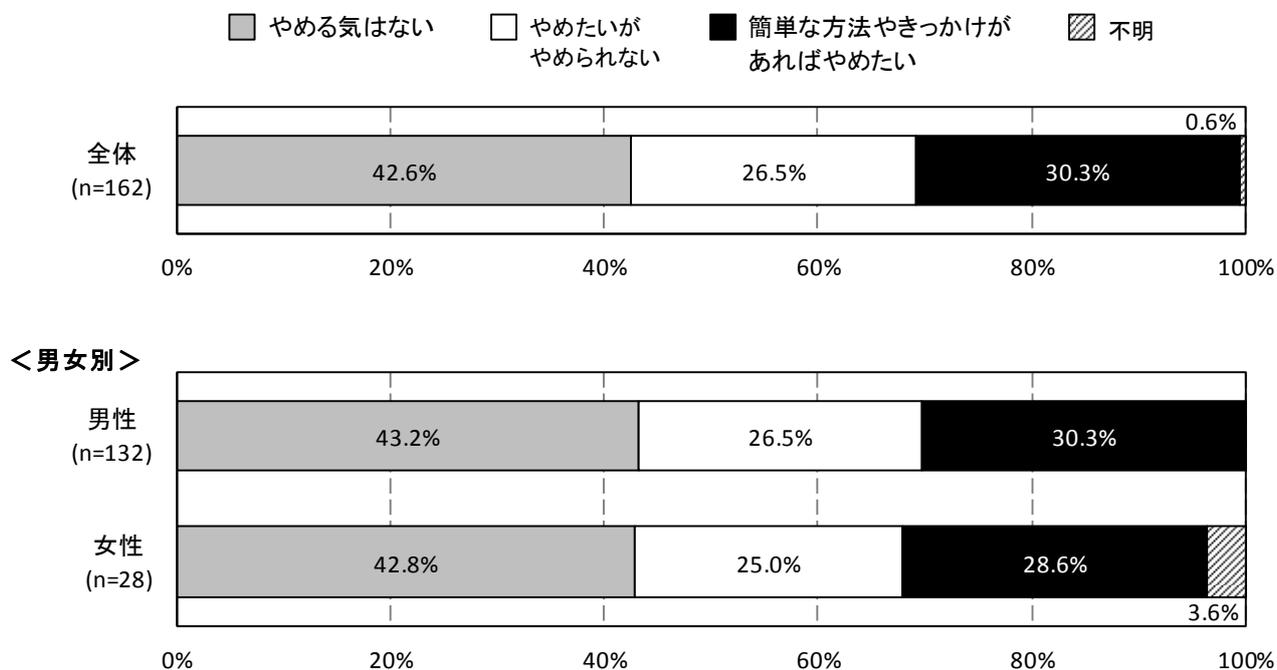
問 46-2 問 46 で「1. 現在吸っている」と回答された方のみお答えください。あてはまるものを1つお選びください。

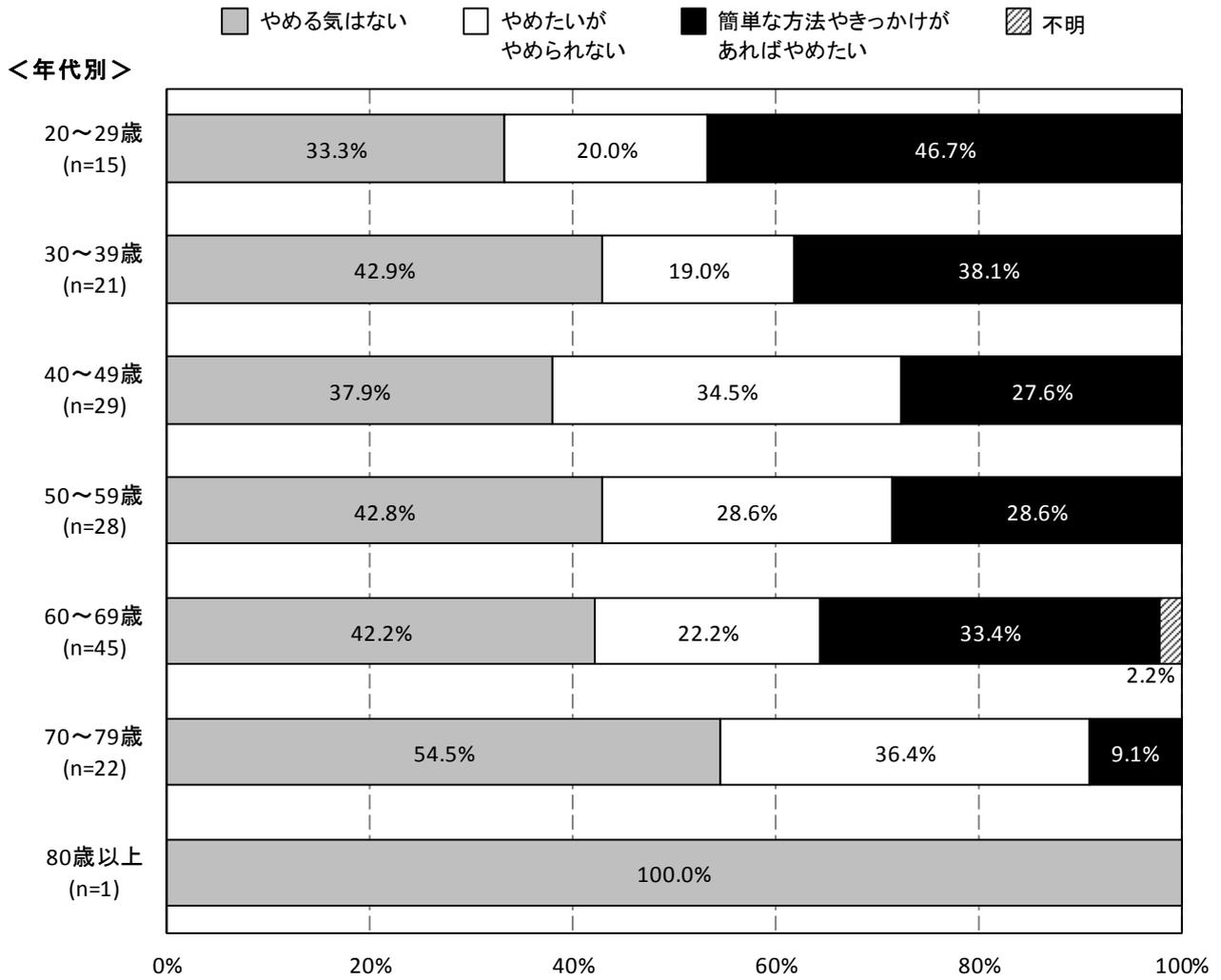
1. やめる気はない
2. やめたいがやめられない
3. 簡単な方法やきっかけがあればやめたい

問 46 で「1. 現在吸っている」と回答した 162 人について、「やめる気はない」が 42.6%と最も多く、次いで「簡単な方法やきっかけがあればやめたい」(30.3%)、「やめたいがやめられない」(26.5%)の順となっている。

性別にみると、男女で大きな違いはみられない。

年代別にみると、年齢が低いほど「きっかけがあればやめたい」と思っている比率が高くなっている。





問 47 がん検診の受診状況

問 47 あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん等のいずれか）を受けていますか？あてはまるものを1つお選びください。

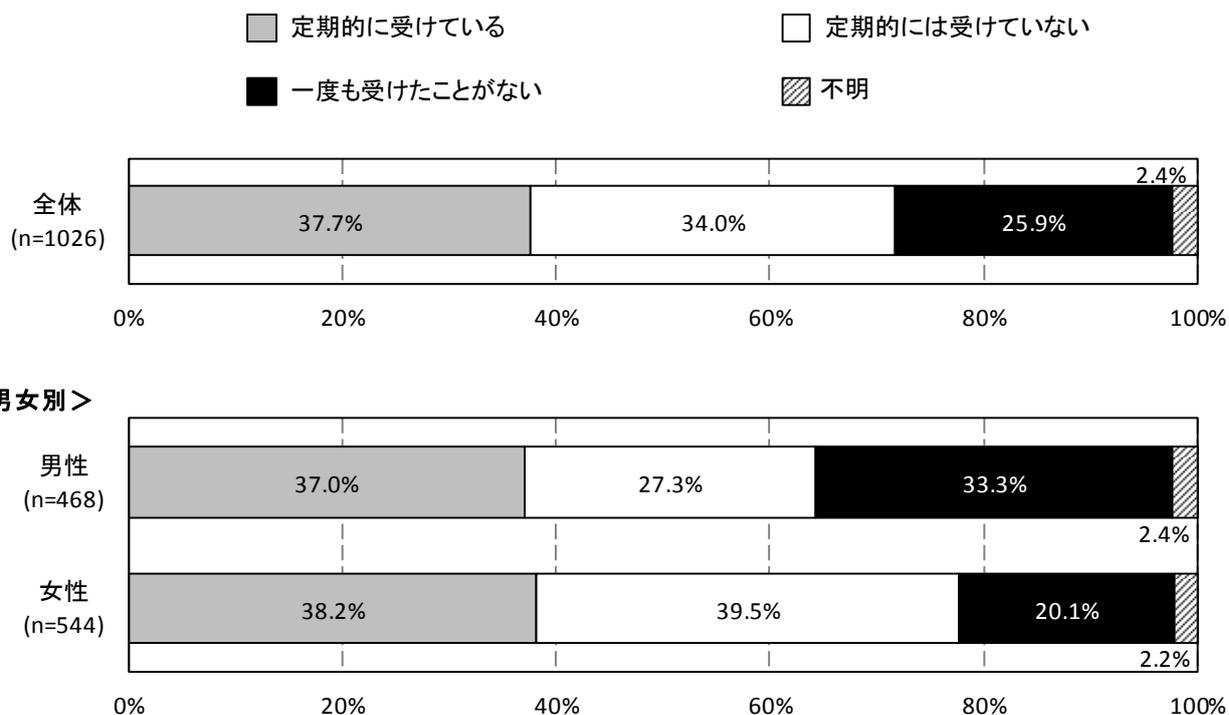
1. 定期的に受けている
2. 定期的には受けていない
3. 一度も受けたことがない

※定期的な検診とは、「肺がん・大腸がん」は1年に1回、「胃がん・子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

がん検診の受診状況は、「定期的に受けている」が37.7%、「定期的には受けていない」が34.0%、「一度も受けたことがない」が25.9%となっている。

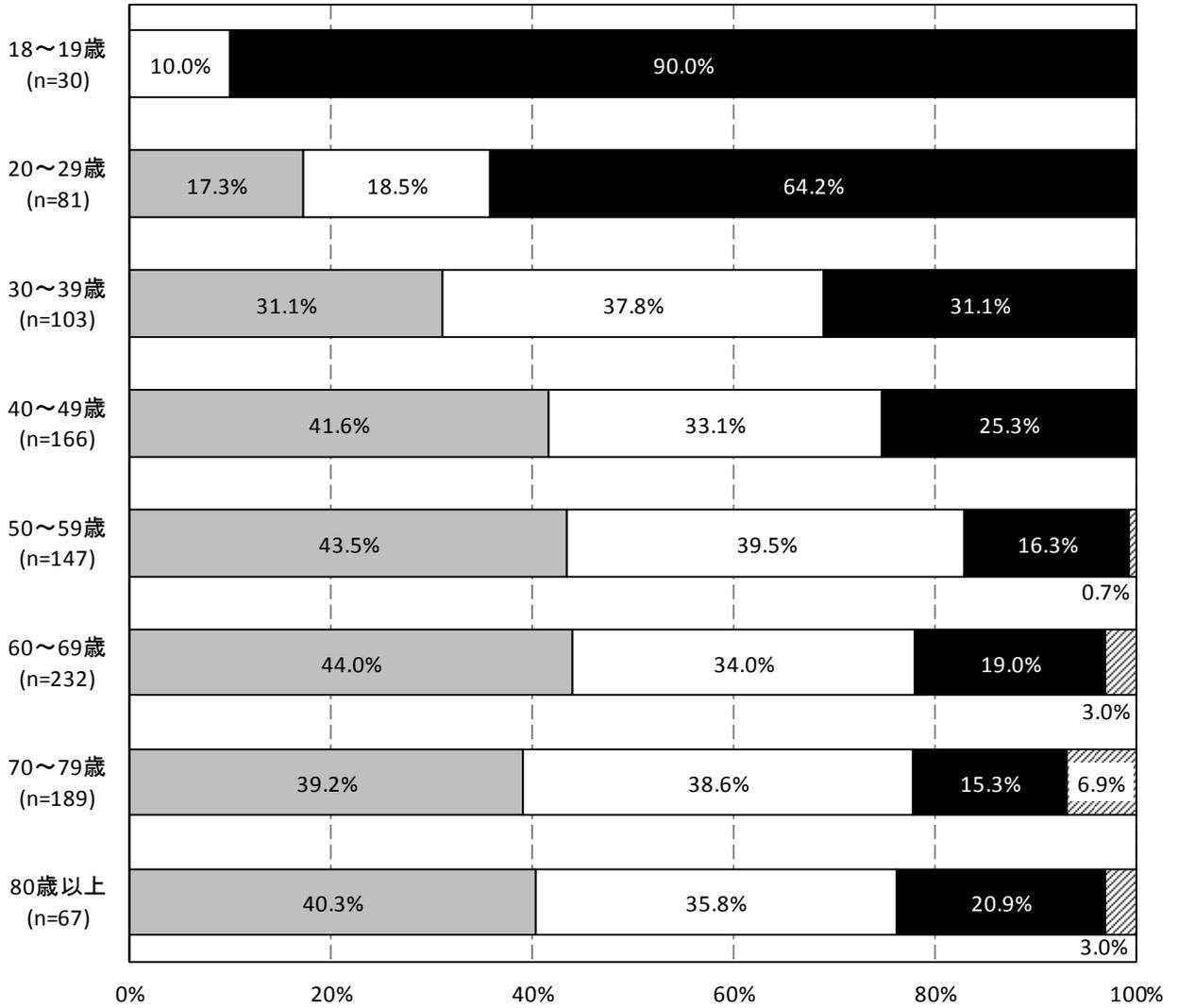
性別にみると、「一度も受けたことがない」が女性（20.1%）より男性（33.3%）が13.2ポイント上回っている。

年代別にみると、「定期的に受けている」が30歳以上で30%を超えており、「定期的に受けている」が最も高いのは60～69歳（44.0%）となっている。





<年代別>

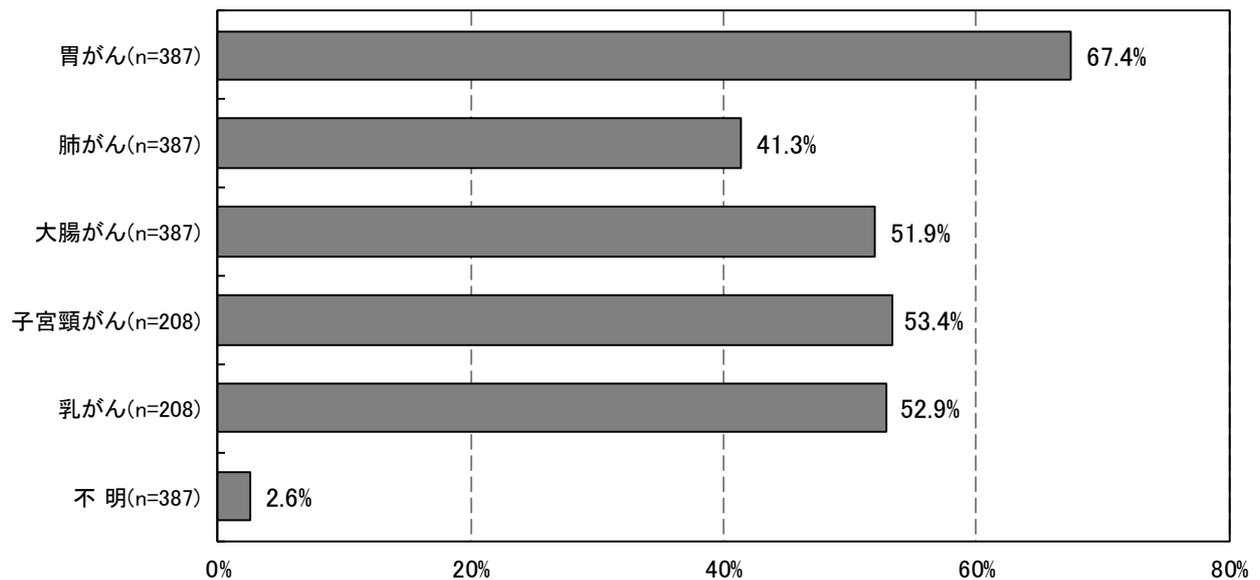


問 47-1 検診項目

問 47-1 問 47 で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。定期的に何の検診を受けていますか？あてはまるもの全てお選びください。

1. 胃がん 2. 肺がん 3. 大腸がん 4. 子宮頸がん 5. 乳がん

問 47 で「1. 定期的に受けている」と回答した 387 人について、受けている検診は、「胃がん」が 67.4% と最も多く、次いで「子宮頸がん」(53.4%)、「乳がん」(52.9%)、「大腸がん」(51.9%)、「肺がん」(41.3%) の順となっている。



注：子宮頸がん、乳がんについては女性のみを対象とする。

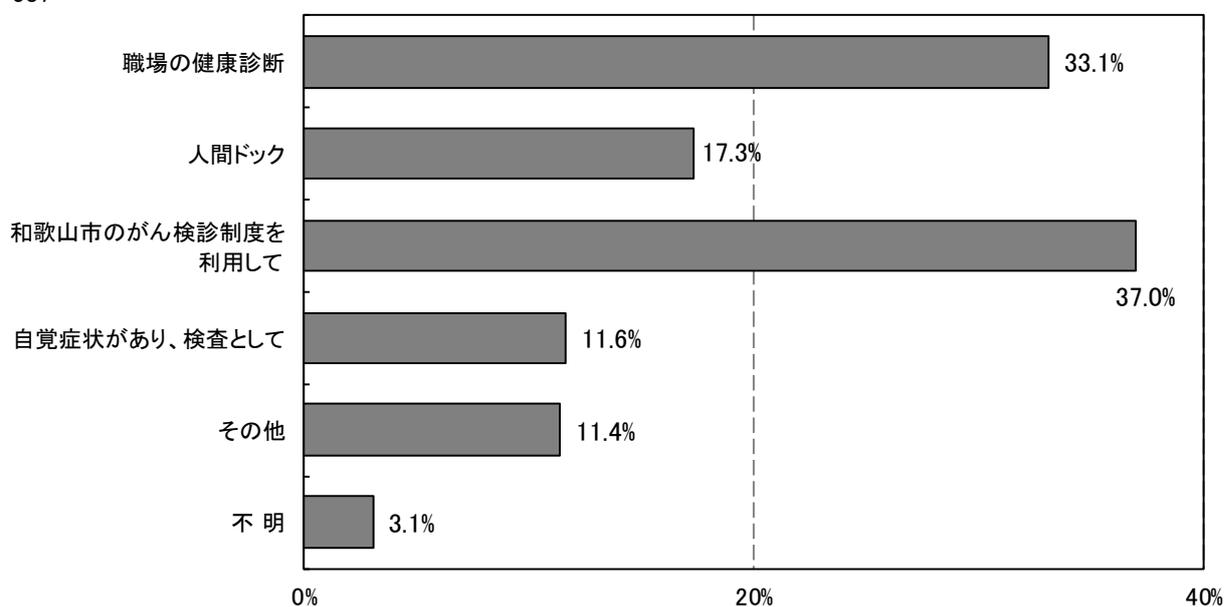
問 47-2 検診の利用状況

問 47-2 問 47 で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。受診したがん検診は、つぎのどれに該当しますか？

1. 職場の健康診断
2. 人間ドック
3. 和歌山市のがん検診制度を利用して
4. 自覚症状があり、検査として
5. その他 ()

問 47 で「1. 定期的に受けている」と回答した 387 人について、受診した検診は、「和歌山市のがん検診制度を利用して」が 37.0%と最も多く、次いで「職場の健康診断」(33.1%)、「人間ドック」(17.3%)の順となっている。

n=387



その他：「個人検診」、「病後の定期健診」、「他の制度を利用」など

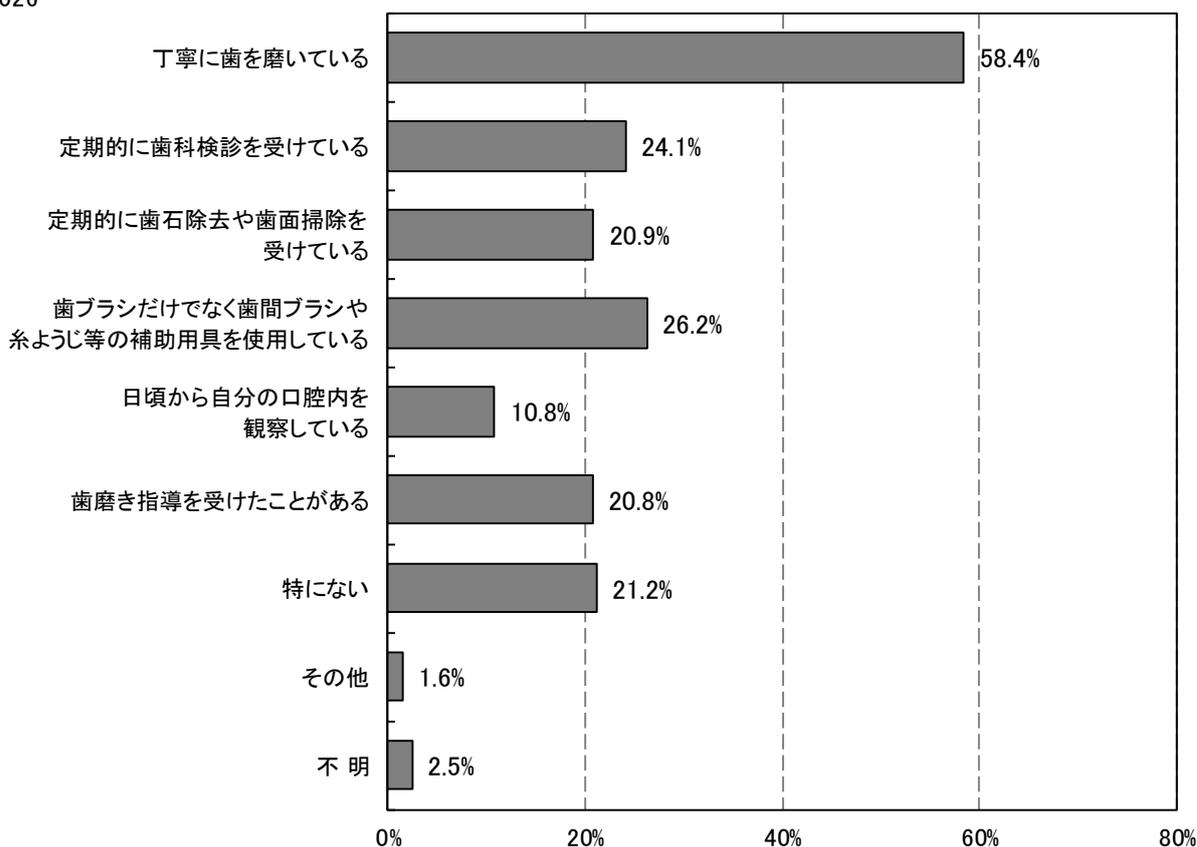
問 48 お口の健康について

問 48 あなたは、お口の健康について気をつけていることがありますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 丁寧に歯を磨いている
2. 定期的に歯科検診を受けている
3. 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている
4. 歯ブラシだけでなく歯間ブラシや糸ようじ等の補助用具を使用している
5. 日頃から自分の口腔内を観察している
6. 歯磨き指導を受けたことがある
7. 特にない
8. その他 ()

お口の健康について気をつけていることは、「丁寧に歯を磨いている」が58.4%と最も多く、次いで、「歯ブラシだけでなく歯間ブラシや糸ようじ等の補助用具を使用している」(26.2%)、「定期的に歯科検診を受けている」(24.1%)の順となっている。

n=1026



その他：「口内洗浄」、「歯科推奨の歯ブラシを使用」、「薬用歯磨き粉を使用」など

12. 食育について

問49 食育への関心

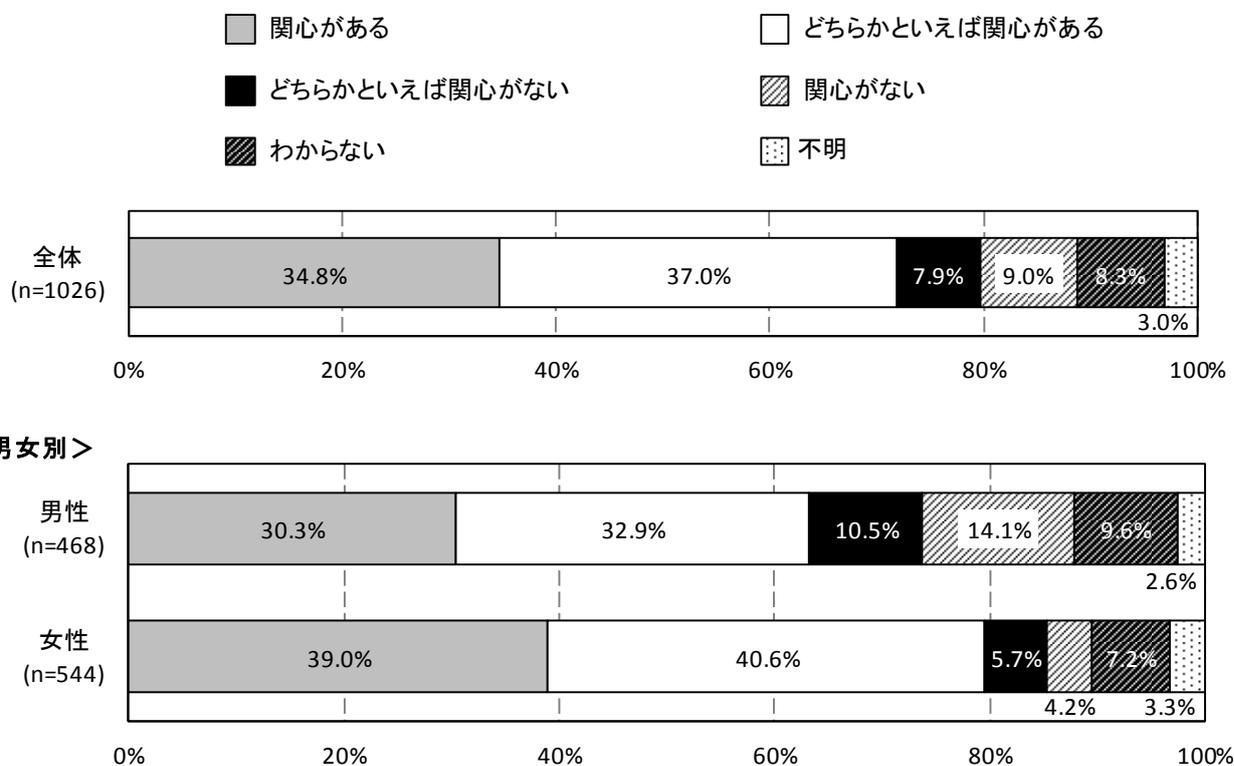
問49 あなたは「食育」に関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 関心がある | 4. 関心がない |
| 2. どちらかといえば関心がある | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば関心がない | |

食育への関心について、「関心がある」(34.8%)と「どちらかといえば関心がある」(37.0%)をあわせた71.8%は関心があり、「どちらかといえば関心がない」(7.9%)と「関心がない」(9.0%)をあわせた16.9%は関心がないとなっている。「わからない」は8.3%となっている。

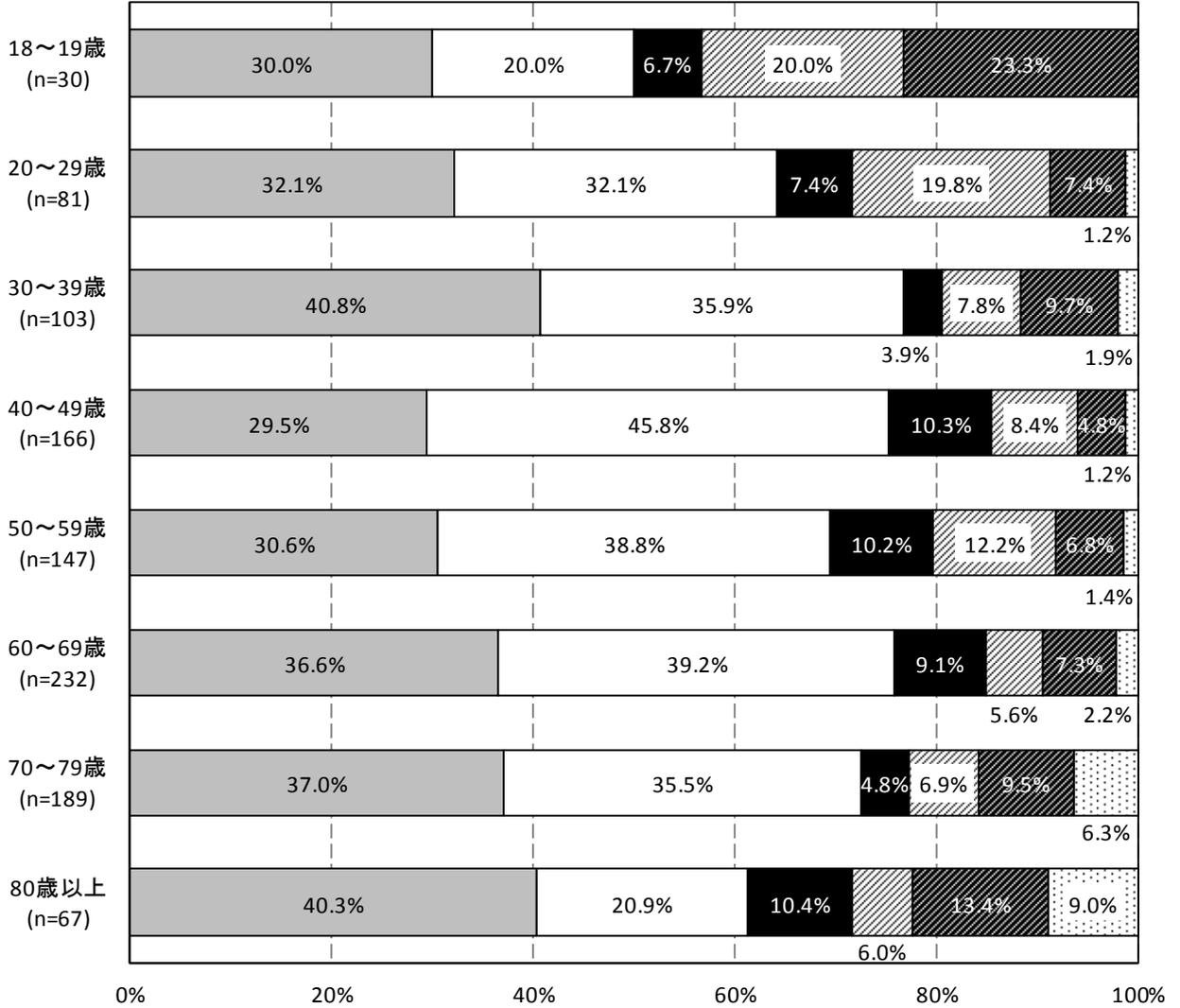
性別にみると、男女とも関心がある比率は60%を超えている。

年代別にみると、いずれの年代も関心がある比率が半数を超えており、30~39歳で76.7%と最も高くなっている。





<年代別>

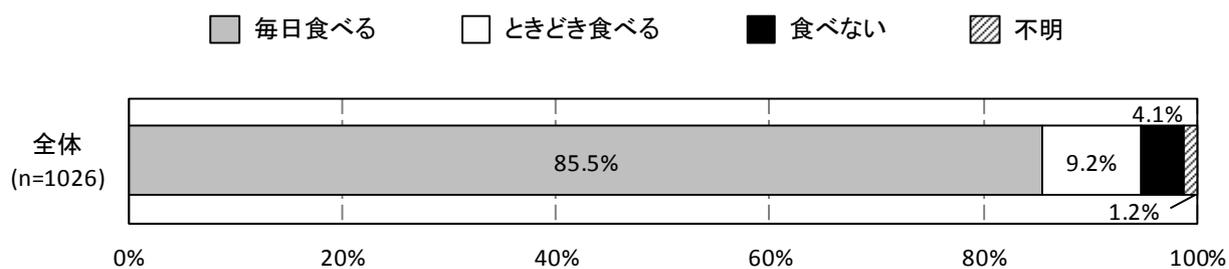


問 50 朝食の習慣

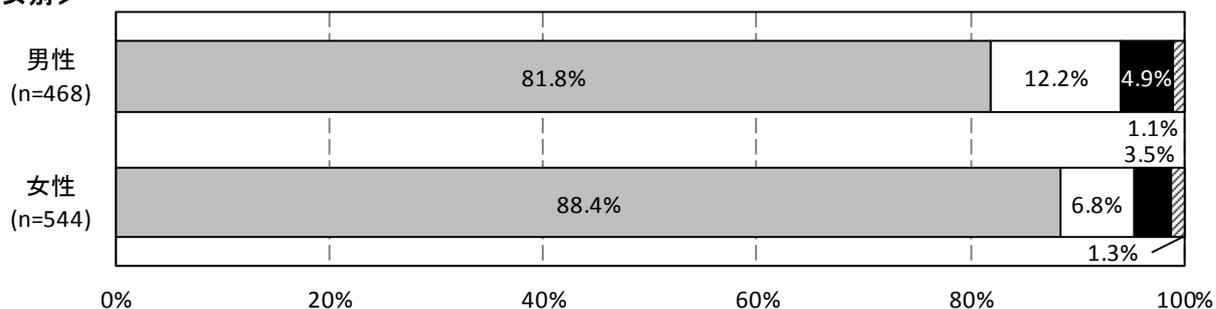
問 50 あなたは朝食を毎日食べますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 毎日食べる 2. ときどき食べる 3. 食べない

朝食について、「毎日食べる」が85.5%、「時々食べる」が9.2%、「食べない」が4.1%となっている。性別にみると、「毎日食べる」が女性（88.4%）より男性（81.8%）が6.6ポイント低くなっている。年代別にみると、29歳以下で「毎日食べる」が70%を下回っている。

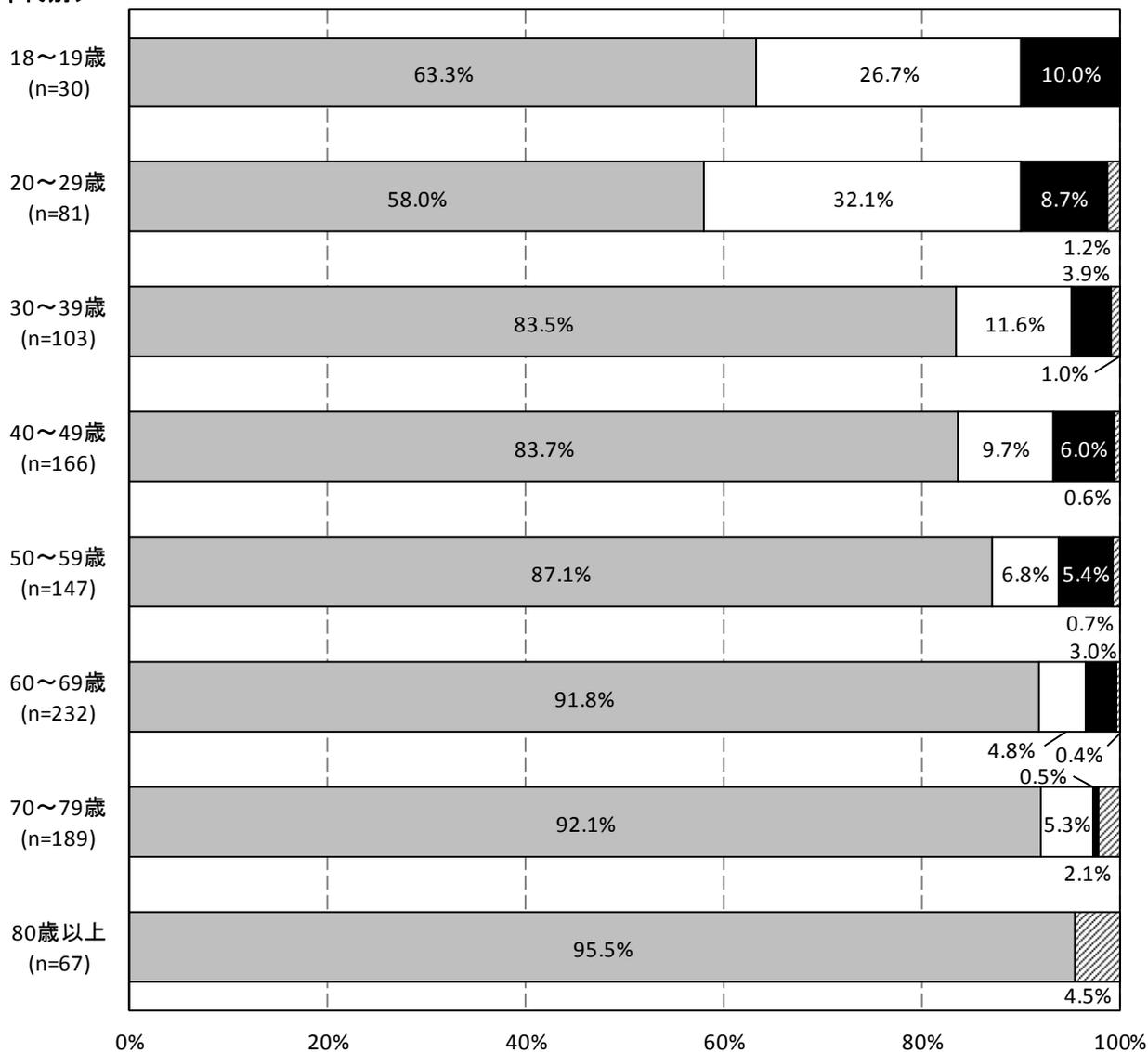


<男女別>



■ 毎日食べる □ ときどき食べる ■ 食べない ▨ 不明

<年代別>



問 51 規則正しく食べる習慣

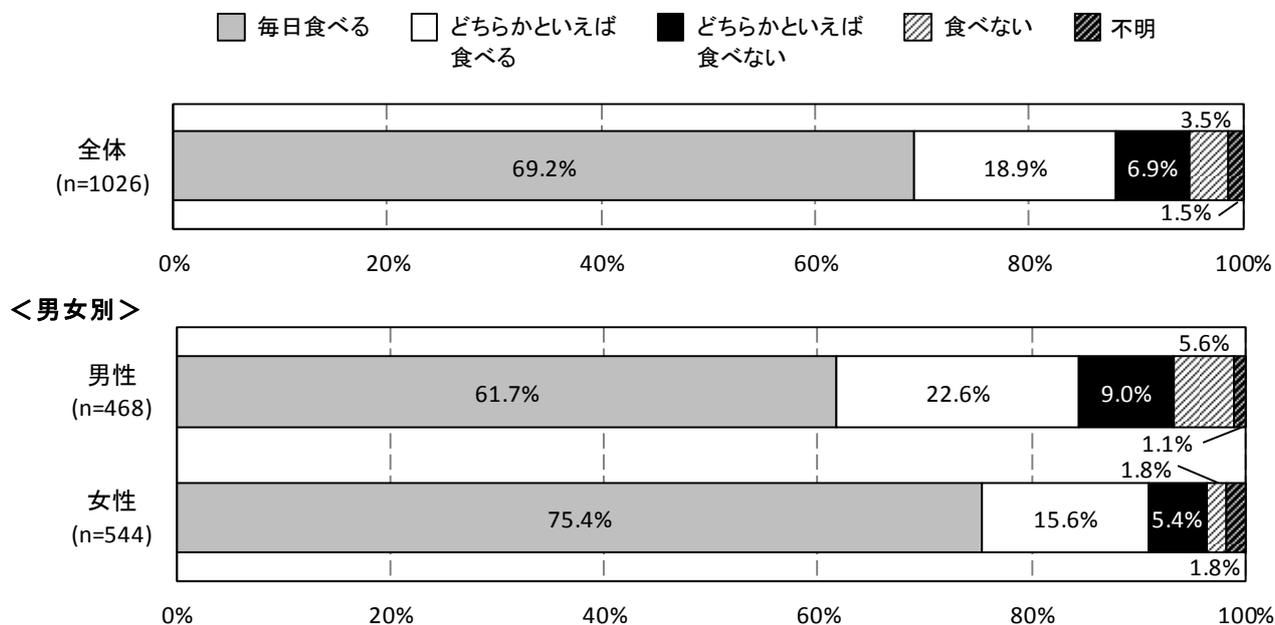
問 51 あなたは1日3食規則正しく食べますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 毎日食べる
2. どちらかといえば食べる
3. どちらかといえば食べない
4. 食べない

3食規則正しく食べる習慣について、「毎日食べる」(69.2%)と「どちらかといえば食べる」(18.9%)をあわせた88.1%が規則正しく食べており、「どちらかといえば食べない」(6.9%)と「食べない」(3.5%)をあわせた10.4%が食べないとなっている。

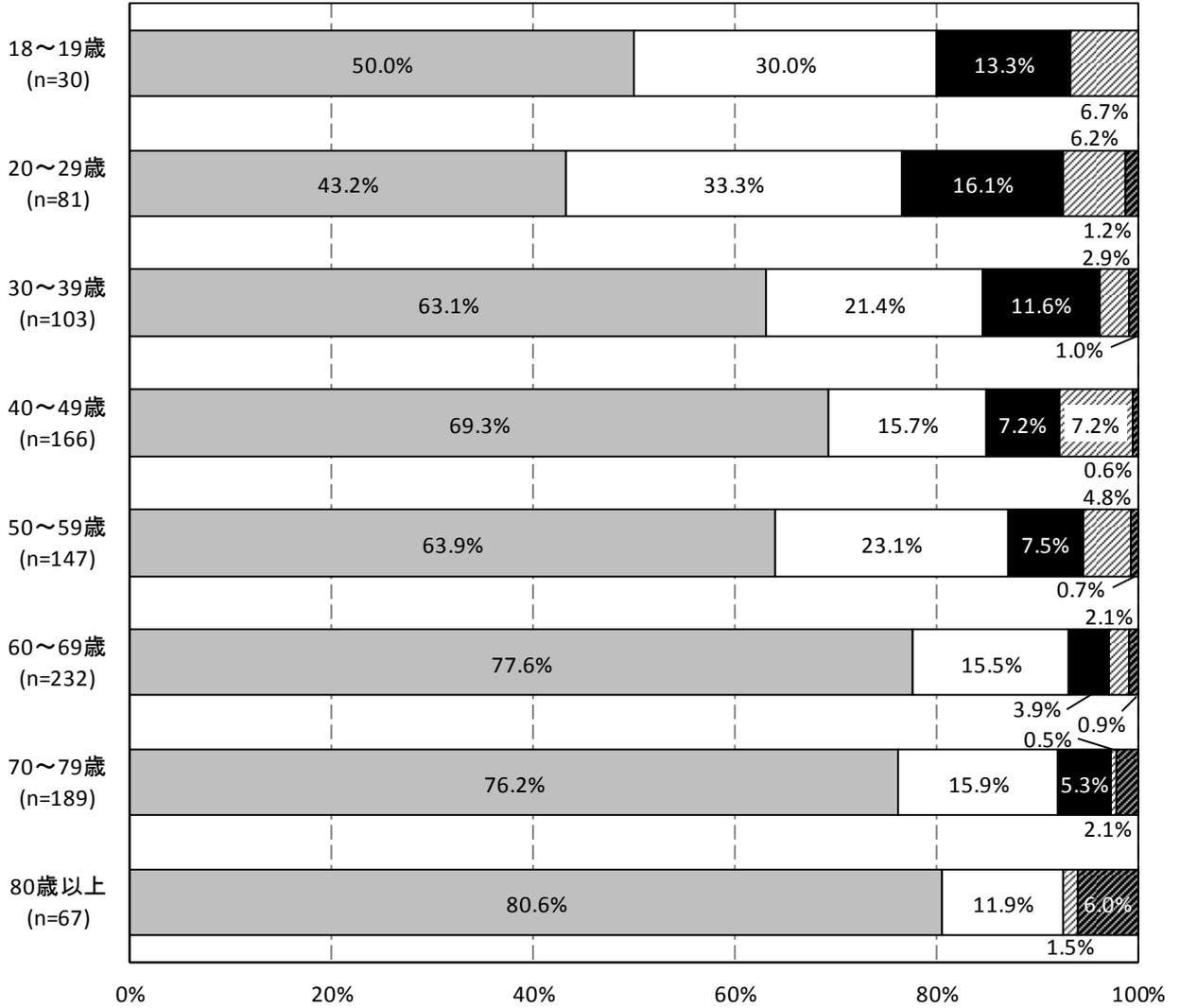
性別にみると、規則正しく食べている比率が女性(91.0%)より男性(84.3%)が6.7ポイント低くなっている。

年代別にみると、いずれの年代も規則正しく食べている比率が40%を超えているが、20~29歳で43.2%と最も低くなっている。



毎日食べる
 どちらかといえば食べる
 どちらかといえば食べない
 食べない
 不明

<年代別>

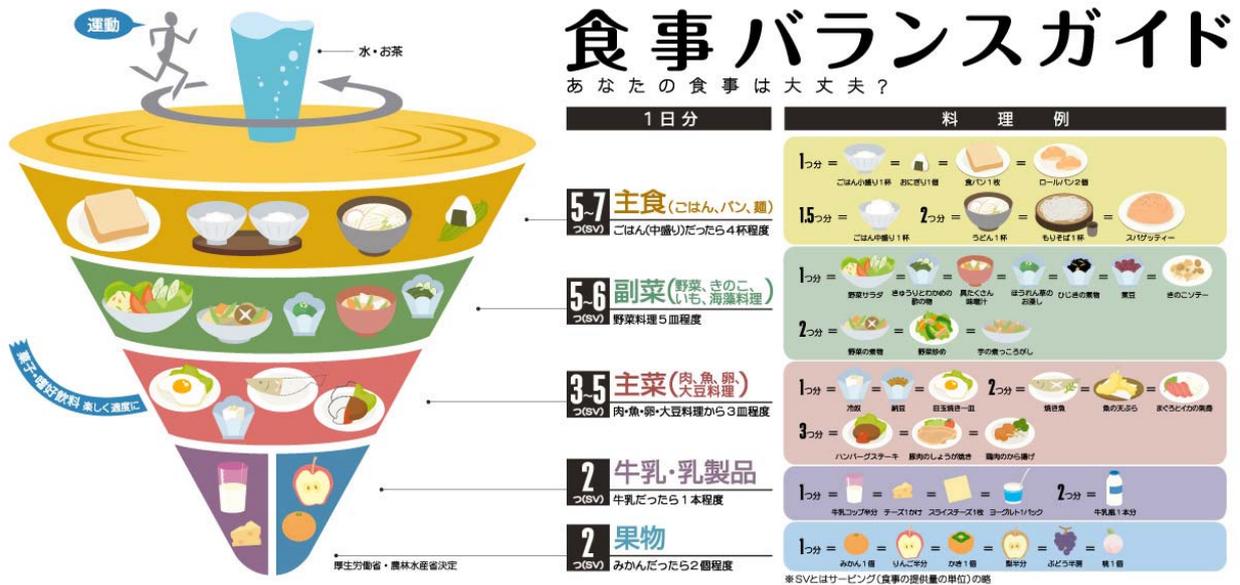


問 52 食事バランスガイドの認知度

問 52 あなたは下記に示した「食事バランスガイド」をみたことがありますか。

「食事バランスガイド」とは、食事の望ましい組み合わせとおおよその量をイラストで示したものです。

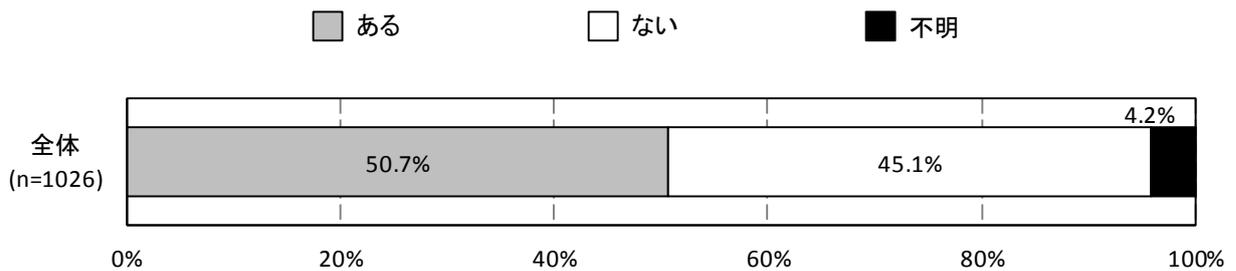
1. ある 2. ない



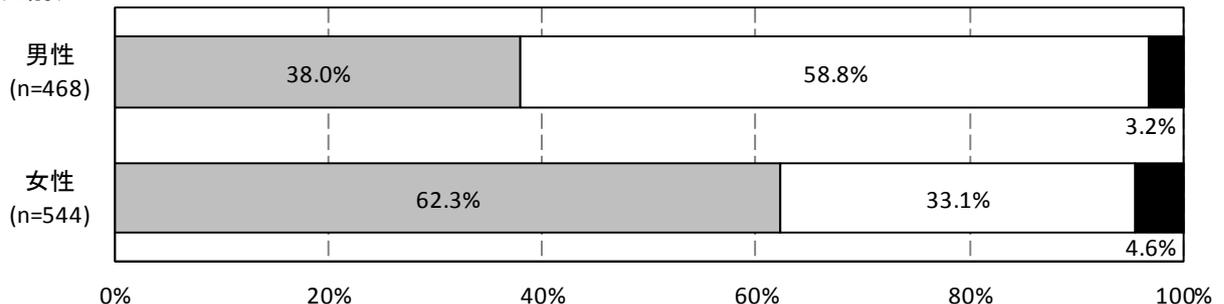
食事バランスガイドの認知度について、「見たことがある」は50.7%、「ない」は45.1%となっている。

性別にみると、女性は「ある」が62.3%に対し、男性は「ない」が58.8%となっている。

年代別にみると、概ね年齢が低いほど「ある」の比率が高くなっている。

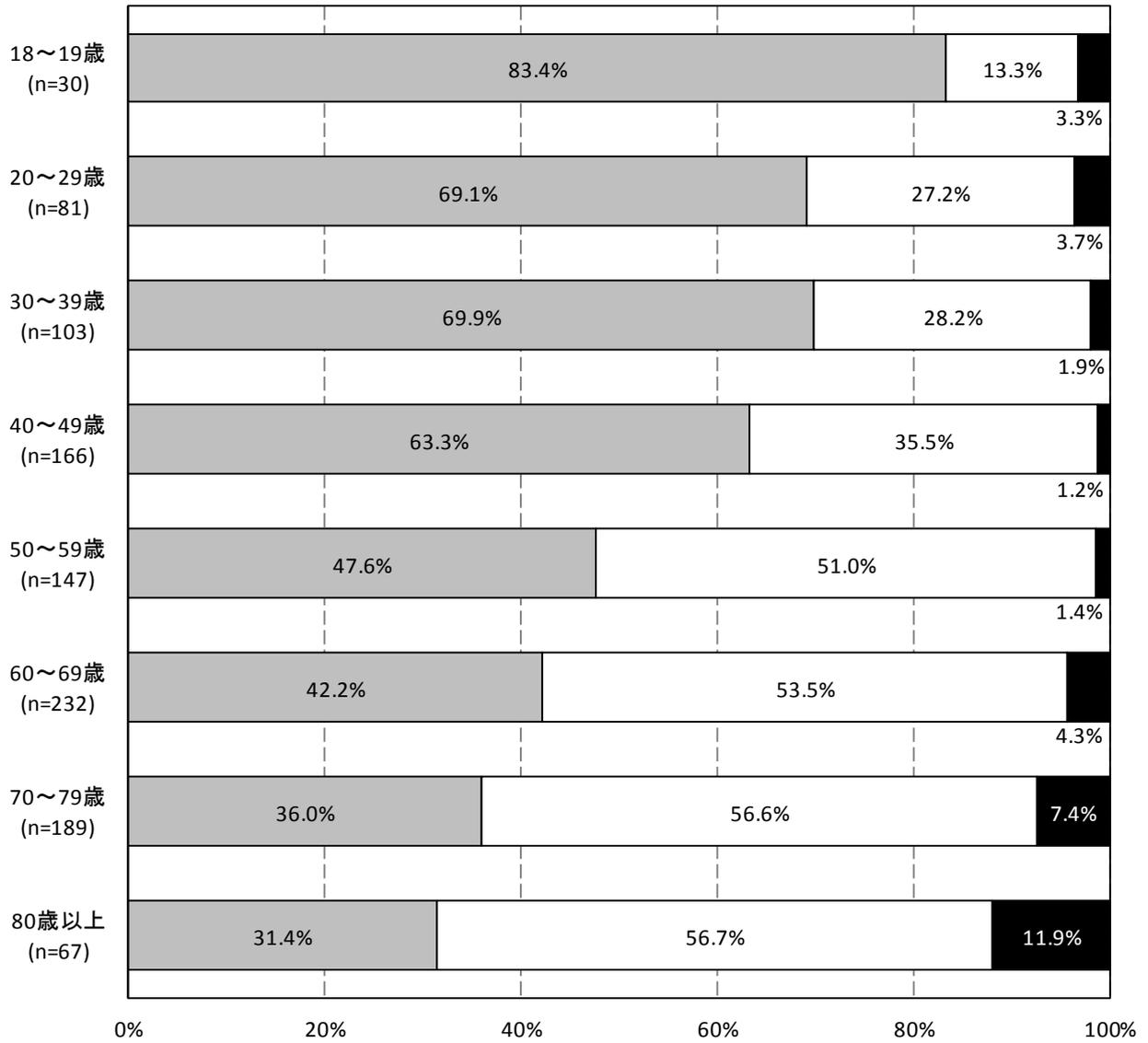


<男女別>



■ ある □ ない ■ 不明

<年代別>



問 52-1 「食事バランスガイド」を参考にした食生活の状況

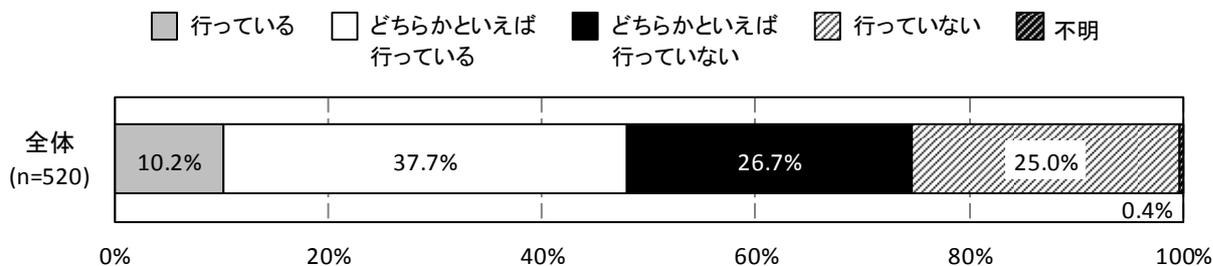
問 52-1 問 52 で「1. ある」と回答された方のみお答えください。あなたは「食事バランスガイド」を参考にして、食生活を行なっていますか。あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 行なっている
- 2. どちらかといえば行なっている
- 3. どちらかといえば行なっていない
- 4. 行なっていない

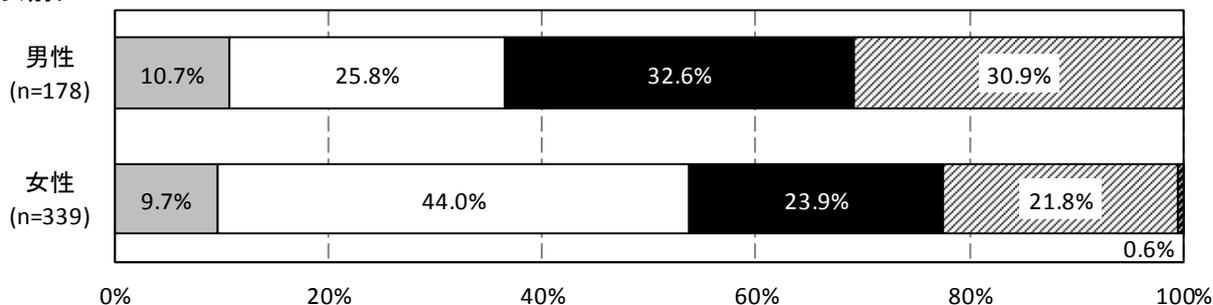
問 52 で「1. ある」と回答した 520 人について、食事バランスガイドを参考にした食生活は、「行っている」(10.2%)と「どちらかといえば行っている」(37.7%)をあわせた 47.9%が参考にした食生活を行っている。「どちらかといえば行っていない」(26.7%)と「行っていない」(25.0%)をあわせた 51.7%が行っていない。

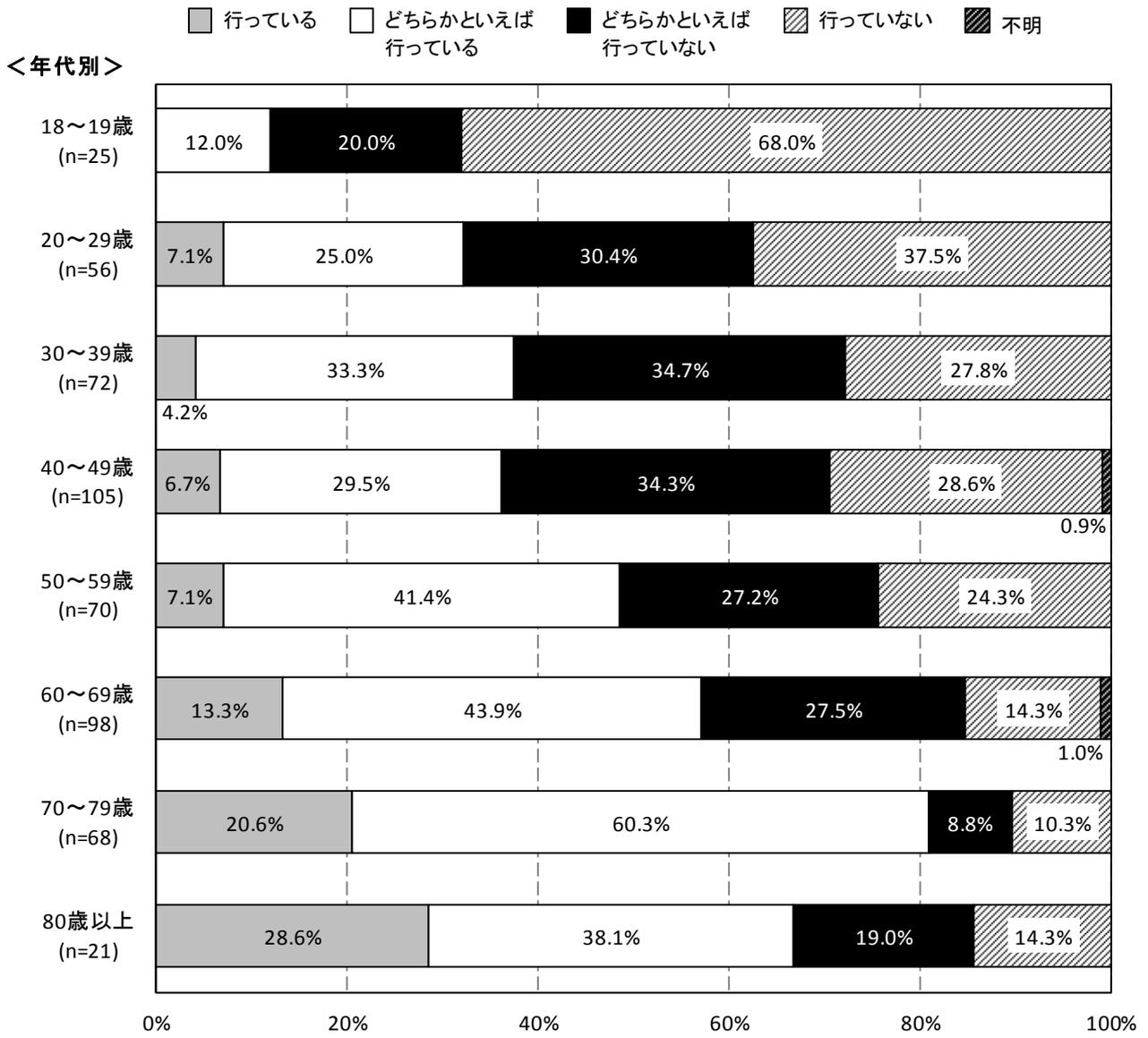
性別にみると、女性は行っている比率が 53.7%に対し、男性は行っていない比率が 63.5%と高くなっている。

年代別にみると、18～19 歳は行っていない比率が 68.0%と最も高くなっている。



<男女別>





問 53 農作業体験について

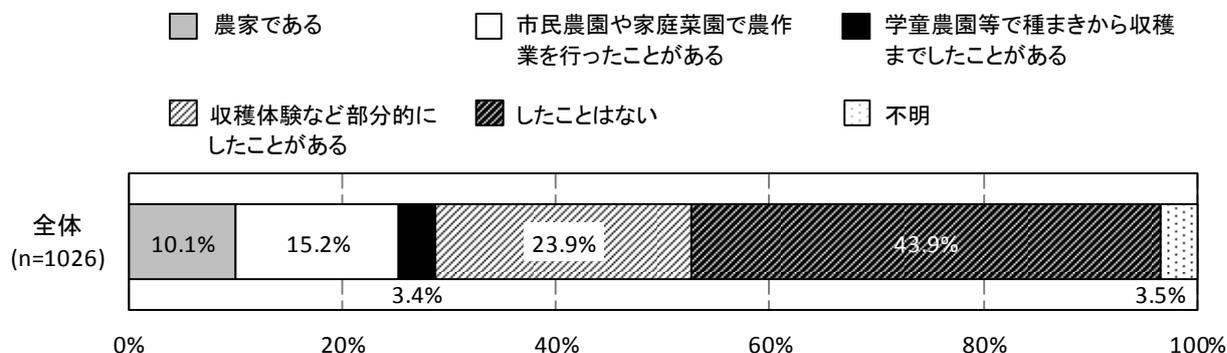
問 53 あなたは、農作業を体験したことがありますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 農家である
2. 市民農園や家庭菜園で農作業を行ったことがある
3. 学童農園等で種まきから収穫までしたことがある
4. 収穫体験など部分的にしたことがある
5. したことはない

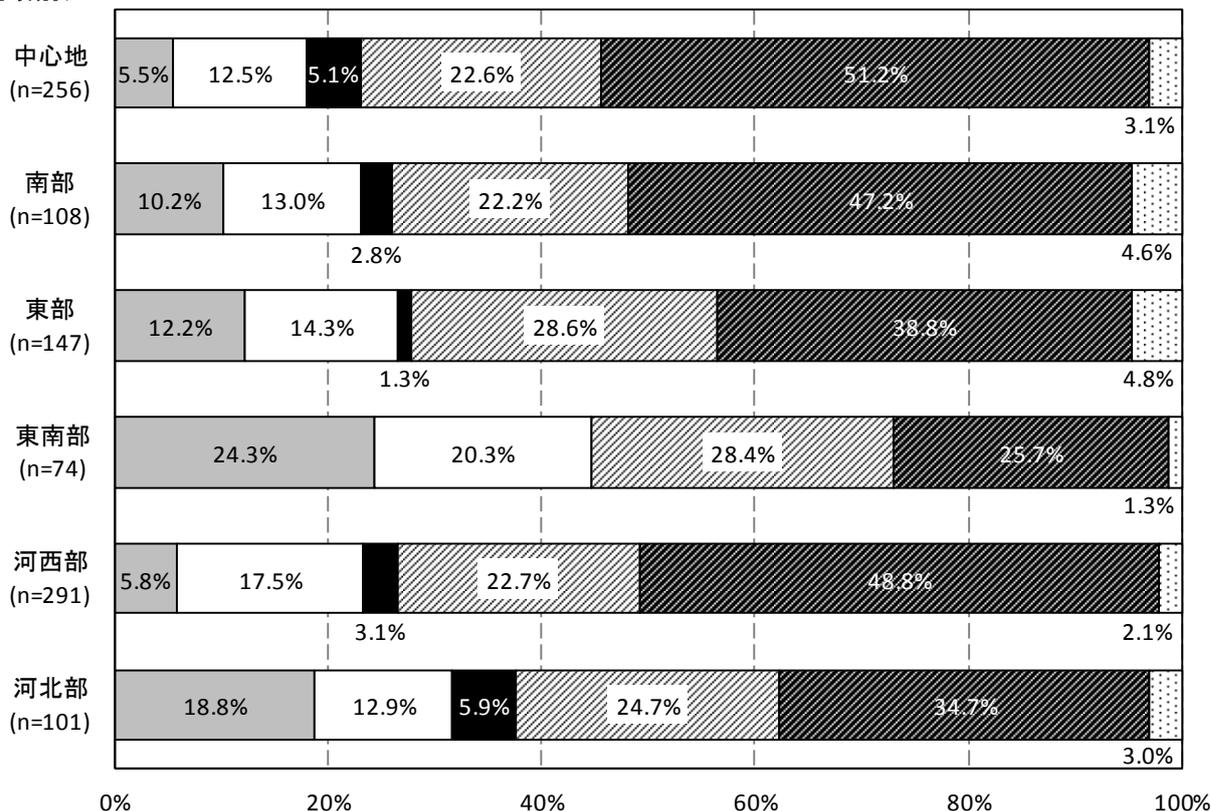
農作業を体験について、「したことはない」が43.9%と最も多く、次いで「収穫体験など部分的にしたことがある」(23.9%)、「市民農園や家庭菜園で農作業を行ったことがある」(15.2%)の順となっている。

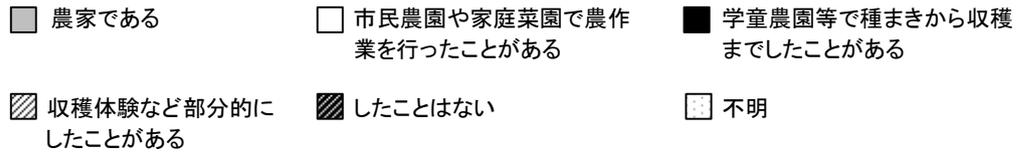
地域別にみると、「したことはない」が中心地で51.2%と最も多く、次いで河西部(48.8%)、南部(47.1%)の順となっている。

年代別にみると、40~79歳は「したことはない」が40%を超えている。

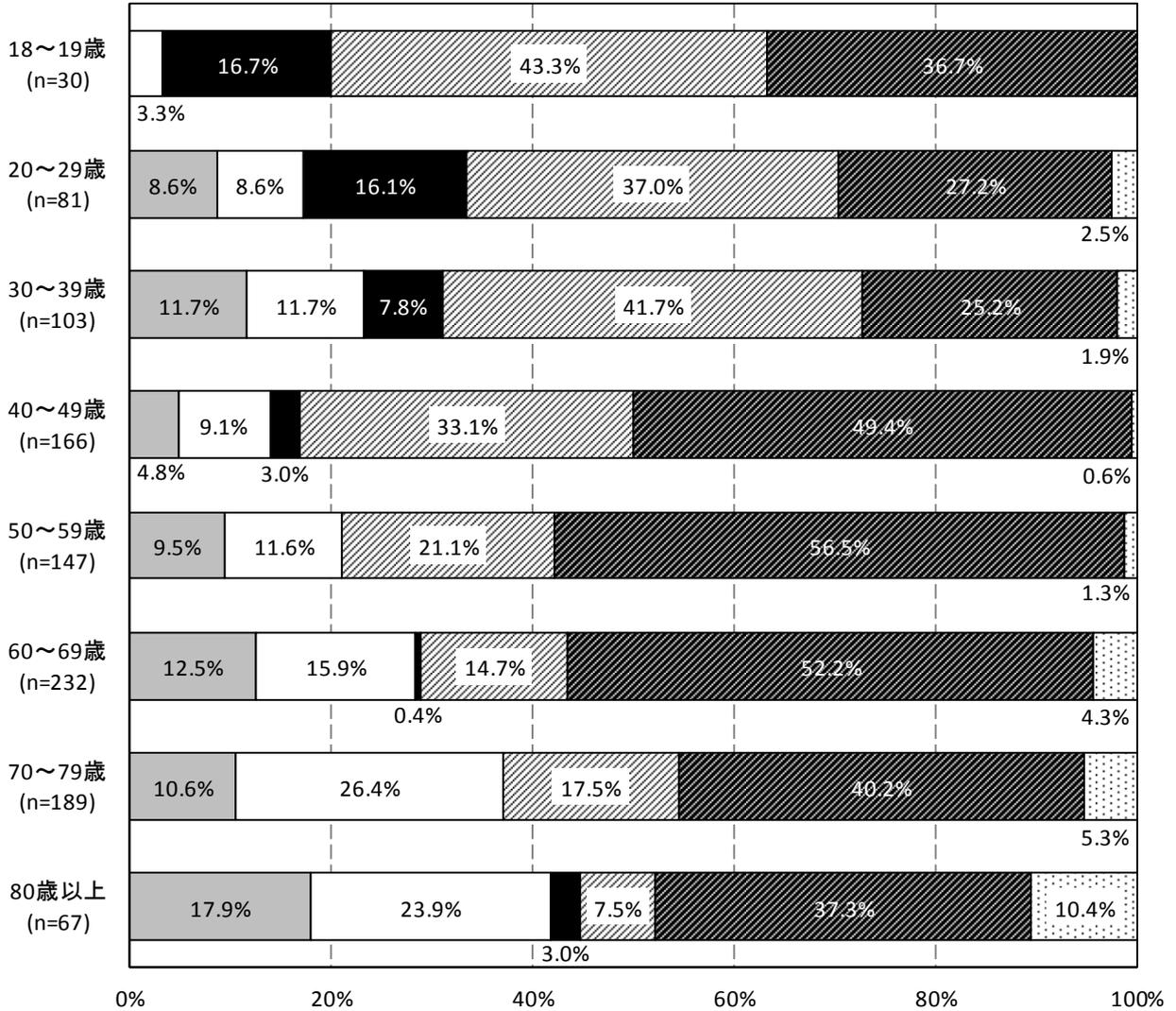


<地域別>





<年代別>



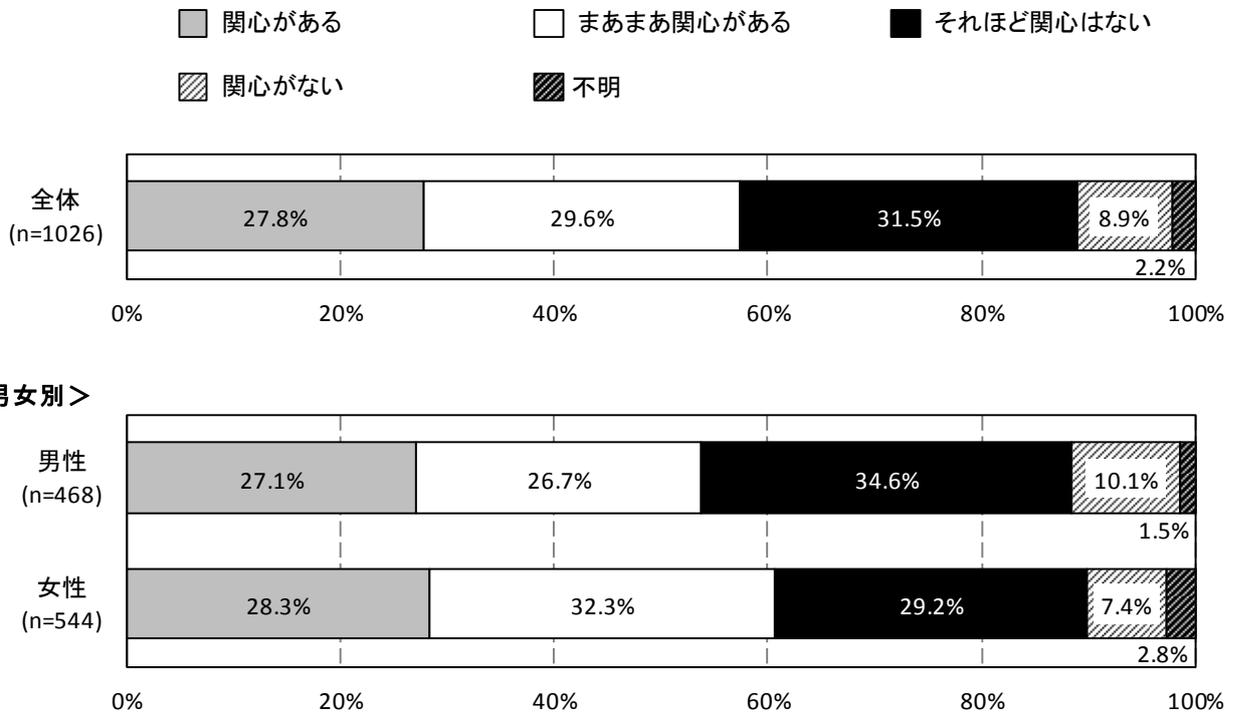
問 54 食文化や伝統文化への関心

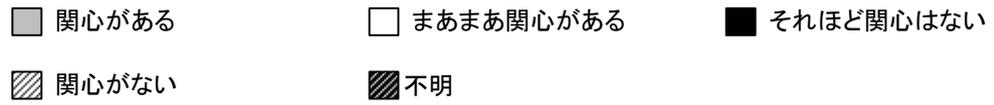
問 54 あなたは、食文化や伝統料理について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 関心がある
- 2. まあまあ関心がある
- 3. それほど関心はない
- 4. 関心はない

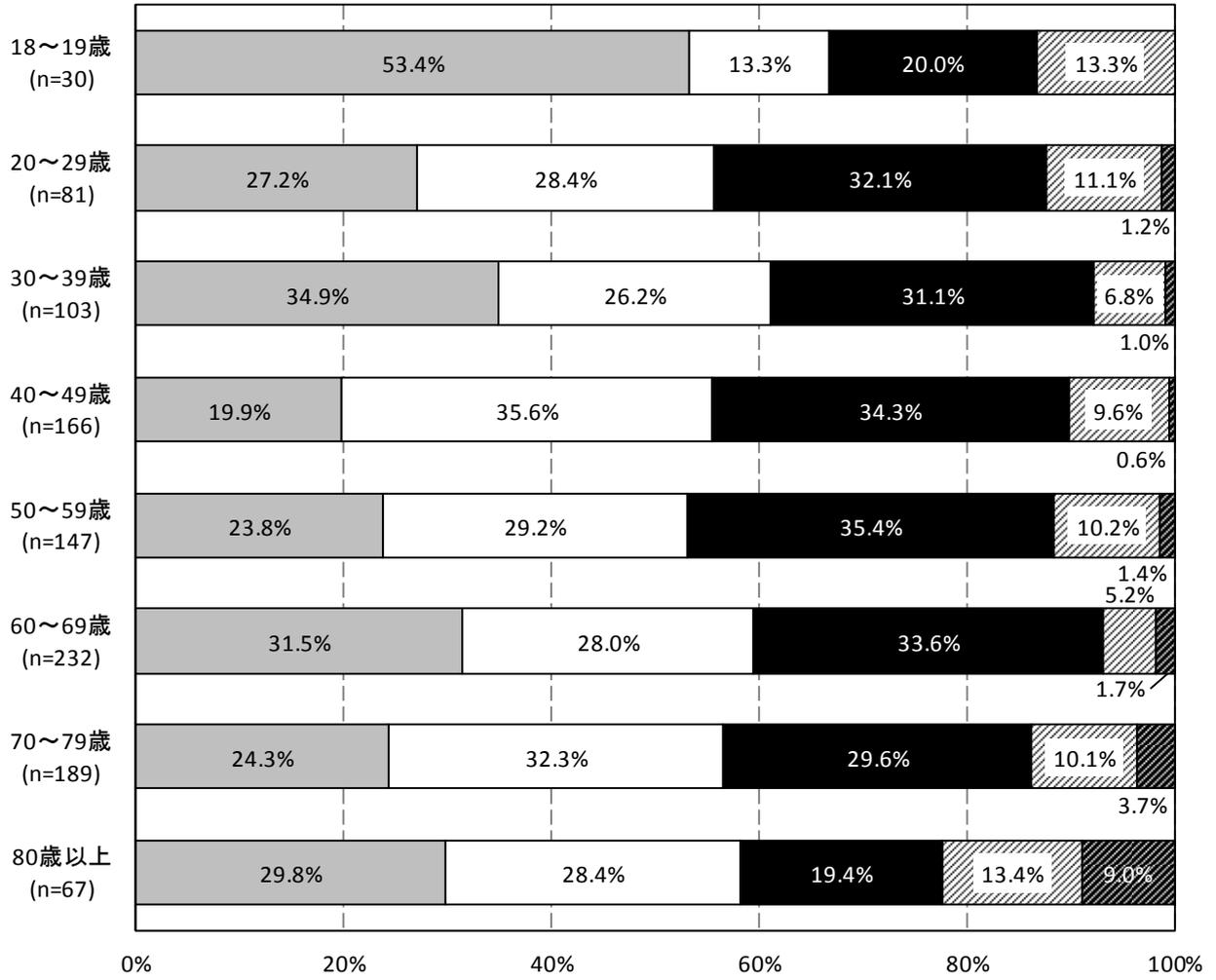
食文化や伝統文化への関心について、「関心がある」(27.8%)と「まあまあ関心がある」(29.6%)をあわせた57.4%は関心があるとされている。「それほど関心はない」(31.5%)と「関心はない」(8.9%)をあわせた40.4%は関心がないとされている。

性別にみると、関心がある比率は、女性(60.6%)が男性(53.8%)を6.8ポイント上回っている。年代別にみると、18~19歳で「関心がある」が53.4%と高くなっている。





<年代別>



13. 生涯学習について

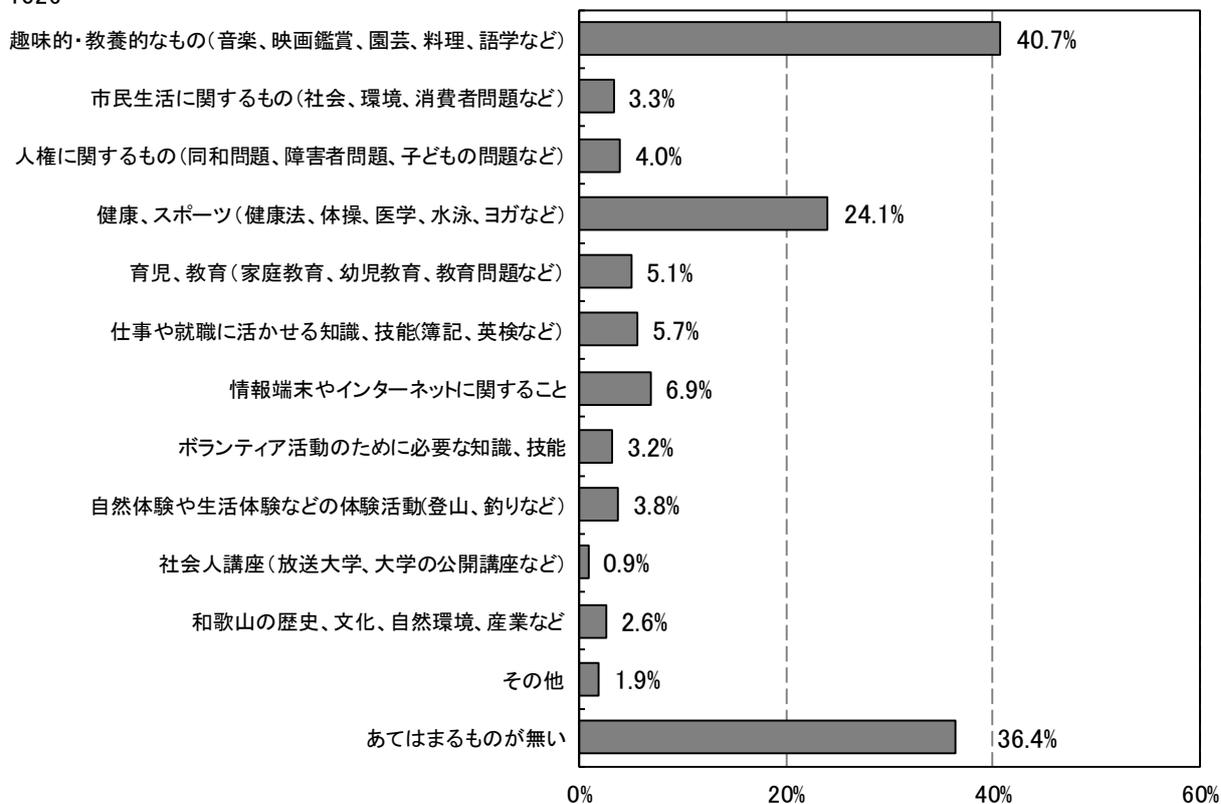
問 55 生涯学習への取り組み

問 55 あなたは現在、何か取り組んで学んだり、活動したりしていますか。あてはまるものを全て選んでください。(学校での授業は除きます。ただし、社会人大学などは含みます。)

1. 趣味的・教養的なもの(音楽、映画鑑賞、園芸、料理、語学など)
2. 市民生活に関するもの(社会、環境、消費者問題など)
3. 人権に関するもの(同和問題、障害者問題、子どもの問題など)
4. 健康、スポーツ(健康法、体操、医学、水泳、ヨガなど)
5. 育児、教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)
6. 仕事や就職に活かせる知識、技能(簿記、英検など)
7. 情報端末やインターネットに関すること
8. ボランティア活動のために必要な知識、技能
9. 自然体験や生活体験などの体験活動(登山、釣りなど)
10. 社会人講座(放送大学、大学の公開講座など)
11. 和歌山の歴史、文化、自然環境、産業など
12. その他()

生涯学習への取り組みについては、「趣味的・教養的なもの」が40.7%と最も多く、次いで「あてはまるものが無い」(36.4%)、「健康、スポーツ」(24.1%)の順となっている。

n=1026



その他：「宗教活動」、「婦人会」、「ボランティア」など

問 55-1 生涯学習をするときの情報源

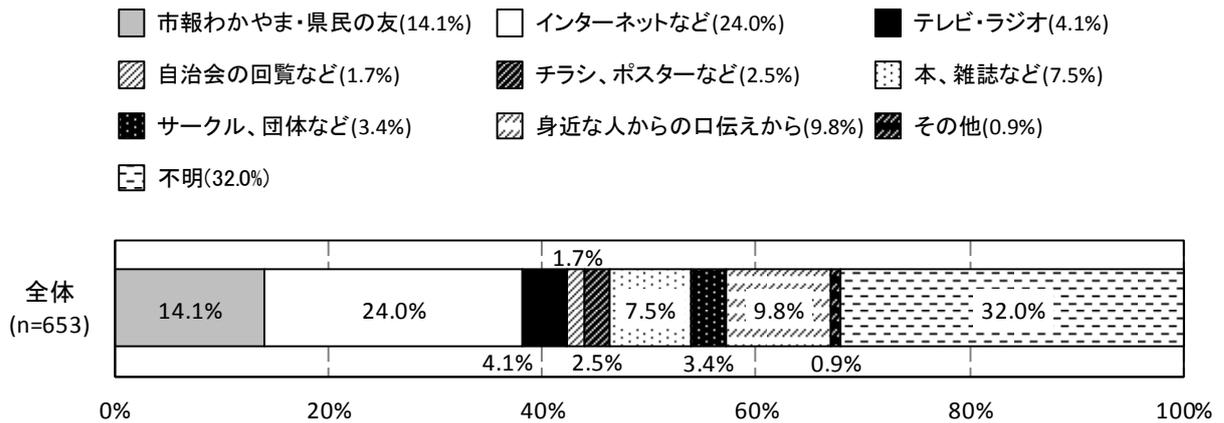
問 55-1 問 55 で一つでもあてはまるものがあった方のみお答えください。

生涯学習をしようとするとき、どのような情報源を利用していますか。または利用しようと思
いますか。あてはまるものを1つお選びください。

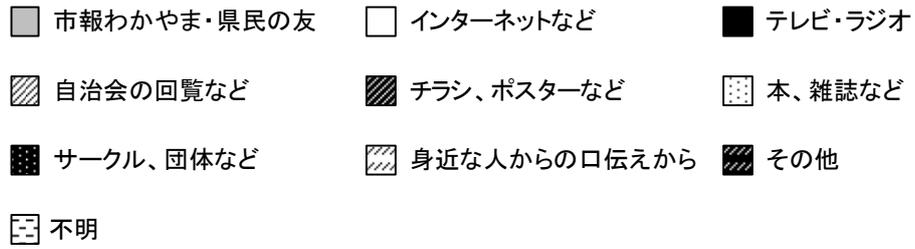
- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 市報わかやま・県民の友 | 6. 本、雑誌など |
| 2. インターネットなど | 7. サークル、団体など |
| 3. テレビ・ラジオ | 8. 身近な人からの口伝えから |
| 4. 自治会の回覧など | 9. その他 () |
| 5. チラシ、ポスターなど | |

問 55 で「あてはまるものがある」と回答した 653 人について、利用している又は利用したい情報源は、「インターネットなど」が 24.0%と最も多く、次いで「市報わかやま・県民の友」(14.1%)、「身近な人からの口伝えから」(9.8%) の順となっている。

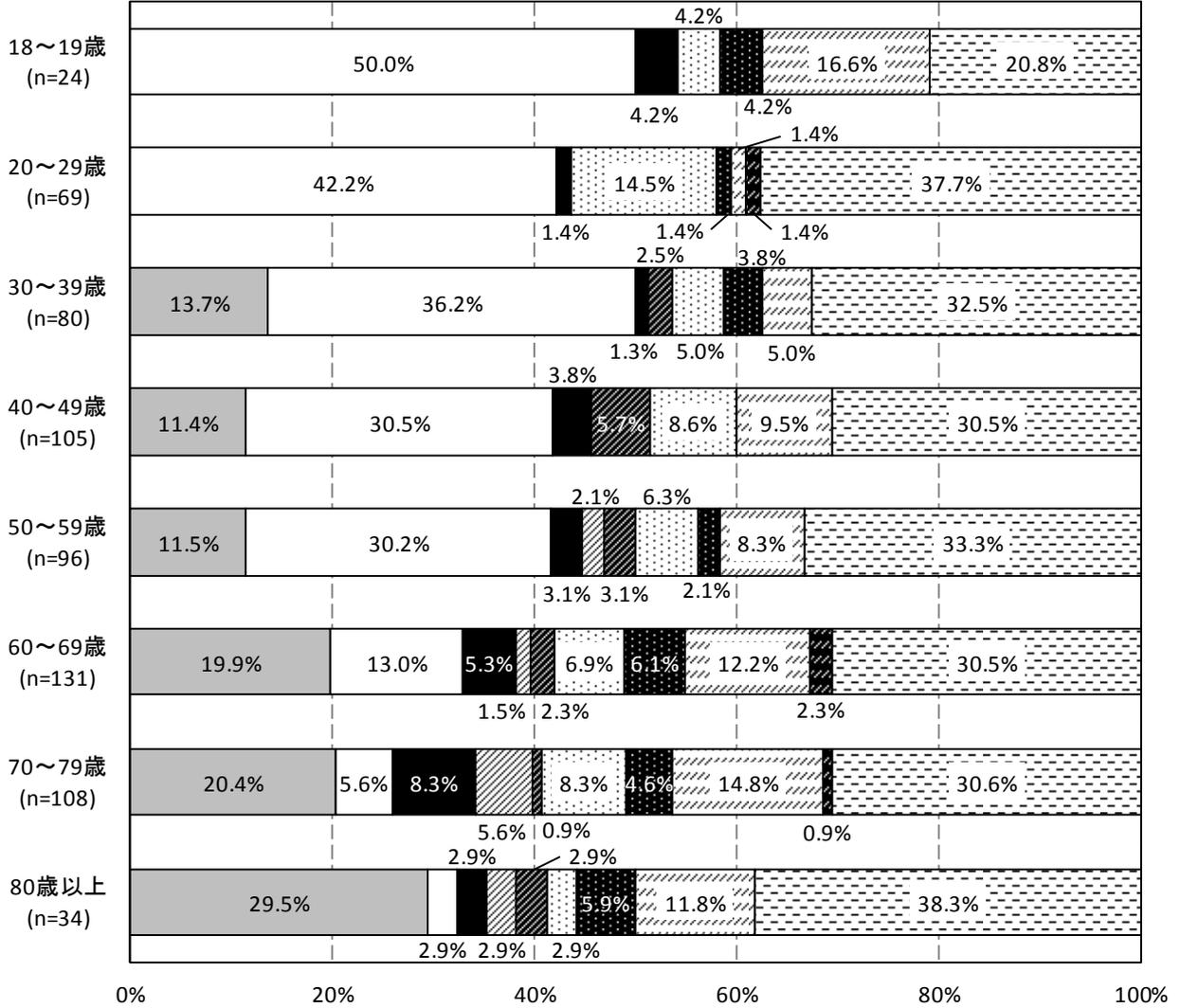
年代別にみると、年齢が低いほど「インターネットなど」が、年齢が高いほど「市報わかやま・県民の友」が高くなっている。



その他：「職場」



<年代別>



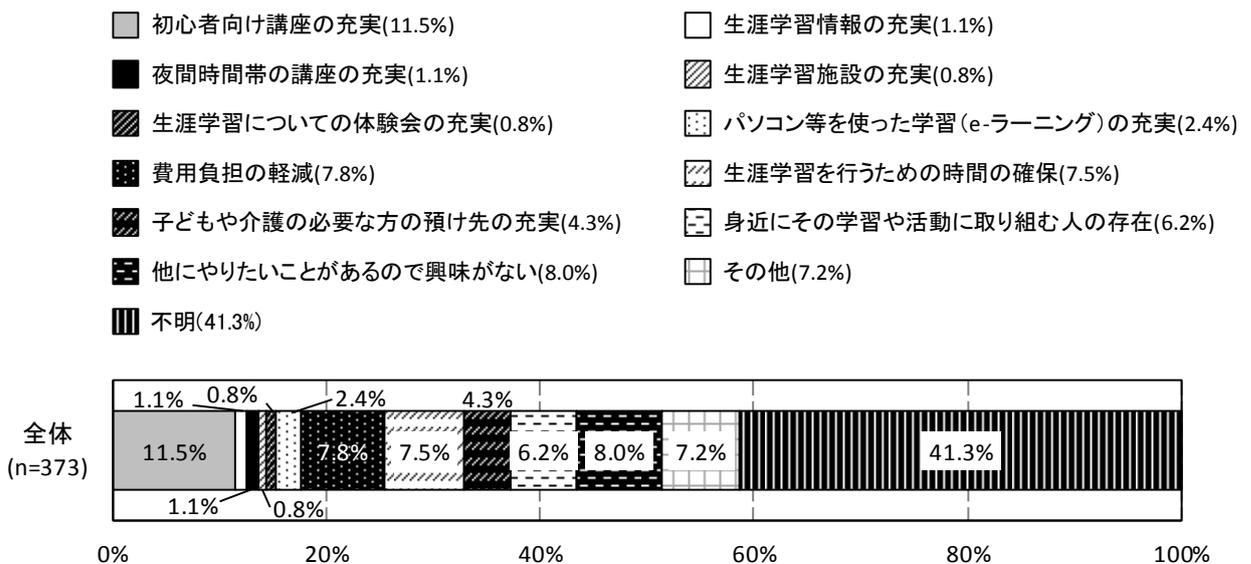
問 55-2 生涯学習に取り組む意欲

問 55-2 問 55 で一つもあてはまるものが無かった方のみお答えください。あなたは、どうすれば生涯学習に取り組む意欲がわくと思いますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 初心者向け講座の充実
2. 生涯学習情報の充実
3. 夜間時間帯の講座の充実
4. 生涯学習施設の充実
5. 生涯学習についての体験会の充実
6. パソコン等を使った学習（eラーニング）の充実
7. 費用負担の軽減
8. 生涯学習を行うための時間の確保
9. 子どもや介護の必要な方の預け先の充実
10. 身近にその学習や活動に取り組む人の存在
11. 他にやりたいことがあるので興味がない
差し支えが無ければ、ご興味のあることをご記入ください（ ）
12. その他（ ）

問 55 で「あてはまるものが無かった」と回答した 373 人について、どうすれば生涯学習に取り組む意欲がわくかについて、「初心者向け講座の充実」が 11.5%と最も多く、次いで「他にやりたいことがあるので興味がない」(8.0%)、「費用負担の軽減」(7.8%)、「生涯学習を行うための時間の確保」(7.5%)の順となっている。

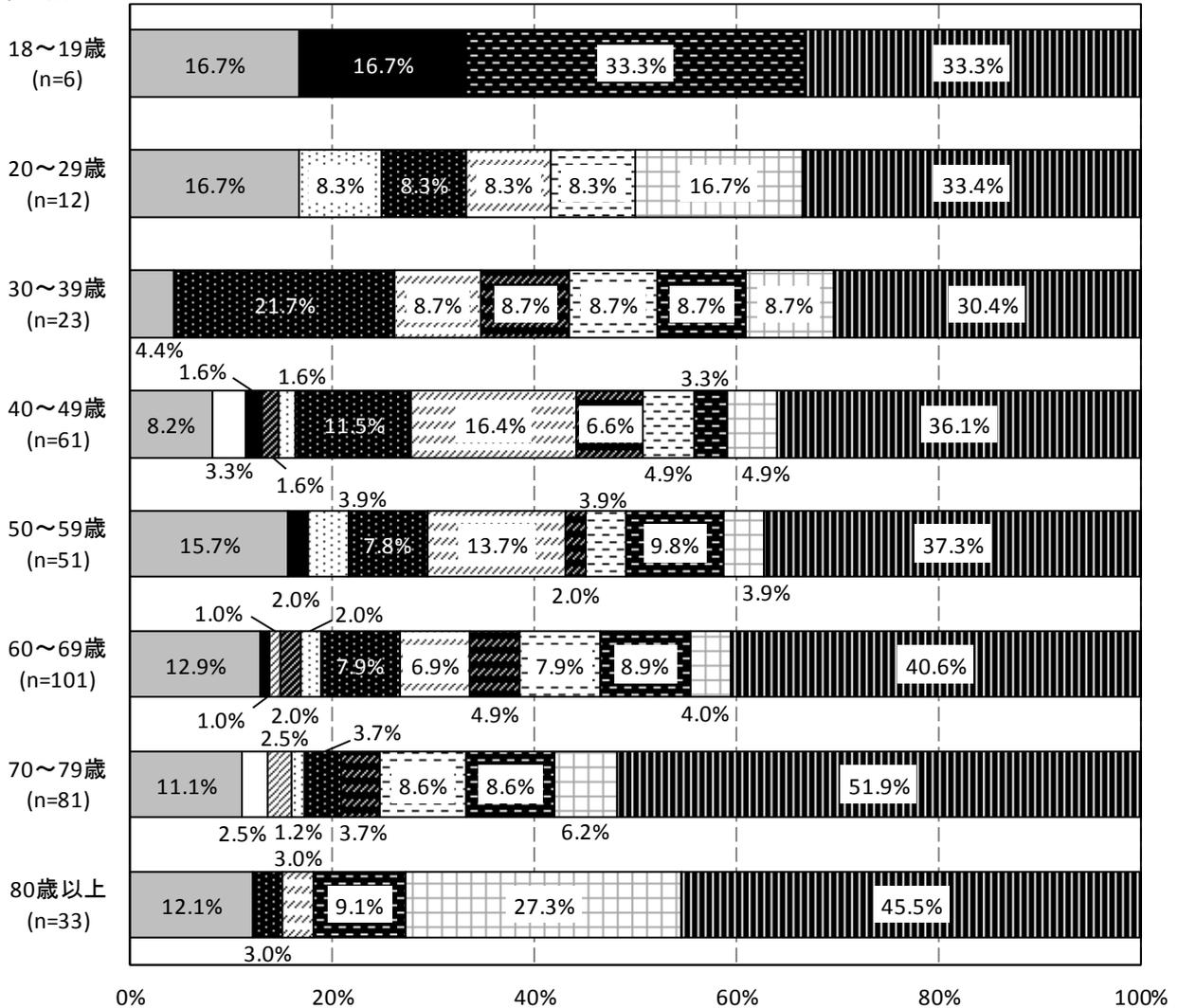
年代別にみると、18～19 歳は「他にやりたいことがあるので興味がない」が 33.3%と高く、20～29 歳、50～79 歳は「初心者向けの講座の充実」、30～39 歳は「費用負担の軽減」、40～49 歳は「生涯学習を行うための時間の確保」(16.4%)が高くなっている。



他にやりたいこと：「ゴルフ」、「家庭菜園」、「ウォーキング」、「魚釣り」
その他：「体調不良」、「興味がない」、「年齢的にできない」など

- 初心者向け講座の充実
- 夜間時間帯の講座の充実
- 生涯学習についての体験会の充実
- 費用負担の軽減
- 子どもや介護の必要な方の預け先の充実
- 他にやりたいことがあるので興味がない
- 不明
- 生涯学習情報の充実
- 生涯学習施設の充実
- パソコン等を使った学習(e-ラーニング)の充実
- 生涯学習を行うための時間の確保
- 身近にその学習や活動に取り組む人の存在
- その他

<年代別>



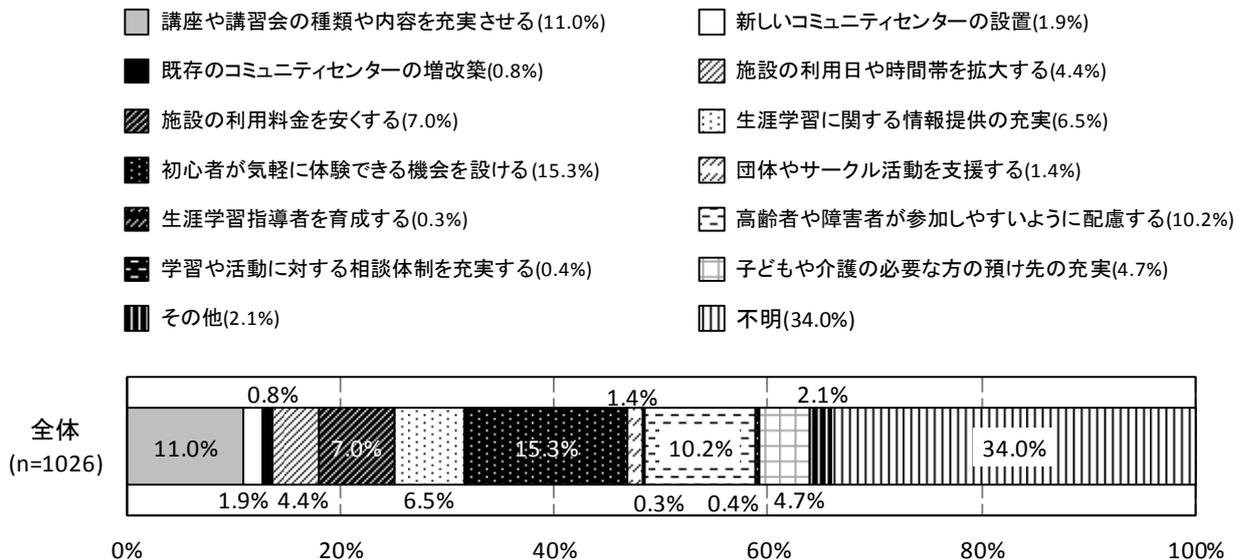
問 56 生涯学習を充実するために望むこと

問 56 生涯学習の充実のために和歌山市に特に力を入れてほしいことは何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 講座や講習会の種類や内容を充実させる
2. 新しいコミュニティセンターの設置
3. 既存のコミュニティセンターの増改築
4. 施設の利用日や時間帯を拡大する
5. 施設の利用料金を安くする
6. 生涯学習に関する情報提供の充実
7. 初心者が気軽に体験できる機会を設ける
8. 団体やサークル活動を支援する
9. 生涯学習指導者を育成する
10. 高齢者や障害者が参加しやすいように配慮する
11. 学習や活動に対する相談体制を充実する
12. 子どもや介護の必要な方の預け先の充実
13. その他（ ）

生涯学習の充実のために力を入れてほしいことは、「初心者が気軽に体験できる機会を設ける」が15.3%と最も多く、次いで「講座や講習会の種類や内容を充実させる」(11.0%)、「高齢者や障害者が参加しやすいように配慮する」(10.2%)の順となっている。

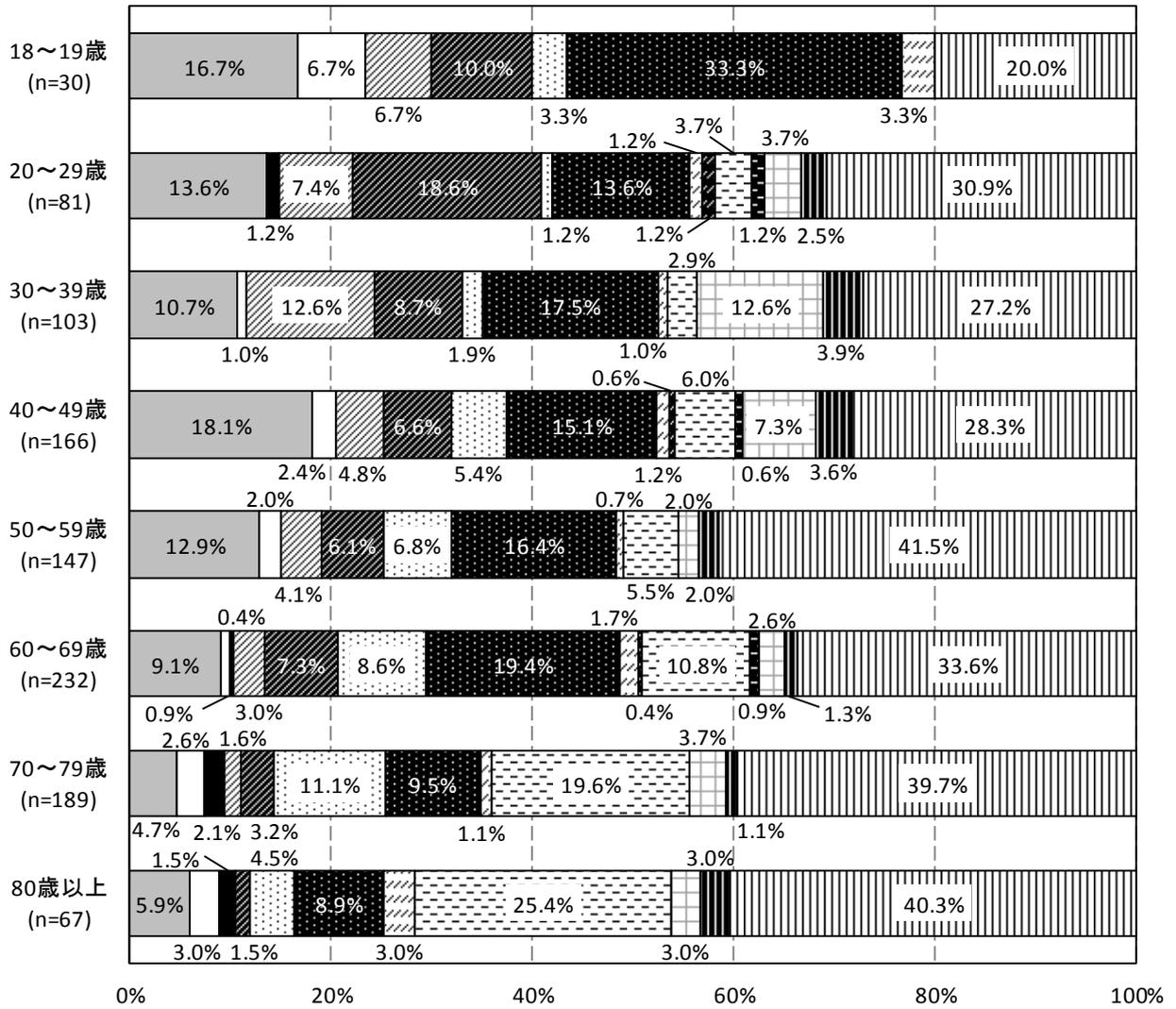
年代別にみると、18～19歳、30～39歳、50～69歳で「初心者が気軽に体験できる機会を設ける」、70歳以上は「高齢者や障害者が参加しやすいように配慮する」の比率が高くなっている。



その他：「自宅近くでの開講」、「PRしてほしい」など

- 講座や講習会の種類や内容を充実させる
- 既存のコミュニティセンターの増改築
- 施設の利用料金を安くする
- 初心者が気軽に体験できる機会を設ける
- 生涯学習指導者を育成する
- 学習や活動に対する相談体制を充実する
- その他
- 新しいコミュニティセンターの設置
- ▨ 施設の利用日や時間帯を拡大する
- ▩ 生涯学習に関する情報提供の充実
- ▧ 団体やサークル活動を支援する
- ▦ 高齢者や障害者が参加しやすいように配慮する
- ▤ 子どもや介護の必要な方の預け先の充実
- ▥ 不明

<年代別>



14. 和歌山市の取り組みに対しての満足度・重要度について

問57 和歌山市の市政一般の満足度と重要度

問57 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満

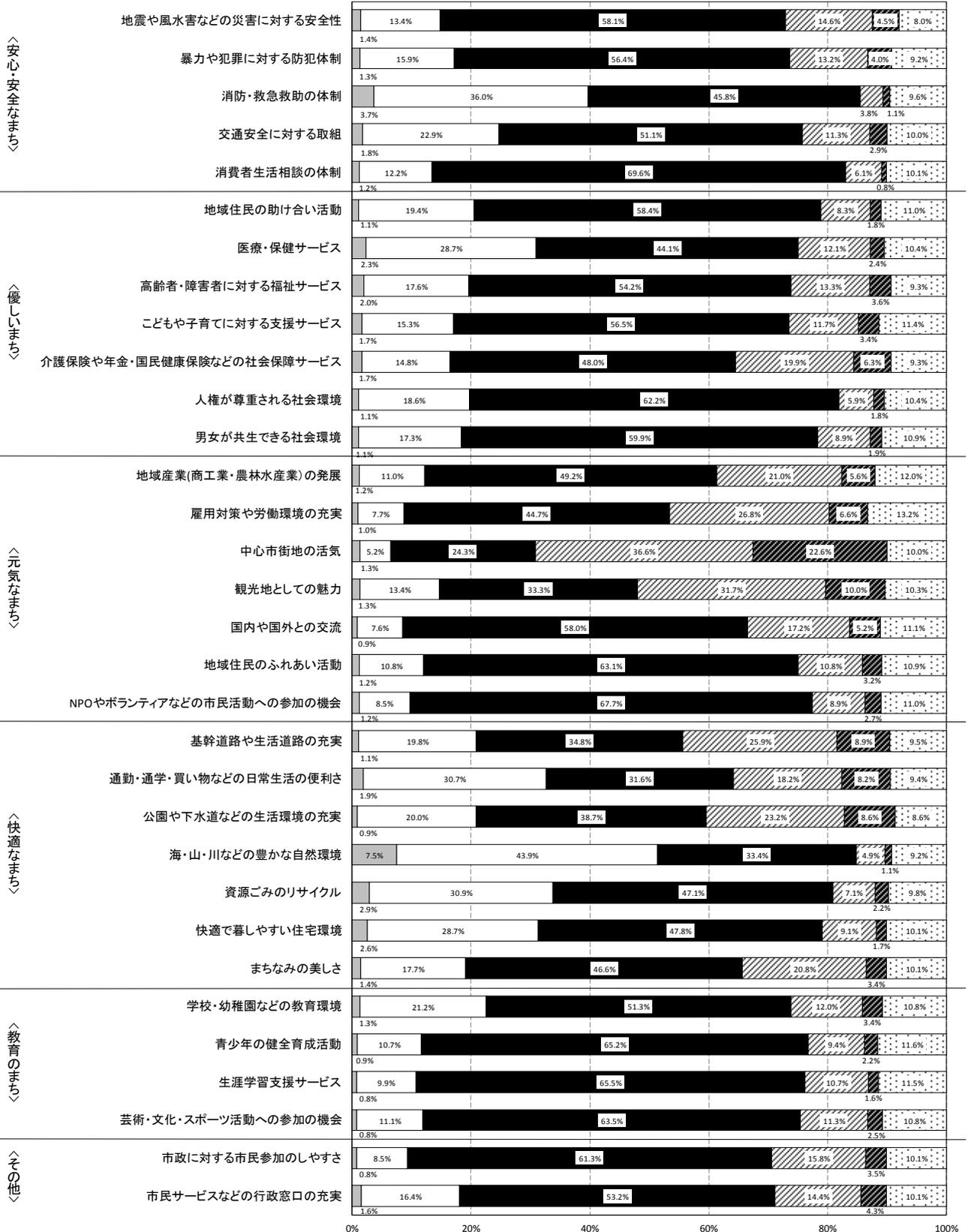
重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない

5. 全く重要ではない

安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	消費者生活相談の体制
優しいまち	地域住民の助け合い活動
	医療・保健サービス
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	こどもや子育てに対する支援サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
	人権が尊重される社会環境
	男女が共生できる社会環境
元気なまち	地域産業（商工業・農林水産業）の発展
	雇用対策や労働環境の充実
	中心市街地の活気
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	地域住民のふれあい活動
	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会
快適なまち	基幹道路や生活道路の充実
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	公園や下水道などの生活環境の充実
	海・山・川などの豊かな自然環境
	資源ごみのリサイクル
	快適で暮らしやすい住宅環境
	まちなみの美しさ
教育のまち	学校・幼稚園などの教育環境
	青少年の健全育成活動
	生涯学習支援サービス
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
その他	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

【満足度】

n=1026



【満足率・不満率】

和歌山市の市政一般の満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）の高い項目は順に、「海・山・川などの豊かな自然環境」（51.4%）、「消防・救急救助の体制」（39.7%）、「資源ごみのリサイクル」（33.8%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（32.6%）、「快適で暮らしやすい住宅環境」（31.3%）となっており、「快適なまち」と「安心・安全なまち」に係わる項目の満足率が高めとなっている。

不満度（「不満」と「非常に不満」を合わせた計）の高い項目は順に「中心市街地の活気」（59.2%）、「観光地としての魅力」（41.7%）、「基幹道路や生活道路の充実」（34.8%）、「雇用対策や労働環境の充実」（33.4%）、「公園や下水道などの生活環境の充実」（31.8%）となっており、「元気なまち」と「快適なまち」に係わる項目の不満率が高めとなっている。

＜性別＞

満足率の上位5位について性別にみると、上位3位は全体と同様の順位となっている。次いで「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」の順位が高めとなっている。

不満率の上位5位について、上位2位は全体と同様の順位となっている。次いで「基幹道路や生活道路の充実」、「雇用対策や労働環境の充実」、「公園や下水道などの生活環境の充実」の順位が高めとなっている。

【満足率（「非常に満足」と「満足」の計）の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1026)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 51.4%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 39.7%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 33.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.6%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 31.3%
男性 (n=468)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 49.6%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 43.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 ・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 31.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 31.4%	
女性 (n=544)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 53.5%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 36.9%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 35.8%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 34.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 33.8%

【不満率（「非常に不満」と「不満」の計）の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1026)	・中心市街地の活気 【元気なまち】 59.2%	・観光地としての魅力 【元気なまち】 41.7%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 34.8%	・雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 33.4%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 31.8%
男性 (n=468)	・中心市街地の活気 【元気なまち】 56.6%	・観光地としての魅力 【元気なまち】 40.2%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.8%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 32.9%	・雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 32.3%
女性 (n=544)	・中心市街地の活気 【元気なまち】 61.8%	・観光地としての魅力 【元気なまち】 43.4%	・雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 34.6%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 33.1%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 31.1%

注：同率の項目は並記している。
※注は以降のページも同様である。

<年代別>

満足率の上位5位の項目について年代別にみると、18～59歳は「海・山・川などの豊かな自然環境」が1位であるのに対して、60～79歳は「消防・救急救助の体制」、80歳以上は「資源ごみのリサイクル」となっている。18～39歳、50～59歳、70歳以上は「医療・保健サービス」が、20～49歳、60～69歳は「快適で暮らしやすい住宅環境」、30～79歳は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」の順位が高めとなっている。

【満足率(「非常に満足」と「満足」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=30)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 40.0%	・地域住民の助け合い活動 【優しいまち】 ・医療・保健サービス 【優しいまち】 33.3%		・男女が共生できる社会環境 【優しいまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 30.0%	
20～29歳 (n=81)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 61.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 44.4%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 ・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 37.0%		・医療・保健サービス 【優しいまち】 35.8%
30～39歳 (n=103)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 71.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 42.7%		・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 39.8%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 ・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 35.0%
40～49歳 (n=166)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 64.5%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 43.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 37.3%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 36.7%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 36.1%
50～59歳 (n=147)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 51.7%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.0%		・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 27.9%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 21.8%
60～69歳 (n=232)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 46.1%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 44.0%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 34.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.8%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 31.5%
70～79歳 (n=189)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 42.3%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 40.2%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 34.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 30.7%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 28.0%
80歳以上 (n=67)	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 40.3%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 37.3%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 35.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 32.8%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 29.9%

<地域別>

満足率の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」で共通しており、次いで「消防・救急救助の体制」の順位が高めとなっている。中心部と河西部は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、南部は「快適で暮らしやすい住宅環境」、東部と東南部は「資源ごみのリサイクル」、河北部は「医療・保健サービス」の順位が高めとなっている。

【満足率(「非常に満足」と「満足」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=256)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 54.3%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 40.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 39.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 35.9%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 35.5%
南部 (n=108)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 52.8%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 46.3%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 39.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 36.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 33.3%
東部 (n=147)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 53.7%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 36.1%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 34.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 28.6%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 26.5%
東南部 (n=74)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 48.6%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 36.5%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 33.8%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 31.1%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 27.0%
河西部 (n=291)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 48.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 36.8%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 35.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 31.3%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 30.9%
河北部 (n=101)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 54.5%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 53.5%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 42.6%	・資源ごみのリサイクル 【快適なまち】 36.6%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 30.7%

<年代別>

不満率の上位5位の項目について年代別にみると、1位は18～19歳で「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、20歳以上で「中心市街地の活気」となっており、18～19歳でも2位となっている。18～79歳は「観光地としての魅力」、50～59歳、70歳以上は「基幹道路や生活道路の充実」、20～49歳は「雇用対策や労働環境の充実」の順位が高めとなっている。

【不満率(「非常に不満」と「不満」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=30)	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 56.7%	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 53.3%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 ・ 国内や国外との交流 【元気なまち】	36.7%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 ・ 市政に対する市民参加のしやすさ 【その他】 30.0%
20～29歳 (n=81)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 56.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 45.7%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 ・ 観光地としての魅力 【元気なまち】	44.4%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 39.5%
30～39歳 (n=103)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 67.0%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 48.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 45.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】	42.7%
40～49歳 (n=166)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 68.1%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 ・ 観光地としての魅力 【元気なまち】	45.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 41.0%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 39.8%
50～59歳 (n=147)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 68.7%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 46.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 43.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 39.5%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 36.7%
60～69歳 (n=232)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 62.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 50.4%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 36.2%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 31.0%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 29.7%
70～79歳 (n=189)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 44.4%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 28.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 24.9%	・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】	24.3%
80歳以上 (n=67)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 44.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 26.9%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 23.9%	・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】	20.9%

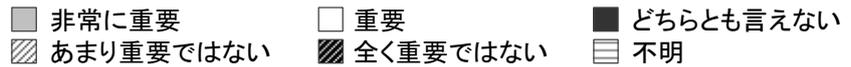
<地域別>

不満率の上位5位の項目について地域別でみると、いずれの地域も1位は「中心市街地の活気」で共通している。2位は中心部、南部、東部、河西部、河北部で「観光地としての魅力」、東南部は「公園や下水道などの生活環境の充実」となっている。「基幹道路や生活道路の充実」、「雇用対策や労働環境の充実」も高めとなっている。

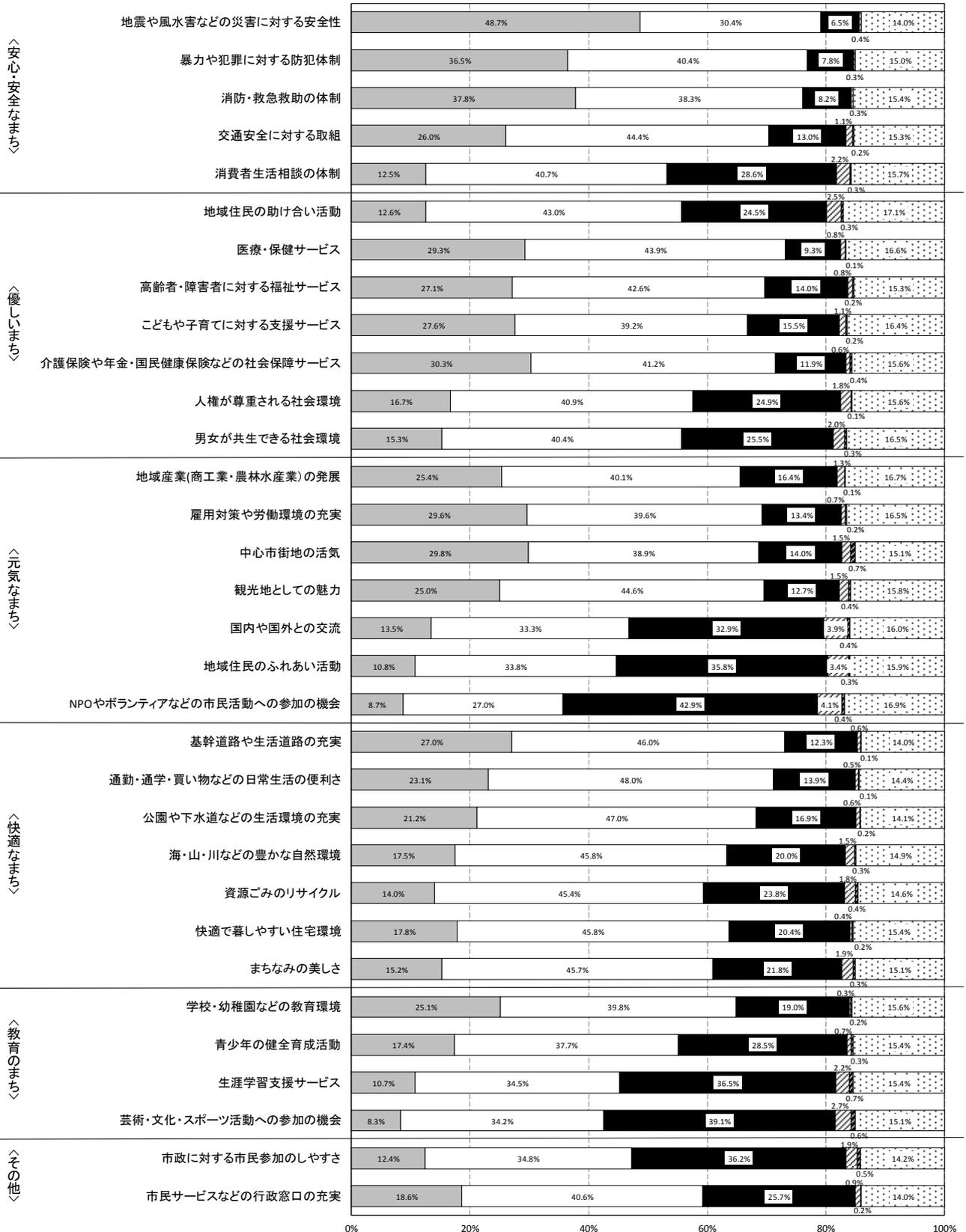
【不満率(「非常に不満」と「不満」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=256)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 62.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 47.7%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 34.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 30.1%	・ まちなみの美しさ 【快適なまち】 29.7%
南部 (n=108)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 61.1%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 42.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.1%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 34.3%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 28.7%
東部 (n=147)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 55.8%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 39.5%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 38.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.1%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 34.0%
東南部 (n=74)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 58.1%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 40.5%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 37.8%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 ・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 33.8%	
河西部 (n=291)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 61.2%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 41.6%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 38.5%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 37.1%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 35.7%
河北部 (n=101)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 59.4%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 39.6%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 35.6%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 33.7%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 32.7%

【重要度】



n=1026



【重要率】

重要率の高い項目は順に「地震や風水害などの災害に対する安全性」（79.1%）、「暴力や犯罪に対する防犯体制」（76.9%）、「消防・救急救助の体制」（76.1%）、「医療・保健サービス」（73.2%）、「基幹道路や生活道路の充実」（73.0%）となっており、“安心・安全なまち”、“優しいまち”、“快適なまち”に係わる項目の重要率が高めとなっている。

<性別>

重要率の上位5位について性別にみると、上位3位は全体と同様の順位となっている。次いで男性は「基幹道路や生活道路の充実」（73.7%）、「医療・保健サービス」（72.9%）、女性は「医療・保健サービス」（74.1%）、「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」（73.3%）となっている。

【重要率（「非常に重要」と「重要」の計）の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1026)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 79.1%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 76.9%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 76.1%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 73.2%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 73.0%
男性 (n=468)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 78.6%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 76.5%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 75.2%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 73.7%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 72.9%
女性 (n=544)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 80.1%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 77.9%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 77.4%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 74.1%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 73.3%

注：同率の項目は並記している。
※注は以降のページも同様である。

<年代別>

重要率の上位5位の項目について年代別にみると、1位は18～39歳、50～69歳で「地震や風水害などの災害に対する安全性」と共通しており、40～49歳、70歳以上でも2位となっている。70～79歳は「高齢者・障害者に対する福祉サービス」、80歳以上は「基幹道路や生活道路の充実」となっている。18～19歳、40～49歳、60～69歳では「暴力や犯罪に対する防犯体制」が1位となっており、他の年代でも高めとなっている。「消防・救急救助の体制」はすべての年代で高めとなっている。

【重要率(「非常に重要」と「重要」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=30)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 こどもや子育てに対する支援サービス 【優しいまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 医療・保健サービス 【優しいまち】 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 観光地としての魅力 【元気なまち】 学校・幼稚園などの教育環境 【教育のまち】
		93.3%		90.0%	86.7%
20～29歳 (n=81)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 医療・保健サービス 【優しいまち】 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 			
	92.6%				86.4%
30～39歳 (n=103)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> こどもや子育てに対する支援サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】
	91.3%	90.3%	89.3%	87.4%	86.4%
40～49歳 (n=166)	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】
	90.4%	89.2%	87.3%	84.3%	81.9%
50～59歳 (n=147)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 	
	88.4%	83.7%	83.0%		79.6%
60～69歳 (n=232)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地としての魅力 【元気なまち】
		77.2%	76.7%	74.6%	74.1%
70～79歳 (n=189)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者・障害者に対する福祉サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 	
	58.2%	57.7%	56.1%		55.6%
80歳以上 (n=67)	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 高齢者・障害者に対する福祉サービス 【優しいまち】
	64.2%		62.7%	61.2%	59.7%

＜地域別＞

重要率の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も“安心・安全なまち”に関する項目が上位となっており、「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「暴力や犯罪に対する防犯体制」はいずれの地域も上位3位となっている。河北部では「消防・救急救助の体制」が同率の1位となっており、他の地域でも高めとなっている。

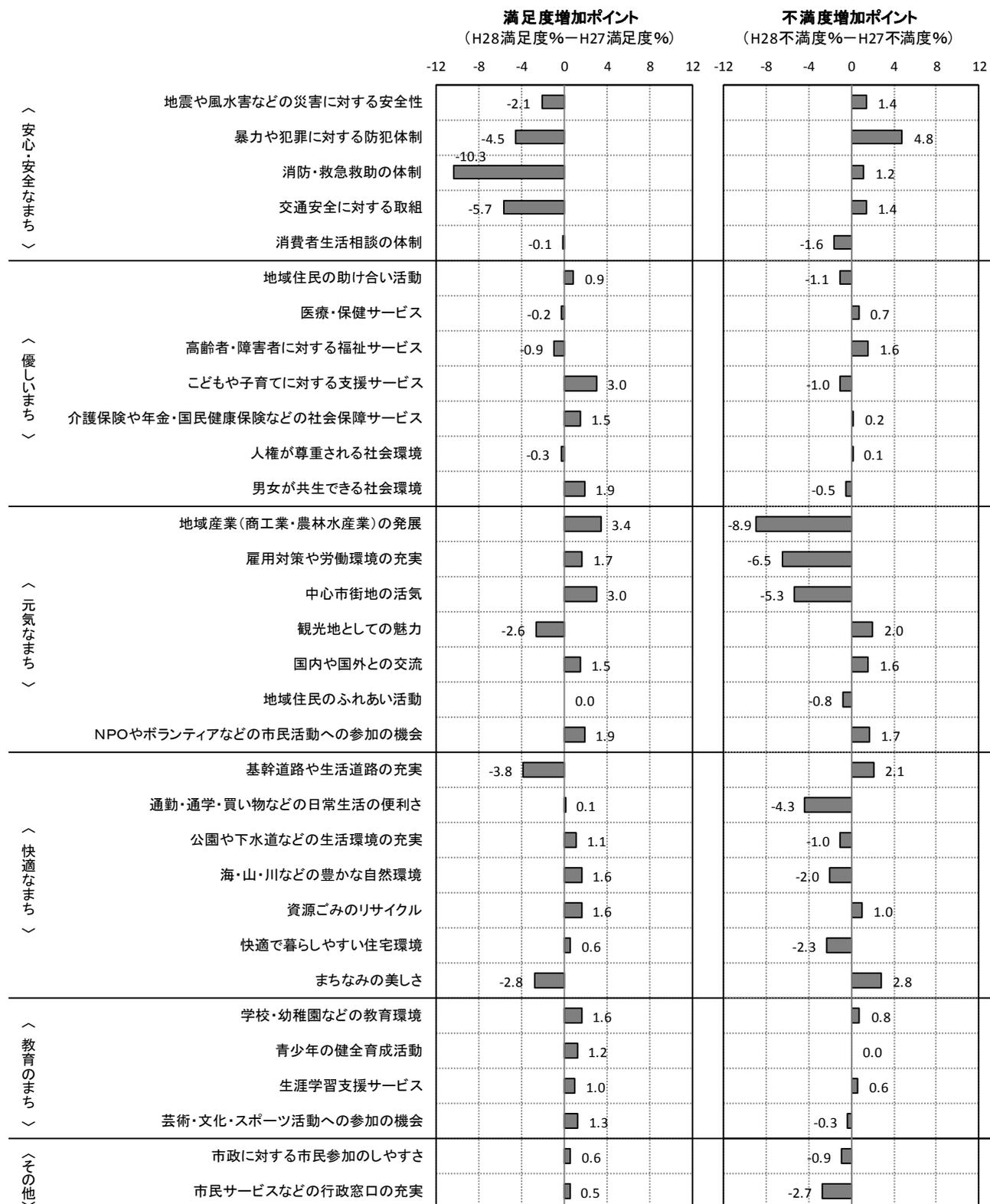
【重要率(「非常に重要」と「重要」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=256)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>77.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 医療・保健サービス <p>【安心・安全なまち】</p> <p>【優しいまち】</p>	74.2%	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>71.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 <p>【快適なまち】</p> <p>71.5%</p>
南部 (n=108)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>84.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p>	82.4%	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 <p>【快適なまち】</p> <p>78.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ <p>【優しいまち】</p> <p>【優しいまち】</p> <p>【快適なまち】</p> <p>77.8%</p>
東部 (n=147)	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>77.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ <p>【快適なまち】</p> <p>77.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>76.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>76.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 <p>【快適なまち】</p> <p>72.8%</p>
東南部 (n=74)	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>79.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p>	78.4%	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや子育てに対する支援サービス 通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 公園や下水道などの生活環境の充実 <p>【優しいまち】</p> <p>【快適なまち】</p> <p>【快適なまち】</p>	74.3%
河西部 (n=291)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>82.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>78.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>78.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 <p>【快適なまち】</p> <p>76.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス <p>【優しいまち】</p> <p>75.9%</p>
河北部 (n=101)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 消防・救急救助の体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>【安心・安全なまち】</p>	84.2%	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>81.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 <p>【安心・安全なまち】</p> <p>77.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 <p>【快適なまち】</p> <p>75.2%</p>

【満足度：前年度の比較】

平成27年度と平成28年度の満足度（「非常に満足」、「満足」の割合）の変化は、「消防・救急救助の体制」、「交通安全に対する取組」が5ポイント以上減少している。

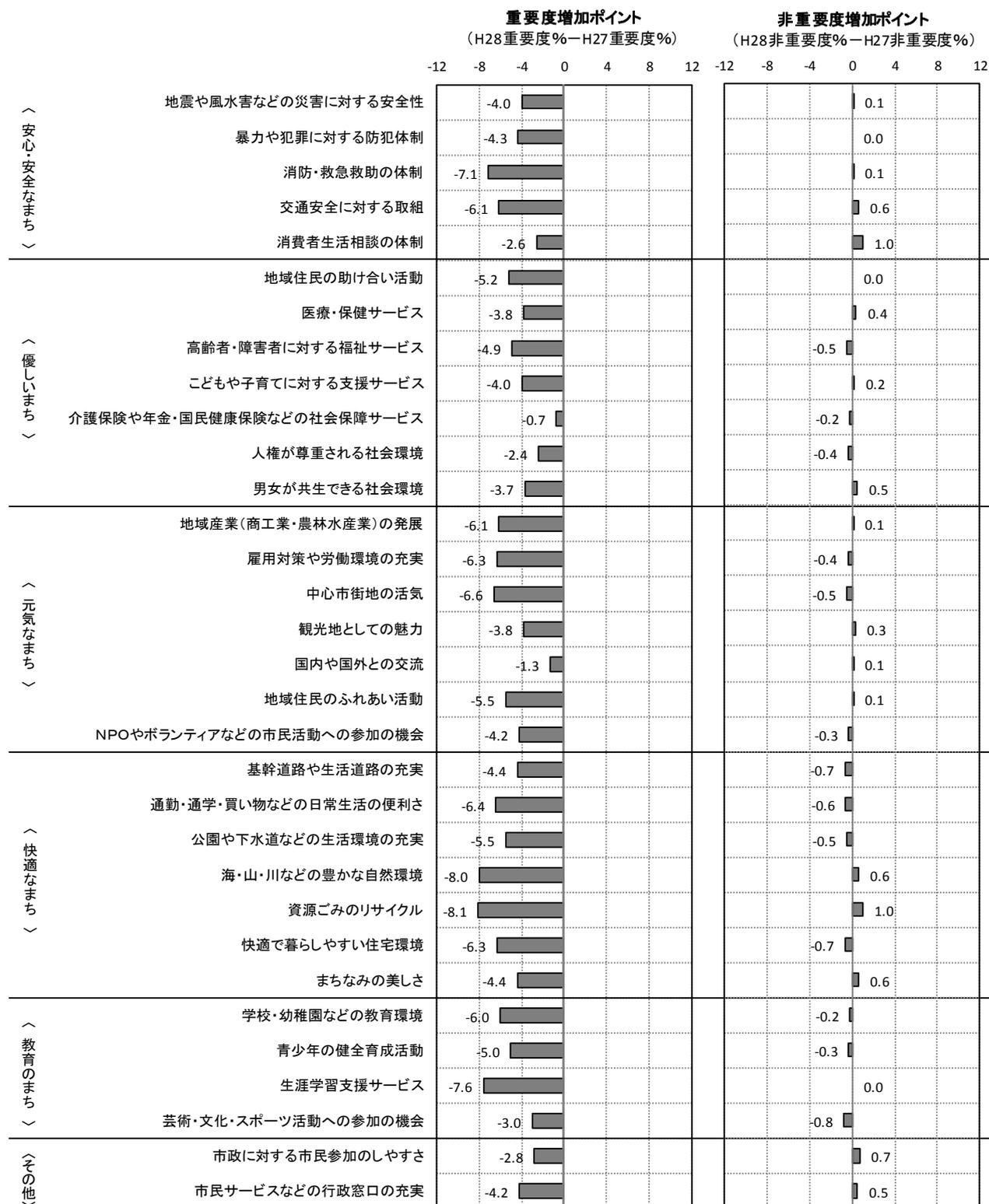
不満足度（「非常に不満」、「不満」の割合）の変化は、「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「雇用対策や労働環境の充実」、「中心市街地の活気」が5ポイント以上減少している。



【重要度：前年度の比較】

平成27年度と平成28年度の重要度（「非常に重要」、「重要」の割合）の変化は、全ての項目が減少している。特に「資源ごみのリサイクル」は8.1ポイント、「海・山・川などの豊かな自然環境」は8.0ポイント、「生涯学習支援サービス」は7.6ポイント、「消防・救急救助の体制」は7.1ポイント減少している。

非重要度（「あまり重要でない」、「全く重要ではない」の割合）については、大きな変化はみられなかった。



【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

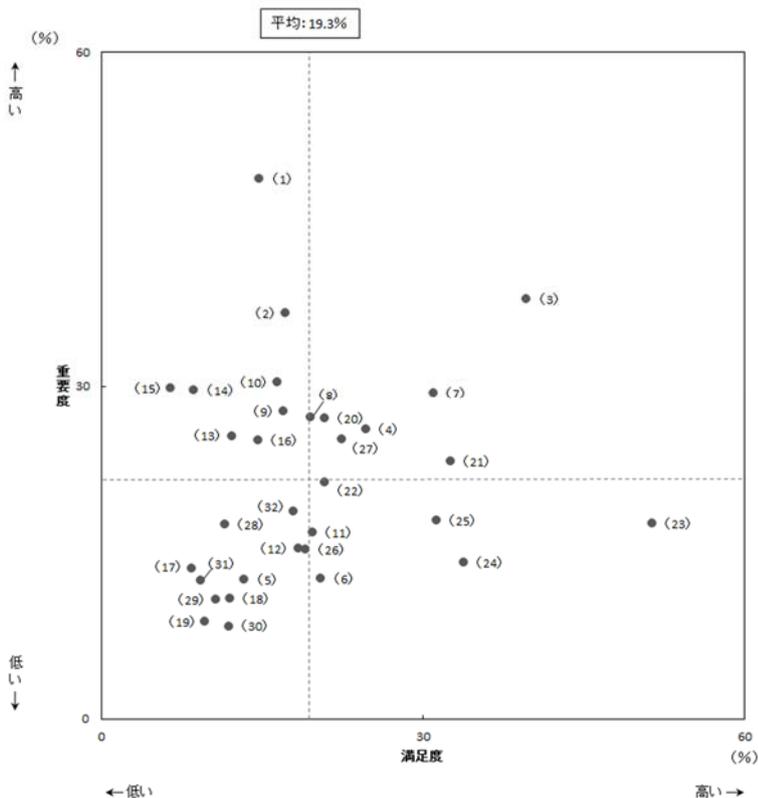
「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が満足度を10.0ポイント以上上回る項目は、ギャップの大きい順にみると「(1) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(15) 中心市街地の活気」、「(14) 雇用対策や労働環境の充実」、「(2) 暴力や犯罪に対する防犯体制」、「(10) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(13) 地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「(9) こどもや子育てに対する支援サービス」、「(16) 観光地としての魅力」の8項目となっている。

満足度が重要度を10.0ポイント以上上回る項目は「(23) 海・山・川などの豊かな自然環境」、「(24) 資源ごみのリサイクル」、「(25) 快適で暮らしやすい住宅環境」の3項目である。

凡例	項目名	満足度計	重要度
(1)	地震や風水害などの災害に対する安全性	14.8	48.6
(2)	暴力や犯罪に対する防犯体制	17.2	36.5
(3)	消防・救急救助の体制	39.7	37.8
(4)	交通安全に対する取組	24.7	26.0
(5)	消費者生活相談の体制	13.4	12.5
(6)	地域住民の助け合い活動	20.5	12.6
(7)	医療・保健サービス	31.0	29.3
(8)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	19.6	27.1
(9)	こどもや子育てに対する支援サービス	17.0	27.6
(10)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	16.5	30.3
(11)	人権が尊重される社会環境	19.7	16.7
(12)	男女が共生できる社会環境	18.4	15.3
(13)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	12.2	25.4
(14)	雇用対策や労働環境の充実	8.7	29.6
(15)	中心市街地の活気	6.5	29.8
(16)	観光地としての魅力	14.7	25.0

凡例	項目名	満足度計	重要度
(17)	国内や国外との交流	8.5	13.5
(18)	地域住民のふれあい活動	12.0	10.8
(19)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	9.7	8.7
(20)	基幹道路や生活道路の充実	20.9	27.0
(21)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	32.6	23.1
(22)	公園や下水道などの生活環境の充実	20.9	21.2
(23)	海・山・川などの豊かな自然環境	51.4	17.5
(24)	資源ごみのリサイクル	33.8	14.0
(25)	快適で暮らしやすい住宅環境	31.3	17.8
(26)	まちなみの美しさ	19.1	15.2
(27)	学校・幼稚園などの教育環境	22.5	25.1
(28)	青少年の健全育成活動	11.6	17.4
(29)	生涯学習支援サービス	10.7	10.7
(30)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	11.9	8.3
(31)	市政に対する市民参加のしやすさ	9.3	12.4
(32)	市民サービスなどの行政窓口の充実	18.0	18.6



※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。

15. 和歌山市の市政について（自由意見）

自由意見は289人の回答者より、387件の意見があった。
その概要については、以下のとおりである。

【ご意見の概要】

大項目	中項目	小項目	件数
1 環境			17
	1 環境		4
		1 大気汚染の防止など良好な生活環境の確保	1
		2 自然環境(緑、河川、水辺など)の保全と再生	3
	2 ごみの適正処理とリサイクル		4
		1 ごみの適正処理	3
		2 リサイクルの推進	1
	3 都市景観とまちの美化		9
		1 都市景観の保全	3
		2 まちの美化	6
2 健康・福祉			36
	1 子育て支援		16
		1 子育て支援	13
		2 待機児童の解消	2
		3 ひとり親家庭への支援	1
	2 福祉		10
		1 高齢者福祉	8
		2 障害者福祉	2
	3 その他		10
		1 公共施設、交通関連施設などのバリアフリー	1
		2 低所得者支援	1
		3 生活保護	2
		4 その他	6
3 教育・文化・スポーツ			15
	1 学校教育・青少年の育成		10
		1 学校教育の充実	9
		2 青少年の健全育成	1
	2 生涯学習やスポーツ・レクリエーションの振興・施設		5
		1 生涯学習の振興・充実	1
		2 市民会館に関すること	1
		3 市民図書館に関すること	1
		4 活動環境の充実	2
4 都市基盤・交通			71
	1 公園の整備や緑化		6
		1 公園の整備	4
		2 公園の管理・運営	2
	2 道路の整備や鉄道・バス輸送		50
		1 駐車場の整備、違法駐車	3
		2 道路(車道・自転車道・歩道)の整備	24
		3 道路の管理	4
		4 鉄道・バス輸送サービスの充実	19
	3 計画・開発・整備(活性化を含む)		15
		1 計画的なまちづくり	10
		2 駅周辺	1
		3 中心市街地	4

大項目	中項目	小項目	件数
5 産業・経済			66
	1 商店街や中小企業、農業、水産業		11
		1 中小企業支援	2
		2 商店街の活性化	9
	2 新しい産業や高度な業務機能の集積		22
		1 新たな産業の創造	6
		2 レジャー・商業施設の誘致	9
		3 企業の誘致	7
	3 観光・シティプロモーションの推進		25
		1 観光の振興・整備	22
		2 シティプロモーションの推進	3
	4 産業人材育成、就労支援や環境整備		8
		1 就労支援の充実	6
		2 就労環境の整備	2
6 安全・生活基盤			23
	1 飲料水の供給、下水道・住宅・ガス等の整備		10
		1 下水道の整備	4
		2 住宅の整備	3
		3 空家対策	3
	2 その他		13
		1 防災、治水対策	6
		2 防犯対策	5
		3 その他	2
7 交流・コミュニティ			3
	1 市民活動やコミュニティ活動		3
8 その他・総合			156
	1 総合(政策・制度など)		102
		1 公共施設の施設管理・業務・新設	3
		2 その他施設(学校・保育所など)の施設管理・業務・新設	12
		3 交通機関の新設	1
		4 会議・議員	4
		5 行財政改革	44
		6 都市経営・運営	28
		a 住みよいまち	14
		b 魅力あるまち	4
		c 活性化	7
		d 安心・安全なまち	2
		e その他	1
		7 広報・広聴・情報公開	10
	2 総合(職員、組織など)		13
		1 職員の対応・仕事	10
		2 職員給与・職員数・採用	3
	3 財政		6
		1 税等(保険料・使用料)	4
		2 状況	2
	4 その他		35
		1 市民意識調査	10
		2 お礼	16
		3 その他	9
合 計			387

調査票

Ⅲ. 調査票

和歌山市政世論調査(平成28年度)アンケート調査票

このアンケートは、10月7日(金)までに返信用封筒に入れて、
切手を貼らずにお出してください。

1 あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたの居住区はどこですか？

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

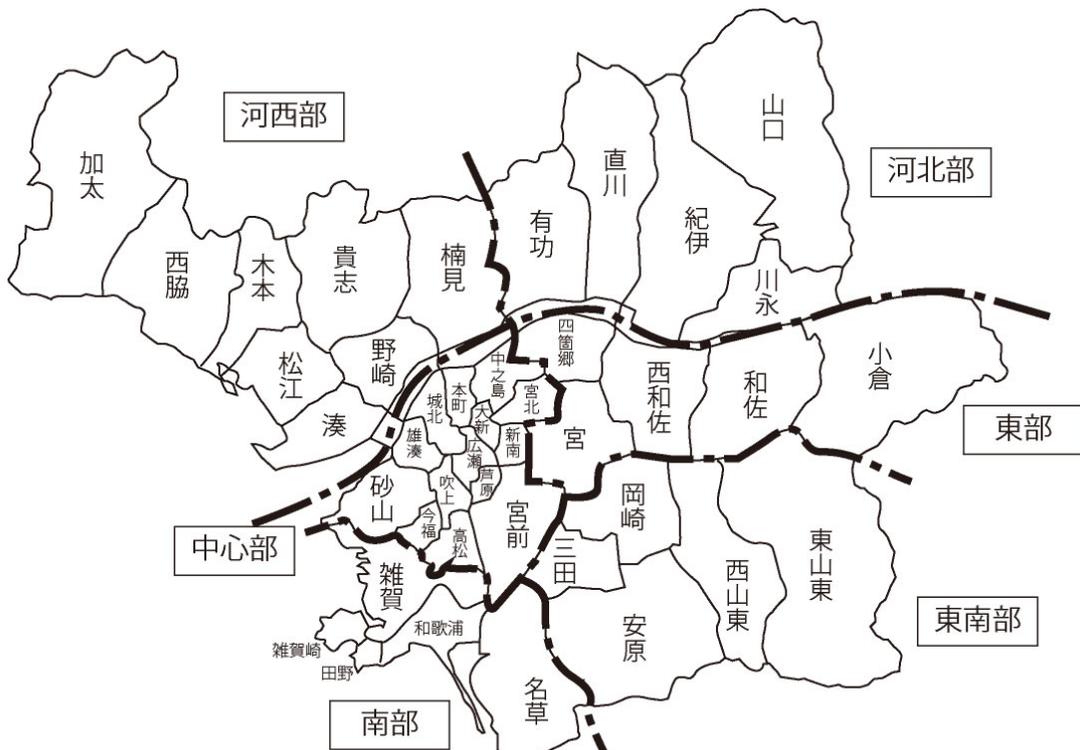
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



問2 あなたの性別は？

1. 男性
2. 女性

問3 あなたの年齢は？

1. 18～19歳 3. 30～39歳 5. 50～59歳 7. 70～79歳
2. 20～29歳 4. 40～49歳 6. 60～69歳 8. 80歳以上

問4 あなたの職業は？

1. 会社員
2. 自営業
3. 農林水産業
4. 公務員
5. パート・アルバイト
6. 専業主婦
7. 学生
8. 無職
9. その他
()

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

1. 1年未満
2. 1～3年未満
3. 3～5年未満
4. 5～10年未満
5. 10～20年未満
6. 20～30年未満
7. 30年以上

問6 あなたは現在、結婚をしていますか？

1. 結婚している
2. 配偶者と離・死別した
3. 結婚していない

**問6-1 問6で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。
夫婦ともに働いていますか？**

1. 夫婦共働きである
2. 夫のみ働いている
3. 妻のみ働いている
4. どちらも働いていない

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 自分ひとり
2. 配偶者
3. 子ども（未婚）
4. 子ども（既婚）
5. 子どもの配偶者
6. 孫
7. 自分の親
8. 配偶者の親
9. 兄弟姉妹
10. 祖父母
11. その他
()

2 あなたの身の回りの状況やお考えについてお尋ねします。

問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？

1. はい 2. いいえ

(2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？

1. はい 2. いいえ

(3) あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？

1. はい 2. いいえ

(4) あなたの、かかりつけ医はありますか？

1. はい 2. いいえ

(5) お子様の、かかりつけ医はありますか？ (0～14歳のお子様がいいらっしゃる方のみ)

1. はい 2. いいえ

(6) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？

1. はい 2. いいえ

(7) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？

1. はい 2. いいえ

(8) 日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか？

1. はい 2. いいえ

(9) 日頃から芸術文化活動を行い、又は鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？

1. はい 2. いいえ

4 民泊（民家に有料で宿泊すること）についてお尋ねします。

外国人観光客等の増加に伴う宿泊需給への対応や、空き家の有効活用として、国は民泊（民家に有料で宿泊すること）を進めようとしています。今後の民泊サービスでは、住宅提供者が、住宅内に居住しながら、住宅の一部を利用者に貸し出す「ホームステイ型」と、住宅提供者が不在期間中にその住宅を貸し出す「家主不在型」が検討されています。

問 1 3 あなたは、民泊の貸し手として住宅の一部等を提供することについてどう思いますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 是非貸し手になりたいと思う
2. 貸し手になることを前向きに検討したいと思う
3. どちらともいえない
4. 貸し手にはなりたくない

問 1 4 民泊サービスを推進することについてどう思いますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 賛成 理由（ ）
2. どちらかといえば賛成
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば反対
5. 反対 理由（ ）

5 自家用自動車の個人間のカーシェアリング（有料で車を貸し借りすること）についてお尋ねします。

車を貸したい個人と借りたい個人が気軽に貸し借りできる「個人間のカーシェアリング」等、モノを所有するのではなく「共有（シェア）する」という新たな社会システムが注目されています。

「平日はほとんど乗らない」等、自分が車を使わないときに、有料で自家用自動車を貸し出すことについてお尋ねします。

問 1 5 あなたが自家用自動車を使用する主な目的は何ですか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 通勤・通学 | 5. レジャー・旅行・ドライブ |
| 2. 業務 | 6. 雨の日の移動 |
| 3. 日常の買い物 | 7. 車を所有していない |
| 4. 通院・送迎 | 8. その他（ ） |

問16 自家用自動車の使用状況について、実際に運転する時間帯（平日／休日別）を教えてください。

あてはまる箇所の数字（1～12）を全て選んで、数字を○で囲んでください。

	早朝 6時～9時	朝 9時～12時	昼 12時～17時	夕方 17時～19時	夜 19時～24時	深夜・明け方 24時～6時
平日	1	2	3	4	5	6
休日	7	8	9	10	11	12

問17 あなたは、自家用自動車を有料で貸すことについて、どのように思いますか。あてはまるものを1つお選びください。

（問15で「7. 車を所有していない」と回答された方もお答えください。）

1. 是非貸したい
2. 条件によっては貸してもいい
3. 貸したくない
4. 分からない

問17-1

問17で「1. 是非貸したい」又は「2. 条件によっては貸してもいい」と回答された方のみお答えください。自家用自動車をお貸す理由について、あてはまるもの全てお選びください。

1. 副収入のため
2. 普段あまり乗らない車があるから
3. 駐車場代など維持費が抑えられるから
4. 来訪者に対する二次交通の確保
5. カーシェアを通じたコミュニティの形成
6. 車両保有台数の縮小による環境負荷の低減
7. その他（ ）

問17-2

問17で「2. 条件によっては貸してもいい」と回答された方のみお答えください。どのような条件であれば貸したいと思いますか。あてはまるもの全てお選びください。

1. 自由な料金設定ができること
2. 事故時の補償関係が整っていること
3. 15分単位など短期間でも貸すことができること
4. 借り手の個人情報事前に把握できること（借り手を選べる）
5. 貸し借りの手続きが簡単であること
6. その他（ ）

問17-3

問17で「3. 貸したくない」と回答された方のみお答えください。貸したくない理由は何ですか。あてはまるもの全てお選びください。

1. 他人に運転されたくない
2. 汚される恐れがある
3. 事故時の補償が心配
4. 車を貸す時間的余裕がない
5. その他（ ）

**6 南海和歌山市駅前広場の整備についてお尋ねします。
(別紙 資料2をご覧のうえ、お答えください)**

問18 和歌山市駅及び駅前広場をどういった目的で利用されますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 通勤・通学 | 5. タクシーの利用 |
| 2. 駅構内の施設利用 | 6. 利用しない |
| 3. 送迎 | 7. その他 () |
| 4. バスの利用 | |

問18-1

問18で「6. 利用しない」と回答された方にお伺いします。和歌山市駅及び駅前広場を利用しない理由は何ですか。あてはまるものを1つお選びください。

(この問に回答された方は、問22へお進みください。)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 交通手段として利用しない | 5. 魅力的なイベントがない |
| 2. 自宅から遠い | 6. 駐車場が有料 |
| 3. 交通の便が悪い | 7. その他 () |
| 4. 魅力的なテナントがない | |

問19 徒歩及び自転車で駅前広場を利用される際、どのようなことに課題や不便さを感じたことがありますか。あてはまるもの全てお選びください。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 段差が多く歩きづらい(走行しづらい) | 4. 課題や不便さを感じていない |
| 2. 自動車との分離ができていない | 5. 利用しない |
| 3. 駐輪場が不足している | 6. その他 () |

問20 一般車・タクシーで駅前広場を利用される際、どのようなことに課題や不便さを感じたことがありますか。あてはまるもの全てお選びください。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 駐車場が不足している | 6. 課題や不便さを感じていない |
| 2. 一般車の乗降場が狭い | 7. 利用しない |
| 3. タクシー待機台数が少ない | 8. その他 () |
| 4. 一般車とタクシー乗降場が混在しているので危険 | |
| 5. 歩行者及び自転車を確認しづらい | |

問21 バスで駅前広場を利用される際、どのようなことに課題や不便さを感じたことがありますか。あてはまるもの全てお選びください。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 乗り場の数が多すぎる | 5. 課題や不便さを感じていない |
| 2. 乗り場の数が少なすぎる | 6. 利用しない |
| 3. どの乗り場から乗ればいいのかわかりにくい | 7. その他 () |
| 4. 降り場が駅の反対側なので不便 | |

問 2 2 和歌山市では、平成 2 8 年度に和歌山市駅前広場及び周辺道路を含めた基本設計を実施します。優先すべきものを3つお選びください。

優先順位 1 番	優先順位 2 番	優先順位 3 番

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. バリアフリー | 8. 一般車とバス・タクシーとの混在解消 |
| 2. バス乗降場の増設 | 9. 魅力的なデザイン |
| 3. バス乗降場の縮減 | 10. イベント広場の充実 |
| 4. タクシー乗降場の増設 | 11. 防災拠点としての機能 |
| 5. タクシー乗降場の縮減 | 12. 必要最低限の機能があればよい |
| 6. 一般車乗降場や駐車場の増設 | 13. 整備しなくてよい |
| 7. 一般車乗降場や駐車場の縮減 | 14. その他 () |

問 2 3 和歌山市駅の再開発に合わせて、市道和歌山市駅前線についても整備を検討しています。市道和歌山市駅前線に対し、実施すべきだと思う事業を全てお選びください。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 車道を縮小しての歩道を拡幅 | 5. 街路樹の撤去 |
| 2. 電線地中化 | 6. 夜のライトアップ |
| 3. ベンチなど滞留スペースの増設 | 7. その他 () |
| 4. 街路樹の植樹などの緑化推進 | |

7 和歌山城のおもてなし忍者についてお尋ねします。

和歌山城では「おもてなし忍者」が公園内の随所にひそみ、皆様のお城観光のお手伝いをする機会をうかがっています。お城での記念撮影や、案内が必要な方、困っている人がいれば、どこからともなく姿を見せ、忍法おもてなしの術で和歌山城での楽しい思い出を提供し、和歌山城の魅力向上を目指しています。

問 2 4 和歌山城のおもてなし忍者を知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 2 4 - 1

問 2 4 で「1. 知っている」と回答した方にお訪ねします。忍者が実施しているおもてなしについて、知っているものを全てお選びください。

1. 観光客への案内、写真撮影のお手伝いなど
2. 毎週実施している忍者衣装等の貸し出し
3. わかやまお城クラシック♪などの、城内で実施しているイベント
4. 足が不自由な方等への登城サポート
5. ベビーカー等も持ってお城に登る方をお手伝い

6. 外国語を用いた外国人観光客への対応
7. 遠足や団体旅行客等へのお出迎え
8. その他（ ）

※「登城サポート」とは電動アシスト車いす等を使って、歩行に困難が伴われる方を天守閣前広場まで忍者の格好をしたスタッフ（ヘルパー2級資格取得者を含む。）が、登城のお手伝いをするものです。

問25 現在のおもてなし忍者の取り組みに欠けている、または、十分でないと思われるものはありますか。あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. PR不足 | 4. 忍者であることを活かした取り組み |
| 2. 忍者の数 | 5. 和歌山城と忍者の関連性 |
| 3. 観光客への対応・おもてなしの質 | 6. その他（ ） |

問26 今後和歌山城の魅力を益々向上させるために、忍者によるどのようなおもてなしが必要だと思いますか。必要だと思うものを全てお選びください。

1. エンターテインメント性の向上
2. 忍者グッズの販売
3. さらに積極的なメディアへのPR
4. 地元の企業、大学などとの連携
5. 名取三十郎正澄著「正忍記」、恵運寺を中心とした紀州忍者とのコラボレーション
6. その他（ ）

※「正忍記」とは日本三大忍術書の一つで、忍術の根本精神や正しい忍者のあり方について、紀州藩に仕えた名取三十郎正澄が書き記したものです。名取三十郎正澄の墓が市内吹上の「恵運寺」で見つかり、紀州忍者の存在が注目されています。

問27 広域にまたがった「忍者観光」を考えるなかで、和歌山市の持つ「強み」は何があると思いますか。最も「強み」になると思われるもの1つをお選びください。

1. 忍者の里として有名な伊賀、甲賀のある三重県に近接している
2. 三大忍術書の一つ「正忍記」を活かすことができる
3. 関西国際空港から近い
4. 雑賀衆や根来衆などが活躍した歴史的背景がある
5. 江戸で「御庭番」を設けた八代将軍 徳川吉宗と関係が深い
6. その他（ ）

8 公共施設の重要度について

(別紙 資料3をご覧のうえ、お答えください)

問28 市民の皆様に広く利用される次の公共施設の中で、将来にわたり残していきたい施設を5つ選んでください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 市民会館 | 11. 岡公園 |
| 2. 和歌の浦アート・キューブ | 12. 秋葉山公園 |
| 3. 市民図書館 | 13. 松下体育館 |
| 4. 市立博物館 | 14. 河南総合体育館 |
| 5. こども科学館 | 15. 市民体育館 |
| 6. 四季の郷公園 | 16. 市民温水プール |
| 7. 森林公園 | 17. 市民スポーツ広場 |
| 8. 西庄ふれあいの郷 | 18. つつじが丘テニスコート |
| 9. 和歌山東公園 (体育館、市民球場含む) | 19. その他 |
| 10. 和歌山公園 (動物園含む) | (施設名) |

9 スポーツについてお尋ねします。

問29 あなたは、週1回以上運動(ウォーキングやサイクリング、軽い体操などを含む)やスポーツをしていますか？

1. はい 2. いいえ

問29-1

問29で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っている理由は何ですか？あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 健康保持・体力増進 | 5. ストレスの解消 |
| 2. 好きだから | 6. 生活を楽しく、豊かにするため |
| 3. 仲間との交流 | 7. その他 () |
| 4. 美容及び肥満の予防 | |

問29-2

問29で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 必要ないと思うから | 5. 家族や友人の支援がないから |
| 2. 忙しくて時間がないから | 6. 意志が弱いから |
| 3. 体調が悪い・疲れているから | 7. 場所や施設がないから |
| 4. 運動・スポーツをする仲間がいないから | 8. その他 () |

問30 和歌山市でのフルマラソンの実施について、どのように考えますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 実施してほしい | 3. どちらでもよい |
| 2. 実施しなくてよい | 4. わからない |

問30-1

問30で「1. 実施してほしい」と回答された方のみお答えください。実施してほしい理由について、あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. マラソンをやっている | 4. 地域の活性化を図れる |
| 2. マラソンに興味がある | 5. マラソンを間近で見たい |
| 3. 地域が盛り上がる | 6. その他 () |

問30-2

問30で「2. 実施しなくてよい」と回答された方のみお答えください。実施しなくてよい理由について、あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. マラソンに興味がない | 5. 他の政策にお金を使うべき |
| 2. 交通規制時間が長いから | 6. 他の市町村でもフルマラソンをやっているから |
| 3. 渋滞が起こるから | 7. その他 () |
| 4. 現在の和歌浦ベイマラソンで十分だから | |

10 男女共生についてお尋ねします。

問31 あなたは、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 賛成 | 4. 反対 |
| 2. どちらかといえば賛成 | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば反対 | |

11 災害や防犯対策についてお尋ねします。

問32 あなたは現在、災害に対し、備えを行っていますか？

1. はい
2. いいえ

問32-1

問32で「1. はい」と回答された方のみお答えください。災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 家具が倒れないように固定している
2. 防災について家族で役割を決めている
3. 風呂にいつも水を入れている
4. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している
5. 火気器具の周りを整理している
6. ガラス飛散防止をしている
7. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意している
8. 非常持出品や備蓄品を用意している
9. 自主防災組織の活動に参加している
10. ご近所同士でいざというときの助け合いについて話をしている
11. ご近所の方で一人では避難できない人を把握している
12. その他（ ）

問33 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

問34 あなたは、災害から身を守るために、どの避難場所に逃げるか、どんな経路を逃げるか、日頃から調べたり、話し合ったりしていますか？

1. している
2. していない

問35 あなたは、地区で実施している避難訓練に参加していますか。

1. している
2. していない
3. その他（ ）

問35-1

問35で「2. していない」と回答された方のみお答えください。避難訓練に参加しない理由は何ですか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があり参加できない
2. 面倒だから
3. 過去に避難訓練に参加し、理解しているから
4. その他（ ）

問36 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 和歌山市防災マップ | 4. 和田川洪水ハザードマップ |
| 2. 紀の川洪水ハザードマップ | 5. 内水ハザードマップ |
| 3. 亀の川洪水ハザードマップ | 6. 1～5のマップは知らない |

問37 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 地震・台風等のしくみと脅威 | 4. 各自主防災組織の活動内容紹介 |
| 2. 災害への備え | 5. 防災に関する補助金・交付金等の概要 |
| 3. 市が進める防災対策 | 6. その他（ ） |

問38 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

- | | | |
|-----------|----------------|---|
| 1. 伝わっている | 2. 伝わっていない【理由： | 】 |
|-----------|----------------|---|

問39 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか。あてはまるもの全てをお選びください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. テレビ、ラジオ | 5. 防災情報メール |
| 2. テレビのデータ放送 | 6. 防災情報電話案内サービス |
| 3. インターネット（県・市のホームページ） | 7. その他（ ） |
| 4. 防災行政無線 | |

問40 和歌山市では昭和56年以前に建てられた木造住宅に、無料で木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断をする制度があります。お住まいの耐震診断について、あてはまるものを1つお選びください。

1. すでに耐震診断を受けている
2. すでに耐震改修を行った
3. 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
4. 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
5. 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
6. 耐震診断を受けるつもりはない
7. 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
8. 対象の建物ではない（昭和57年以降に建てられた木造住宅である。）
9. その他（ ）

問41 耐震診断の結果、耐震性が低いと判定された戸建て住宅、長屋及び共同住宅について、基準を満たす耐震改修を行った場合、耐震改修費（設計・工事・リフォーム）の一部を補助する制度があるのを知っていますか？

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問4 2 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 治安が良い | 4. 治安が悪い |
| 2. どちらかといえば治安が良い | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば治安が悪い | |

問4 2-1

問4 2で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」とお答えの方のみお答えください。あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか。あてはまるもの全てお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他 ()

問4 3 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか。つぎの中からあてはまるものを全て選んでください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひったくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひったくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境作りを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようにしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他 ()
15. 特に何もしていない

12 健康についてお尋ねします。

問44 あなたの健康状態はいかがですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. よい
2. まあまあよい
3. ふつう
4. あまりよくない
5. 悪い

問45 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい
2. いいえ

問46 あなたは、タバコを吸っていますか？（20歳以上の方のみお答えください。）

1. 現在吸っている
2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
3. 吸ったことがない

問46-1

問46で「1. 現在吸っている」「2. 吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答された方のみお答えください

- ・「一日の平均喫煙本数」は何本ですか（ ）本
- ・「喫煙期間」は何年ですか（ ）年

問46-2

問46で「1. 現在吸っている」と回答された方のみお答えください。あてはまるものを1つお選びください。

1. やめる気はない
2. やめたいがやめられない
3. 簡単な方法やきっかけがあればやめたい

問47 あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん等のいずれか）を受けていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 定期的に受けている
2. 定期的には受けていない
3. 一度も受けたことがない

※定期的な検診とは、「肺がん・大腸がん」は1年に1回、「胃がん・子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

問47-1

問47で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。定期的に何の検診を受けていますか？あてはまるもの全てお選びください。

1. 胃がん
2. 肺がん
3. 大腸がん
4. 子宮頸がん
5. 乳がん

問 47-2

問 47で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。受診したがん検診は、つぎのどれに該当しますか？

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 職場の健康診断 | 4. 自覚症状があり、検査として |
| 2. 人間ドック | 5. その他 () |
| 3. 和歌山市のがん検診制度を利用して | |

問 48 あなたは、お口の健康について気をつけていることがありますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 丁寧に歯を磨いている
2. 定期的に歯科検診を受けている
3. 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている
4. 歯ブラシだけでなく歯間ブラシや糸ようじ等の補助用具を使用している
5. 日頃から自分の口腔内を観察している
6. 歯磨き指導を受けたことがある
7. 特にない
8. その他 ()

13 食育についてお尋ねします。

問 49 あなたは「食育」に関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 関心がある | 4. 関心がない |
| 2. どちらかといえば関心がある | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば関心がない | |

問 50 あなたは朝食を毎日食べますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. 毎日食べる | 2. ときどき食べる | 3. 食べない |
|----------|------------|---------|

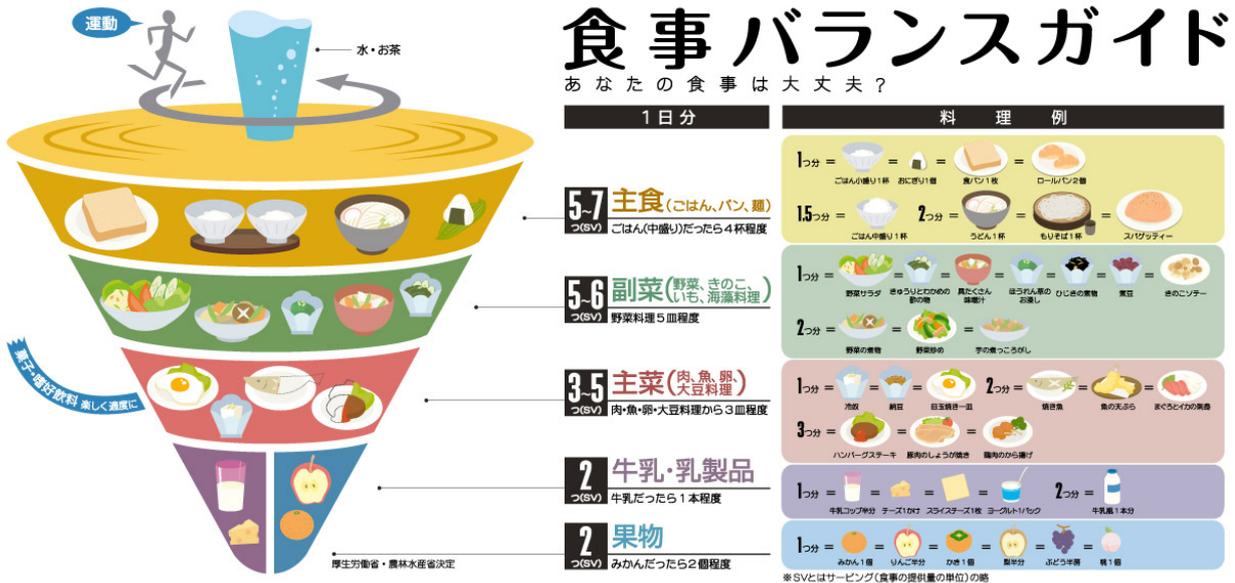
問 51 あなたは1日3食規則正しく食べますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 毎日食べる | 3. どちらかといえば食べない |
| 2. どちらかといえば食べる | 4. 食べない |

問 5 2 あなたは下記に示した「食事バランスガイド」をみたことがありますか。

「食事バランスガイド」とは、食事の望ましい組み合わせとおおよその量をイラストで示したものです。

1. ある 2. ない



問 5 2-1

問5 2で「1. ある」と回答された方のみお答えください。あなたは「食事バランスガイド」を参考にして、食生活を行なっていますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 行なっている 3. どちらかといえば行なっていない
2. どちらかといえば行なっている 4. 行なっていない

問 5 3 あなたは、農作業を体験したことがありますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 農家である
2. 市民農園や家庭菜園で農作業を行ったことがある
3. 学童農園等で種まきから収穫までしたことがある
4. 収穫体験など部分的にしたことがある
5. したことはない

問 5 4 あなたは、食文化や伝統料理について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 関心がある 3. それほど関心はない
2. まあまあ関心がある 4. 関心はない

15 和歌山市の取組みに対する満足度・重要度についてお尋ねします。

問57 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？

満足度と重要度から、それぞれ1ずつ選んで数字を○で囲んでください。

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？					
		非常に満足	満足	えない どちらとも言	不満	非常に不満	非常に重要	重要	えない どちらとも言	はない あまり重要で	ない	全く重要では
安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	暴力や犯罪に対する防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	消防・救急救助の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	交通安全に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	消費者生活相談の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
優しいまち	地域住民の助け合い活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	医療・保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	高齢者・障害者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	こどもや子育てに対する支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	人権が尊重される社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	男女が共生できる社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
元気なまち	地域産業（商工業・農林水産業）の発展	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	雇用対策や労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	中心市街地の活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	観光地としての魅力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	国内や国外との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	地域住民のふれあい活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	えない どちらとも 言	不満	非常に不満	非常に重要	重要	えない どちらとも 言	はない あまり重要で ない	全く重要では ない
快適なまち	基幹道路や生活道路の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公園や下水道などの 生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	海・山・川などの 豊かな自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	資源ごみのリサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	快適で暮らしやすい住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育のまち	学校・幼稚園などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	青少年の健全育成活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	生涯学習支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	芸術・文化・スポーツ活動 への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
その他	市政に対する 市民参加のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	市民サービスなどの 行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

和歌山市の市政についてご意見をお聞かせください。

*****ご協力ありがとうございました*****

資料1

統合型リゾート（IR）の誘致について

◎ 統合型リゾート（IR）について

統合型リゾート（IR）とは、カジノ施設に加え、会議場施設、展示施設、ショッピングモール、レストラン、ホテルその他観光振興に関する施設が一体となった複合観光施設です。

2010年にシンガポールで開業した2か所の統合型リゾート（IR）では、カジノが占める割合は施設全体の3%以内といわれています。



マリーナ・ベイ・サンズ



リゾート・ワールド・セントーサ

◎ 考えられる影響

統合型リゾート（IR）は、観光客の増加、消費の拡大、雇用の増加、税収の増加などのメリットが考えられる反面、カジノ施設については、ギャンブル依存症の増加、青少年への悪影響、周辺地域での犯罪増加などのデメリットも指摘されています。

◎ 法整備の現状

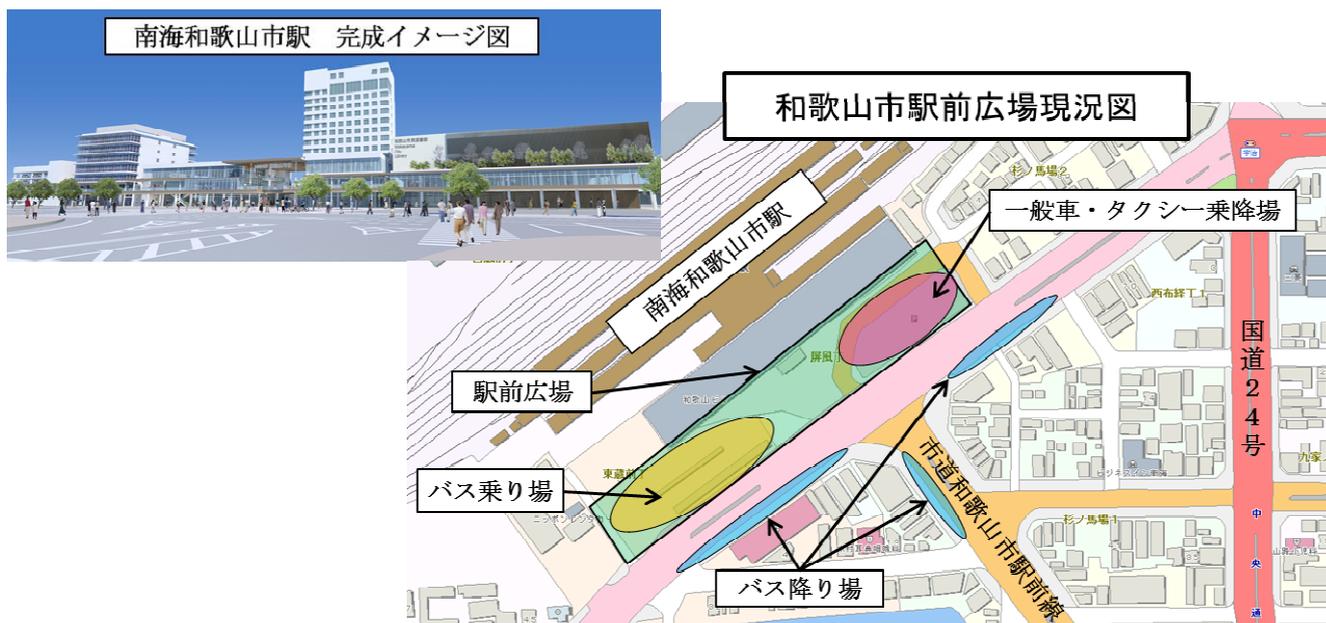
国は、統合型リゾート（IR）の推進に必要な法整備を進めています。国会に提出された法案（成立していない）によると、基本理念や役割は以下のようになっています。

<u>基本理念</u>	国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現
	地域経済の振興に寄与
	カジノ施設の収益を社会に還元
<u>役割</u>	地方公共団体 → 建設される区域の申請
	民間事業者 → 建設・運営

このような状況を踏まえ、和歌山市では、統合型リゾート（IR）の誘致を判断するための研究を行っています。

資料2

南海和歌山市駅前広場の整備について



<経緯>

- 南海和歌山市駅ビルの建替えに合わせ、和歌山市駅前広場の利便性向上やバリアフリー化、老朽化施設更新等の観点から、和歌山市駅前広場の整備も合わせて行う必要があると考えました。
- 和歌山市駅前広場の整備に合わせ、市道「和歌山市駅前線」の整備の必要性についても検討しています。

<今後の取組>

- 駅前広場について、平成28年度から基本設計を実施し、鉄道・バス・自動車等の交通機関の相互の連携を強化による利便性向上を目指し、皆様が利用しやすい駅前広場となるよう検討していきます。

(スケジュール)

平成28年度 基本設計 ⇒ 平成29年度 実施設計 ⇒ 平成30年度 工事着手 ⇒ 平成32年度 供用予定

- 市道和歌山市駅前線については、和歌山市駅から和歌山城周辺への導線となるため、賑わいの創出、まちなかへの効果的な誘導と回遊性向上につながるよう検討していきます。

- 工事が始まりますと、駅前広場を利用される方や周辺にお住まいの方には、大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。

資料3

公共施設の重要度について

	施設名	概要
1	市民会館 	3つのホールがあり、音楽会、演劇、公演などに利用されています。現在、伏虎中学校の跡地への移転が計画されており、新しい市民会館は平成33年度の開館を予定しています。 所在地：伝法橋南ノ丁7（南海和歌山市駅より南西へ徒歩5分）
2	和歌の浦アート・キューブ 	芸術文化活動の育成と支援を目的とした市民参加型芸術文化施設です。 所在地：和歌浦南3丁目10-1（不老橋の南）
3	市民図書館 	すべての市民に等しく、読書の機会がゆきわたり、だれでも自由に本を手にとって見ることができます。 現在、南海和歌山市駅ビルへの移転が計画されており、新しい市民図書館は平成31年10月に開館する予定です。 所在地：湊本町3丁目1（市民会館の隣）
4	市立博物館 	和歌山市を中心とした郷土の歴史・考古・民俗などに関する資料を調査・収集・保管し、研究・展示・情報提供を行っています。 所在地：湊本町3丁目2（市民図書館の隣）
5	こども科学館 	次代を担う子ども達に科学の力を育て、情操豊かで創造的な子どもを育成することを目的とし、プラネタリウムや各種教室なども行っています。 所在地：寄合町19（南海和歌山市駅より南へ徒歩5分）
6	四季の郷公園 	25.5haの広大な面積をもち、“野鳥や昆虫、植物とふれあえる自然観察の森”と“花や緑のやさしさが体感できる緑花果樹苑”の2つのエリアで構成された自然と農業のテーマパークです。 所在地：明王寺85（伊太祁曽駅より約1.2km北）
7	森林公園 	自然の立地条件を取り入れた中央広場・ちびっこ広場で、動物・恐竜・遊具等で遊べるほか、はるか友ヶ島、淡路島、四国が遠望できる展望広場・山頂広場の展望台や展望デッキで景色を楽しむことができます。 所在地：深山600-1
8	西庄ふれあいの郷 	ラベンダーやミントなどが楽しめるハーブ園やゲートゴルフ場があり、豊かな自然と人とのふれあいを満喫できる憩いのスポットです。 所在地：西庄1107-36（八幡台小学校の北）
9	和歌山東公園（体育館、市民球場含む） 	緑に包まれた野球場、屋内スポーツ場（体育館）の競技・スポーツを目的としたゾーンと、市民が自由に散策し楽しめるゾーンからなる都市公園（地区公園）です。 所在地：北出島133（斎場の北）

資料3

公共施設の重要度について

10	和歌山公園（動物園含む） 	和歌山公園は、和歌山城（天守閣）や動物園、紅葉溪庭園があり、まちなかの貴重な緑地空間となっており、散策、憩いのスペースともなっています。 所在地：一番丁
11	岡公園 	和歌山城の南側にある自然豊かな公園で、高く傾斜が急なすべり台などがあります。また、昔、和歌山市内を走っていた路面電車が展示されているほか、3つの茶室があります。 所在地：岡山丁3
12	秋葉山公園 	秋葉山プールに隣接する、緑に囲まれた都市公園です。ここは災害時の一次避難場所、山頂のスペースには約1,500人の一時避難が可能となっています。また誘導灯となるソーラー式照明も5基設置しています。 所在地：秋葉町14
13	松下体育館 	858㎡のアリーナがあり、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ソフトテニス、卓球、剣道などを行うことができます。 所在地：西浜1037（大浦街道沿い）
14	河南総合体育館 	バスケットボールなどが行える1,584㎡のアリーナのほか、武道場、弓道場、屋外テニスコート、トレーニング室などを備えています。 所在地：和佐中165-1
15	市民体育館 	バスケットボールなどが行える約1,500㎡のアリーナのほか、トレーニング室やウエイトトレーニング室などを備えています。 所在地：土入318-1（スーパーセンターオークワパームシティ和歌山店の南）
16	市民温水プール 	市民体育館に隣接する温水プールで、25m公認プールと幼児用プールがあります。 所在地：土入318-1
17	市民スポーツ広場 	野球場・球技場・テニスコート・陸上競技場を兼ね備えたスポーツ施設です。 所在地：福島（北島橋の北東、紀の川河川敷）
18	つつじが丘テニスコート 	屋内外に全20面のコートを備え、一般市民の利用のみならず、大規模な大会、選手の強化合宿等にも十分対応できるテニスコートです。 所在地：つつじが丘4丁目4